

# 病 院 年 報

第 30 号  
(令和 4 年度)

市 立 池 田 病 院

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号

## 《理念》

### ■ 基本理念とシンボルマーク



創意に富み 思いやりのある  
信頼される 病院をめざして

シンボルマークは、「五月山」と「猪名川」をモチーフとして「飛翔」を描き、基本理念である「創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして」の、創意 Innovative Hospital、思いやり Kind Hospital、信頼 Dependable Hospital を表現しています。

飛翔の姿は、市立池田病院が地域の公的機関として、3つの理念である「創意」「思いやり」「信頼」による医療を通じて、地域とともに、暮らしやすく、豊かで、活力に満ちた“安全・安心な地域社会”に向けて飛躍する姿を描き、その貢献への決意を込めています。

## 《7つの基本方針》

使命を達成するために、次の基本方針を実行する。

実行にあたって職員は、「職員指針」、「臨床倫理原則」、「医療安全管理指針」、「個人情報保護方針」を徹底し、全職員の計画的・主体的・協働的な参画のもと品格高い病院づくりに努めています。

### 1.地域社会

私たちは、公立病院の使命として、地域社会に応える計画的な病院事業を推進します。

### 2.患者本位

私たちは、誠実で思いやりのある患者さまの立場にたった、医療を実践します。

### 3.地域医療

私たちは、地域の医療水準の向上をめざし、広域的な医療連携・保健連携を推進します。

### 4.医療の質

私たちは、地域の急性期病院として、安全で質の高い医療を提供します。

### 5.チーム医療

私たちは、全ての職種が互いに信頼し協働して、チーム医療および組織横断的活動を推進します。

### 6.医療人の育成

私たちは、働きがいのある病院づくりに努め、地域医療を支える優れた医療人を育成します。

### 7.経営健全化

私たちは、たえず意識変革をもって病院事業を遂行し、安定した経営基盤の確立を目指します。

## はじめに

令和4年も、新型コロナウイルスの対応に翻弄された1年でした。

感染力が強くなったo（オミクロン）株が中心となった第6波（令和4年1-3月）、第7波（令和4年7-9月）、第8波（令和4年11-令和5年2月）では、重症化率は低下したものの、感染者数は非常に多くなり、特に、第8波では死亡者数も増えました。

病床の確保（最大38床）、医療スタッフの感染や濃厚接触者になったことによる出勤停止（多いときは約1割の職員出勤できず）、院内クラスターの発生など、一般診療の制限、救急受け入れ制限・停止を行わざるをえない事態もしばしば起こりました。

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の2類相当から、5類感染症へと変更され、新型コロナウイルス患者は、法律に基づく外出自粛は求められず、また、推奨される外出を控える期間も5日と短縮されました。全例調査が行われなくなり、感染状況の把握も難しくなりました。このことにより、診療体制も大きく変わってきています。これまでの「濃厚接触者」の考えがなくなり、感染者の隔離期間の短縮、面会制限の解除などをすすめております。今後、いかに新型コロナウイルス感染症以前の診療体制に戻るかを、感染状況をみながら考えていくことになりそうです。

一般診療においては、新型コロナウイルスによる外来患者・入院患者数は減少の回復はなく、平成4年度の病床稼働率は76.0%でした（平均在院日数10.2日）。令和4年2月に導入した手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術は、泌尿器科・婦人科・消化器外科にて、症例を順調に積み重ねております。

公立病院としての役割を果たせるよう、地域の病院として可能な限りお役に立てるよう、引き続き努めていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

令和5年10月  
病院長 尾下 正秀

# 目 次

<b>■病院の概要</b>	病理診断科..... 123
病院の沿革..... 1	臨床検査科..... 125
病院の概要..... 7	精神科..... 130
病院組織機構..... 9	◇救急総合診療部..... 131
病院管理運営組織図..... 11	◇中央手術部..... 132
職員配置数..... 13	◇臨床研修部..... 134
病院職員..... 14	◇がん治療センター部
病院の財政状況..... 26	外来化学療法センター..... 142
<b>■業務概要</b>	がん相談支援センター..... 144
患者状況..... 33	◇共同診療部
診療収入状況..... 39	内視鏡センター..... 147
退院患者年次統計..... 40	生活習慣病・糖尿病センター..... 152
<b>■各部門の活動</b>	人工透析センター..... 154
◇医務局	口腔ケアセンター..... 159
内科	超音波診断・治療センター..... 160
総合内科..... 47	健診センター..... 163
腎臓内科..... 49	◇薬剤部..... 164
血液内科..... 52	◇看護部..... 172
糖尿病・内分泌内科..... 54	◇医療技術部
呼吸器内科..... 56	栄養管理科..... 180
消化器内科..... 58	医療機器管理室..... 184
循環器内科..... 67	◇臨床研究管理部..... 186
脳神経内科..... 70	◇地域医療連携部..... 190
小児科..... 72	◇感染制御部..... 193
外科	◇医療安全・質管理部..... 201
乳腺・内分泌外科..... 76	◇経営企画室 情報システム..... 203
呼吸器外科..... 78	◇診療情報管理部
消化器外科..... 79	診療情報管理・診療支援..... 205
脳神経外科..... 86	◇チーム医療関連
整形外科..... 87	栄養サポートチーム(NST)..... 209
形成外科..... 90	褥瘡対策チーム..... 212
皮膚科..... 92	呼吸療法サポートチーム(RST)..... 217
泌尿器科..... 94	緩和ケアチーム..... 219
(結石治療センター含む)	高齢者サポートチーム(OST)..... 222
産婦人科..... 98	精神科リエゾンチーム..... 225
眼科..... 100	◇その他の部門
耳鼻いんこう科..... 103	ライフサポートチーム..... 226
リハビリテーション科..... 108	患者サポートチーム..... 228
放射線科..... 111	臨床心理室..... 229
麻酔科..... 116	<b>■病院だより</b> ..... 231
歯科・歯科口腔外科..... 118	

# 病 院 の 概 要

- 病院の沿革
- 病院の概要
- 病院組織機構
- 病院管理運営組織図
- 職員配置数
- 病院職員
- 病院の財政状況

## ■ 病 院 の 沿 革

変遷の時期	変	遷	の	内	容
昭和 26. 10. 30	市立池田病院開設 (9科、81床)				
27. 9. 19	伝染病棟開設 (本館敷地内、30床)				
27. 10. 1	看護婦寄宿舍新設				
30. 7. 25	結核病棟開設 (本館敷地内、50床)				
31. 4. 1	地方公営企業法全部適用 (法第2条第2項・第3項)				
32. 7. 30	総合病院承認 (9科、一般病床106床・結核病床60床・伝染病床30床)				
33. 3. 11	中央検査室・コバルト室及び西病棟増設				
37. 7. 23	4階病棟増築				
37. 10. 19	基準給食承認				
38. 10. 1	看護婦寄宿舍建替				
39. 10. 26	救急病院告示				
46. 10. 14	循環器系X線及びシンチ・カメラ室増築				
51. 5. 18	伝染病棟 (30床) 廃止				
51. 9. 27	新診療棟増築 管理棟増改築				
54. 5. 23	伝染病棟建設 (本館敷地内) 一般病床264床 伝染病床15床 計279床				
57. 4. 1	整形外科及び理学診療科新設 (既設 外科診察室に併設)				
57. 7. 14	看護婦寄宿舍増築				
57. 8. 5	新診療棟増築				
59. 10. 1	基準看護1類承認				
59. 12. 1	医専用コンピュータシステム導入				
60. 10. 1	基準看護特2類承認 (特1類より)				
61. 4. 1	給食配膳業務委託開始				
62. 7. 1	時間外小児救急365日体制実施				
平成 4. 4. 1	婦長・主任の管理当直 (土・日・祝日) 開始				
4. 7. 1	泌尿器科新設				
5. 3. 31	市立池田病院移転新築計画基本構想策定				
5. 7. 1	麻酔科新設				
5. 7. 13	4階病棟に新生児室完成				
5. 10. 1	内科予約診察開始				
6. 2. 1	手術室中央化開始				
6. 2. 28	新病院基本設計完了				
6. 3. 25	新病院用地 (大阪教育大学池田分校跡地の一部) 取得				
6. 9. 30	新病院実施設計完了				
6. 11. 1	IDカード (磁気付き診察券) 導入				
6. 12. 2	新病院建築工事着工				

変遷の時期			変遷の内容
平成	8. 10.	1	新看護体系2.5対1看護（A）15対1看護補助
	9. 10.	1	新市立池田病院開院（13科、264床）
	10. 4.	1	歯科口腔外科新設
	11. 3.	30	旧病院敷地（2,500㎡）売却
	11. 7.	1	旧伝病一般転用で個室8床増（入院料加算額対象個室52床から60床に）
	12. 2.	18	病棟薬局、リハビリテーション科改修
	12. 3.	29	職員定数を294人から317人に改定
	12. 3.	31	厚生省臨床研修病院指定
	12. 4.	3	旧病院敷地（4,269.32㎡）を市に無償移管
	12. 8.	1	看護婦寄宿舍を廃止し民間住宅を借上
	13. 4.	1	厚生労働省臨床研修病院指定（歯科） 神経内科新設 2対1看護体制の導入 外来受付業務を委託化（3か年で完了予定）
	13. 4.	2	看護婦寄宿舍（敷地及び建物）を市に無償移管
	13. 6.	1	初診時特定療養費の導入
	13. 10.	1	診療録管理室の稼動
	13. 10.	27	市立池田病院開院50周年記念式典（池田市民文化会館）
	14. 2.	18	病院機能評価の認定（Ver. 3.1、H14.2.18からH19.2.17まで）
	14. 3.	20	豊能保健医療推進協議会で開放型病床（50床）開設の承認
	14. 5.	10	増築工事実施設計業務（H14.5.13～H14.12.27）
	14. 9.	30	急性期入院加算の届出受理
	14. 11.	19	生体腎移植の実施
	15. 2.	1	医療法等の一部改正に伴う病床区分の届出（その他病床から一般病床へ）
	15. 2.	3	医療情報システム（更新）の稼動
	15. 2.	28	増築工事着工（H16.5.31まで）
	15. 4.	1	病院職員の定数改定（317人→402人）
	15. 10.	1	医療相談窓口の開設
	15. 11.	28	新医師臨床研修制度による臨床研修病院の指定
	16. 1.	1	院内全面禁煙の実施
	16. 2.	2	院外処方せんの全面発行の実施
	16. 3.	5	大阪府より一般病床100床の病床配分の認可
	16. 4.	1	看護師長による総合受付案内の実施
	16. 5.	31	増築棟工事完成
	16. 6.	1	新医師臨床研修制度による臨床研修の開始
	16. 7.	1	増築棟病棟オープン
	16. 7.	5	増築棟外来部門オープン
	16. 10.	1	本館改築オープン

変遷の時期	変	遷	の	内	容
平成	16. 10.	27	心血管カテーテル検査治療室の稼動		
	17. 1.	4	逆紹介コーナーの稼動 外来化学療法室の稼動		
	17. 4.	1	病院組織機構一部改正、院内委員会組織の改正		
	18. 1.	4	内科午後一般診療廃止		
	18. 4.	1	事業管理者設置		
	18. 6.	1	地域医療連携登録医制度の創設 DPC参加病院の適用 池田市病院事業経営健全化計画の公表		
	19. 1.	1	病院敷地内禁煙の実施		
	19. 2.	18	病院機能評価Ver. 5.0の更新認定 (H19. 8. 20に条件付認定の解除)		
	19. 3.	31	神経内科の標榜廃止による診療中止		
	19. 4.	1	7対1看護体制の実施 病院職員の定数改定 (402人→431人) 病院組織を11部局から10部局に改正		
	19. 4.	2	セカンドオピニオン外来の開始		
	19. 5.	1	消化器科、循環器科を標榜 生活習慣病・糖尿病センターの改称 乳腺・甲状腺センターの開設		
	19. 6.	1	室料差額の統一		
	19. 7.	1	外来診療受付時間の変更 (午前8時～11時30分を午前8時～11時に)		
	19. 10.	1	1階ホール受付カウンターの配置の一部変更		
	19. 10.	16	看護部2交代制の試行実施 (3階東病棟、5階南病棟)		
	20. 1.	1	看護部2交代制の試行実施 (4階北病棟)		
	20. 2.	1	看護部2交代制の試行実施 (5階北病棟)		
	20. 4.	1	看護部2交代制の試行実施 (4階東病棟) 褥瘡外来の開設 院内保育所の開設		
	20. 6.	1	亜急性期病床の導入 (4階北病棟、2室・8床)		
	20. 8.	1	整形外科診療体制の変更 (外来診療の予約制)		
	20. 10.	1	健診センターの開設 医師事務作業補助者の配置		
	21. 1.	1	産科医療補償制度保険加入開始		
	21. 2.	1	看護部2交代制の試行実施 (4階南病棟 [CCU除く])		
	21. 3.	31	大阪府がん診療拠点病院の指定 (指定期間はH21. 4. 1からH25. 3. 31まで)		
	21. 4.	1	開放型病床50床を5床に変更 禁煙外来の開始 乾癬外来の開始		

変遷の時期	変遷の内容
	市立池田病院改革プランの公表
平成 21. 5. 25	病院ホームページの更新
21. 8. 1	神経内科の標榜
21. 11. 25	救急車の導入
21. 11. 30	大阪府から地域医療支援病院の承認
22. 4. 1	脳神経外科を標榜 耳鼻いんこう科 二次後送病院体制へ参画
22. 5. 1	医師事務作業補助配置50対1に
22. 6. 1	急性期看護補助体制75対1に
22. 8. 1	総合入院体制加算開始
22. 8. 20	電波障害地域の地上デジタル放送対策完了
22. 9. 1	急性期看護補助体制50対1に
22. 9. 27	院内保育所の拡張（定員9名から12名）
23. 2. 28	電子カルテの稼働
23. 4. 1	池田市看護師等修学資金貸与条例の施行
23. 4. 15	治療費のクレジットカード決済開始
23. 6. 1	医師事務作業補助配置25対1に
23. 11. 1	医師事務作業補助配置20対1に
24. 2. 18	病院機能評価Ver. 6. 0の更新認定（5月18日発行）
24. 4. 1	病院職員の定数改正（431人→492人） 腎移植センターの廃止
24. 7. 1	消化器外科及び形成外科を標榜
24. 10. 1	亜急性期病床8床を一般病床に変更
25. 1. 1	ガスコージェネレーション発電設備の稼働（発電量210kW）
25. 3. 5	大阪府がん診療拠点病院指定の更新（指定期間はH25. 4. 1からH29. 3. 31まで）
25. 4. 1	乳腺センターに機構改正 病児保育の開始 SPD（物品供給センター）を院外倉庫預託方式で稼働
25. 6. 1	救急総合診療部の設置
25. 10. 19～20	緩和ケア研修会の開催（修了者数 医師29名、その他5名）
26. 3. 1	中期経営計画の策定
26. 4. 1	新公会計制度の導入
26. 10. 1	病理診断科を標榜
27. 1. 1	分娩料の改定
27. 3. 27	指定要件見直しによる大阪府がん診療拠点病院の指定 （指定期間はH27. 4. 1からH32. 3. 31まで）
27. 4. 1	手数料の一部改定
28. 2. 29	消化器病センターの開設
28. 3. 14	リニアックの更新

変遷の時期	変	遷	の	内	容
	28.	3.	22		MRI (1.5T) の追加
	28.	4.	1		乳腺・甲状腺センターを「乳腺・乳房再建センター」に改称 前立腺癌二次検診センターの廃止
平成	28.	7.	16 ~17		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師33名、その他5名)
	28.	12.	1		空調設備更新 (第1期) 4階北病棟及び5階北病棟
	29.	1.	4		健診センターにて肺ドック開始
	29.	2.	18		病院機能評価3rdG : Ver. 1.1の更新認定 (9月1日交付)
	29.	4.	1		呼吸器内科及び呼吸器外科を標榜 乳腺・内分泌外科を院内標榜
	29.	7.	1		病院食調理業務の直営化 (H30.9.30まで)
	29.	8.	31		X線血管撮影装置の更新
	29.	10.	1		分娩費用の見直し 3階北病棟 (産科フロア) の改修
	29.	10.	28 ~29		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師28名、その他3名)
	29.	12.	1		特定集中治療室 (ICU) を改修して2床から4床に増床 病棟別病床数の変更 (4階南病棟 49床→48床、4階東病棟 50床→51床) 空調設備更新 (第2期) 4階南病棟及び5階南病棟
	30.	3.	30		医療情報システム (電子カルテほか) の更新 (システムの切替作業は5月25日から5月27日にかけて実施) 喫茶コーナーの廃止
	30.	4.	1		NPO法人卒後臨床研修評価機構 (JCEP) による臨床研修評価の認定
	30.	4.	27		売店の廃止
	30.	5.	7		1階中央待合ホールのリニューアル 〔カウンターのレイアウト変更、妊婦用スマートレーンの設置、 各種窓口の移設、入退院サポートセンターの拡充 など 〕 エスカレーターの再稼働 コンビニエンスストアの設置
	30.	7.	1		医療職員用ユニフォームのリニューアル
	30.	10.	1		病院食調理業務の全面委託化
	30.	12.	1		空調設備更新 (第3期) 3階北病棟等
	31.	2.	7		MRI (3T) の更新
	31.	3.	27		電話設備及びナースコール設備の更新
平成	31.	4.	1		病院職員の定数を改正 (492人から542人に50人の増員) 心臓血管外科、小児外科及び放射線治療科を院内標榜
令和	1.	9.	28		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師23名)
	2.	1.	6		自動分析装置並びに検体搬送システムの更新
	2.	1.	7		外来化学療法センターの拡張
	2.	9.	26		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師・歯科医師17名)
	2.	12.	21		I Cルーム増設・運用開始



## ■ 概 要

2023. 4. 1現在

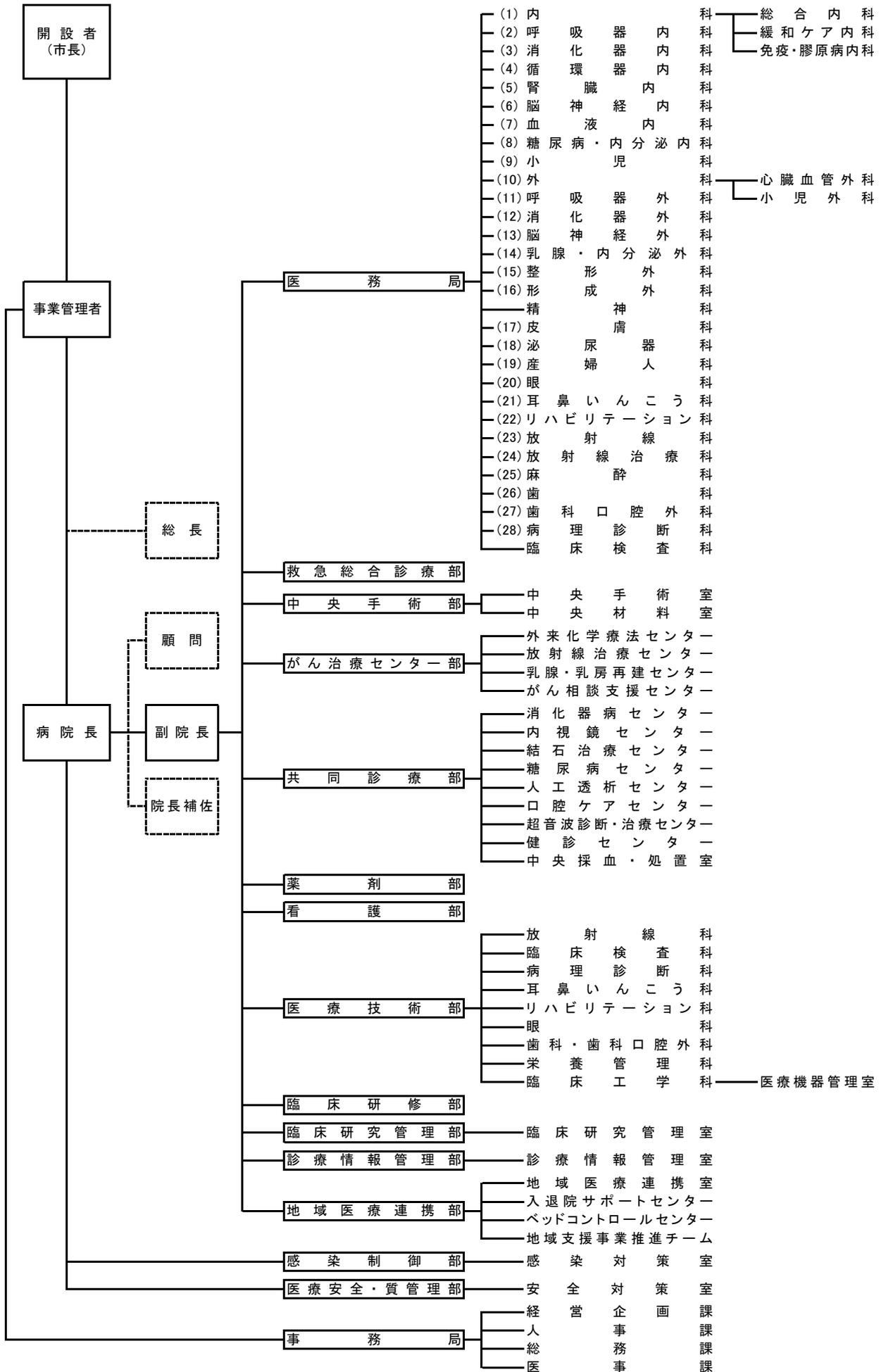
- (1) 所在地 池田市城南3丁目1番18号
- (2) 面積 敷地面積 18,113㎡ (うち増築用地2,400㎡)  
延床面積 39,005㎡ (うち東館10,522㎡、MRI棟118㎡)
- (3) 構造 本館：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階(一部2階) 地上5階(塔屋2階)  
東館：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階
- (4) 施設 診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、  
(全28科) 血液内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、  
脳神経外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、  
産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、  
放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科  
病床数：364床 (一般7病棟)  
その他：手術室8室、分娩室1室、人工透析室等
- (5) 駐車場 地上自走式 52台、地下機械式 180台、地下自走式 48台 計 280台
- (6) 駐輪場 435台 (バイク置場含む)
- (7) 付属施設 院内学級(池田小学校の一学級)、リハビリ庭園、子どもの遊び場、バス停留所
- (8) 病院施設  
認定一覧
- ・ 地域医療支援病院
  - ・ 厚生労働省臨床研修指定病院 (医科・歯科)
  - ・ 大阪府がん診療拠点病院
  - ・ 日本医療機能評価機構認定病院 (一般病院2 [3rdG : Ver. 2.0] )
  - ・ 卒後臨床研修評価機構認定病院
  - ・ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
  - ・ 日本腎臓学会研修施設
  - ・ 日本透析医学会教育関連施設
  - ・ 日本糖尿病学会認定教育施設
  - ・ 日本内分泌学会認定教育施設
  - ・ 日本呼吸器学会認定施設
  - ・ 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
  - ・ 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設
  - ・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
  - ・ 日本消化管学会胃腸科指導施設
  - ・ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
  - ・ 日本肝臓学会認定施設
  - ・ 日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設
  - ・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
  - ・ 日本神経学会専門医制度認定准教育施設
  - ・ 日本認知症学会教育施設
  - ・ 日本臨床神経生理学会認定施設
  - ・ 日本小児科学会小児科専門医研修施設
  - ・ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
  - ・ 日本乳癌学会認定施設
  - ・ 呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設
  - ・ 日本消化器外科学会専門医修練施設
  - ・ 日本大腸肛門病学会認定施設
  - ・ 日本食道学会食道癌全国登録認定施設
  - ・ 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
  - ・ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
  - ・ 日本形成外科学会認定施設

病院施設  
認定一覧

- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラント実施施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設
- ・下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会認定実施施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本産婦人科学会専門研修連携施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）暫定認定施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本ペインクリニック学会指定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
- ・日本口腔ケア学会認定口腔ケアセンター
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設
- ・日本栄養療法推進協議会認定NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本透析医学会専門医認定施設
- ・日本専門医機構内科領域専門研修プログラム認定施設
- ・日本胃癌学会認定施設B
- ・日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- ・日本専門医機構総合診療領域専門研修プログラム認定施設
- ・日本医学放射線学会画像診断管理認証施設

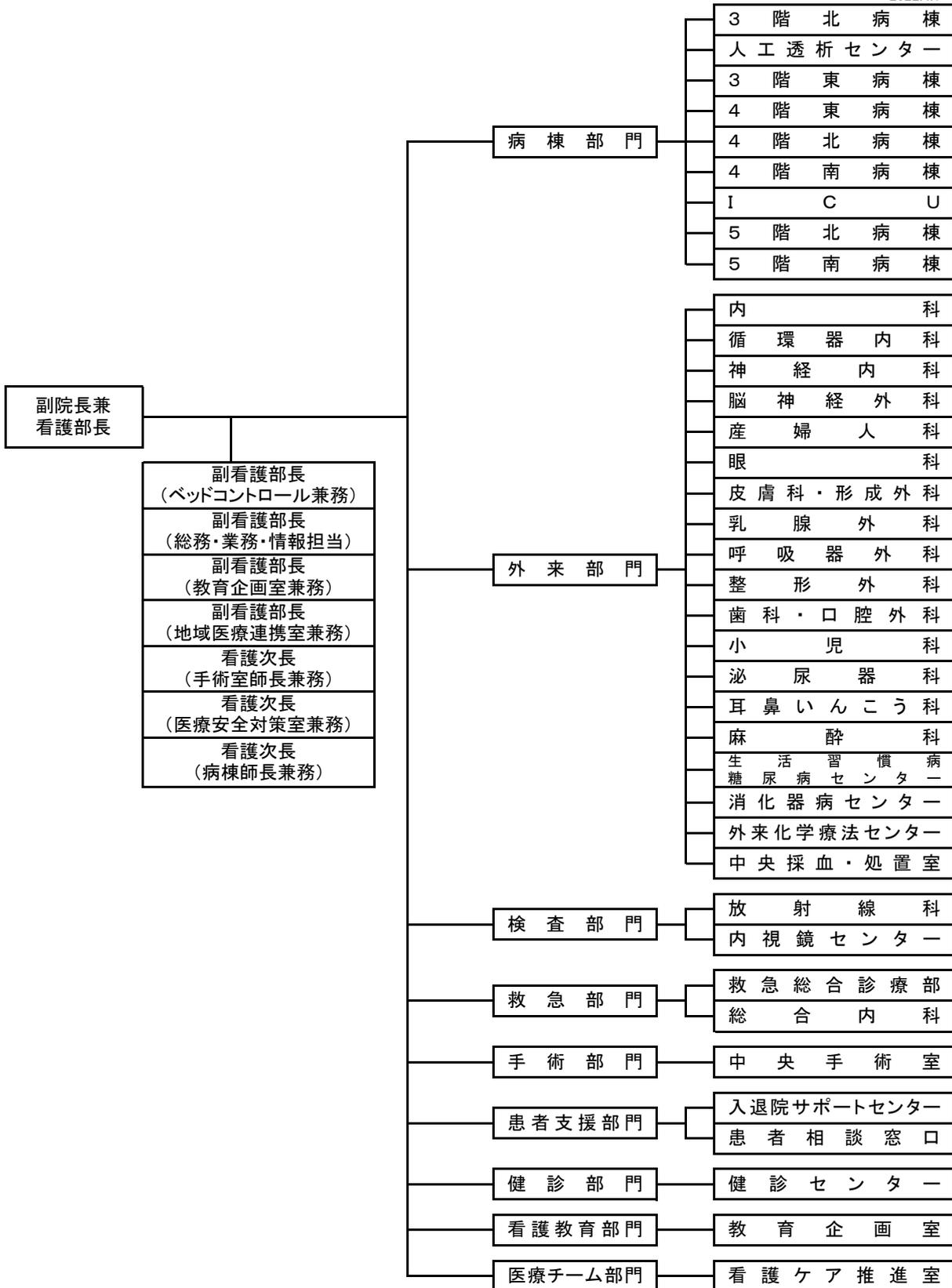
# ■ 病院組織機構

2023.4.1



# 看護部組織図

2022.4.1





## ■ 看護部会議

本病院事業の充実を期し、看護業務の管理運営の円滑化を図るため、以下のとおり「看護部会議」を設置する。

2022.4.1

名 称	構 成 員	目 的 等	開 催
師 長 会	看護部長、副看護部長、 看護次長、看護師長	看護に関する研究に努め、看護業務の充実を図ると共に、看護職員の看護の質向上に対する支援を行い、師長相互の連携を密にして、看護部門内における意思決定と病院事業の円滑な運営に貢献する。	第4火曜日15時
感 染 M M ※	看護部長、副看護部長、 看護次長、看護師長、主任看護師	感染管理認定看護師と看護部の各委員長が看護部と共に方針を決め、感染管理と感染対策を一丸となって取り組むための戦略を練る。	第2水曜日15時
教 育 M M ※			第1火曜日11時
業 務 M M ※			第1月曜日11時
記 録 M M ※			第2木曜日11時
教 育 委 員 会	看護師長、主任看護師	看護職員全員を対象とした継続教育について企画・実施し、専門職として資質の向上を図る。	第3火曜日14時
業 務 委 員 会	看護師長、主任看護師	効果的な看護業務の遂行のため業務の改善・検討・調整を図る。	第3木曜日14時
記 録 委 員 会	看護師長、主任看護師	看護の専門性と独自性を発揮し、より質の高い看護をめざして、看護記録の充実と推進を図る。	第3月曜日14時
地 域 生 活 支 援 委 員 会 <small>7月より入退院支援委員会に名称変更</small>	副看護部長、看護師長、 主任看護師	退院調整が有効かつ円滑に行われるよう、リンクナースの情報共有・検討・知識の向上を図る。	第2金曜日14時
M R M 主 任 会	看護次長、看護師長、主任看護師	医療安全に関する情報共有と共に現場の安全管理について検討し、知識の向上を図る。	第4水曜日16時
専 門 ・ 認 定 看 護 師 会	専門看護師、認定看護師	看護部の理念に基づき、看護ケアの質向上を目的とした専門的看護活動、院内教育などを看護部と協働して行う。	第1金曜日16時
薬 剤 部 ・ 師 長 連 絡 会	薬剤部長、薬剤師、 副看護部長、看護師長、 副看護師長	薬剤部と病棟・外来との連携を密にし、業務がスムーズに行うことが出来るよう調整する。	第3金曜日15時
医 療 管 理 課 ・ 総 務 課 ・ 看 護 部 連 絡 会	事務局次長、医療管理課長、 総務課人事担当者、 看護部長、副看護部長	看護部の適切な人事管理を行うための情報共有、及び人材確保のための戦略について検討する。	第3水曜日11時

※7月1日より各MMは廃止、各委員会にリンクナースを配置。



## ■ 病院職員

2023. 4. 1

年 度	事業管理者	総 長	病 院 長	看 護 部 長	事 務 局 長
昭和26年	—	—	築 山 義 雄	—	小 山 茂
27年	—	—	〃	森 脇 榮	豊 島 善 五 郎
28年	—	—	〃	〃	〃
29年	—	—	〃	〃	〃
30年	—	—	〃	〃	〃
昭和31年	—	—	〃	〃	〃
32年	—	—	〃	〃	〃
33年	—	—	〃	〃	〃
34年	—	—	〃	〃	〃
35年	—	—	〃	〃	〃
昭和36年	—	—	〃	〃	〃
37年	—	—	〃	〃	〃
38年	—	—	〃	〃	〃
39年	—	—	〃	〃	〃
40年	—	—	〃	〃	〃
昭和41年	—	—	〃	〃	〃
42年	—	—	〃	〃	上 羽 秀 一
43年	—	—	〃	〃	〃
44年	—	—	〃	〃	〃
45年	—	—	〃	〃	〃
昭和46年	—	—	〃	〃	〃
47年	—	—	〃	〃	〃
48年	—	—	〃	〃	〃
49年	—	—	〃	〃	〃
50年	—	—	久 保 田 義 弘	〃	田 中 久 人
昭和51年	—	—	〃	〃	〃
52年	—	—	〃	〃	〃
53年	—	—	〃	〃	〃
54年	—	—	〃	北 川 貞 子	〃
55年	—	—	〃	〃	〃
昭和56年	—	—	〃	〃	〃
57年	—	—	〃	〃	〃
58年	—	—	中 山 賢	〃	〃
59年	—	—	〃	〃	〃
60年	—	—	〃	〃	〃

年 度	事業管理者	総 長	病 院 長	看 護 部 長	事 務 局 長
昭和61年	—	—	中 山 賢	北 川 貞 子	中 本 峰 孝
62年	—	—	〃	〃	〃
63年	—	—	〃	〃	〃
平成 元年	—	—	〃	〃	〃
2年	—	—	〃	〃	〃
平成 3年	—	—	〃	山 本 導 子	西 口 貞 徳
4年	—	—	〃	〃	〃
5年	—	—	〃	〃	〃
6年	—	—	米 沢 毅	〃	〃
7年	—	—	〃	〃	〃
平成 8年	—	—	〃	島 末 喜 美 子	〃
9年	—	—	〃	〃	〃
10年	—	—	〃	〃	美 濃 岡 成
11年	—	—	〃	〃	〃
12年	—	—	〃	〃	〃
平成13年	—	—	〃	〃	〃
14年	—	—	〃	〃	福 井 英 治
15年	—	米 沢 毅	黒 川 正 典	〃	〃
16年	—	〃	〃	〃	〃
17年	—	—	〃	〃	〃
平成18年	生 島 義 輝	—	〃	〃	太 田 憲 吾
19年	〃	—	〃	大 塚 尊 子	〃
20年	〃	—	〃	〃	乾 谷 晃
21年	〃	—	〃	〃	〃
22年	〃	—	〃	〃	〃
平成23年	〃	黒 川 正 典	小 林 哲 郎	〃	〃
24年	〃	〃	〃	〃	杉 本 義 彦
25年	〃	〃	今 井 康 陽	〃	〃
26年	〃	〃	〃	〃	〃
27年	〃	篠 村 恭 久	〃	〃	石 田 勝 重
平成28年	石 田 勝 重	〃	〃	林 由 美	福 田 哲 郎
29年	〃	〃	〃	〃	〃
30年	〃	今 井 康 陽	柴 田 邦 隆	〃	〃
令和元年	〃	〃	〃	〃	東 勇 輔
2年	福 島 公 明	〃	〃	〃	〃

年 度	事業管理者	総 長	病 院 長	看 護 部 長	事 務 局 長
令和3年	福 島 公 明	今 井 康 陽	尾 下 正 秀	林 由 美	衛 門 昭 彦
4年	〃	—	〃	〃	〃
5年	〃	—	〃	松 本 美 知 子	齋 藤 芳 朗

令和5年4月1日現在

病院事業管理者	福島 公明	(平成18年4月1日設置)
病 院 長	尾 下 正 秀	(消化器内科) 兼診療情報管理部長、地域医療連携部長
副 院 長	太 田 博 文	(消化器外科) 兼がん治療センター部長、臨床研究管理部長、 医療安全・質管理部長、がん相談支援センター長、 消化器病センター長
副 院 長	尾 崎 由 和	(小児科) 兼小児科主任部長、感染制御部長
副 院 長	森 山 康 弘	(血液内科) 兼共同診療部長、中央採血・処置室長
副 院 長	松 本 美知子	兼看護部長
顧 問	湯 川 真 生	(外科) 兼乳腺・乳房再建センター長
顧 問	墨 哲 郎	(歯科・歯科口腔外科)

【医務局】

診 療 科	職 名	氏 名	備 考
	医 務 局 長	井 上 均	兼泌尿器科主任部長、結石治療センター長
内 科	医 長	中 尾 真一郎	兼救急総合診療部副部長
	主 任 医 員	影 山 美沙紀	糖尿病・内分泌内科主任医員
	”	三 砂 雅 裕	
	医 員	青 木 大	
呼 吸 器 内 科	部 長	大 谷 安 司	
	副 部 長	田 幡 江利子	
	医 長	清 水 裕 平	
	主 任 医 員	米 田 翠	
消 化 器 内 科	主 任 部 長	荻 山 秀 治	兼内視鏡センター長
	”	石 田 永	
	副 部 長	小 来 田 幸 世	
	”	山 口 典 高	
	”	村 田 淳	
	医 長	水 谷 直 揮	
	”	森 田 祐 史	
	主 任 医 員	島 越 洋 美子	
医 員	福 嶌 裕 子		

(常勤嘱託医を含む。ただし、専攻医・研修医を除く。)

【医務局】

診療科	職名	氏名	備考
循環器内科	主任部長	永井 邦彦	
	部長	北川 元昭	
	副部長	二宮 智紀	
	医員	井手本 明子	
	〃	田中 啓介	
腎臓内科	部長	山本 聡子	兼人工透析センター長
	副部長	西村 賢二	
	医員	安田 聖一	
脳神経内科	主任部長	那波 一郎	兼脳神経外科主任部長、健診センター長
	医員	上原 拓也	
	主任医員	別府 祥平	
血液内科	部長	片岡 良久	
	副部長	大塚 正恭	
	〃	柴田 大	
糖尿病・内分泌内科	部長	岡田 拓也	兼臨床研修部長、生活習慣病・糖尿病センター長
	副部長	井上 佳菜	
	主任医員	藤田 真吾	
		三砂 雅裕	兼内科主任医員
小児科	主任部長	尾崎 由和	副院長
	副部長	新谷 研司	
	〃	上野 圭	
外科	主任部長	安座間 隆	乳腺・内分泌外科主任部長
呼吸器外科	部長	須崎 剛行	
消化器外科	主任部長	高地 耕樹	兼中央手術部長
	部長	濱 直樹	
	副部長	宗方 幸二	
	〃	和田 範子	
	〃	松浦 雄祐	
	医員	松本 謙一	
脳神経外科	主任部長	那波 一郎	脳神経内科主任部長
乳腺・内分泌外科	主任部長	安座間 隆	兼外科主任部長、外来化学療法センター長
整形外科	主任部長	若林 元	
	副部長	今井 優子	
	〃	三輪 俊格	
	主任医員	石田 和夫	
	〃	秦 絵莉子	
	〃	板倉 巧	
形成外科	部長	藤田 和敏	
	副部長	宮崎 裕子	
	主任医員	常田 沙紀	
精神科	部長	中島 陽	

(常勤嘱託医を含む。ただし、専攻医・研修医を除く。)



【救急総合診療部】

診療科	職名	氏名	備考
	主任部長	伊藤基敏	
	看護師長	藤久保絢子	
	副看護師長	黒田良江	

【中央手術部】

診療科	職名	氏名	備考
	部長	高地耕	消化器外科主任部長
中央手術室	室長	横山奈緒子	看護師長
中央材料室	室長	横山奈緒子	兼務

【がん治療センター部】

診療科	職名	氏名	備考
	部長	太田博文	副院長
外来化学療法センター	センター長	安座間隆	乳腺・内分泌外科主任部長
放射線治療センター	〃	高村学	放射線科主任部長
乳腺・乳房再建センター	〃	湯川真生	顧問
がん相談支援センター	〃	太田博文	兼務

【共同診療部】

診療科	職名	氏名	備考
	部長	森山康弘	副院長
消化器病センター	センター長	太田博文	副院長
内視鏡センター	〃	荻山秀治	消化器内科主任部長
結石治療センター	〃	井上均	医務局長
生活習慣病・糖尿病センター	〃	岡田拓也	糖尿病・内分泌内科部長
人工透析センター	〃	山本聡子	腎臓内科部長
口腔ケアセンター	〃	雨河茂樹	歯科・歯科口腔外科主任部長
超音波診断・治療センター	〃	関康	医療技術部長
健診センター	〃	那波一郎	脳神経内科主任部長
中央採血・処置室	室長	森山康弘	副院長

【医療技術部】

診療科	職名	氏名	備考
	医療技術部長	関 康	兼放射線科・放射線治療科技師長
放射線科・放射線治療科	技師長 技師次長 〃 〃 主任診療放射線技師 〃 〃	関 康 木 下 亨 幸 村 吉 博 一 樋 政 宏 伊 藤 栄 一 磯 谷 圭 介 比 嘉 ありさ	医療技術部長
臨床検査科	技師長 技師次長 主任臨床検査技師 〃 〃 〃	越 知 博 之 堀 場 裕 輝 関 口 桃 子 山 本 毅 兒 谷 香 里 藤 堂 奈 穂	
病理診断科	技師長 技師次長 主任臨床検査技師	向 井 英 代 河 合 賢 岩 城 真理子	
リハビリテーション科	技師長 技師次長 〃 〃 主任理学療法士 〃 主任作業療法士 主任言語聴覚士	松 山 博 文 柳 沢 崇 横 山 由 梨 子 面 田 真 也 丹 羽 徹 川 南 香 代 子 濱 田 亜 紀 安 藤 敏 夫	
眼 科	技師長 技師次長	宮 崎 伸 子 福 井 里 奈	
歯科・歯科口腔外科	技師長 主任歯科衛生士	嶋 本 政 嗣 山 田 みつ美	
栄養管理科	技師長 主任管理栄養士	今 西 成 雄 田 中 芳 子	
臨床工学科	技師長 主任臨床工学技士	杉 山 隆 志 穴 井 恵 理	

【薬剤部】

職 名	氏 名	備 考
薬 剤 部 長	下 村 一 徳	
副 薬 剤 部 長	瀬 名 波 宏 昌	
薬 剤 次 長	村 山 洋 子	
主 任 薬 剤 師	中 西 晶 子	
〃	岩 本 千 晶	
〃	大 河 万 顕	
〃	近 谷 仁 志	

【看護部】

職 名	氏 名	備 考
副 院 長 兼 看 護 部 長	松 本 美 知 子	
副 看 護 部 長	松 本 登 美 江	
〃	小 田 倫 子	
〃	松 本 保 子	
〃	武 田 礼 子	
看 護 次 長	鬼 追 美 也 子	看護部
〃	柴 口 秀 子	地域医療連携室
〃	和 田 和 美	安全対策室
看 護 師 長	藤 久 保 絢 子	救急総合診療部
〃	横 山 奈 緒 子	中央手術室
〃	宮 下 亜 希	看護部
〃	小 原 順 子	看護ケア推進室
〃	満 田 昌 代	3階北病棟
〃	岸 谷 征 子	3階東病棟
〃	入 野 日 奈 子	4階北病棟
〃	難 波 さ お り	4階南病棟
〃	小 林 身 和 子	4階東病棟
〃	岩 原 直 子	5階北病棟
〃	河 野 恵 美	5階南病棟
〃	山 中 美 穂	外来診療
〃	竹 原 陽 子	放射線科・内視鏡センター
〃	安 部 圭 子	入退院サポートセンター
〃	横 山 朋 之	感染対策室

職 名	氏 名	備 考
副 看 護 師 長	黒 田 良 江	救急総合診療部
〃	新 川 由 里	3階北病棟
〃	西 淳 子	3階東病棟
〃	三 竹 よう子	〃
〃	前 多 初 美	4階北病棟
〃	高 橋 典 子	4階南病棟
〃	地 道 敏 美	4階東病棟
〃	山 崎 めぐみ	5階北病棟
〃	音 地 真 理	外来診療
〃	矢 野 民 子	〃
〃	林 紫	感染対策室
〃	小 屋 幸 子	安全対策室
主 任 助 産 師	佐々木 幸 江	3階北病棟
主 任 看 護 師	長 田 瑞 帆	中央手術室
〃	塩 見 弘 子	〃
〃	高 雲 奈 津 美	〃
〃	吉 野 葵	看護部
〃	越 智 貴 子	〃
〃	生 地 あゆみ	3階東病棟
〃	山 内 こころ	〃
〃	越 智 佳 織	4階北病棟
〃	奥 野 美 幸	〃
〃	吉 澤 里 美	4階南病棟
〃	近 藤 由 利	〃
〃	東 真 澄	〃
〃	岩 崎 真 由 美	4階東病棟
〃	中 村 沙 織	5階北病棟
〃	上 久 保 ま ゆ	〃
〃	山 口 祐 季	5階南病棟
〃	脇 山 か ほ る	外来診療
〃	三 井 八 千 代	〃
〃	田 上 育 子	放射線科・内視鏡センター
〃	柴 山 敬 子	地域医療連携室

【臨床研修部】

職名	氏名	備考
部長	岡田拓也	糖尿病・内分泌内科部長

【臨床研究管理部】

職名	氏名	備考
部長	太田博文	副院長
主任治験コーディネーター	服部美千代	

【診療情報管理部】

職名	氏名	備考
部長	尾下正秀	病院長
診療情報管理室長	道上敏之	技師長

【地域医療連携部】

職名	氏名	備考
部長	尾下正秀	病院長
地域医療連携室長	柴口秀子	看護次長
技師次長	林浩美	地域医療連携室
主任医療ソーシャルワーカー	岸茜	〃

【感染制御部】

職名	氏名	備考
部長	尾崎由和	副院長
看護師長	横山朋之	
副看護師長	林紫	

【医療安全・質管理部】

職名	氏名	備考
部長	太田博文	副院長
安全対策室長	和田和美	看護次長
副看護師長	小屋幸子	

【事務局】

職 名	氏 名	備 考
事 務 局 長	齋 藤 芳 朗	
事 務 局 付 課 長	上 西 正 行	
経 営 企 画 課 長	岩 下 晋 平	
主 幹	梶 本 幸 彦	
〃	跡 部 香 織	
人 事 課 長	田 邊 義 文	
副 主 幹	秋 川 和 輝	
総 務 課 長	島 野 寛 喜	
副 主 幹	梶 浦 理	
医 事 課 長	布 施 芳 文	
主 幹	矢 倉 明 美	
主任診療情報管理士	高 見 雅 子	

## ■ 病院の財政状況

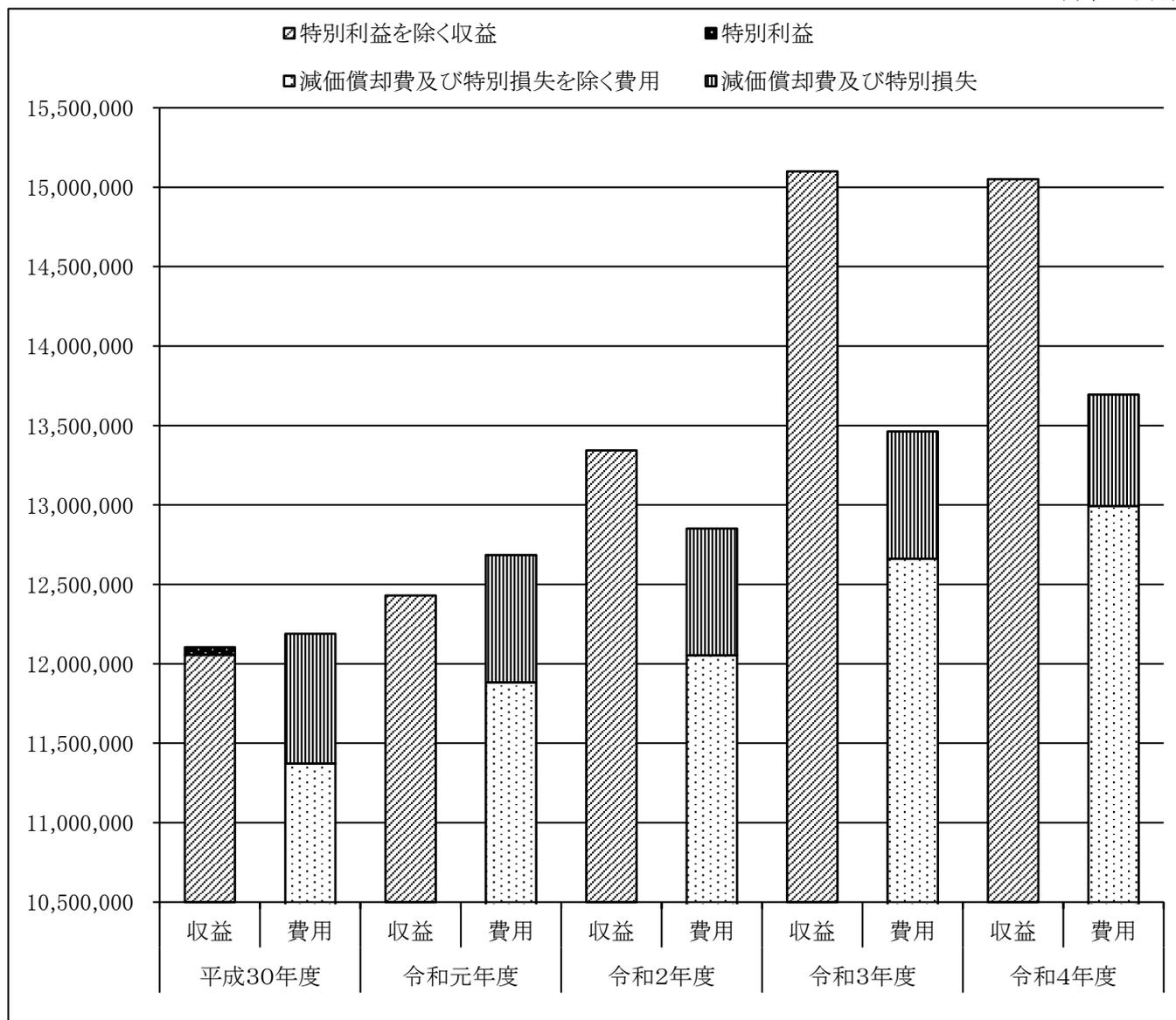
### 1. 年度別損益計算書

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収 益 の 部	医 業 収 益	11,642,621,726	12,153,668,415	11,972,566,696	12,436,401,253	12,729,552,659	
	入 院 収 益	7,387,430,024	7,759,707,516	7,473,893,402	7,726,650,697	7,919,222,229	
	外 来 収 益	3,662,001,708	3,917,605,680	4,127,804,259	4,376,415,231	4,469,682,744	
	その他医業収益	593,189,994	476,355,219	370,869,035	333,335,325	340,647,686	
	医 業 外 収 益	413,009,696	276,053,648	1,370,727,872	2,662,926,538	2,321,172,179	
	受 取 利 息	13,329	16,603	17,792	24,719	43,193	
	負 担 金 ・ 補 助 金	283,477,000	150,521,600	1,252,831,600	2,520,882,000	2,179,984,000	
	長 期 前 受 金 戻 入	6,819,389	9,139,300	10,730,498	24,571,829	41,349,187	
	その他医業外収益	122,699,978	116,376,145	107,147,982	117,447,990	99,795,799	
	特 別 利 益	50,000,000	—	—	—	—	
	その他特別利益	50,000,000	—	—	—	—	
	合 計	12,105,631,422	12,429,722,063	13,343,294,568	15,099,327,791	15,050,724,838	
	費 用 の 部	医 業 費 用	11,509,546,096	12,012,035,667	12,150,089,902	12,721,193,233	12,962,423,771
		給 与 費	5,850,919,343	5,929,666,374	6,063,123,123	6,395,953,729	6,331,216,804
材 料 費		3,076,722,066	3,284,004,229	3,397,747,099	3,620,119,876	3,842,633,483	
経 費		1,752,033,705	1,927,040,341	1,859,992,925	1,853,200,435	2,038,933,011	
減 価 償 却 費		768,167,789	801,839,659	797,189,399	801,466,443	701,314,513	
資 産 減 耗 費		22,379,962	30,301,864	3,228,870	16,803,756	7,757,335	
研 究 研 修 費		39,323,231	39,183,200	28,808,486	33,648,994	40,568,625	
医 業 外 費 用		630,513,844	672,637,507	700,811,025	741,614,989	732,765,307	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費		219,497,058	197,118,666	173,124,534	148,397,396	124,207,141	
消 費 税 雑 損 失		411,016,786	475,518,841	527,686,491	593,217,593	608,558,166	
特 別 損 失		50,000,000	5,000	—	—	—	
過 年 度 損 益 修 正 損		—	5,000	—	—	—	
その他特別損失		50,000,000	—	—	—	—	
合 計		12,190,059,940	12,684,678,174	12,850,900,927	13,462,808,222	13,695,189,078	
当 年 度 純 損 (△) 益		△ 84,428,518	△ 254,956,111	492,393,641	1,636,519,569	1,355,535,760	

## 2. 病院事業収益・費用の推移

(単位:千円)



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
病院事業収益 ①	12,105,631	12,429,722	13,343,295	15,099,328	15,050,725
特別利益	50,000	—	—	—	—
特別利益を除く収益 ②	12,055,631	12,429,722	13,343,295	15,099,328	15,050,725
病院事業費用 ③	12,190,060	12,684,678	12,850,901	13,462,808	13,695,189
減価償却費	768,168	801,840	797,189	801,466	701,315
特別損失	50,000	5	—	—	—
減価償却費及び特別損失を除く費用 ④	11,371,892	11,882,833	12,053,712	12,661,342	12,993,874
当年度純損(△)益 ①-③	△ 84,429	△ 254,956	492,394	1,636,520	1,355,536
減価償却費を除く経常損(△)益 ②-④	683,739	546,889	1,289,583	2,437,986	2,056,851

### 3. 年度別貸借対照表

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産	固定資産	14,547,080,093	13,962,319,087	13,338,234,318	13,149,831,019	12,762,942,221
	土地	6,145,361,079	6,145,361,079	6,145,361,079	6,145,361,079	6,145,361,079
	建物	6,139,106,270	5,771,963,226	5,422,263,182	5,452,135,143	5,310,556,424
	構築物	14,590,302	9,415,303	7,057,653	4,700,005	3,800,005
	器械及び備品	2,040,728,055	1,832,675,428	1,568,081,089	1,371,904,411	1,142,372,732
	車両	679,656	427,320	174,984	84,450	84,450
	リース資産	180,636,000	178,298,000	164,207,600	150,117,200	136,026,800
	建設仮勘定	—	—	8,110,000	4,350,000	3,562,000
	電話加入権	2,243,189	2,243,189	2,243,189	2,243,189	2,243,189
	その他無形固定資産	18,935,542	18,935,542	18,935,542	18,935,542	18,935,542
	修学資金貸付金	4,800,000	3,000,000	1,800,000	0	0
	流動資産	2,383,377,214	2,503,697,322	3,363,796,003	5,229,989,421	6,882,760,598
	現金預金	405,952,116	511,333,176	890,082,594	2,436,092,874	4,398,835,538
	未収金	1,939,414,155	1,955,091,911	2,436,293,988	2,755,344,203	2,443,798,519
	貯蔵品	38,010,943	37,272,235	37,419,421	38,552,344	40,126,541
資産合計	16,930,457,307	16,466,016,409	16,702,030,321	18,379,820,440	19,645,702,819	
負債	固定負債	10,068,923,379	9,084,642,125	7,830,779,290	6,850,525,470	6,022,986,852
	企業債	8,329,418,048	7,248,609,399	6,024,767,807	5,208,159,523	4,343,366,101
	リース債務	164,082,214	153,437,464	131,503,216	109,196,947	86,511,751
	退職給付引当金	1,575,423,117	1,682,595,262	1,674,508,267	1,533,169,000	1,593,109,000
	流動負債	3,242,001,877	3,265,034,244	3,390,969,448	3,499,468,382	3,478,644,358
	一時借入金	0	0	0	0	0
	企業債	1,261,295,485	1,320,108,649	1,308,641,592	1,308,641,592	1,173,093,422
	リース債務	20,091,655	21,569,011	21,934,248	22,306,269	22,685,196
	未払金	1,590,786,999	1,520,001,318	1,699,286,651	1,718,624,050	1,814,984,082
	引当金	312,549,000	342,222,000	294,568,000	375,234,000	399,853,000
	預り金	57,278,738	61,133,266	66,538,957	74,662,471	68,028,658
	繰延収益	131,136,748	121,782,848	198,897,750	282,059,186	243,879,447
	長期前受金	211,486,557	211,271,957	299,014,357	406,747,622	407,376,070
	収益化累計額	△ 80,349,809	△ 89,489,109	△ 100,116,607	△ 124,688,436	△ 163,496,623
負債合計	13,442,062,004	12,471,459,217	11,420,646,488	10,632,053,038	9,745,510,657	
資本	資本金	21,383,027,196	22,144,145,196	22,938,578,196	23,768,442,196	24,565,331,196
	自己資本金	21,383,027,196	22,144,145,196	22,938,578,196	23,768,442,196	24,565,331,196
	剰余金	△ 17,894,631,893	△ 18,149,588,004	△ 17,657,194,363	△ 16,020,674,794	△ 14,665,139,034
	資本剰余金	11,380,000	11,380,000	11,380,000	11,380,000	11,380,000
	欠損金	17,906,011,893	18,160,968,004	17,668,574,363	16,032,054,794	14,676,519,034
	繰越欠損金年度末残高	17,821,583,375	17,906,011,893	18,160,968,004	17,668,574,363	16,032,054,794
	当年度純損(△)益	△ 84,428,518	△ 254,956,111	492,393,641	1,636,519,569	1,355,535,760
	資本合計	3,488,395,303	3,994,557,192	5,281,383,833	7,747,767,402	9,900,192,162
負債・資本合計	16,930,457,307	16,466,016,409	16,702,030,321	18,379,820,440	19,645,702,819	
内部留保資金	402,670,822	558,771,727	1,281,468,147	3,039,162,631	4,577,209,662	

#### 4. 固定資産増加状況（医療器械・備品他）

##### ① 建 物（建物附帯設備）

（単位：円）

	項 目	取 得 年月日	取 得 金 額	取 得 先	備 考
1	防災設備（非常放送設備・誘導灯他）	R5.3.31	40,569,000	(建設仮勘定から振替)	
2	空調設備（空冷ヒートポンプチラー）	R5.3.31	102,027,000	(建設仮勘定から振替)	
合 計			142,596,000		

##### ② 医 療 器 械

（単位：円）

	品 名	規 格 等	所 属	取 得 年月日	数 量	取 得 金 額	取 得 先
1	携帯型自動血圧計 一式	株エー・アンド・デイ TM2441, TM2486	腎臓内科	R4.4.22	1	624,000	株MMコーポレーション
2	HDカメラヘッド	オリンパス株 CH-S190-08-LB	耳鼻いんこう科	R4.5.24	1	1,700,000	宮野医療器株
3	医療用液晶モニタ	EIZO株 EX2620	臨床工学科	R4.6.30	2	880,000	宮野医療器株
4	医療用液晶モニタ 一式	EIZO株 EX3220WT 他	中央手術部	R4.6.30	1	567,000	宮野医療器株
5	大腸ビデオスコープ	オリンパス株 PCF-H290ZI	消化器内科	R4.7.11	1	3,442,500	オリンパスマーケティング株
6	分娩台	タカラベルモント株 DG-820MV	産婦人科	R4.7.11	1	2,090,000	石黒メディカルシステム株
7	高周波手術装置	株アムコ VI03	消化器内科	R4.7.29	1	4,990,000	株MMコーポレーション
8	シリンジポンプ	テルモ株 TE-382	3階東病棟	R4.8.19	2	354,000	株MMコーポレーション
9	低床電動ベッド 一式	シーホネンス株 AX-76112T	管理課	R4.10.13	40	10,950,000	株やよい
10	ベッドバンウォッシャー	小川医理器株 TOPIC20AT	看護部	R4.11.9	1	1,050,000	株やよい
11	医療用液晶モニタ	池上通信機株 MLW-2627C	消化器内科	R4.11.22	1	492,800	オリンパスマーケティング株
12	白内障手術装置 一式	日本アルコン株 Centurion Vision System	眼科	R4.11.24	1	17,780,000	株リッツメディカル
13	生体情報モニタ 一式	日本光電工業株 WEP-1450-Z06、PVM-4763-Q20	救急総合診療部	R4.11.29	1	5,657,400	石黒メディカルシステム株
14	生体情報モニタ	日本光電工業株 PVM-4763-Q20	臨床工学科	R4.11.29	4	3,322,600	石黒メディカルシステム株
15	免疫血液学用遠心機	久保田商事株 KA-2200	臨床検査科	R4.12.5	2	399,000	株メディセオ
16	IonicRF ジェネレータ	アボットメディカルジャパン合同会社 RFG-1ONIC	麻酔科	R4.12.8	1	2,362,000	株三笑堂
17	除細動器	日本光電工業株 TE-5631	臨床工学科	R4.12.15	1	1,570,000	株MMコーポレーション
18	ベッドサイドモニタ	日本光電工業株 BSM-3400-Q11	臨床工学科	R4.12.15	1	780,000	株MMコーポレーション

(単位：円)

	品名	規格等	所属	取得年月日	数量	取得金額	取得先
19	マイクロニードルホルダ	エム・シー・メディカル(株) K26173KAL	中央手術部	R4.12.15	1	231,000	宮野医療器(株)
20	ワイペルホルダ	大研医器(株) DKI-RD370	中央手術部	R4.12.21	1	230,000	辻本メディカル(株)
21	腹腔胸腔ビデオスコープ用トレー	(株)エムイーテクニカ M-7583-001	中央手術部	R4.12.28	1	125,000	(株)MMコーポレーション
22	体圧分散式エアマットレス	(株)ケーブ マイクロクライメイト ビッグセル アイズ 840 (CR-750)	看護部	R5.1.17	10	1,279,800	(株)やよい
23	シリンジポンプ	テルモ(株) TE-382	臨床工学科	R5.2.22	10	1,858,500	(株)MMコーポレーション
24	輸液ポンプ	テルモ(株) TE-281N	臨床工学科	R5.2.22	10	2,184,000	(株)MMコーポレーション
25	心電計	日本光電工業(株) ECG-3350	中央手術部	R5.2.28	1	1,130,000	(株)MMコーポレーション
26	汎用超音波画像診断装置	富士フイルムメディカル(株) SonoSite SII	麻酔科	R5.3.7	1	2,970,000	石黒メディカルシステム(株)
27	喉頭ファイバースコープ	HOYA(株) FI-9RBS	麻酔科	R5.3.8	1	830,000	(株)MMコーポレーション
28	システム生物顕微鏡	(株)エビデント BX53LED-45-D	病理診断科	R5.3.8	1	1,545,000	(株)アダチ
29	ボーンミル	(株)YDM ex-2	歯科・歯科口腔外科	R5.3.9	1	290,000	尾崎歯材(株)
30	搬送用保育器	アトムメディカル(株) インキュアーチ 22059	産婦人科	R5.3.14	1	1,950,000	(株)やよい
31	血液保冷庫	PHC(株) MBR-107T4-PJ	臨床検査科	R5.3.15	1	390,000	(株)メディセオ
32	薬用保冷庫	PHC(株) MPR-N250FH-PJ	中央手術部	R5.3.15	1	325,000	(株)メディセオ
33	HDカメラヘッド	オリンパス(株) CH-S190-08-LB	泌尿器科	R5.3.15	2	3,400,000	宮野医療器(株)
34	光学視管	オリンパス(株) WA2T412A、WA2T430A	泌尿器科	R5.3.15	3	1,912,500	宮野医療器(株)
35	多項目自動血球分析装置一式	シスメックス(株) XR-3000、DI-60、XR-1000	臨床検査科	R5.3.22	1	32,900,000	(株)MMコーポレーション
36	一般撮影装置 一式	島津製作所(株)、キヤノン メドテックサプライ(株) RADSpeed Pro style edition、 CXDI-410C Wireless	放射線科	R5.3.22	1	18,180,000	石黒メディカルシステム(株)
37	歯科用診療ユニット	(株)モリタ スペースラインEX PdWシステム	歯科・歯科口腔外科	R5.3.22	1	3,980,000	(株)モリタ
38	汎用超音波画像診断装置	GEヘルスケア・ジャパン(株) Voluson S8t	産婦人科	R5.3.22	1	4,970,000	(株)やよい
39	電動式骨手術器械 一式	(株)モリタ シロプロ PLUS 3rd Gen	歯科・歯科口腔外科	R5.3.22	1	820,900	(株)モリタ
40	ハンドレール付体重計	(株)タニタ PH-550A	看護部	R5.3.22	1	111,800	石黒メディカルシステム(株)
41	与薬車	(株)日本医理器材 NX-36型 6103-03	看護部	R5.3.22	1	368,000	(株)やよい
42	血液輸液加温装置	スミスメディカルジャパン(株) ホットライン HL-90	血液内科	R5.3.22	1	120,000	(株)MMコーポレーション

(単位：円)

	品名	規格等	所属	取得年月日	数量	取得金額	取得先
43	三次元マッピングカテーテル誘導装置 一式	ジョンソンエンドジョンソン(株) CART03システム	循環器内科	R5.3.24	1	8,400,000	(株)エムアイディ
44	補聴効果測定装置	リオン(株) HF-03	耳鼻いんこう科	R5.3.24	1	184,500	宮野医療器(株)
45	脳波計	日本光電工業(株) EEG-1260-NE	臨床検査科	R5.3.29	1	4,985,000	石黒メディカルシステム(株)
46	無菌水手洗装置	(株)日本医化器械製作所 リオスター TYPE101	血液内科	R5.3.29	1	589,800	石黒メディカルシステム(株)
47	ステレオエンドスコープ	インテュイティブサージカル合同会社 8mmXiステレオエンドスコープ プラス30° (470057)	中央手術部	R5.3.29	1	3,330,000	(株)三笑堂
合計					122	158,602,100	

## ③ 備 品

(単位：円)

	品名	規格等	所属	取得年月日	数量	取得金額	取得先
1	イントラネット用パソコン 一式	富士通(株) LIFEBOOK A5511	経営企画課	R4.6.29	15	3,194,550	(株)大塚商会
2	自動洗米器	ライステクノプロダクト(株) RM-401A型	栄養管理科	R4.7.19	1	680,000	(株)アイホー
3	番号札発行機	(株)アルメックス CTP-1100	医事課	R4.7.29	1	600,000	富士通Japan(株)
4	簡易陰圧装置	(株)アスメディック AS21-1	産婦人科	R4.9.28	1	※1 1,700,000	石黒メディカルシステム(株)
5	災害時用移動型かまど	ヤマヤ物産(有) まかないくん85型	栄養管理科	R4.10.7	1	337,000	(株)赤尾
6	スチームコンベクションオープン	(株)ラショナル・ジャパン iCombi Classic 20-1/1	栄養管理科	R4.11.15	1	1,759,000	ホシザキ阪神(株)
7	適温配膳車	PHC(株) CD1028EP	栄養管理科	R5.2.16	1	2,185,000	(株)メディセオ
8	ストレージパンチャー 一式	(株)創朋 STPN-10-N、HDDU-03A、 LT0U-01A	経営企画課	R5.3.10	1	761,600	(株)ヤマダデンキ
9	ダイヤル式耐火金庫	セントリー S6370	看護部	R5.3.15	1	104,800	石黒メディカルシステム(株)
10	ファイアーウォール他セキュリティ機器 一式	フォーティネット(株) FortiGate-100F、 FortiGate-200F 他	経営企画課	R5.3.22	1	10,060,000	アライドテレシス(株)
合計					24	21,381,950	

※1 取得金額の全額に大阪府補助金を充当しています。

④ 医療器械（受贈財産）

（単位：円）

	品名	規格等	所属	取得年月日	数量	取得金額	取得先
1	内視鏡トレーニング機器	(株)高研 LM-103	消化器内科	R4.8.31	1	391,000	特定非営利活動法人 臨床研究・教育支援 センター
合計					1	391,000	

⑤ 建設仮勘定

（単位：円）

	項目	取得年月日	取得金額	取得先	備考
1	非常放送設備・誘導灯他更新工事	R5.3.1	38,000,000	栗原工業(株)	
2	非常放送設備・誘導灯他更新工事 監理業務	R5.3.1	989,000	(株)安井建築設計事務所	
3	空冷ヒートポンプチラー更新工事	R5.3.6	97,777,000	鳳工業(株)	
4	空冷ヒートポンプチラー更新工事 監理業務	R5.3.6	1,480,000	(株)安井建築設計事務所	
5	非常用発電機整備工事設計業務	R5.3.20	396,000	(株)安井建築設計事務所	
6	蒸気ボイラー設備更新工事設計業務	R5.3.20	2,770,000	(株)安井建築設計事務所	
7	蓄電池設備更新工事設計業務	R5.3.20	396,000	(株)安井建築設計事務所	
合計			141,808,000		

# 業務概要

- 患者状況
- 診療収入状況
- 退院患者年次統計

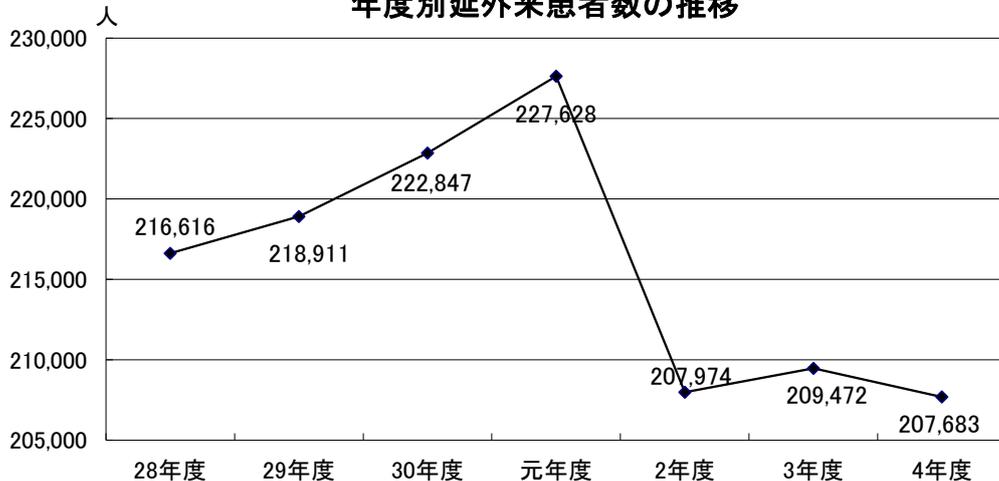
# 患者状況

## ■ 科別外来患者数

科 別	初診患者		再診患者		合 計		構成比率
	延患者	1日当り	延患者	1日当り	延患者	1日当り	
内 科	2,208	9.1	6,081	25.0	8,289	34.1	4.0
呼吸器内科	524	2.2	6,971	28.7	7,495	30.9	3.6
消化器内科	1,812	7.5	25,709	105.8	27,521	113.3	13.2
循環器内科	601	2.5	8,414	34.6	9,015	37.1	4.3
腎臓内科	252	1.0	5,091	21.0	5,343	22.0	2.6
脳神経内科	429	1.8	3,420	14.0	3,849	15.8	1.9
血液内科	238	1.0	8,017	33.0	8,255	34.0	4.0
糖尿病・内分泌内科	373	1.5	11,370	46.8	11,743	48.3	5.7
小 児 科	1,276	5.2	4,271	17.5	5,547	22.7	2.7
外 科	326	1.3	474	2.0	800	3.3	0.4
呼吸器外科	14	0.1	766	3.2	780	3.3	0.4
消化器外科	386	1.6	11,090	45.6	11,476	47.2	5.5
脳神経外科	41	0.2	591	2.4	632	2.6	0.3
乳腺・内分泌外科	350	1.4	8,508	35.0	8,858	36.4	4.3
整形外科	1,132	4.7	9,778	40.2	10,910	44.9	5.3
形成外科	839	3.4	5,228	21.5	6,067	24.9	2.9
皮 膚 科	1,054	4.3	6,058	25.0	7,112	29.3	3.4
泌尿器科	734	3.0	14,058	57.9	14,792	60.9	7.1
産 婦 人 科	1,150	4.7	12,546	51.7	13,696	56.4	6.6
眼 科	573	2.4	6,544	26.9	7,117	29.3	3.4
耳鼻いんこう科	1,226	5.0	7,295	30.1	8,521	35.1	4.1
リハビリテーション科	0	0.0	2,768	11.4	2,768	11.4	1.3
放 射 線 科	2,553	10.5	683	2.8	3,236	13.3	1.5
放射線治療科	53	0.2	5,261	21.7	5,314	21.9	2.6
麻 酔 科	150	0.6	5,367	22.1	5,517	22.7	2.6
歯科・歯科口腔外科	3,586	14.8	9,444	38.8	13,030	53.6	6.3
合 計	21,880	90.0	185,803	764.7	207,683	854.7	100.0

\*外来診療日数・・・243日

### 年度別延外来患者数の推移



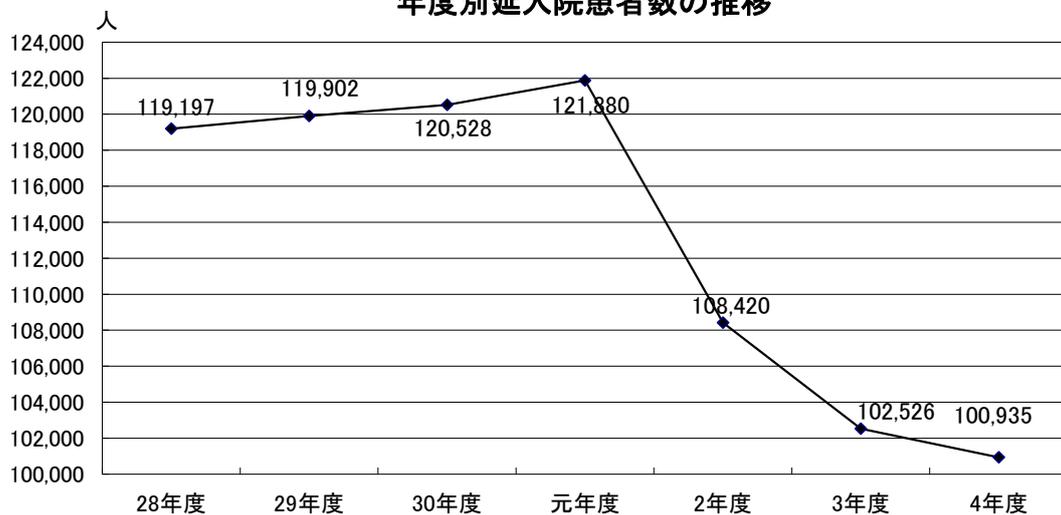
## ■ 科別入院患者数

科 別	病床数	入院患者		病床稼働率
		延患者	1日当り	
内 科	20	4,054	11.1	55.5%
呼 吸 器 内 科	24	9,708	26.6	110.8%
消 化 器 内 科	62	15,645	42.9	69.2%
循 環 器 内 科	16	5,638	15.4	96.3%
腎 臓 内 科	14	3,707	10.2	72.9%
脳 神 経 内 科	10	2,803	7.7	77.0%
血 液 内 科	28	11,051	30.3	108.2%
糖尿病・内分泌内科	20	4,352	11.9	59.5%
小 児 科	12	1,981	5.4	45.0%
外 科	0	4	0.0	0.0%
呼 吸 器 外 科	3	596	1.6	53.3%
消 化 器 外 科	40	12,331	33.8	84.5%
脳 神 経 外 科	1	0	0.0	0.0%
乳腺・内分泌外科	4	1,756	4.8	120.0%
整 形 外 科	40	8,638	23.7	59.3%
形 成 外 科	4	1,097	3.0	75.0%
皮 膚 科	10	1,361	3.7	37.0%
泌 尿 器 科	20	5,859	16.0	80.0%
産 婦 人 科	15	5,368	14.7	98.0%
眼 科	7	1,276	3.5	50.0%
耳 鼻 いんこう科	10	2,360	6.5	65.0%
リハビリテーション科	0	0	0.0	0.0%
放 射 線 科	0	0	0.0	0.0%
放 射 線 治 療 科	0	0	0.0	0.0%
麻 酔 科	0	0	0.0	0.0%
歯科・歯科口腔外科	4	1,350	3.7	92.5%
合 計	364	100,935	276.5	76.0%

当年度 平均 在院日数	前年度 平均 在院日数
6.9	13.9
12.4	14.5
10.6	9.8
10.0	10.5
11.4	
17.2	17.0
18.7	
12.2	
4.9	5.1
2.0	7.6
9.7	9.1
10.4	10.3
0.0	0.0
7.4	
17.7	22.6
3.2	3.2
11.1	10.4
8.3	8.6
6.1	5.8
2.2	2.3
6.4	6.0
	9.0
5.0	5.7
10.2	10.9

\*入院診療日数・・・365日

### 年度別延入院患者数の推移



## ■ 地域別外来・入院延患者数

地域別	外来患者数				入院患者数			
	延患者数		構成比率		延患者数		構成比率	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
池田市	101,466	100,215	48.4	48.3	49,840	48,882	48.6	48.4
川西市	58,296	57,589	27.8	27.7	27,775	26,214	27.1	26.0
豊能町	12,408	13,289	5.9	6.4	6,636	7,035	6.5	7.0
豊中市	4,506	4,479	2.2	2.2	2,681	2,813	2.6	2.8
宝塚市	6,713	6,581	3.2	3.2	2,095	2,413	2.0	2.4
箕面市	5,353	5,937	2.6	2.9	2,610	3,562	2.5	3.5
能勢町	4,058	4,228	1.9	2.0	2,762	2,425	2.7	2.4
猪名川町	9,938	9,650	4.8	4.6	4,967	4,860	4.8	4.8
伊丹市	1,024	974	0.5	0.5	160	290	0.2	0.3
大阪府下	2,812	2,354	1.3	1.1	1,414	1,130	1.4	1.1
他府県	2,898	2,387	1.4	1.1	1,586	1,311	1.6	1.3
合計	209,472	207,683	100.0	100.0	102,526	100,935	100.0	100.0

## ■ 保険別外来・入院延患者数

保険種別	外来患者数				入院患者数			
	延患者数		構成比率		延患者数		構成比率	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
健康保険	70,047	69,339	33.4	33.4	20,629	20,983	20.1	20.8
国民保険	52,756	49,574	25.2	23.9	23,437	21,506	22.9	21.3
後期高齢者	75,930	79,270	36.3	38.2	52,621	53,260	51.3	52.8
医療保護	4,155	3,751	2.0	1.8	2,575	2,631	2.5	2.6
労働災害	895	568	0.4	0.3	327	41	0.3	0.0
自費その他	5,689	5,181	2.7	2.4	2,937	2,514	2.9	2.5
合計	209,472	207,683	100.0	100.0	102,526	100,935	100.0	100.0

### ■ 65才以上の老人患者数(外来・入院)

科 別	外 来 患 者 数			入 院 患 者 数		
	延患者数	老人患者数	占有率	延患者数	老人患者数	占有率
内 科	8,289	4,126	49.8	4,054	3,571	88.1
呼吸器内科	7,495	5,905	78.8	9,708	8,397	86.5
消化器内科	27,521	19,152	69.6	15,645	12,792	81.8
循環器内科	9,015	7,267	80.6	5,638	5,234	92.8
腎臓内科	5,343	3,935	73.6	3,707	3,109	83.9
脳神経内科	3,849	2,767	71.9	2,803	2,134	76.1
血液内科	8,255	6,535	79.2	11,051	9,496	85.9
糖尿病・内分泌内科	11,743	6,673	56.8	4,352	3,193	73.4
小 児 科	5,547	0	0.0	1,981	0	0.0
外 科	800	369	46.1	4	2	50.0
呼吸器外科	780	601	77.1	596	398	66.8
消化器外科	11,476	8,790	76.6	12,331	9,415	76.4
脳神経外科	632	446	70.6	0	0	0.0
乳腺・内分泌外科	8,858	4,219	47.6	1,756	1,129	64.3
整形外科	10,910	7,632	70.0	8,638	7,071	81.9
形成外科	6,067	3,242	53.4	1,097	671	61.2
皮膚科	7,112	4,070	57.2	1,361	1,050	77.1
泌尿器科	14,792	12,344	83.5	5,859	5,011	85.5
産婦人科	13,696	2,557	18.7	5,368	674	12.6
眼 科	7,117	5,133	72.1	1,276	1,125	88.2
耳鼻いんこう科	8,521	3,519	41.3	2,360	1,028	43.6
リハビリテーション科	2,768	1,053	38.0	0	0	0.0
放射線科	3,236	2,084	64.4	0	0	0.0
放射線治療科	5,314	3,690	69.4	0	0	0.0
麻 酔 科	5,517	3,939	71.4	0	0	0.0
歯科・歯科口腔外科	13,030	7,280	55.9	1,350	862	63.9
合 計	207,683	127,328	61.3	100,935	76,362	75.7

### ■ 曜日別外来患者数

科 別	日	月	火	水	木	金	土	祝	合計
内 科	323	1,968	1,186	1,098	1,636	1,586	379	113	8,289
呼吸器内科	3	1,585	1,766	1,448	2,191	498	2	2	7,495
消化器内科	8	4,552	6,182	6,868	3,905	5,983	13	10	27,521
循環器内科	5	1,564	1,559	2,762	1,620	1,497	4	4	9,015
腎臓内科	2	477	1,686	1,242	1,565	371	0	0	5,343
脳神経内科	3	661	747	836	810	790	2	0	3,849
血液内科	6	1,159	2,051	1,331	2,181	1,517	8	2	8,255
糖尿病・内分泌内科	2	2,030	2,604	2,985	2,304	1,816	1	1	11,743
小 児 科	55	1,314	756	1,498	1,045	784	83	12	5,547
外 科	80	202	55	201	71	74	89	28	800
呼吸器外科	0	309	10	13	24	424	0	0	780
消化器外科	34	762	562	3,374	3,525	3,154	48	17	11,476
脳神経外科	1	32	34	352	13	200	0	0	632
乳腺・内分泌外科	31	3,338	3,449	374	1,166	478	17	5	8,858
整形外科	39	2,098	2,175	1,654	1,993	2,857	68	26	10,910
形成外科	3	1,194	1,412	1,310	1,282	790	67	9	6,067
皮膚科	47	1,033	1,549	1,405	1,783	1,227	45	23	7,112
泌尿器科	30	2,683	2,422	3,699	2,818	3,086	41	13	14,792
産婦人科	47	3,103	2,520	1,797	2,991	3,146	70	22	13,696
眼 科	0	1,142	1,990	405	2,315	1,265	0	0	7,117
耳鼻いんこう科	72	2,385	2,894	1,404	982	673	83	28	8,521
リハビリテーション科	0	685	791	479	527	286	0	0	2,768
放射線科	0	583	615	750	636	533	119	0	3,236
放射線治療科	0	976	1,140	1,015	1,108	1,075	0	0	5,314
麻 酔 科	0	1,072	1,244	1,314	829	1,058	0	0	5,517
歯科・歯科口腔外科	3	2,475	2,821	3,163	1,713	2,837	14	4	13,030
合 計	794	39,382	44,220	42,777	41,033	38,005	1,153	319	207,683
令和4年度 平日診療日数 243日、土曜日 50日、日曜日 51日、祝(休)日 21日									合計 365日

■ 救急外来受診患者数

		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	腎臓内科	脳神経内科	血液内科	糖尿病・内分泌内科	小児科	外科	呼吸器外科	消化器外科	脳神経外科	乳腺・内分泌外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	リハビリテーション科	放射線科	放射線治療科	麻酔科	歯科・口腔外科	合計		
																												人数	構成比率	
R2	時間内	2,186	137	231	130		52			194	522	3	103	0		146	8	46	63	11	0	13					1	7	3,853	42.8
	時間外	2,490	47	145	73		21			101	537	1	206	0		401	141	226	248	377	5	86					2	33	5,140	57.2
	合計	4,676	184	376	203		73			295	1,059	4	309	0		547	149	272	311	388	5	99					3	40	8,993	100.0
R3	時間内	1,391	122	200	132		48			247	280	0	126	0		100	0	49	69	31	1	23					0	13	2,832	41.3
	時間外	1,825	30	90	55		18			160	421	2	229	0		231	58	146	203	384	3	148					0	25	4,028	58.7
	合計	3,216	152	290	187		66			407	701	2	355	0		331	58	195	272	415	4	171					0	38	6,860	100.0
R4	時間内	832	119	161	93	35	42	37	45	324	164	0	108	0	5	84	2	42	45	21	0	17	0	0	0	0	0	6	2,182	35.9
	時間外	1,552	33	86	61	20	14	29	19	222	330	0	245	1	54	195	97	164	142	409	3	196	0	0	0	0	0	21	3,893	64.1
	合計	2,384	152	247	154	55	56	66	64	546	494	0	353	1	59	279	99	206	187	430	3	213	0	0	0	0	0	27	6,075	100.0

■ 救急外来からの入院患者数

		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	腎臓内科	脳神経内科	血液内科	糖尿病・内分泌内科	小児科	外科	呼吸器外科	消化器外科	脳神経外科	乳腺・内分泌外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	リハビリテーション科	放射線科	放射線治療科	麻酔科	歯科・口腔外科	合計		
																												人数	構成比率	
R2	時間内	444	136	226	125		49			20	9	2	87	0		58	2	17	37	4	0	3					0	0	1,219	45.4
	時間外	706	45	136	59		19			13	9	1	113	0		63	0	13	56	217	0	11					1	2	1,464	54.6
	合計	1,150	181	362	184		68			33	18	3	200	0		121	2	30	93	221	0	14					1	2	2,683	100.0
R3	時間内	403	122	200	130		46			42	8	0	103	0		38	0	21	42	10	0	7					0	0	1,172	50.6
	時間外	523	30	86	53		17			32	9	1	99	0		33	0	6	53	198	0	4					0	0	1,144	49.4
	合計	926	152	286	183		63			74	17	1	202	0		71	0	27	95	208	0	11					0	0	2,316	100.0
R4	時間内	217	118	154	86	34	36	34	44	58	1	0	87	0	2	30	0	18	32	12	0	5	0	0	0	0	0	1	969	45.5
	時間外	501	32	75	59	20	10	13	19	53	9	0	80	0	4	27	2	13	25	210	0	10	0	0	0	0	0	1	1,163	54.5
	合計	718	150	229	145	54	46	47	63	111	10	0	167	0	6	57	2	31	57	222	0	15	0	0	0	0	0	2	2,132	100.0

■ 搬送患者の救急隊別比率

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	構成比率	件数	構成比率	件数	構成比率
池田救急	1,877	73.7	1,390	69.7	1,429	72.5
箕面救急	109	4.3	90	4.5	103	5.2
豊中救急	113	4.4	67	3.4	84	4.3
川西救急	257	10.1	241	12.1	168	8.5
宝塚救急	16	0.6	15	0.8	28	1.3
豊能救急	97	3.8	96	4.8	66	3.4
猪名川救急	24	0.9	39	2.0	30	1.5
能勢救急	26	1.0	30	1.5	31	1.6
その他	29	1.1	25	1.3	34	1.7
合計	2,548	100.0	1,993	100.0	1,973	100.0

## ■ 科別手術件数

科 別	令和3年度			令和4年度		
	件数 (外来再掲)	月平均	構成比率	件数 (外来再掲)	月平均	構成比率
内 科	33 ( 0 )	3	0.6	32 ( 0 )	3	0.6
呼 吸 器 内 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
消 化 器 内 科	34 ( 0 )	3	0.6	14 ( 0 )	1	0.2
循 環 器 内 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
腎 臓 内 科				0 ( 0 )	0	0.0
脳 神 経 内 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
血 液 内 科				0 ( 0 )	0	0.0
糖尿病・内分泌内科				0 ( 0 )	0	0.0
小 児 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
外 科	242 ( 52 )	20	4.3	0 ( 0 )	0	0.0
呼 吸 器 外 科	71 ( 0 )	6	1.2	65 ( 0 )	5	1.1
消 化 器 外 科	888 ( 7 )	74	15.8	898 ( 3 )	75	15.6
脳 神 経 外 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
乳 腺 ・ 内 分 泌 外 科				227 ( 39 )	19	4.0
整 形 外 科	752 ( 239 )	63	13.4	747 ( 205 )	62	12.9
形 成 外 科	744 ( 483 )	62	13.2	901 ( 516 )	75	15.7
皮 膚 科	3 ( 0 )	0	0.1	0 ( 0 )	0	0.0
泌 尿 器 科	979 ( 85 )	82	17.4	1,025 ( 127 )	85	17.9
産 婦 人 科	424 ( 0 )	35	7.5	442 ( 0 )	37	7.7
眼 科	890 ( 317 )	74	15.8	759 ( 171 )	63	13.2
耳 鼻 い ん こ う 科	231 ( 5 )	19	4.1	333 ( 1 )	28	5.8
リハビリテーション科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
放 射 線 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
放 射 線 治 療 科				0 ( 0 )	0	0.0
麻 酔 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
歯科・歯科口腔外科	338 ( 27 )	28	6.0	307 ( 35 )	26	5.3
合 計	5,629 ( 1,215 )	469	100.0	5,750 ( 1,097 )	479	100.0

## 診療収入状況

### ■ 科別・入院外来別収入

(単位:円)

科 別	令和4年度決算 (税抜)			構成比率 (%)
	入 院	外 来	合 計	
内 科	310,171,034	112,173,919	422,344,953	3.4
呼 吸 器 内 科	701,321,171	359,160,364	1,060,481,535	8.6
消 化 器 内 科	1,106,825,036	632,418,854	1,739,243,890	14.0
循 環 器 内 科	564,157,298	94,975,318	659,132,616	5.3
腎 臓 内 科	274,271,018	63,054,894	337,325,912	2.7
脳 神 経 内 科	193,484,342	48,146,334	241,630,676	2.0
血 液 内 科	1,013,423,298	702,527,381	1,715,950,679	13.9
糖 尿 病・内 分 泌 内 科	236,634,739	212,688,107	449,322,846	3.6
小 児 科	89,796,339	64,781,248	154,577,587	1.2
外 科	1,180,494	9,136,927	10,317,421	0.1
呼 吸 器 外 科	94,488,119	12,977,932	107,466,051	0.9
消 化 器 外 科	1,016,308,439	370,965,305	1,387,273,744	11.2
脳 神 経 外 科	0	6,175,912	6,175,912	0.1
乳 腺・内 分 泌 外 科	166,414,854	328,371,943	494,786,797	4.0
整 形 外 科	698,077,679	119,598,118	817,675,797	6.6
形 成 外 科	92,848,739	58,358,843	151,207,582	1.2
皮 膚 科	68,609,414	166,763,038	235,372,452	1.9
泌 尿 器 科	452,346,919	345,376,037	797,722,956	6.4
産 婦 人 科	425,718,552	149,125,241	574,843,793	4.6
眼 科	137,028,892	137,320,824	274,349,716	2.2
耳 鼻 い ん こ う 科	170,046,192	91,876,848	261,923,040	2.1
リハビリテーション科	0	12,157,183	12,157,183	0.1
放 射 線 科	0	80,298,940	80,298,940	0.7
放 射 線 治 療 科	0	125,198,212	125,198,212	1.0
麻 酔 科	0	20,719,404	20,719,404	0.2
歯 科・歯 科 口 腔 外 科	106,069,661	145,335,618	251,405,279	2.0
合 計	7,919,222,229	4,469,682,744	12,388,904,973	100.0

### ■ 行為別・入院外来別収入

(単位:円)

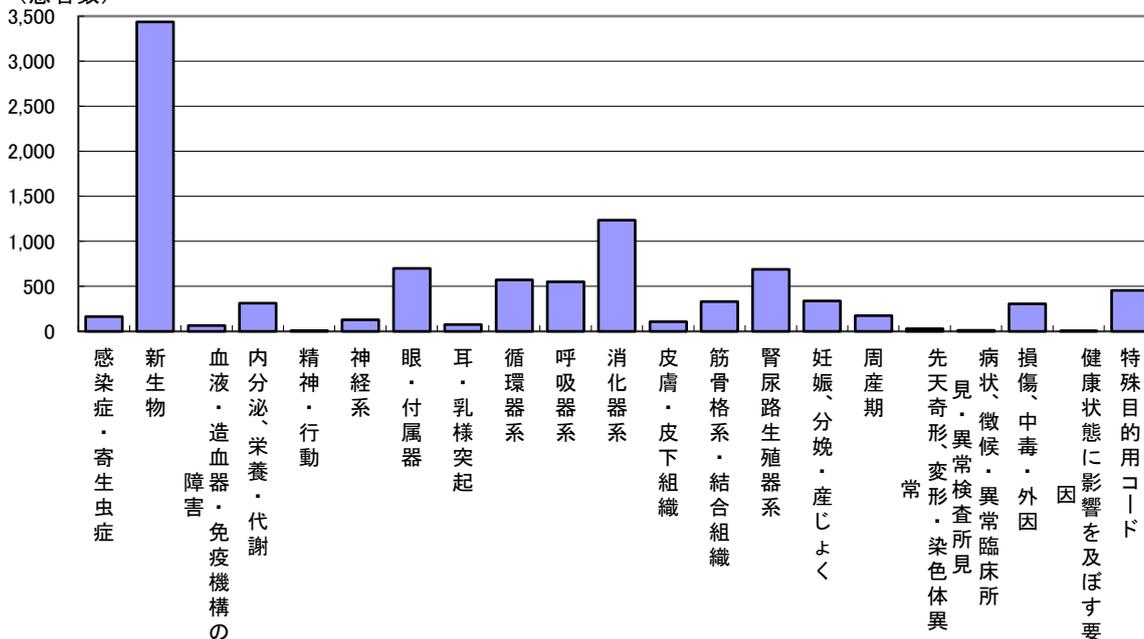
行 為 別	令和4年度決算 (税抜)			構成比率 (%)
	入 院	外 来	合 計	
D P C	3,684,944,429	—	3,684,944,429	29.7
入 院 料	1,442,456,889	—	1,442,456,889	11.6
食 事 療 養 料	150,658,961	—	150,658,961	1.2
処 置 料	208,493,634	22,528,000	231,021,634	1.9
手 術 料	1,798,949,194	200,647,698	1,999,596,892	16.1
検 査 料	123,221,928	1,053,329,227	1,176,551,155	9.5
レ ン ト ゲ ン 料	29,354,204	542,819,773	572,173,977	4.6
注 射 料	273,297,901	1,537,583,309	1,810,881,210	14.6
薬 治 料	60,408,470	542,500,719	602,909,189	4.9
分 娩 料	14,668,000	—	14,668,000	0.1
診 察 料	131,237,619	543,717,920	674,955,539	5.5
文 書 料	1,531,000	18,981,134	20,512,134	0.2
選 定 療 養 料	0	7,574,964	7,574,964	0.1
合 計	7,919,222,229	4,469,682,744	12,388,904,973	100.0

# 退院患者年次統計

## ☆疾病大分類別 退院患者数

章	疾病分類(大分類)	退院患者数	
		患者数	在平均
I	感染症及び寄生虫症	164	13.1
II	新生物	3,435	10.9
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	63	19.7
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	313	13.2
V	精神および行動の障害	8	15.8
VI	神経系の疾患	130	16.3
VII	眼および付属器の疾患	699	2.3
VIII	耳および乳様突起の疾患	76	7.5
IX	循環器系の疾患	571	10.0
X	呼吸器系の疾患	551	15.6
X I	消化器系の疾患	1,235	8.7
X II	皮膚および皮下組織の疾患	108	15.6
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	329	20.1
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	690	8.0
X V	妊娠、分娩および産じょく	337	7.2
X VI	周産期に発生した病態	176	7.1
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	30	4.8
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見	13	11.1
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	306	13.5
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因・保健サービス	4	3.8
X X II	特殊目的用コード	453	11.6
合計		9,691	10.5

(患者数)



☆診療科別 上位疾病(3桁分類)退院患者数

科	3桁分類	患者数
全科	H25：老人性白内障	549
	U07：エマージェンシーコードU07	453
	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	432
	C18：結腸の悪性新生物<腫瘍>	302
	C61：前立腺の悪性新生物<腫瘍>	256
	C50：乳房の悪性新生物<腫瘍>	220
	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	214
	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	210
	K80：胆石症	208
	C83：非ろ<濾>胞性リンパ腫	182

内科(全体)	U07：エマージェンシーコードU07	442
	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	394
	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	207
	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	195
	C83：非ろ<濾>胞性リンパ腫	180

内科(総合内科)	U07：エマージェンシーコードU07	47
	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	18
	N39：尿路系のその他の障害	12
	E86：体液量減少(症)	11
	M11：その他の結晶性関節障害	10

(内分泌内科・代謝内科)	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	170
	U07：エマージェンシーコードU07	38
	E10：1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	15
	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	9
E23：下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	5	

内科(血液内科)	C83：非ろ<濾>胞性リンパ腫	180
	C90：多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	84
	D46：骨髄異形成症候群	64
	C92：骨髄性白血病	55
	C85：非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	43

内科(呼吸器内科)	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	391
	U07：エマージェンシーコードU07	89
	J84：その他の間質性肺疾患	51
	J15：細菌性肺炎、他に分類されないもの	42
	J93：気胸	18

内科(腎臓内科)	N18：慢性腎不全	118
	U07：エマージェンシーコードU07	52
	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	16
	N04：ネフローゼ症候群	16
	N39：尿路系のその他の障害	15

科	3桁分類	患者数
神経内科	I63：脳梗塞	20
	U07：エマージェンシーコードU07	17
	G20：パーキンソン<Parkinson>病	16
	G61：炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー	11
	H81：前庭機能障害	10
消化器内科	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	195
	C25：脾の悪性新生物<腫瘍>	103
	K63：腸のその他の疾患	95
	U07：エマージェンシーコードU07	95
	K80：胆石症	91
循環器内科	I50：心不全	135
	I20：狭心症	77
	I25：慢性虚血性心疾患	58
	U07：エマージェンシーコードU07	54
	I70：アテローム<じゅく><粥>状>硬化(症)	44

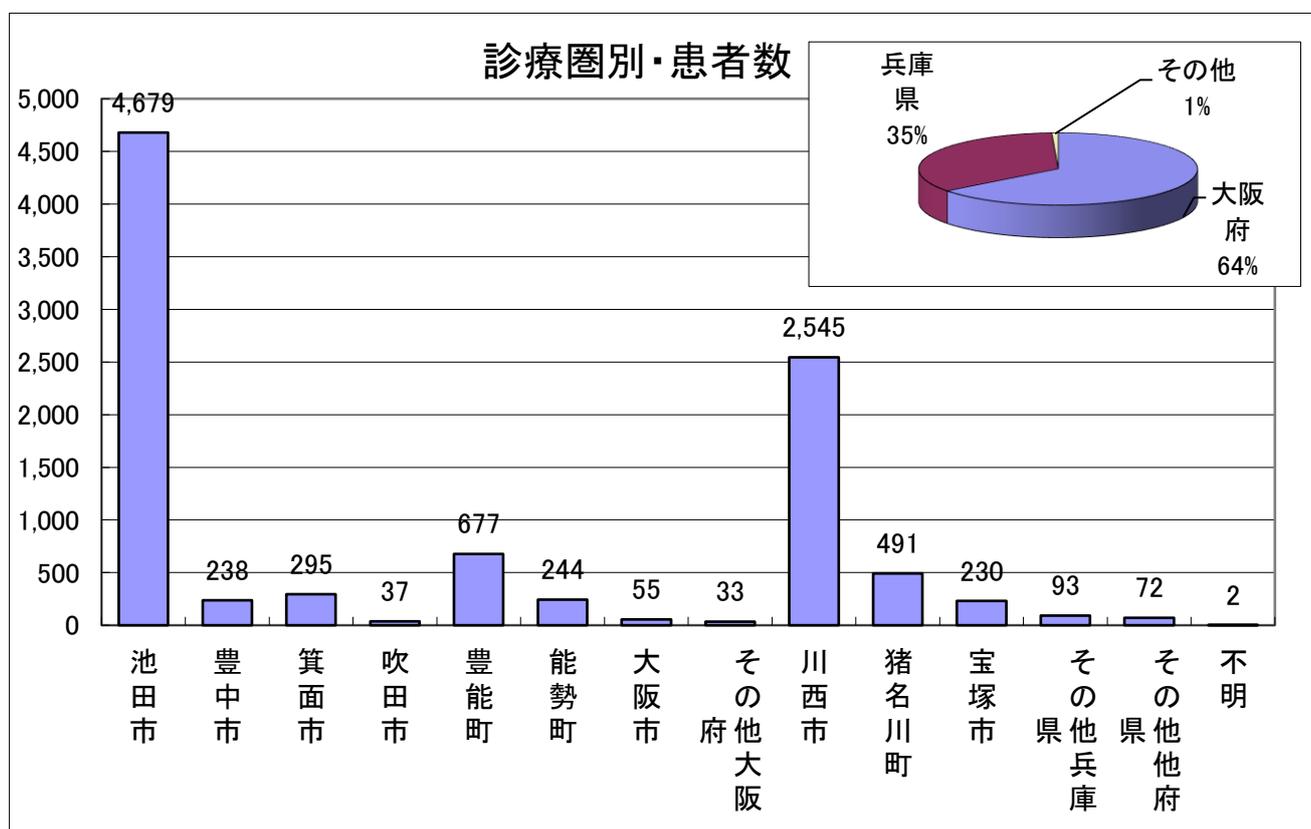
## ☆診療科別 上位疾病(3桁分類)退院患者数

科	3桁分類	患者数
小児科	P03：その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	44
	T78：有害作用、他に分類されないもの	32
	P59：その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	23
	P70：胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	22
	J45：喘息	19
(乳腺・内分泌科) 外科	C50：乳房の悪性新生物<腫瘍>	211
	D48：その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	3
	D24：乳房の良性新生物<腫瘍>	2
	C79：その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	2
	L02：皮膚膿瘍、せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	1
呼吸器外科	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	36
	J93：気胸	13
	C78：呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	12
	D38：中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	2
	B49：詳細不明の真菌症	1
消化器外科	C18：結腸の悪性新生物<腫瘍>	233
	K40：そけい<鼠径>ヘルニア	145
	K80：胆石症	116
	C16：胃の悪性新生物<腫瘍>	99
	C20：直腸の悪性新生物<腫瘍>	79
整形外科	M16：股関節症 [股関節部の関節症]	53
	M48：その他の脊椎障害	53
	S72：大腿骨骨折	52
	M17：膝関節症 [膝の関節症]	49
	S42：肩及び上腕の骨折	36
皮膚科	B02：帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	27
	L03：蜂巣炎<蜂窩織炎>	18
	L27：摂取物質による皮膚炎	11
	L12：類天疱瘡	8
	L89：じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	7
形成外科	H02：眼瞼のその他の障害	69
	I83：下肢の静脈瘤	49
	N18：慢性腎不全	35
	D48：その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	19
	C44：皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	11
泌尿器科	C61：前立腺の悪性新生物<腫瘍>	256
	C67：膀胱の悪性新生物<腫瘍>	146
	N20：腎結石及び尿管結石	68
	N13：閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	57
	C64：腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	30

科	3桁分類	患者数
産婦人科	O80：単胎自然分娩	129
	C56：卵巣の悪性新生物<腫瘍>	77
	D25：子宮平滑筋腫	72
	D27：卵巣の良性新生物<腫瘍>	55
	C54：子宮体部の悪性新生物<腫瘍>	55
眼科	H25：老人性白内障	549
	H43：硝子体の障害	28
	H35：その他の網膜障害	23
	H33：網膜剥離及び裂孔	13
	H40：緑内障	7
耳鼻いんこう科	J35：扁桃及びアデノイドの慢性疾患	34
	H91：その他の難聴	28
	J32：慢性副鼻腔炎	28
	G51：顔面神経障害	18
	D37：口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	18
歯科 ・ 口腔外科	K07：歯顎顔面(先天)異常 [不正咬合を含む]	33
	K09：口腔部のう<嚢>胞、他に分類されないもの	31
	K01：埋伏歯	24
	D48：その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	19
	C77：リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	18

☆診療圏別・退院患者数・在院日数

		退院患者数		
診療圏		患者数	在総数	在平均
大阪府	池田市	4,679	49,052	10.5
	豊中市	238	2,652	11.1
	箕面市	295	3,167	10.7
	吹田市	37	365	9.9
	豊能町	677	7,230	10.7
	能勢町	244	2,488	10.2
	大阪市	55	512	9.3
	その他大阪府	33	323	9.8
兵庫県	川西市	2,545	26,932	10.6
	猪名川町	491	4,996	10.2
	宝塚市	230	2,233	9.7
	その他兵庫県	93	818	8.8
他	その他他府県	72	757	10.5
	不明	2	32	16.0
総計		9,691	101,557	10.5

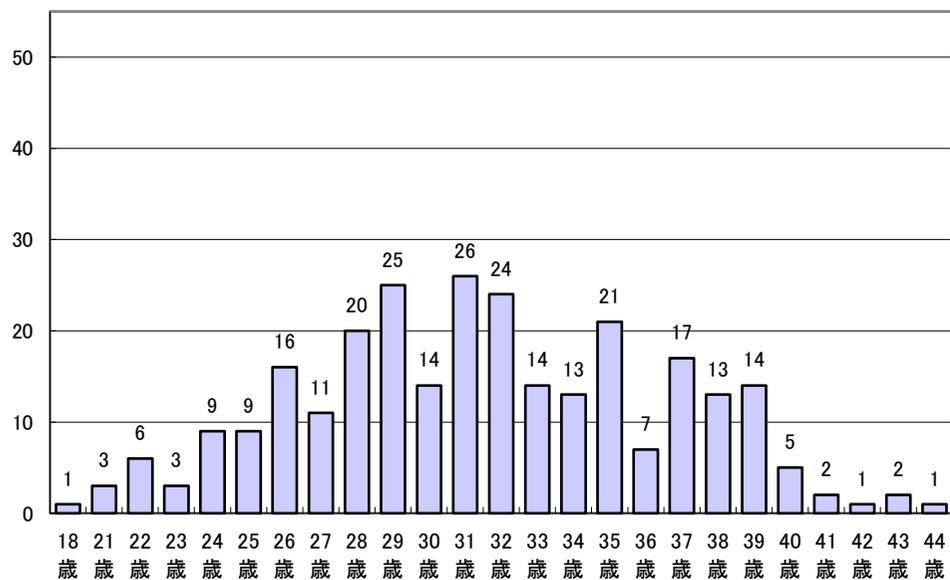


☆悪性新生物患者数（系統別・部位別）

中分類	3桁分類/部位	男性		女性		総計	
		患者数	在平均	患者数	在平均	患者数	在平均
口唇、口腔及び咽頭	C00:口唇の悪性新生物<腫瘍>			1	12.0	1	12.0
	C02:舌のその他及び位不明の悪性新生物<腫瘍>	5	9.8	5	13.2	10	11.5
	C03:歯肉の悪性新生物<腫瘍>	3	12.0	7	14.1	10	13.5
	C04:口(腔)底の悪性新生物<腫瘍>	2	12.0	2	26.0	4	19.0
	C06:その他及び部位不明の口腔の悪性新生物<腫瘍>	4	17.0	3	9.0	7	13.6
	C10:中咽頭の悪性新生物<腫瘍>	11	12.5			11	12.5
消化器	C15:食道の悪性新生物<腫瘍>	62	15.0	16	9.8	78	13.9
	C16:胃の悪性新生物<腫瘍>	111	11.1	57	11.9	168	11.4
	C17:小腸の悪性新生物<腫瘍>	1	27.0	4	7.5	5	11.4
	C18:結腸の悪性新生物<腫瘍>	150	10.7	152	8.5	302	9.6
	C19:直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>	4	12.0	1	14.0	5	12.4
	C20:直腸の悪性新生物<腫瘍>	56	15.7	41	11.6	97	13.9
	C21:肛門及び肛門管の悪性新生物<腫瘍>	4	19.8	2	30.0	6	23.2
	C22:肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	159	10.5	55	10.9	214	10.6
	C23:胆のう<嚢>の悪性新生物<腫瘍>	9	9.4	5	13.0	14	10.7
	C24:その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	28	13.4	26	8.5	54	11.0
C25:膵の悪性新生物<腫瘍>	63	13.6	84	12.8	147	13.1	
呼吸器	C34:気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	277	9.9	155	10.2	432	10.0
	C37:胸腺の悪性新生物<腫瘍>			1	10.0	1	10.0
皮膚	C44:皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	5	8.0	7	4.6	12	6.0
中皮・軟部組織	C48:後腹膜及び腹膜の悪性新生物<腫瘍>			6	10.7	6	10.7
	C49:その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	1	15.0			1	15.0
乳房	C50:乳房の悪性新生物<腫瘍>			220	8.8	220	8.8
女性生殖器	C53:子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>			39	8.7	39	8.7
	C54:子宮体部の悪性新生物<腫瘍>			56	7.2	56	7.2
	C56:卵巣の悪性新生物<腫瘍>			81	5.1	81	5.1
男性生殖器	C61:前立腺の悪性新生物<腫瘍>	256	4.8			256	4.8
腎尿路	C64:腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	21	12.0	9	8.8	30	11.0
	C65:腎盂の悪性新生物<腫瘍>	11	20.2	11	13.4	22	16.8
	C66:尿管の悪性新生物<腫瘍>	21	10.0	8	18.6	29	12.3
	C67:膀胱の悪性新生物<腫瘍>	119	7.7	28	8.3	147	7.8
	C68:その他及び部位不明の尿路の悪性新生物<腫瘍>	1	7.0	4	14.3	5	12.8
眼、脳・中枢神経	C71:脳の悪性新生物<腫瘍>	1	6.0			1	6.0
甲状腺・内分泌腺	C73:甲状腺の悪性新生物<腫瘍>	3	8.0	3	7.3	6	7.7
部位不明確・続発部位	C77:リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	8	9.6	11	7.9	19	8.6
	C78:呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	19	14.3	15	9.5	34	12.1
	C79:その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	13	11.6	5	35.0	18	18.1
	C80:悪性新生物<腫瘍>、部位が明示されていないもの	1	12.0	1	7.0	2	9.5
リンパ組織	C81:ホジキン<Hodgkin>病	4	7.0			4	7.0
	C82:ろ<濾>胞性リンパ腫	12	11.6	19	19.7	31	16.6
	C83:非ろ<濾>胞性リンパ腫	74	18.0	108	17.4	182	17.6
	C84:成熟T/NK細胞リンパ腫	20	15.9	1	15.0	21	15.8
	C85:非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	37	13.6	31	15.0	68	14.2
	C86:T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型			2	15.5	2	15.5
	C88:悪性免疫増殖性疾患	1	11.0	3	19.0	4	17.0
	C90:多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	40	20.4	45	18.1	85	19.1
	C91:リンパ性白血病	10	24.1	14	23.7	24	23.9
	C92:骨髄性白血病	20	33.8	35	26.9	55	29.4
	C93:単球性白血病	1	11.0			1	11.0
C95:細胞型不明の白血病			5	29.0	5	29.0	
上皮内新生物	D04:皮膚の上皮内癌	1	2.0	1	2.0	2	2.0
	D07:その他及び部位不明の生殖器の上皮内癌			1	9.0	1	9.0
	D09:その他及び部位不明の上皮内癌	1	3.0			1	3.0

### ☆年齢別・分娩件数

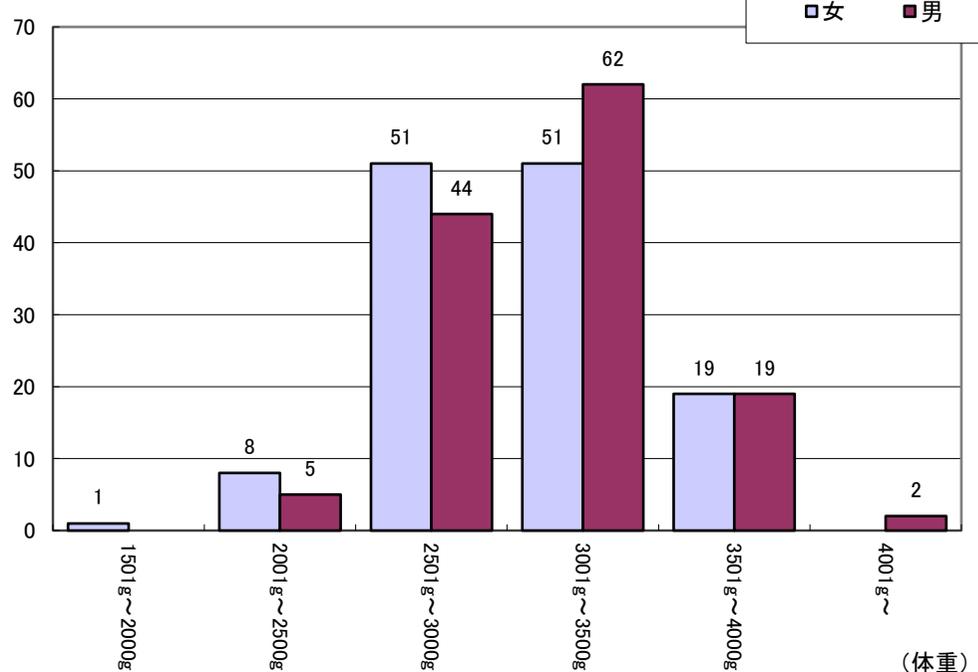
(分娩件数)



(分娩時年齢)

### ☆体重別・性別 新生児数

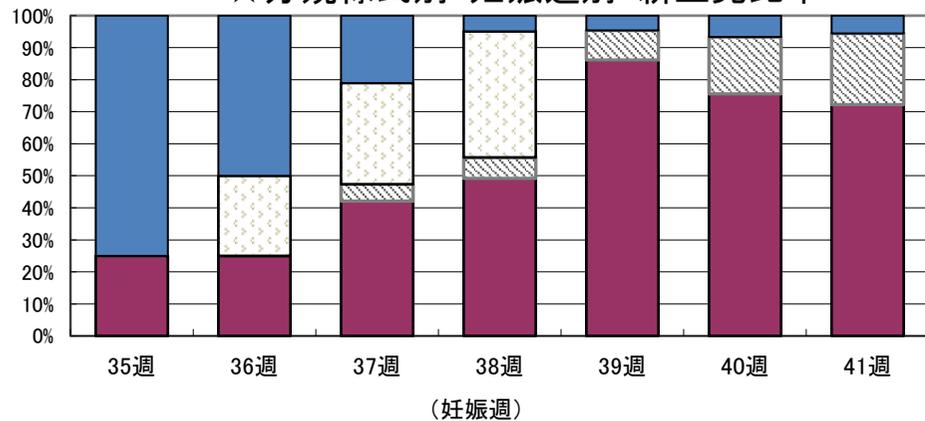
(新生児数)



(体重)

(新生児比率)

### ☆分娩様式別・妊娠週別・新生児比率

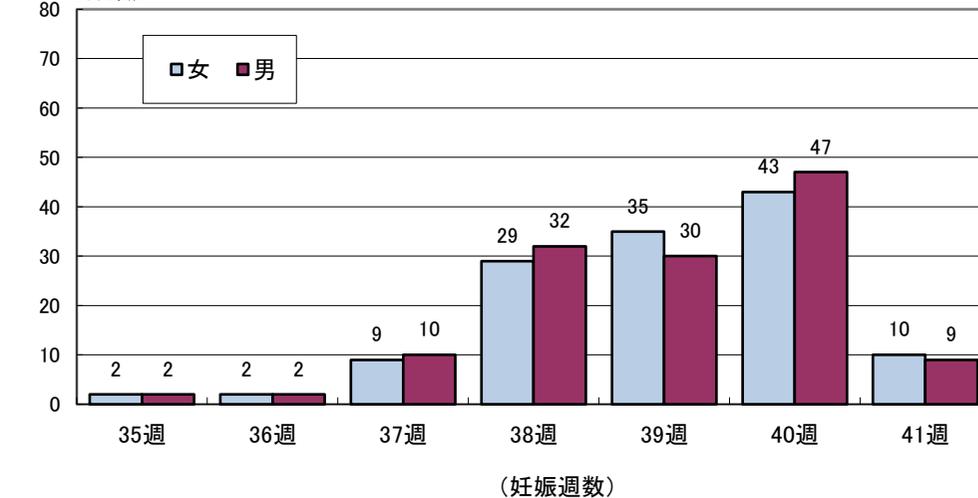


(妊娠週)

■緊急腹式帝王切開術 □腹式帝王切開術 ▨吸引 ■自然

### ☆妊娠週数・性別 新生児数

(新生児件数)



(妊娠週数)

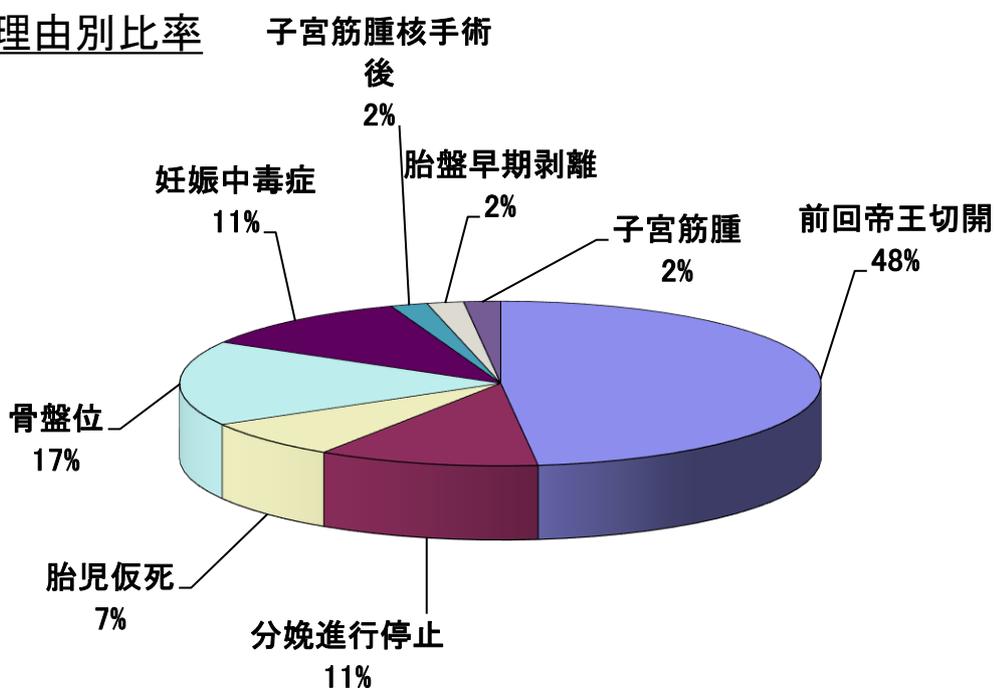
☆帝王切開理由別・分娩件数

帝王切開の理由	合計
前回帝王切開	26
分娩進行停止	6
胎児仮死	4
骨盤位	9
妊娠中毒症	6
子宮筋腫核手術後	1
胎盤早期剥離	1
子宮筋腫	1
総計	54

☆月別・帝王切開件数

分娩月	帝王切開数	分娩総数	帝王切開率
1月	5	23	21.7%
2月	2	17	11.8%
3月	3	22	13.6%
4月	3	24	12.5%
5月	6	24	25.0%
6月	3	22	13.6%
7月	10	30	33.3%
8月	5	28	17.9%
9月	6	28	21.4%
10月	5	19	26.3%
11月	3	19	15.8%
12月	3	21	14.3%
総計	54	277	19.5%

帝王切開理由別比率



# 各部門の活動

## ◇医務局

■内 科 .....	> 総合内科 .....	47
	> 腎臓内科 .....	49
	> 血液内科 .....	52
	> 糖尿病・内分泌内科 .....	54
■呼吸器内科 .....		56
■消化器内科 .....		58
■循環器内科 .....		67
■脳神経内科 .....		70
■小児科 .....		72
■外 科 .....	> 乳腺・内分泌外科 .....	76
■呼吸器外科 .....		78
■消化器外科 .....		79
■脳神経外科 .....		86
■整形外科 .....		87
■形成外科 .....		90
■皮膚科 .....		92
■泌尿器科（結石治療センター含む） .....		94
■産婦人科 .....		98
■眼科 .....		100
■耳鼻いんこう科 .....		103
■リハビリテーション科 .....		108
■放射線科 .....		111
■麻酔科 .....		116
■歯科・歯科口腔外科 .....		118
■病理診断科 .....		123
■臨床検査科 .....		125
■精神科 .....		130
◇救急総合診療部 .....		131
◇中央手術部 .....		132
◇臨床研修部 .....		134
◇がん治療センター部		
■外来化学療法センター .....		142
■がん相談支援センター .....		144
◇共同診療部		
■内視鏡センター .....		147
■生活習慣病・糖尿病センター .....		152
■人工透析センター .....		154
■口腔ケアセンター .....		159
■超音波診断・治療センター .....		160
■健診センター .....		163
◇薬剤部 .....		164

◇看護部.....	172
◇医療技術部	
■栄養管理科 .....	180
■医療機器管理室 .....	184
◇臨床研究管理部 .....	186
◇地域医療連携部 .....	190
◇感染制御部 .....	193
◇医療安全・質管理部 .....	201
◇経営企画室 情報システム .....	203
◇診療情報管理部 診療情報管理・診療支援 .....	205
◇チーム医療関連	
■栄養サポートチーム (NST) .....	209
■褥瘡対策チーム .....	212
■呼吸療法サポートチーム (RST) .....	217
■緩和ケアチーム .....	219
■高齢者サポートチーム (OST) .....	222
■精神科リエゾンチーム .....	225
◇その他の部門	
■ライフサポートチーム .....	226
■患者サポートチーム .....	228
■臨床心理室 .....	229

# 総合内科

## I. 総合内科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

平成 23 年 3 月末から総合内科として主に入院患者の診療を開始し、令和元年度からは下記 4 名。病棟業務および外来業務を下記スタッフ、前期・後期研修医と共に総合内科業務を運営している。

中尾 真一郎：日本東洋医学学会専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医・認定医、  
日本内科学会認定内科医、認知症サポート医

三 砂 雅 裕：家庭医療専門医、日本内科学会認定内科医、認知症サポート医、  
日本プライマリ・ケア連合学会認定認定医

影山 美沙紀：日本内科学会認定医、認知症サポート医

青 木 大：総合診療専門医、認知症サポート医

#### ■ 診療・業務概要

**外来：**総合内科外来は内科全体で運営されており、午前外来として週 5 回 2 診体制で行っており内科レジデントも含めて診療にあたっている。主に内科初診患者や検診異常の患者の窓口となっており、予約制で地域からの紹介も受け付けている。

**入院：**前期・後期研修医とともに主に入院患者の診療に当たっている。入院患者としては救急外来からの緊急入院が多く、高齢者の各種感染症や臓器横断的な問題を抱える症例の割合が高い。前期・後期研修医とともに疾病の治療のみでは退院が難しい様々な問題を抱える患者様の診療に貢献するべく活動している。また NST、ICT、ICU カンファレンス、AST、緩和ケアチーム、臨床倫理検討会などの院内におけるチーム医療活動に参加している。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

令和 4 年度の総合内科入院は入院サマリー数で 227 名。総合内科では高齢者診療（誤嚥性肺炎・老衰・食欲低下ほか）や感染症診療、不明熱診療といった各内科疾患や、圧迫骨折や偽痛風など院内で求められる診療をその都度各スタッフの努力やシステムとの協力で行っている。中でも肺炎を中心とした感染症診療が最も多い割合を占めている。特に新型コロナウイルス感染症に対し、内科全体で診療するシステムが構築されるまでの期間、病棟での新型コロナウイルス感染症の診療を呼吸器内科・循環器内科医師らと協働して中心的に行い、現在も継続的に入院診療を行っている。

## II. 総合診療専門研修・家庭医療後期研修

平成 30 年度から、新専門医制度のうちの総合診療専門研修を開始。家庭医療後期研修と同様に、内科だけでなく救急総合診療部や小児科、さらに院外の診療所などの協力を得ながら行っている。各診療科の後期研修については、各診療科の項に記載されているが、総合診療専門研修および家庭医療後期研修については、最も関係が深い総合内科の項に記載させていただく。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

総合診療専門研修プログラム責任者は、中尾真一郎医師が担っている。影山 美沙紀医師が家庭医療後期研修中、青木大医師は総合診療専門医を取得している。

### 《実績》

#### ■ 研修・教育活動

毎週火曜日夕方 総合内科外来カンファレンス、救急症例振り返り  
毎週水曜日朝 臨床研修医向けの症例検討カンファレンス

#### ■ 学術業績

##### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
廣橋 伸太、中尾 真一郎、末崎 慎也、 青木 大、影山 美沙紀、三砂 雅裕、 村上 慎一郎	腸間膜脂肪織炎を伴った高齢発症の全身性エリ テマトーデス(SLE)の一例	第 238 回日本内科学会近畿地方 WEB 開催 2022/12/10

## 腎臓内科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

山本 聡子（部長）：日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会指導医・専門医、  
日本透析医学会専門医、日本プライマリ・ケア認定医・指導医、  
難病指定医、緩和ケア研修済、臨床研修指導医

西村 賢二（医長）：日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、  
日本透析医学会指導医・専門医、難病指定医、臨床研修指導医

藁田 明希（医員）

梶原 信之（非常勤）：日本内科学会近畿支部評議員、総合内科専門医、  
日本腎臓学会指導医・専門医、日本プライマリ・ケア連合学会代議員、  
プライマリ・ケア認定医、総合診療専門研修指導医、  
日本透析医学会専門医

#### ■ 診療・業務概要

健康診断での検尿異常者の精密検査から、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、保存期慢性腎不全、急性腎不全、急性腎盂腎炎などの各種腎疾患の診断・治療を行っている。特に、慢性腎臓病の重症化予防を目的として 2022 年 1 月より開始した慢性腎臓教育入院の患者数は、2022 年度には 79 例に上った。

また 2022 年度より当院での腹膜透析療法が本格的に始動し、新規透析導入のうち約 30%が当療法に進み当科での治療を継続している。腹膜透析カテーテルの留置は消化器外科に、内シャント作成は形成外科にご協力いただき、保存期から腎代替療法選択、そして腹膜・血液透析といった連続した腎臓病診療を多科・多職種で支える体制の構築をすすめている。

また慢性維持血液透析患者の入院治療のサポートや、電解質異常などに関する他科からのコンサルトにも積極的に対応している。

その他、複数主治医制によるリスクマネジメントやワークライフバランスの実現、およびクリニカルパスや説明・同意書、研修医マニュアルの充実による業務の効率化を図り、働き方改革を目指している。

## 《実績》

### ■ 統計実績

入院患者 341 名 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の間に退院した患者数)

主な疾患	入院数
慢性腎臓病教育入院	79
血液透析導入	33
腹膜透析導入	14
IgA 腎症に対するステロイドパルス療法	14
ネフローゼ症候群	12
顕微鏡的多発血管炎	11
リツキシマブ治療	9
多発嚢胞腎に対するトルバプタン治療	4
尿路感染症	41
COVID-19	52
肺炎	6
等	

腎生検 33 件 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

診断内訳	
IgA 腎症	10
膜性腎症	5
半月体形成性腎炎	5
微小変化型ネフローゼ症候群	4
糖尿病性腎症	3
尿細管間質性腎炎	2
巣状分節性糸球体硬化症	1
アミロイドーシス	1
ループス腎炎	1
不明	1

### ■ 治験

協和キリンによる糖尿病性腎臓病に対するバルドキシロンメチル (RT402) の国内第 3 相臨床試験を継続している。

■ 学術業績 (2022年4月1日-2023年3月31日)

□ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
西村 賢二、新川 由里、鬼追 美也子、山本 聡子	腹膜透析はじめました～シームレスな地域連携を目指して～	第28回日本透析医学会学術集会・総会 岡山コンベンションセンター 2022/11/27
谷口 裕郁、藁田 明希、西村 賢二、梶原 信之、山本 聡子	肺 MAC 症の経過観察中に MPO-ANCA 陽性急速進行性糸球体腎炎を発症し、ステロイドとリツキサンにて治療を行った1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター/WEB 2023/03/04
今中 友香、藁田 明希、西村 賢二、梶原 信之、山本 聡子	イコデキストリン含有透析液による除水困難により、4.25%ブドウ糖含有透析液による自動腹膜透析を行った1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター/WEB 2023/03/04

□ 研究会・講演会

発表者	演題名	研究会、会場、日時
山本 聡子	腹膜透析はじめました～みんなで腹膜透析患者さんを支えよう～	地域ケア連携会 WEB 2022/05/13
山本 聡子	腎臓病診療に期待される看護の力	大阪府看護協会 府北西支部 国立循環器病センター/WEB 2023/02/24

■ 研修・教育活動 (2022年4月1日-2023年3月31日)

初期研修医の業務マニュアルを定期的に改訂し、研修医の指導及び業務の効率化を図っている。

毎週の患者回診の場で診療についての教育的指導を行い、それぞれ毎月開催している腎病理カンファレンス、電解質輪読会、抄読会の場で腎臓病学についての研鑽を積んでいる。さらに学会発表についての学術的指導を行っている。

引き続き、日本腎臓学会の認定教育施設であり、日本透析医学会の教育関連施設である。

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

森山 康弘（副院長、臨床検査科部長）：

日本内科学会所属、日本血液学会所属、日本医師会認定産業医

片岡 良久（部長）：日本内科学会所属、日本血液学会所属

大塚 正恭（副部長）：日本内科学会認定医、日本血液学会認定専門医

柴田 大（副部長）：日本内科学会認定医、日本血液学会認定専門医、  
指導医臨床腫瘍学会専門医・指導医

### ■ 診療・業務概要

血液内科は比較的稀な疾患を診る科と思われがちですが、悪性リンパ腫の有病率は5大がんに次ぐものであり、定数は24床ですが常にそれを超える入院患者さまの加療を行っております。

当科では特に悪性リンパ腫の診療数が多く、厚労省発表の2021年度DPCデータでは入院248件と大阪府下で8位となっております。

その他にも近年増加傾向にある多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群もそれぞれ府下で4位、2位の入院数となっております。

#### 【主な疾患】

##### 悪性リンパ腫

診断後速やかに病気の広がりを見定め（ステージング）、抗がん剤または放射線療法による標準治療が確立していますので、広がりに応じた治療を行います。再発時には条件が整えば、自分自身の血液細胞をあらかじめ保存しておき、その間に強力な化学療法を行う「自家末梢血幹細胞移植」を行うこともあります。

##### 白血病

急性白血病は診断後、抗がん剤による治療を行い、条件が揃えば他の方から血液細胞をもらって再び正常な造血が行われることを目指す「同種造血幹細胞移植」を高次医療機関で行います。

##### 慢性骨髄性白血病

病期にもよりますが、ほとんどの場合、飲み薬（チロシンキナーゼ阻害剤）単独での治療で長期にわたる生存が得られます。

##### 多発性骨髄腫

近年もっとも治療法進歩の著しい疾患です。プロテアゾーム阻害剤、免疫調節薬（サリドマイドの仲間）のほか、抗体薬も上市され、一層の長期生存が期待されます。

## 《実績》

### ■ 統計実績

2022年度は入院において、リンパ腫 275 件、急性骨髄性白血病 57 件、急性リンパ性白血病 4 件、慢性骨髄性白血病 4 件、多発性骨髄腫 85 件、骨髄異形成症候群 47 件（いずれも延べ回数）の治療を行いました。コロナ禍のさなかではありましたが、リンパ腫は紹介のほとんどをお受けすることができたと思います。一方で白血病はタイミング的に猶予が許されないうことから、クラスターによる病棟閉鎖などの影響を受けて減少しました。

患者プロフィールでは、引き続き高齢化社会を反映して例年通り 65 歳以上の症例がかなりの割合を占め、いかに化学療法のみで良好な予後を確保するかに腐心しています。

また、リンパ腫患者の中に低悪性度ながら難治性である濾胞性リンパ腫が占める割合が多く、標準療法リツキシマブ-ベンダムスチン療法を広く適用し、治療成績の向上に取り組んでいます。

一方、多発性骨髄腫症例は高齢者が多く既存療法では早期に耐性となる症例がほとんどでしたが、ボルテゾミブに加えてレナリドミドが初発から使用可能となり、自家移植の適応の有無を問わず生存率の向上に寄与しています。当院では大阪大学が主幹となって行われている複数の臨床研究に参加し、高齢者においても積極的に完全寛解を目指すとともに、我が国から発信されるエビデンスを構築する一助を担いたいと考えています。

慢性骨髄性白血病については引き続き、第 2 世代チロシンキナーゼ阻害剤を中心とした治療を進め、ほとんどが分子生物学的 major 寛解を達成している。今後は stop 試験に参加し、治癒への可能性を模索したいと考えております。

### 入院実績(DPC データに準拠・延べ人数)

急性骨髄性白血病	57件	(前年度37件)
急性リンパ芽球性白血病	4件	(前年度11件)
悪性リンパ腫 (ホジキンリンパ腫、ATLL含む)	275件	(前年度270件)
多発性骨髄腫	85件	(前年度62件)
慢性骨髄性白血病 (分子標的治療薬導入入院)	4件	(前年度9件)
骨髄異形成症候群	47件	(前年度93件)

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

- 岡田 拓也 (部長) : 日本内科学会 総合内科専門医、指導医  
日本糖尿病学会 指導医・専門医、学術評議員  
日本内分泌学会 指導医・専門医  
専門医機構 内分泌代謝・糖尿病内科領域 専門研修指導医  
大阪大学臨床准教授 医学博士  
兵庫医科大学臨床教育教授  
難病指定医、緩和ケア研修済
- 井上 佳菜 (副部長) : 日本内科学会 総合内科専門医、指導医  
日本糖尿病学会 指導医・専門医、近畿支部評議員  
日本内分泌学会 指導医・専門医 近畿支部評議員  
専門医機構 内分泌代謝・糖尿病内科領域 専門研修指導医  
大阪大学医学博士、難病指定医、
- 藤田 真吾 (副部長) : 日本内科学会所属、認定内科医  
日本糖尿病学会所属、日本内分泌学会所属  
大阪大学内分泌・代謝内科 特任講師 医学博士
- 三砂 雅裕 (主任医員) : 日本内科学会 認定内科医  
日本糖尿病学会所属  
日本プライマリーケア連合学会 家庭医療専門医
- 坂本 紗英花 (専攻医) : 日本内科学会所属、日本糖尿病学会所属、日本内分泌学会所属、  
緩和ケア研修済
- 多田村 竜之介 (専攻医) : 日本内科学会所属、

日本糖尿病学会認定教育施設・日本内分泌学会認定教育施設  
専門医機構 糖尿病・内分泌領域研修認定施設

#### ■ 診療・業務概要

本年から津川 真美子先生が退職され、新たに藤田 真吾先生が副部長として赴任されました。4名のスタッフと2名の専攻医の計5名が外来診療・病棟診療・救急診療に従事しています。

専門外来を平日月曜～金曜の毎日開設しています。また外来部門に生活習慣・糖尿病センターを併設しており、専門外来と並行して患者さまの療養指導を行っています。地域医療機関との病診連携には特に力を入れており、病態安定後は地域への逆紹介を推進しております。

#### 【主な疾患】

糖尿病 (1型・2型・肝性・腎性・ステロイド糖尿病・妊娠糖尿病・周術期血糖管理・化学療法期間血糖管理等) を扱っています。2022年度は外来にて1,394名、入院にて218名の糖尿病患者様の治療を行いました。糖尿病教育入院は15日間と8日間の2種類のコースがあり、

認知症合併の方の対応もしております。また、外来でも療養指導・インスリン導入・インスリンポンプ管理・24時間持続血糖モニター解析、糖尿病合併症の評価などが可能となっております。

内分泌疾患に関しては、甲状腺機能亢進症（バセドウ病・無痛性甲状腺炎・亜急性甲状腺炎）・甲状腺機能低下症（橋本病）を中心に、下垂体、副腎、副甲状腺など各疾患の精査加療を行っています。内分泌疾患救急（甲状腺クリーゼ・副腎クリーゼ・下垂体クリーゼ・電解質異常）にも対応しております。また、肥満・高血圧症例について内分泌異常の有無等の診断もしております。

## 《実績》

### ■ 統計実績

2022年度（2022.4.1～2023.3.31）

外来管理糖尿病患者数 1,394名、糖尿病教育入院患者数：218名

### ■ 学術業績

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
松野 香菜絵、岡田 拓也、坂本 紗英花、三砂 雅裕、井上 佳菜、津川 真美子	当院2型糖尿病患者における頸動脈エコーの検討	第65回日本糖尿病学会年次学術集会 神戸 2022/5/12～5/14
坂本 紗英花、井上 佳菜、松野 香奈絵、三砂 雅裕、岡田 拓也、津川 真美子	レボチロキシン静脈投与を行い救命し得た粘液水腫性昏睡の1例	第95回日本内分泌学会学術総会 別府 2022/6/2～6/4
松野 香菜絵、井上 佳菜、坂本 紗英花、三砂 雅裕、岡田 拓也、津川 真美子	膵内分泌腫瘍(NEC)術後6ヵ月目に異所性ACTH症候群から肝転移が判明した一例	第95回日本内分泌学会学術総会 別府 2022/6/2～6/4
坂本 紗英花、井上 佳菜、多田村 龍之介、三砂 雅裕、藤田 真吾、岡田 拓也	腎機能低下を契機にIgG4関連疾患が判明した2型糖尿病の1例	第59回日本糖尿病学会近畿地方会 神戸 2022/11/5
多田村 龍之介、藤田 真吾、坂本 紗英花、三砂 雅裕、井上 佳菜、岡田 拓也	膵外分泌酵素の著明な上昇を呈した劇症1型糖尿病の1例	第59回日本糖尿病学会近畿地方会 神戸 2022/11/5
下村 美月、多田村 龍之介、三砂 雅裕、藤田 真吾、井上 佳菜、岡田 拓也	ペンプロリズマブ投与後、中枢性副腎不全に続き劇症1型糖尿病を発症した一例	第59回日本糖尿病学会近畿地方会 神戸 2022/11/5
西 健太郎、藤田 真吾、多田村 龍之介、坂本 紗英花、三砂 雅裕、井上 佳菜、岡田 拓也	SARS-CoV-2ワクチン接種後の体調不良を契機にACTH単独欠損症の診断に至った2例	第23回日本内分泌学会近畿支部学術集会 奈良 2022/11/26

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

- 大谷 安司（部長）：総合内科専門医、日本呼吸器学会指導医  
田幡 江利子（副部長）：総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医、肺がん CT 検診認定医  
清水 裕平（医長）：日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会所属  
米田 翠（主任医員）：日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医

#### ■ 診療・業務概要

肺炎を代表とする急性呼吸器感染症については、起因菌を推定し治療初期から適切な抗生物質が選択できるよう努力しています。

気胸や胸水症例については、トロッカーカテーテル挿入による治療を施行、原因不明の胸水症例については局所麻酔下での胸腔鏡検査を実施しています。

呼吸不全については、高流量鼻カニューレ（ネーザルハイフロー）や非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）を積極的に導入し安全で苦痛の少ない呼吸管理に努めています。

肺癌に代表される胸部腫瘍については、胸部 X 線・CT・気管支鏡検査などによる迅速な診断と、切除不能例に対しては放射線治療・化学療法を施行しております。また外来化学療法を積極的に推進し QOL の高い診療を目指しています。

#### 【主な疾患】

診療対象は呼吸器疾患全般。肺炎、肺癌をはじめ、びまん性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、気胸、胸膜炎など、急性期呼吸器疾患のプライマリーケア全般に対応しています。

患者層の高齢化を反映し、肺炎などの急性呼吸器感染症、原発性肺癌、慢性閉塞性肺疾患が増加傾向にあります。原発性肺癌は症例数が増加し在院期間は短縮されており、負担が少なく QOL の高い診療ができていると考えています。

初 診 外 来：月曜午前、水曜午前、木曜午前

気管支鏡検査：火曜午前、金曜午前

## 《実績》

### ■ 統計実績

2022 年度呼吸器内科診療実績

入院患者 849 例（延べ）の疾患別内訳

原発性肺癌	428 例
肺癌以外の悪性腫瘍	9 例
急性呼吸器感染症	176 例
その他の感染症	12 例
びまん性肺疾患	108 例
慢性閉塞性肺疾患	16 例
気管支喘息	18 例
自然気胸	29 例
胸膜疾患	23 例
その他	30 例

## 《実績》

### ■ 研修・教育活動

肺炎を代表とする急性呼吸器感染症に対する研修は、感染症の基礎を学ぶのにも適しており、喀痰グラム染色で起病菌を推定し、薬剤ごとの PK/PD の特徴、ブレイクポイント MIC、臓器移行性などを考慮して治療初期から適切な抗生物質が選択できるよう教育した。

気胸や胸水症例については、安全で適切なトロッカーカテーテル挿入法の習得と管理を指導。呼吸不全に関しては、挿管下人工呼吸管理や非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）の導入・管理・離脱方法の指導と、高流量鼻カニューラ療法の教育に努めた。

肺癌については個別化治療の進歩が著しく、その為の病理組織検体の採取が不可欠となっている。当院では超音波ガイドシース法や超音波気管支鏡下経気管支針生検、局所麻酔下胸腔鏡などで十分な量の検体採取し、悪性疾患や結核などの良性疾患を診断する。

肺がんの薬物治療では有効な治療薬を選択するためにがんドライバー遺伝子の変異・融合を調べ、PD-L1 TPKなどを参考に患者ごとに最適な治療を選択する。当院は、肺がんゲノムスクリーニングプロジェクトである「LC-SCRUM-Asia」に参加している。

## 消化器内科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

尾下 正秀 病院長（肝胆）	日本内科学会専門医・総合内科専門医・指導医・近畿支部評議員 日本消化器病学会専門医・指導医・評議員 日本肝臓学会専門医・指導医・西部肝評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本超音波医学会専門医・指導医 日本膵臓学会指導医 日本消化管学会胃腸科認定医 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医 日本アルコール・薬物医学会評議員 大阪大学臨床教授 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了
石田 永 主任部長（肝胆）	日本内科学会認定医・指導医・近畿支部評議員 日本肝臓学会専門医・指導医・西部会評議員 日本消化器病学会専門医・指導医・評議員・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医 緩和ケア研修会修了 日本医師会認定産業医 兵庫医大臨床教授
荻山 秀治 主任部長（胃腸膵）	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医・指導医・評議員・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員・近畿支部評議員 日本肝臓学会専門医 日本消化管学会代議員・専門医・指導医 がん治療認定医 日本ヘリコバクター学会認定医 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修会修了
澤井 良之 部長（肝胆）	日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会専門医・西部会評議員 日本消化器内視鏡学会専門医 緩和ケア研修会修了
小来田 幸世 副部長（肝胆）	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医・指導医 がん治療認定医 緩和ケア研修会修了
山口 典高 副部長（胃腸膵）	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員 日本消化管学会胃腸科認定医 日本肝臓学会専門医 ヘリコバクター・ピロリ感染症認定医 緩和ケア研修会終了
村田 淳（主任医員）	日本内科学会認定内科医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医

	日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員 日本肝臓学会専門医 がん治療認定医 緩和ケア研修会終了
島越 洋美（主任医員）	日本内科学会認定内科医・指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 認知症サポート医 緩和ケア研修会終了
鬘 瑛（医員）	日本内科学会認定内科医 緩和ケア研修会終了
福嶋 裕子（医員）	日本内科学会認定内科医 緩和ケア研修会終了
浜辺 友也（専攻医）	緩和ケア研修会終了
大川 芹（専攻医）	緩和ケア研修会終了
東野 克温（専攻医）	緩和ケア研修会終了

## ■ 診療・業務概要

- C型肝炎・B型肝炎に対する抗ウイルス療法（経口剤、インターフェロン）。
- 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法を中心とした局所治療、肝動脈塞栓術、動注化学療法、分子標的薬治療、放射線治療。
- 自己免疫性疾患（原発性胆汁性肝硬変症・自己免疫性肝炎）の治療。
- 非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）を中心とした NAFLD の診断と治療。
- 非代償性肝硬変の治療。
- 肝疾患を中心とした消化器疾患に対する腹部超音波検査、造影、エラストグラフィ。
- 上部・下部内視鏡、ERCP、超音波内視鏡・EUS-FNA、カプセル内視鏡などの各種内視鏡検査。
- 胃癌・食道癌に対する ESD、大腸癌 EMR・ポリペクトミー・ESD、胆道系疾患に対する EST・EML、ENBD・ERBD、食道・胃静脈瘤に対する EVL・EIS・APC、PEG 造設、胆管・消化管ステント留置などの内視鏡治療。
- 消化性潰瘍、食道・胃静脈瘤などからの出血や閉塞性黄疸の減黄などに対する緊急内視鏡治療。
- 緩和医療ケアチームと協力体制の下に行う進行消化器癌に対する化学療法、放射線化学療法。
- 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に対する治療。

上記を中心とした診療・業務を行っている。

## 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
早朝				抄読会	
午前	肝生検 GF/CF US	GF/CF カプセル内視鏡 US	GF/CF/EMR EUS US	EIS/EVL PEG/CF/EMR EUS/US	GF/CF/EMR US
午後	GF/CF/ESD US	ERCP CF/ESD 造影 US	CF/EMR/ESD 造影 US 緩和ケア回診	RFA/肝生検 CF ERCP	GF/CF 造影 US EMR
夕方	症例回診		画像カンファ		内視鏡病理 検討会 ESD 症例 検討会

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 入院症例件数

	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度
肝細胞癌	212	180	229	229
肝硬変	52	96	34	80
慢性肝炎	6	21	10	11
食道癌	40	27	16	29
食道・胃静脈瘤	11	34	26	51
消化性潰瘍(胃・十二指腸潰瘍)	15	27	18	30
胃癌	79	69	83	75
大腸ポリープ	97	152	212	283
大腸癌	85	93	75	72
クローン病	5	7	8	4
潰瘍性大腸炎	9	13	15	12
胆嚢炎	5	12	16	14
総胆管結石・胆管炎	134	111	135	138
胆管癌	21	45	29	24
膵炎	12	29	26	38
膵癌	114	98	87	100

## 検査件数

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
腹部超音波	8,540	9,031	8,865	9,366
造影超音波	147	177	172	208
エラストグラフィ	170	157	179	245
肝生検	12	9	8	16
上部内視鏡総件数(検査・治療含む)	3,514	3,833	3,555	4,322
下部内視鏡総件数(検査・治療含む)	2,049	2,065	2,123	2,478
超音波内視鏡	243	198	155	178
EUS-FNA	66	42	50	47
カプセル内視鏡	14	14	9	12
ERCP(治療含む)	330	238	206	231

## 治療件数

	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
肝臓 RFA/PEIT	3	21	31	41
TACE/TAI	129	115	114	115
上部消化管 止血	52	62	78	75
EIS	6	20	11	20
EVL	26	13	23	17
EMR・ポリペクミー	12	15	13	15
ESD	70	53	52	57
APC	15	10	12	23
食道拡張術	19	0	24	10
PEG 増設・交換	49	60	53	61
下部消化管 EMR・ポリペクミー	862	1,055	961	1,098
ESD	48	61	44	39
止血	28	13	22	20
APC	7	7	2	3
胆膵 EST	63	68	20	37
EML	43	28	56	9
ERBD	168	123	112	92
ENBD	7	2	1	5

■ 学術業績

□原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Sugio R, Sawai Y, Fukuda K, Igura T, Kogita S, Ichih M, Seki Y, Fujita N, Oshita M, Imai Y	Changes in Liver and Splenic Stiffness after Direct-Acting Antiviral Therapy in Chronic Hepatitis C: A Single-Centre, Prospective, Observational Study	GastroHep Volume 2022 Article ID 1374410 <a href="https://doi.org/10.1155/2022/1374410">https://doi.org/10.1155/2022/1374410</a>
Myojin Y, Hikita H, Tahata Y, Doi A, Kato S, Sasaki Y, Shirai K, Sakane S, Yamada R, Kodama T, Hagiwara H, Imai Y, Hiramatsu N, Tamura S, Yamamoto K, Ohkawa K, Hijjoka T, Fukui H, Doi Y, Yamada Y, Yakushijin T, Mita E, Sakamori R, Tatsumi T, Takehara T	Letter: serum growth differentiation factor 15 predicts hepatocellular carcinoma occurrence after hepatitis C virus elimination-authors' reply.	Aliment Pharmacol Ther. 2022Apr;55(8):1061-1062. doi: 10.1111/apt.16862. PMID: 35362133
Matsumae T, Kodama T, Myojin Y, Maesaka K, Sakamori R, Takuwa A, Oku K, Motooka D, Sawai Y, Oshita M, Nakabori T, Ohkawa K, Miyazaki M, Tanaka S, Mita E, Tawara S, Yakushijin T, Nozaki Y, Hagiwara H, Tahata Y, Yamada R, Hikita H, Tatsumi T, Takehara T	Circulating Cell-Free DNA Profiling Predicts the Therapeutic Outcome in Advanced Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Combination Immunotherapy.	Cancers(Basel). 2022 Jul 11;14(14):3367. doi: 10.3390/cancers14143367. PMID: 35884434
Kamada Y, Nakahara T, Munekage K, Fujii H, Sawai Y, Doi Y, Ono M, Hyogo H, Sumida Y, Morishita K, Asuka T, Ouchida T, Imai Y, Miyoshi E; Japan Study Group of NAFLD	Serum Mac-2 binding protein level predicts the development of liver-related events and colorectal cancer in patients with NAFLD.	Hepatology Commun. 2022 Jul;6(7):1527-1536. doi: 10.1002/hep4.1934. Epub 2022 Apr 27. PMID: 35478356
Shinkai K, Sakamori R, Yamada R, Tahata Y, Nozaki Y, Matsumoto K, Tawara S, Fukuda K, Yoshida Y, Tanaka S, Ito T, Doi Y, Iio S, Sakakibara M, Nakanishi F, Kodama T, Hikita H, Tatsumi T, Takehara T	Prognostic impact of worsening of esophageal varices after balloon-occluded retrograde transvenous obliteration.	J Gastroenterol Hepatol. 2022Jun;37(6):1148-1155.doi:10.1111/jgh.15853. Epub 2022 Apr 26.PMID: 35430734
Maesaka K, Sakamori R, Yamada R, Doi A, Tahata Y, Miyazaki M, Ohkawa K, Mita E, Iio S, Nozaki Y, Yakushijin T, Imai Y, Kodama T, Hikita H, Tatsumi T, Takehara T	Comparison of atezolizumab plus bevacizumab and lenvatinib in terms of efficacy and safety as primary systemic chemotherapy for hepatocellular carcinoma.	Hepatology Res. 2022 Jul;52(7):630-640. doi: 10.1111/hepr.13771. Epub 2022 Apr 25. PMID: 35417606
Tahata Y, Sakamori R, Yamada R, Kodama T, Hikita H, Nozaki Y, Oshita M, Hiramatsu N, Miyazaki M, Mita E, Yamamoto K, Ohkawa K, Kaneko A, Ito T, Doi Y, Yakushijin T, Hijjoka T, Fukui H, Imanaka K, Yoshida Y, Yamada Y, Tatsumi T, Takehara T	Risk of hepatocellular carcinoma after sustained virologic response in hepatitis C virus patients without advanced liver fibrosis.	Hepatology Res. 2022 Oct;52(10):824-832. doi: 10.1111/hepr.13806. Epub 2022 Jul 8. PMID: 35749289
Kamada Y, Munekage K, Nakahara T, Fujii H, Sawai Y, Doi Y, Hyogo H, Sumida Y, Imai Y, Miyoshi E, Ono M; Japan Study Group of NAFLD (JSG-NAFLD).	The FIB-4 Index Predicts the Development of Liver-Related Events, Extrahepatic Cancers, and Coronary Vascular Disease in Patients with NAFLD.	Nutrients. 2022 Dec 23;15(1):66. doi: 10.3390/nu15010066. PMID: 36615725
Shirai K, Hikita H, Sakamori R, Doi A, Tahata Y, Sakane S, Kamada Y, Murai K, Nishio A, Yamada R, Kodama T, Nozaki Y, Kakita N, Ishida H, Nakanishi F, Morishita N, Imanaka K, Sakakibara M, Tatsumi T, Miyoshi E, Takehara T	Fucosylated haptoglobin is a novel predictive marker of hepatocellular carcinoma after hepatitis C virus elimination in patients with advanced liver fibrosis.	PLoS One. 2022 Dec 21;17(12):e0279416. doi: 10.1371/journal.pone.0279416. eCollection 2022. PMID: 36542633
Tagigawa A, Sakamori R, Tahata Y, Yoshioka T, Yamada R, Kodama T, Hikita H, Yakushijin T, Ohkawa K, Hiramatsu N, Mita E, Hagiwara H, Ito T, Imai Y, Tatsumi T, Takehara T	Prediction Model for Intrahepatic Distant Recurrence After Radiofrequency Ablation for Primary Hepatocellular Carcinoma 2 cm or Smaller.	Dig Dis Sci. 2022 Dec;67(12):5704-5711. doi: 10.1007/s10620-022-07455-2. Epub 2022 Mar 30. PMID: 35353331

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Matsumae T, Kodama T, Tahata Y, Myojin Y, Doi A, Nishio A, Yamada R, Nozaki Y, Oshita M, Hiramatsu N, Morishita N, Ohkawa K, Hijioaka T, Sakakibara M, Doi Y, Kakita N, Yakushijin T, Sakamori R, Hikita H, Tatsumi T, Takehara T	Thrombospondin-2 as a Predictive Biomarker for Hepatocellular Carcinoma after Hepatitis C Virus Elimination by Direct-Acting Antiviral.	Cancers (Basel). 2023 Jan 11;15(2):463. doi: 10.3390/cancers15020463. PMID: 36672412
Murai H, Kodama T, Maesaka K, Tange S, Motooka D, Suzuki Y, Shigematsu Y, Inamura K, Mise Y, Saiura A, Ono Y, Takahashi Y, Kawasaki Y, Iino S, Kobayashi S, Idogawa M, Tokino T, Hashidate-Yoshida T, Shindou H, Miyazaki M, Imai Y, Tanaka S, Mita E, Ohkawa K, Hikita H, Sakamori R, Tatsumi T, Eguchi H, Morii E, Takehara T	Multimomics identifies the link between intratumor steatosis and the exhausted tumor immune microenvironment in hepatocellular carcinoma.	Hepatology. 2023 Jan 1;77(1):77-91. doi: 10.1002/hep.32573. Epub 2022 Jun 17. PMID: 35567547
Maesaka K, Sakamori R, Yamada R, Doi A, Tahata Y, Ohkawa K, Oshita M, Miyazaki M, Yakushijin T, Nozaki Y, Matsumoto K, Tanaka S, Kaneko A, Iio S, Nawa T, Yamada Y, Morishita N, Usui T, Hiramatsu N, Doi Y, Sakakibara M, Imanaka K, Yoshida Y, Kodama T, Hikita H, Tatsumi T, Takehara T	Pretreatment with antibiotics is associated with reduced therapeutic response to atezolizumab plus bevacizumab in patients with hepatocellular carcinoma.	PLoS One. 2023 Feb 7;18(2):e0281459. doi: 10.1371/journal.pone.0281459. eCollection 2023. PMID: 36749777
Shichijo S, Yamaguchi S, Nakamatsu D, Inoue T, Nakahara M, Ogiyama H, Yamada T, Kinoshita K, Ishihara R, Michida T, Nishida T, Tsujii Y, Hayashi Y, Shinzaki S, Fukui K, Ito Y, Kitamura M, Honma K, Morii E, Takehara T; Osaka Gut Forum	Local recurrence after endoscopic resection of sessile serrated lesions: A multicenter prospective study by the Osaka Gut Forum.	J Gastroenterol Hepatol. 2022 Dec;37(12):2306-2312. doi: 10.1111/jgh.16032. Epub 2022 Nov 1. PMID: 36266771
Tajiri A, Ishihara R, Kato Y, Inoue T, Matsueda K, Miyake M, Waki K, Shimamoto Y, Fukuda H, Matsuura N, Egawa S, Yamaguchi S, Ogiyama H, Ogiso K, Nishida T, Aoi K, Tada T	Utility of an artificial intelligence system for classification of esophageal lesions when simulating its clinical use	Sci Rep. 2022 Apr 23;12(1):6677. doi: 10.1038/s41598-022-10739-2

### □著書・総説

著 者	題 名	雑誌名、巻号
尾下 正秀、宮崎 昌典	特集 II. アルコール性肝障害—温故知新 アルコール性肝硬変の最近の傾向	J 消化器・肝臓内科 第 11 巻第 2 号 Page221-227(2022.02) 科学評論社

### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
座長 荻山 秀治	一般演題 口演 32「上部 食道 腫瘍 3」座長	第 103 回日本消化器内視鏡学会総会 国立京都国際会館 2022/5/14
田畑 優貴、阪森 亮太郎、前阪 和城、宮崎 昌典、萩原 秀紀、伊藤 敏文、尾下 正秀、今井 康陽、三田 英治、今中 和穂、平松 直樹、金子 晃、大川 和良、小玉 尚宏、疋田 隼人、巽 智秀、竹原 徹郎	Sofosbuvir/velpatasvir 治療が C 型非代償性肝硬変症例の予後に与えるインパクト—多施設共同研究—	第 58 回日本肝臓学会総会 横浜 2022/6/2-3

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
荻山 秀治、上月 美穂、松島 健祐、 谷口 マリア、瀬戸 華世、岩崎 哲也、 栗山 大輔、堀木 優志、佐野村 珠奈、 今中 和穂、飯石 浩康、村山 洋子、 筒井 秀作	早期胃癌に対するESD施行症例でのピロリ菌感染ステータスと患者背景、腫瘍因子の検討	第28回ヘリコバクター学会学術集会 ホテルビューイット甲子園 2022/6/24
松前 高幸、小玉 尚宏、阪森 亮太郎、 前阪 和城、野崎 泰俊、俵 誠一、 田中 聡司、宮崎 昌典、澤井 良之、 薬師神 崇行、大川 和良、三田 英治、 萩原 秀紀、今井 康陽、田畑 優貴、 山田 涼子、疋田 隼人、巽 智秀、 竹原 徹郎	肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の治療効果予測バイオマーカーとしてのIL-6の有用性	第26回日本肝がん分子標的治療研究会 軽井沢プリンスホテルウエスト 長野 2022/6/25
浜辺 友也、澤井 良之、小来田 幸世、 東野 克温、大川 芹、福嶋 裕子、鬣 瑛、 島越 洋美、村田 淳、山口 典高、 荻山 秀治、尾下 正秀	切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の有用性、安全性と後治療についての検討	第117回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪 2022/10/8
石川 史彬、村山 洋子、平賀 英梨佳、 河村 浩輔、関谷 圭泰、谷口 マリア、 武田 梨里、岩崎 哲也、栗山 大輔、 堀木 優志、佐野村 珠奈、今中 和穂、 飯石 浩康、筒井 秀作、宋 美沙、 木村 勇人、荻山 秀治	消化器症状が皮疹に先行し診断に苦慮した成人発症IgA血管炎の一例	消化器病学会近畿支部例会第117回 大阪国際交流センター 2022/10/8
関谷 圭泰、村山 洋子、平賀 英梨佳、 河村 浩輔、石川 史彬、谷口 マリア、 武田 梨里、岩崎 哲也、栗山 大輔、 堀木 優志、佐野村 珠奈、今中 和穂、 飯石 浩康、筒井 秀作、木村 勇人、 荻山 秀治	難治性下痢と両下肢脱力を契機に診断に至った機能的膵神経内分泌腫瘍の一例	消化器病学会近畿支部例会第117回 大阪国際交流センター 2022/10/8
荻山 秀治、上月 美穂、松島 健祐、 谷口 マリア、瀬戸 華世、岩崎 哲也、 栗山 大輔、堀木 優志、佐野村 珠奈、 今中 和穂、飯石 浩康、村山 洋子、 筒井 秀作	当院における大腸ESDの治療成績の検討	JDDW2022 福岡 2022/10/28
Y Tahata, R Sakamori, R Yamada, T Kodama, H Hikita, Y Nozaki, M Oshita, N Hiramatsu, M Miyazaki, E Mita, K Ohkawa, A Kaneko, Y Doi, T Yakushijin, T Hijioka, K Imanaka, Y Yoshida, Yamada, T Tatsumi, T Takehara	Risk factor of hepatocellular carcinoma occurrence after sustained virologic response in hepatitis C virus patients without advanced liver fibrosis	The 73th Annual Meeting of the American Association For the Study of Liver Diseases (AASLD2022) Washington 2022/11/4-8
K Maesaka, R Sakamori, Y Tahata, A Doi, M Miyazaki, K Ohkawa, E Mita, S Iio, Y Nozaki, T Yakushijin, M Oshita, T Kodama, H Hikita, T Tatsumi, T Takehara	Comparison of atezolizumab plus bevacizumab and Lenvatinib in terms of efficacy and safety as primary systemic chemotherapy for hepatocellular carcinoma	The 73th Annual Meeting of the American Association For the Study of Liver Diseases (AASLD2022) Washington 2022/11/4-8
花房 賢爾、浜辺 友也、村田 淳、 大川 芹、東野 克温、福嶋 裕子、鬣 瑛、 島越 洋美、山口 典高、小来田 幸世、 澤井 良之、荻山 秀治、尾下 正秀、 大橋 寛嗣	胃癌胃壁内転移をEUS-FNAで診断し得た1例	第109回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 京都リサーチパーク 2022/11/5
浜辺 友也、澤井 良之、小来田 幸世、 東野 克温、大川 芹、福嶋 裕子、鬣 瑛、 島越 洋美、村田 淳、山口 典高、 荻山 秀治、尾下 正秀	切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の有効性、安全性と後治療についての検討	第27回日本肝がん分子標的治療研究会 大阪国際会議場 2023/1/13-14

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
松前 高幸、小玉 尚宏、前阪 和城、 田畑 優貴、澤井 良之、尾下 正秀、 中堀 輔、大川 和良、宮崎 昌典、 田中 聡司、阪森 亮太郎、三田 英治、 俵 誠一、薬師神 崇行、野崎 泰俊、 萩原 秀紀、正田 隼人、巽 智秀、 竹原 徹郎	リキッドバイオプシーを用いた肝細胞癌に おける複合免疫療法治療効果予測	第 27 回日本肝がん分子標的治療研究会 大阪国際会議場 2023/1/13-14
前阪 和城、正田 隼人、田畑 優貴、 小玉 尚宏、大川 和良、宮崎 昌典、 尾下 正秀、薬師神 崇行、野崎 泰俊、 松本 健吾、阪森 亮太郎、巽 智秀、 竹原 徹郎	切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマ ブ + ベバシズマブ併用療法における抗生 剤使用の 影響	第 27 回日本肝がん分子標的治療研究会 大阪国際会議場 2023/1/13-14
中山 俊雄、山口 典高、東野 克温、 大川 芹、浜辺 友也、福嶋 裕子、鬘 瑛、 島越 洋美、村田 淳、小来田 幸世、 澤井 良之、萩山 秀治、石田 永、 尾下 正秀	EUS-FNA にて診断したカンジダによる膵 膿瘍の一例	日本消化器病学会近畿支部第 118 回例会 みやこめっせ(京都) 2023/1/21
和泉原 朱、浜辺 友也、村田 淳、 大川 芹、東野 克温、福嶋 裕子、鬘 瑛、 島越 洋美、山口 典高、小来田 幸世、 澤井 良之、萩山 秀治、尾下 正秀	画像診断に苦慮した乏血性膵神経内分泌 腫瘍の一例	日本消化器病学会近畿支部第 118 回例会 みやこめっせ(京都) 2023/1/21
大川 芹、島越 洋美、東野 克温、 浜辺 友也、福嶋 裕子、鬘 瑛、村田 淳、 山口 典高、小来田 幸世、澤井 良之、 萩山 秀治、尾下 正秀	ブデソニド内服にて軽快した狭窄を伴った 好酸球性食道炎の 2 例	第 19 回日本消化管学会総会学術集会 京王プラザ(東京) 2023/2/4
東野 克温、島越 洋美、大川 芹、 福嶋 裕子、鬘 瑛、村田 淳、山口 典高、 萩山 秀治、石田 永、尾下 正秀	SLE の関与が考えられた蛋白漏出性胃腸 症の一例	第 239 回近畿地方会 日本内科学会近畿支 部主催 大阪国際交流センター 2023/3/4

### □研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
萩山 秀治	上部消化管疾患の現況 -消化性潰瘍と早 期胃癌を中心に-	池田市医師会学術講演 池田市医師会館 2022/7/20
座長 萩山 秀治	座長	The expert に学ぶ潰瘍性大腸炎 web 2022/8/25
萩山 秀治	消化管腫瘍の内視鏡治の現況	消化器疾患医療連携 WEB セミナー web 2022/9/8
萩山 秀治	早期胃癌に対する内視鏡治療の現況と課 題	がん診療セミナー ～胃がんのトータルマネジメント～ 千里阪急ホテル 2022/12/7
座長 萩山 秀治	座長	第 3 回 IBD 診療スキルアップセミナー 千里ライフサイエンスセンター 2022/12/9
東野 克治	SLE の関与が考えられた蛋白漏出性胃腸 症の一例	消化器内科専門医セミナー 帝国ホテル大阪 2023/3/10

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
座長 尾下 正秀	特別講演 座長	消化器内科専門医セミナー 帝国ホテル大阪 2023/3/10
Discusser 村田 淳	急性胆管炎に対する各施設の診療方針について	Asahi Digestive Disease Week (Day2) web 2023/3/29

#### ■ 研修・教育活動（R4.4～R5.3）

尾下 正秀病院長（大阪大学臨床教授）、石田 永消化器内科主任部長（兵庫医科大学臨床教育教授）の下、大阪大学医学生、兵庫医科大学医学生の学外研修（クリニカルクラークシップ）に精力的に協力した。

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

- 永井 邦彦：循環器全般  
(循環器学会専門医、内科学会総合内科専門医、兵庫医科大学臨床教育教授)
- 北川 元昭：循環器全般 スtent治療  
(循環器学会専門医、内科学会認定内科医)
- 二宮 智紀：循環器全般 不整脈：カテーテルアブレーションとペースメーカー治療  
(不整脈学会、循環器学会、内科学会)
- 古川 哲生：循環器全般 カテーテル治療とペースメーカー治療  
(循環器学会専門医、超音波学会専門医、内科学会総合内科専門医)
- 井手本 明子：循環器全般 カテーテル治療と超音波検査  
(循環器学会専門医、超音波学会専門医、内科学会認定内科医)
- 田中 啓介：循環器全般 カテーテル治療とペースメーカー治療  
(循環器学会、心不全学会、内科学会)

### ■ 診療・業務概要

循環器内科は、心不全、心筋梗塞、不整脈、弁膜症、大動脈/末梢動脈疾患、静脈血栓塞栓症(肺塞栓)など急性期疾患全般に対応しています。

2022年度は、新型コロナ肺炎の影響を大きく受け、延べ2ヶ月間循環器病棟の新規入院患者さんの受け入れができず、また常勤医師の1名退職によるマンパワー不足も重なり、入院患者数、カテーテル検査・治療検査数や、昨年度は維持できた急性冠症候群ACSに対する緊急カテーテル治療件数や重症患者さんの受け入れ件数も初めて減少した、大変厳しい1年となりました。

このような困難な状況の中でも、スタッフの尽力と病院各部門・多職種の協力のもと、入院患者数や緊急受け入れ件数ならびにカテーテル治療件数は、最小限の減少にとどまり、コロナパンデミックの状況下でも地域に貢献できる循環器診療を維持することができました。

また、ACSほどの緊急対応を要しない心房細動など頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションや下肢動脈閉塞に対する血管内治療は、順調に症例を積み重ねています。

血行動態不安定な症例には、IABP(大動脈バルーンポンプ)とV-A ECMO(経皮的心肺補助装置)を用い救命に努め、また重症呼吸不全には、呼吸器内科と協同でV-V ECMOも導入しています。

冠動脈バイパス術・弁形成術/人工弁置換術・胸部大動脈人工血管置換術などの開心術および経カテーテル大動脈弁置換術・僧帽弁Mitral Clip・大動脈ステントグラフトなどの低侵襲カテーテル手術適応患者さんについては、大阪大学心臓血管外科、兵庫医科大学心臓血管外科、国立循環器病研究センターと緊密な連携をとっています。

### 【主な疾患】

#### 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)

冠動脈ステント治療(PCI)は58件で、急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症)に対する緊急PCIは11件行いました。COURAGE試験・ISCHEMIA試験の結果をふまえて、待機的PCI

は、最適な内科的治療(OMT:Optimal Medical Treatment)を行ったうえで、負荷心筋シンチやFFR測定で虚血が確認された症例に行うように努めています。

### 不整脈治療

カテーテルアブレーションは、心房細動31件、心室頻拍3例ほか計41件、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術は17件行いました。最近のトピックスとして、失神(意識消失発作)の原因精査目的に皮下植え込み型心電図モニター(ICM)を積極的に行っています。洞不全症候群や発作性完全房室ブロックが記録された症例にはペースメーカーを植え込み、頻脈性不整脈に対してはカテーテルアブレーションを行い、再発予防・根治的治療に有用でした。

### 閉塞性下肢動脈硬化症 (ASO)

高齢化と糖尿病罹患率の上昇とともに末梢動脈の狭窄・閉塞疾患も年々増加しています。腸骨動脈・大腿動脈領域を中心としたの血管内治療(EVT)は37例(11例は救肢のため準緊急)に行いました。腎動脈狭窄や鎖骨下動脈狭窄に対してもEVTを開始しています。末梢動脈領域でも、冠動脈治療と同様に血管内超音波を用いて、最適なバルーン拡張やステント留置を行っています。また血管エコーも2,700件以上行い、EVT治療適応のあるASO患者さんの早期発見にも努めています。

### 弁膜症

高齢化と共に大動脈弁狭窄症と僧帽弁閉鎖不全症が増加しています。両疾患ともに、低侵襲カテーテル治療が積極的に行われており、当院でも最新の心エコーで弁膜病変の精確な診断を行ない、手術適応を評価しています。心エコーは、経食道心エコー・ドブタミン負荷エコー(7例)も含めて4,500件以上に増加しました。

## 《実績》

### ■ 統計実績

	2021年度	2022年度
心臓エコー	4,453	4,529
経食道心エコー	51	53
頸動脈エコー	1,391	1,136
下肢血管エコー	1,729	1,648
心血管エコー合計	7,697	7,211
カテーテル件数	350 (緊急33例)	338 (緊急22例)
<b>カテーテル治療件数</b>	<b>222 (緊急32例)</b>	<b>184 (緊急22例)</b>
冠動脈ステント治療	87 (緊急17例)	58 (緊急11例)
末梢動脈血管内治療	36 (重症虚血10例)	37 (重傷虚血11例)
ペースメーカー治療	38	17
アブレーション治療	42(心房細動37)	41(心房細動31)
皮下植込型心臓モニター	3	5
IABP/ECMO	4(IABP 2、ECMO 2)	0
その他緊急治療(IVCフィルターなど)	18	17
<b>入院患者数</b>	<b>653</b>	<b>485</b>

## ■ 学術業績

### □原著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Tetsuo Furukawa, Isamu Mizote, Tetsuya Shiraki, Kunihiro Nagai, Toru Ohama, Shungo Hikoso, Yasushi Sakata	Impact of the Academic Research Consortium for High Bleeding Risk Criteria on Predicting Unexpected Hospitalization Within 6 Months of Undergoing Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Chronic Coronary Syndrome	Journal of Cardiovascular Intervention and Therapeutics (in revision)

## ■研修・教育実績

平成 21 年度に日本循環器学会認定循環器専門医研修施設に認定されたのを受けて、初期研修医が 4 週交代で循環器内科研修を循環器専門医とともにしています。

教育方針としては、1) メディカル・インタビューと身体診察を重視し、各種画像検査や侵襲的検査から得られた診断を、常に病歴・身体所見・簡単な検査(心電図など)に還元し、2) 毎朝の多職種も参加した集中治療室のカンファレンスを通じて、オールラウンドに循環器内科学と全身管理を学んでもらえるように努めています。

## 脳神経内科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

- 那波 一郎（部長）：日本内科学会総合内科指導医・専門医、  
日本神経学会指導医・専門医、日本認知症学会指導医・専門医、  
日本臨床神経生理学会指導医・専門医
- 上原 拓也（医員）：日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会指導医・専門医
- 梨府 祥平（医員）：日本内科学会認定医、日本神経学会専門医

#### ■ 診療・業務概要

神経疾患は慢性に経過する変性疾患のようなものから、髄膜炎、ギランバレー、脳卒中などの救急対応が必要なものまで幅広い対応が必要となります。当科では外来診療、検査、診断、治療目的の入院から、急性期対応が必要な疾患まで対象としています。検査としては、血液検査、脳脊髄検査、画像検査（CT、MRI、MRA、SPECT、DATscan、心筋シンチなど）、頸動脈エコー、神経生物学的検査（脳波、神経伝導検査、針筋電図、誘発電位）、末梢神経生検、筋生検などを行います。診断確定のため、国内外の研究機関に検査を依頼するなども行っています。脳梗塞には急性期治療（t-PA、血管内治療は除く）を入院の下で、リハビリテーションとともに行います。パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経変性疾患では、投薬加療と生活指導、場合によってはリハビリテーションを行います。

#### 【主な疾患】

- ・脳脊髄：脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作など）
- ・神経変性疾患（パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊椎小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症など）
- ・認知症（アルツハイマー病、前頭側頭型認知症、レヴィー小体型認知症など）
- ・末梢神経疾患（ギランバレー症候群、遺伝性末梢神経障害など）
- ・髄膜炎（感染性、自己免疫性など）
- ・自己免疫疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症など）
- ・筋疾患（筋炎、ミオパチーなど）

### 《実績》

#### ■ 統計実績

2022年4月～2023年3月の実績

- 外来患者数 3,849人（1日当たり15.8人）  
紹介率 96.9%、逆紹介率 141.0%
- 退院患者総数 189人  
平均在院日数 16.4日（平均在科日数 15.5日）  
紹介入院率 45.0%、逆紹介率 44.4%、救急車搬送率 37.0%

## 内訳

主病名	退院患者数	平均在院日数
脳梗塞	25	15.7
ニューロパチー	18	15.8
一過性脳虚血発作	3	3.7
その他の脳血管障害	0	0
パーキンソニズム	23	22.3
脊髄症	1	21.0
てんかん	8	20.8
前庭機能障害	15	5.1

主病名	退院患者数	平均在院日数
運動ニューロン疾患	7	10.6
中枢性脱髄性疾患	3	5.3
髄膜炎、脳炎、脳症	14	26.8
認知症性疾患	2	5.5
自律神経障害	1	1.0
脊髄小脳変性症	2	12.5
筋疾患	3	29.0
その他	64	16.3

## ■ 学術業績

### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会議、日時
山田 雅彬、別府 祥平、上原 拓也、 那波 一郎	VP シヤント術により意識障害の改善を認めた特発性正常圧水頭症の1例	第238回日本内科学会近畿地方会 大阪 2022/12/10
上原 拓也、別府 祥平、那波 一郎、 山田 桂子	網膜中心動脈閉塞症を合併したCADASILの1例	第124回日本神経学会近畿地方会 大阪 2023/3/5

## 《概要》

### ■組織・スタッフ

尾崎 由和（副院長兼主任部長）：

日本小児科学会指導医・専門医、大阪大学医学部臨床教授、  
大阪大学医学博士、ICD、日本内分泌学会、  
日本小児内分泌学会、日本小児栄養消化器肝臓学会、  
日本周産期・新生児医学会、日本小児感染症学会、  
日本小児アレルギー学会、日本エイズ学会

新谷 研（副部長）：日本小児科学会指導医・専門医、日本小児神経学会専門医、  
大阪大学医学博士

上野 圭司（副部長）：日本小児科学会、日本アレルギー学会、  
日本小児アレルギー学会

辻 真之介（副部長）：日本小児科学会専門医、日本小児栄養消化器肝臓学会、  
日本消化管内視鏡学会、日本小児救急医学会

非常勤医師は、藤原医師（腎臓）、中山医師（腎臓）、橘医師（発達）、篠原医師（心臓）が専門外来の診療をおこなっている。

小児の心身医療の分野は、臨床心理室の臨床心理士（小林、羽下、小野）と協力して発達評価及び心理カウンセリングをおこなっている。

### ■診療・業務内容

現在4人の医師スタッフで診療をおこなっており、感染症、川崎病などの急性疾患だけでなく、幅広い疾患に対応している。その中でも、喘息や食物アレルギーなどのアレルギー疾患、慢性神経疾患、低身長などの内分泌疾患は患者数も多く、ニーズに応えるように努力している。

外来では午前是一般外来と専門外来、午後は専門外来をおこない、入院加療が必要な患者は4階東病棟へ入院としている。また平日は19時まで救急患者と紹介患者を受け入れており、金曜日と隔週日曜日は、豊能広域こども急病センターの後送病院となっている。

4階東病棟には1997年から院内学級（池田小学校）が設置されている。該当児童にはベッドサイド指導や、院内学級への登校を指示し、入院中も病状に合わせた教育ができるように努めている。

新生児に関しては3階北病棟において、異常分娩の立ち会いや生後1日と退院前の小児科診察、新生児疾患を持つ患児の入院診療をおこなっている。また産科との連携強化の目的で産科との合同カンファレンスをおこなっている。

## 【主な疾患】

2022年度の入院患者数は366名であり、うち124名が他院からの紹介であった。うちわけは新生児疾患が183名、川崎病を含めた免疫アレルギー疾患が53名であった。新型コロナウイルスの影響で感染症の減少が続いているが、本年度は昨年度と同様にRSウイルス感染症の流行があった。本院の特徴として、食物アレルギーに対する負荷試験を積極的におこなっていることがあげられる。

専門外来は以下のように担当している。

- ・喘息／食物アレルギー（担当・上野副部長）
- ・神経疾患／発達障害（担当・新谷副部長）
- ・消化器（担当・辻副部長）
- ・成長障害／内分泌疾患（担当・尾崎副院長）

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 外来患者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
426	425	471	590	584	470	416	389	442	404	387	543	5,547

#### 男女別入院患者数

女	180
男	186
計	366

#### 入院日数

中央値	6日
平均値	5.5日
最頻値	6日

#### 月別入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3北	15	14	11	19	18	22	14	16	14	9	18	13	183
4東など	5	14	25	38	22	14	10	11	10	10	11	13	183
計	20	28	36	57	40	36	24	27	24	19	29	26	366

#### 年齢別入院患者数

新生児	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	18歳
183	45	38	29	14	9	9	11	8	4	5	3	1	4	1	1	1

### 紹介元別入院患者数

まきこどもクリニック	35
箕面レディースクリニック	15
たむらこどもクリニック	12
豊能広域こども急病センター	11
あしの小児科	9
原医院	7
たなべ小児科	7
すくすくこどもクリニック	5
打田医院	3
その他	20
計	124

### 住所別入院患者数

大阪府	豊能医療圏	池田市	268
		箕面市	20
		豊中市	14
		吹田市	5
		豊能町	3
		能勢町	2
		大阪市	2
兵庫県		その他 大阪府	5
		川西市	22
		猪名川町	3
他道府県		その他 兵庫県	7
		計	15
計			366

### 主病名別入院患者数

新生児疾患	
帝切児症候群	48
母体合併症	30
新生児黄疸	28
早産児・低出生体重児	25
新生児仮死・新生児呼吸障害	23
新生児低血糖	12
過体重児	8
その他	9
計	183

感染症	
気管支炎・肺炎	44
RSウイルス感染症	25
感染性胃腸炎	18
上気道炎・扁桃腺炎	11
中耳炎	3
その他	10
計	111

免疫アレルギー疾患	
食物アレルギー	32
川崎病	14
気管支喘息	5
アナフィラキシー	2
計	53

神経疾患	
脳腫瘍の疑い	2
巨頭症	2
その他	2
計	6

代謝・内分泌疾患	
低身長症	2
その他	2
計	4

その他	
骨形成不全症	2
ネフローゼ症候群	1
特発性血小板減少性紫斑病	1
食物蛋白誘発胃腸炎	1
便秘症	1
計	6

## □ 研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
尾崎由和	座長	第9回大阪小児科医会総会・教育セミナー アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 2022/5/28
尾崎由和	座長	第33回大阪小児科医会救急・新生児研修会 大阪府医師協同組合 2022/9/17
尾崎由和	座長	第34回大阪小児科医会救急・新生児研修会 大阪府医師協同組合 2023/2/4

## □ 研修・教育実績

教育：尾崎副院長が大阪大学医学部臨床教授になっており、大阪大学医学部医学科5年生4名、6年生1名の臨床実習を受け入れた。

研修：初期研修医は9名が4～5週間のローテーションをおこなった。

なお当科は、日本小児科学会専門医研修施設の認定を受けている。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

湯川 真生（乳腺・内分泌外科、病院顧問）：

日本外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会専門医・指導医、MMG 読影認定医、  
日本消化器外科学会専門医・指導医、緩和ケア研修修了済

安座間 隆（乳腺・内分泌外科、主任部長）：

日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医・指導医、MMG 読影認定医、  
緩和ケア研修修了済、JOHBOC e-learnig セミナー受講

#### ■ 診療・業務概要

乳腺疾患に対応しています。迅速な診断治療を目指しており、受診当日に、マンモグラフィ・超音波検査・穿刺吸引細胞診、場合によっては針生検（CNB）まで行います。微小石灰化病変を認め、乳癌が疑われる症例にはステレオガイド下マンモトーム生検を施行し、診断を確定します。

乳癌の手術は、乳房MRIを参考に患者様と相談の上、乳房温存術か全摘術かの術式を選択しています。乳房温存術の場合は安全性及び整容性にこだわり、綺麗な仕上がりを目指しています。センチネルリンパ節生検は色素法とICGを併用して行っています。

乳房再建にも積極的に取り組んでおり、人工物再建の実施施設認定のもと形成外科にてエキスパンダーやインプラントの再建を行っています。自家組織による再建の場合は、下腹部の脂肪織を用いた深下腹壁動脈穿通枝皮弁（DIEP-flap）を用いた再建や広背筋による再建を行っています。その場合は皮下乳腺全摘術などの術式を行っています。

乳癌の再発リスクを下げるためには薬物療法は必須であり、術前・術後の化学療法、分子標的療法、及びホルモン療法を行っています。再発後の薬物療法も患者様のQOLを考慮しながら行っています。

放射線治療は乳癌術後の局所コントロールのために必要な治療であり、乳房温存術後やリンパ節転移を多数認めた場合に照射を行っています。骨転移には有痛性の転移や骨折のリスクがある場合と脊髄浸潤が疑われる場合には緩和照射を行っています。

遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の検査も行っており、病的変異を認めた場合には大阪大学の家族性乳がん相談外来に紹介しています。

2022年の新規乳癌手術は112名の方に117件の手術が行われ、両側乳癌の症例は4名でした。乳房温存手術が27件、乳房全摘術が73件でした。1例は温存手術後の追加切除のため全摘術が行われました。同時乳房再建を伴う皮下乳腺全摘術は16件行われました。また潜在性乳癌に対して1件腋窩リンパ節郭清が行われました。再発乳癌にも手術を行っており、11件の手術が行われました。

#### 【主な疾患】

乳癌以外の乳腺疾患では、乳腺良性腫瘍・乳腺症・乳腺炎・乳腺膿瘍などです。葉状腫瘍や3cmを超える線維腺腫は摘出術を行っています。異型乳管過形成（ADH）などの境界病変は切除生検を行い、悪性か否かの診断をしています。

## 《実績》

### ■ 統計実績

分類	手術名	令和2年	令和3年	令和4年
乳腺	乳房温存手術 センチネルリンパ節生検	24	22	19
	乳房温存手術 腋窩リンパ節郭清	5	3	6
	乳房温存手術のみ	6	4	2
	乳房切除 or 全乳腺切除術 センチネルリンパ節生検	43	36	46
	乳房切除 or 全乳腺切除術 センチネルリンパ節生検 一期的乳房再建	7	11	15
	乳房切除 or 全乳腺切除術 腋窩リンパ節郭清	13	13	28
	乳房切除 or 全乳腺切除術 腋窩リンパ節郭清 一期的乳房再建	1	1	1
	乳房切除 or 全乳腺切除術のみ	1	3	4
	乳腺良性腫瘍摘出術	9	15	4
	その他	6	3	10
甲状腺	甲状腺癌 全摘術、亜全摘術	0	0	0
	甲状腺癌 葉切除	1	0	0
	甲状腺癌 リンパ節郭清のみ	0	0	0
	甲状腺癌 その他	0	0	0
	甲状腺良性腫瘍に対する手術	0	0	0
	バセドウ氏病に対する手術	0	0	0
	その他	0	0	0
副甲状腺	原発性副甲状腺機能亢進症	0	0	0
	その他	0	0	0

### ■ 学術業績

#### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
湯川 真生、安座間 隆	超高齢 HER2 陽性再発乳癌に対し Pertuzumab/Trastuzumab を4回施行し心不全で中止後も1年以上CRを継続する1例	第30回日本乳癌学会学術総会 横浜 2022/6/30-7/2
湯川 真生、安座間 隆	Bevacizumab/Paclitaxel(Bev/PTX)を投与して肝硬変と門脈血栓症を合併した乳癌多発肝転移の1例	第30回日本乳癌学会学術総会 横浜 2022/6/30-7/2

## 呼吸器外科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

須崎 剛行（呼吸器外科、部長）：日本呼吸器外科専門医、日本外科学会専門医、がん治療認定医

#### ■ 診療・業務概要

疾患：肺癌を中心に、気胸、縦隔腫瘍など。また、内科治療では難治性の膿胸など。基本的には、一般胸部外科領域の疾患であれば、なんでも診察いたします。

月曜日の午後、金曜日の午後に診察をしておりますが、救急対応は適宜行っております。

大阪大学医学部呼吸器外科関連施設であり、大学と連携しながらの診療を行います。

#### 【主な疾患】

- ・肺癌
- ・転移性肺腫瘍
- ・良性腫瘍などの腫瘍
- ・気胸
- ・膿胸などの良性疾患
- ・縦隔腫瘍（良悪性とも）

### 《実績》

#### ■ 統計実績

疾患	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
良性肺腫瘍	0	0	0	1	0	1
原発性悪性肺腫瘍	16	24	25	25	37	35
腺癌	8	19	18	18	29	30
扁平上皮癌	6	5	4	3	7	3
その他	2	0	3	4	1	2
転移性肺腫瘍	3	7	6	14	14	13
気管腫瘍	0	0	0	0	0	0
胸膜腫瘍	0	0	0	1	0	0
縦隔腫瘍	0	3	1	0	1	0
炎症性肺疾患	2	1	1	3	0	3
膿胸	0	2	2	3	0	0
気胸	18	11	13	10	15	12
その他の呼吸器手術	0	2	2	3	2	1
全治療手術総数	39	50	50	60	69	65

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

太田 博文（消化器外科、副院長）：

大阪大学医学部臨床教授、兵庫医科大学臨床教育教授、  
日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、  
日本大腸肛門病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、  
手術支援ロボット助手認定、近畿外科学会評議員、難病指定医、  
臨床研修指導医のためのワークショップ修了済、がんのリハビリテーション研修会修了済、  
緩和ケア研修修了済

高地 耕（消化器外科、主任部長）：

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、  
日本食道学会食認定医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、  
日本医師会「指導医のためのワークショップ」終了、緩和ケア研修修了済

濱 直樹（消化器外科、部長）：

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、  
日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医、日本肝胆膵外科学会評議員、  
日本消化器病学会指導医・専門医、日本肝臓学会指導医・専門医、  
日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医、消化器がん外科治療認定医、  
近畿外科学会評議員、緩和ケア研修修了済

瀧内 大輔（消化器外科、副部長）：

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、  
日本癌治療学会がん治療認定医機構がん治療認定医、  
日本肝胆膵外科学会評議員、近畿外科学会評議員、緩和ケア研修修了済、難病指定医

宗方 幸二（消化器外科、副部長）

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会専門医、  
日本内視鏡外科学会技術認定医（大腸）、手術支援ロボット術者認定、  
外科周術期感染管理教育医・認定医（ICD）、大阪大学医学部医学研究科招聘教員、  
日本臨床外科学会評議員、緩和ケア研修修了済

和田 範子（消化器外科、副部長）：

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、  
日本内視鏡外科学会技術認定医（胃）、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、  
日本消化器病学会専門医、日本食道学会認定医、消化器がん外科治療認定医、  
日本がん治療学会がん治療認定医機構がん治療認定医、緩和ケア研修修了済

松浦 雄祐（消化器外科、副部長）：

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、  
手術支援ロボット助手認定、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、  
緩和ケア研修修了済

福田 虹恵（専攻医）：日本外科学会、日本消化器外科学会、緩和ケア研修修了済

白崎 祐美（専攻医）：日本外科学会

藤原 雅孝（専攻医）：日本外科学会

## ■ 診療・業務概要

消化器悪性腫瘍に対する手術および化学療法や消化器良性疾患に対する手術、ヘルニア、肛門疾患に対する手術を行います。ロボット支援下手術も2022年3月から導入し、胃癌、大腸癌から適応を開始しています。上部消化管、下部消化管、肝胆膵疾患すべて、適応があれば腹腔鏡手術を優先させています。救急部と協力し、急性腹症に対する緊急手術に可及的に対応しています。また、緩和ケアチームと協力した癌の終末期医療も患者さまの尊厳を重視した上で在宅医療や緩和ケア病棟への適切な紹介も行っています。

### 【主な疾患】

食道癌、胃癌、十二指腸癌、小腸癌、大腸癌（結腸癌、直腸癌）、肛門管癌、肝癌、膵癌、胆道癌、後腹膜腫瘍、胆石症や急性胆嚢炎などの良性胆道疾患、胃十二指腸穿孔、食道裂孔ヘルニア、虫垂炎、鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、閉鎖孔ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、横隔膜ヘルニア、臍ヘルニア、内痔核、痔瘻、裂肛、直腸脱、肛門周囲膿瘍、大腸憩室による腹膜炎、腸閉塞など。

## 《実績》

### ■ 統計実績

項目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
消化器外科手術症例数	822	845	886	829	798
そのうち全身麻酔による手術症例数	691	676	717	651	618
そのうち全身麻酔以外による手術症例数	131	169	169	178	180
腹腔鏡(胸腔鏡)手術症例数(原疾患を問わず)	458	492	544	481	431

項目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
食道疾患 合計	8	16	13	9	12
食道癌(接合部癌扁平上皮癌含む)	7	12	6	2	12
頸部食道切除	0	0	0	0	0
胸部食道切除	3	7	6	2	0
開胸	2	1	0	1	0
胸腔鏡	1	6	6	1	0
縦隔鏡	0	0	0	0	0
その他	4	5	3	0	12
食道その他	1	4	4	7	0
胃・十二指腸疾患 合計	91	76	80	77	49
胃癌	83	56	69	59	44

項目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
胃全摘	9	4	12	20	20
開腹	8	3	1	4	7
腹腔鏡	1	1	11	16	13
幽門側胃切除(PPG、分節切除含む)	43	28	26	24	18
開腹	12	6	6	2	4
腹腔鏡	31	22	20	22	10
噴門側胃切除	2	5	1	3	0
開腹	0	1	0	0	0
腹腔鏡	2	4	1	3	0
その他胃切除(局所切除/楔状切除など)	0	1	0	2	2
開腹	0	1	0	1	2
腹腔鏡	0	0	0	1	0
その他胃癌手術(バイパス/審査腹腔鏡など)	29	18	30	10	4
十二指腸癌	0	1	3	1	0
胃・十二指腸 GIST	4	5	2	2	3
胃・十二指腸その他(潰瘍/病的肥満/胃瘻など)	4	14	6	15	2
小腸・大腸・肛門疾患 合計	286	293	277	251	243
結腸癌	81	97	70	63	66
切除術	75	74	52	54	52
開腹	16	13	6	6	5
腹腔鏡	50	61	46	48	41
その他	9	0	0	0	0
非切除(人工肛門造設・閉鎖、バイパスなど)	6	23	18	9	14
直腸癌(肛門癌含む)	55	36	55	45	35
切除術(肛門温存)	39	16	29	28	20
開腹	5	2	1	2	1
腹腔鏡	22	14	28	26	7
その他	12	0	0	0	0
切断術(肛門非温存)	4	3	1	4	6
開腹	3	2	0	0	0
腹腔鏡	1	1	1	4	2
その他	0	0	0	0	0
局所切除(経肛門切除)	0	0	3	2	0
非切除(人工肛門造設・閉鎖、バイパスなど)	12	17	22	11	9
大腸 GIST(開腹/腹腔鏡を問わず)	0	0	0	1	0
小腸癌(開腹/腹腔鏡を問わず)	0	0	1	0	2
小腸 GIST(開腹/腹腔鏡を問わず)	0	0	0	0	2
虫垂炎 合計	68	62	55	54	35

項目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
開腹	5	3	2	0	0
腹腔鏡(単孔式、RPSを含む)	63	59	53	54	35
イレウス(開腹/腹腔鏡を問わず)	17	15	24	7	11
直腸脱	21	19	13	24	22
ガント三輪法	2	0	1	1	0
アルテマイア法	13	3	2	10	16
アルテマイア法+腹腔鏡下結腸固定術	0	9	6	5	3
デロルメ法	2	0	0	6	1
直腸固定術	4	6	2	2	2
粘膜切除手術	0	1	2	0	0
結腸良性疾患	21	26	23	34	28
直腸良性疾患	4	10	14	11	11
肛門良性疾患(痔核、痔瘻など)	13	14	19	8	10
小腸良性疾患	8	13	3	4	2
ヘルニア(鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアなど)	188	160	203	207	192
開腹ヘルニア根治術	105	69	79	84	71
腹腔鏡下ヘルニア根治術	83	91	124	123	121
腹膜炎・その他	25	76	16	44	40

分類		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
	肝・胆・膵・脾 合計	211	224	247	208	194
<疾患>	原発性肝癌(肝細胞癌、肝内胆管癌)	30	20	22	19	16
	転移性肝癌	16	13	12	12	11
	胆道癌	16	16	10	16	9
	膵癌	14	19	16	24	20
	胆石症・胆嚢炎・胆嚢腺筋症など	122	148	166	130	131
	肝胆膵脾疾患他	14	8	21	7	7
<術式>	肝切除(開腹)	23	17	16	17	21
	肝切除(腹腔鏡下)	28	18	21	12	11
	膵頭十二指腸切除	13	19	17	10	10
	膵体尾部切除	4	8	5	9	11
	胆嚢摘出(開腹)	8	11	2	15	4
	胆嚢摘出(腹腔鏡下)	118	139	171	122	128
	他	17	12	15	23	13

## ■ 学術業績

### □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
島岡 高宏、濱 直樹、瀧内 大輔、 福田 虹恵、原田 宗一郎、太田 博文	異所性ACTH症候群の様式で再発した膵頭部 神経内分泌癌の1例	日本臨床外科学会雑誌 2022/4 4 83(3) 762-767
Ichikawa N, Homma S, Hida K, Akagi T, Kamada Y, Yamaguchi T, Ito M, Ishida F, Watanabe J, Yamamoto D, Iijima H, Yamaguchi S, Inomata M, Sakai Y, Naitoh T, Taketomi A, EnSSURE study group collaboratives in Japan Society of Laparoscopic Colorectal Surgery	Homma S, Hida K, Akagi T, Kamada Y, Yamaguchi T, Ito M, Ishida F, Watanabe J, Yamamoto D, Iijima H, Yamaguchi S, Inomata M, Sakai Y, Naitoh T, Taketomi A, EnSSURE study group collaboratives in Japan Society of Laparoscopic Colorectal Surgery	Annals of Surgery 2022 Jun Open3(2) 160
宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐	腹腔鏡補助下大腸癌手術における enhanced recovery after surgery (ERAS) プロトコールの 安全性と有用性の検討	消化器外科 2022/9 45 9 993-1000
和田 範子、高地 耕、福田 虹恵、 原田 宗一郎、島岡 高宏、佐藤 広陸、 松浦 雄祐、宗方 幸二、瀧内 大輔、 濱 直樹、古川 哲生、太田 博文	縦隔リンパ節転移に対する集学的治療中に心 タンポナーデを来した胃癌の1例	癌と化学療法 2022/12 49 13 1619-1621

### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
佐藤 広陸、太田 博文、宗方 幸二、 松浦 雄祐、福田 虹恵、島岡 高宏、 原田 宗一郎、和田 範子、瀧内大 輔、 須崎 剛行、濱 直樹、安座間 隆、 高地 耕、湯川 真生	大腸癌手術症例に対する術後回復強化 (Enhanced Recovery After Surgery: ERAS)プロト コールの有効性と安全性に関する検討	第122回日本外科学会定期学術集会 熊本 2022/4/14-4/16
瀧内 大輔、和田 範子	閉鎖孔に嵌入した虫垂炎に対して二期的に円靭 帯温存腹腔鏡下ヘルニア修復術を施行した1例	第20回ヘルニア学会 横浜 2022/6/3-4
藤原 雅孝、宗方 幸二、松浦 雄祐、 太田 博文、濱 直樹、瀧内 大輔、 高地 耕、和田 範子	巨大脂肪肉腫に対し、8度の手術で根治に至っ た一例	第83回摂津外科検討会 Web 2022/6/17
Tamagawa H, Sugimoto N, Watanabe T, Satake H, Kataoka K, Kamei K, Kobayashi M, Munakata K, Fukunaga M, Kotaka M, Satoh T, Kanazawa A, Kurata T, Tomita N	A phase II study of resection followed by capecitabine plus oxaliplatin for liver metastasis of colorectal cancer (REX study): Final analysis	European Society for Medical Oncology 24th World Congress on Gastrointestinal Cancer Barcelona 2022/6/22-7/2
和田 範子、高地 耕、福田 虹恵、 原田 宗一郎、島岡 高宏、佐藤 広陸、 松浦 雄祐、宗方 幸二、瀧内 大輔、 濱 直樹、古川 哲生、太田 博文	縦隔リンパ節転移に対する集学的治療中に心 タンポナーデを来した胃癌の1例	第44回日本癌局所療法研究会 大阪 2022/7/1
福田 虹恵、濱 直樹、瀧内 大輔、 島岡 高広、原田 宗一郎、佐藤 広陸 松浦 雄祐、宗方 幸二、和田 範子、 高地 耕、太田 博文	傍大動脈リンパ節転移陽性胆嚢癌に対して Conversion 手術を施行した1例	第44回日本癌局所療法研究会 大阪 2022/7/1
座長 太田 博文	一般演題41 小腸	第44回日本癌局所療法研究会 大阪 2022/7/1

発表者	演題名	学会名、会場、日時
Takemasa I, Watanabe J, Kotake M, Noura S, Ikeda M, Suwa H, Tei M, Takano Y, Munakata K, Matoba S, Yamagishi S, Yasui M, Kato T, Ishibe A, Shiozawa M, Ishii Y, Yabuno T, Nitta T, Saito S, Watanabe M	Randomized Phase III Trial Evaluating the Efficacy of ICG Fluorescence Imaging on Anastomotic Leakage in Laparoscopic Surgery for Rectal Cancer (EssentiAL study)	30th Annual congress of the European Association for Endoscopic Surgery Poland 2022/7/5-7/8
藤原 雅孝、宗方 幸二、松浦 雄祐、太田 博文、濱 直樹、瀧内 大輔、高地 耕、和田 範子	巨大脂肪肉腫に対して8回の手術を行えた一例	第643回大阪外科集談会 大阪 2022/7/16
宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐、和田 範子、瀧内 大輔、濱 直樹、高地 耕	当院における大腸憩室症に対する腹腔鏡手術の治療成績	第77回日本消化器外科学会総会 横浜 2022/7/20-7/22
佐藤 広陸、太田 博文、宗方 幸二、松浦 雄祐、島岡 高宏、原田 宗一郎、和田 範子、瀧内 大輔、濱 直樹、高地 耕	大腸癌手術症例に対する ERAS protocol において周術期の輸液管理が合併症率/在院日数に及ぼす影響について	第77回日本消化器外科学会総会 横浜 2022/7/22
和田 範子、高地 耕、福田 虹恵、原田 宗一郎、島岡 高宏、佐藤 広陸、松浦 雄祐、宗方 幸二、瀧内 大輔、濱 直樹、太田 博文	Zenker 憩室に対する1切除例	第74回日本食道学会学術集会 東京 2022/9/25
座長 太田 博文	1)地域医療支援病院における緩和ケアチームの活動と疼痛緩和治療の実際 2)がん治療医が実践する緩和ケアとがん疼痛治療	痛みのトータルケア Web 講演会 大阪 2022/9/29
瀧内 大輔	再生不良性貧血を伴う胆管癌に対して脾臓十二指腸切除術を施行した1例	第14回日本 Acute Care Surgery 学会 宮崎 2022/9/30-10/1
座長 太田 博文	進行直腸癌に対する治療戦略—local control から systemic control へ—	第5回北摂大腸癌講演会 大阪 2022/10/6
宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐、生地 あゆみ	高齢者に対する周術期感染症の予防策	第35回日本外科感染症学会総会学術集会 倉敷 2022/11/8-11/10
宗方 幸二	手袋からはじまる大腸癌手術 周術期合併症への挑戦—手袋から ERAS、ロボット手術まで—	第35回日本外科感染症学会総会学術集会 倉敷 2022/11/8-11/11
生地 あゆみ、宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐	術前鼻腔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌スクリーニング検査の意義	第35回日本外科感染症学会総会学術集会 倉敷 2022/11/8-11/12
宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐	陰圧閉鎖療法の今、感染管理担当者が知っておくべき基礎知識	第35回日本外科感染症学会総会学術集会 倉敷 2022/11/8-11/9
座長 太田 博文	下部直腸癌・結腸癌に対するロボット支援下手術	大腸癌治療 実臨床における疑問と貴重な経験を語る会 2022 大阪 2022/11/18
白崎 祐美、瀧内 大輔、濱 直樹、藤原 雅孝、福田 虹恵、松浦 雄祐、和田 範子、宗方 幸二、高地 耕、太田 博文	術前診断が困難であった孤立性 IgG4 関連胆嚢炎の一例	第84回日本臨床外科学会総会 福岡 2022/11/25

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
座長 太田 博文	胃癌に対する内視鏡治療・胃癌に対する手術と化学療法	がん診療セミナー -胃癌のトータルマネジメント- 大阪 2022/12/7
高地 耕	胃癌に対する手術、化学療法と合併症・副作用	がん診療セミナー -胃癌のトータルマネジメント- 大阪 2022/12/7
白崎 祐美、瀧内 大輔、藤原 雅孝、 福田 虹恵、松浦 雄祐、和田 範子、 宗方 幸二、濱 直樹、高地 耕、 太田 博文	再々発腹壁癒痕ヘルニアにIPOM-plus 法を施行した一例	第 16 回関西ヘルニア研究会 大阪 2022/12/18

## 脳神経外科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

2010年4月から脳神経外科外来が開始され、現在、脳神経外科専門医が派遣され、診療に当たっている。

#### ■ 診療・業務概要

外来は2010年4月から開設され、週2日（水曜日午前、金曜日午前）診療を行っている。外来診療は原則として紹介制にしている。入院は、定数1名として運用している。

地域基幹病院として、近隣からの紹介患者さんを中心に診療を行っている。神経学的診察に加えて、神経放射線学的検査も施行し、他部門・他診療科の協力を得ながら総合的に診断し、加療に当たる。

疾患として脳血管障害が多く、長期にわたる治療が必要となる場合も少なくないため、病診連携・病病連携を活用し、地域医療機関への逆紹介にも留意している。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

2022年4月～2023年3月の実績

●外来患者数 632人（1日当たり2.6人）

紹介率 96.4%、逆紹介率 65.0%

●退院患者総数 0人

平均在院日数0日（平均在科日数 0日）

紹介入院率 0%、逆紹介率 0%、救急車搬送率 0%

## 整形外科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

令和4年度末のスタッフは7名（整形外科5・リハビリ科2）で、令和4年度中に2名が異動した。

#### 令和4年度末に在籍

- 若林 元 （整形外科主任部長、平成5年卒）  
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医・リハビリ医
- 三輪 俊格 （整形外科副部長、平成14年卒）  
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医、脊椎脊髄外科専門医、  
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
- 今井 優子 （整形外科副部長、平成17年卒）  
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医
- 宮本 直 （リハビリ科医長、平成21年卒）  
日本整形外科学会専門医
- 石田 和大 （整形外科医員、平成25年卒）
- 秦 絵莉子 （整形外科科医員、平成26年卒）
- 橋本 拓人 （リハビリ科医員、令和2年卒）

#### 令和4年度内の異動スタッフ

- 秦 絵莉子 （R4.4.1～）
- 橋本 拓人 （R4.4.1～R5.3.31）

#### ■ 診療・業務概要

医師7名で診療にあたっています。うち4名が日本整形外科学会専門医です。関節外科、脊椎外科、手外科の3つの専門領域に対し、エビデンスに基づいた高度医療を目指しています。関節リウマチに対しても生物学的製剤などによるコントロール、手術を積極的に行っています。

近年、骨粗鬆症に伴う高齢者の骨折が増えていますが、早期に機能回復が出来るよう努めています。

#### 【主な疾患】

##### ・関節外科

膝関節・股関節の人工関節を中心とした治療を行っており、保存療法の効果がない患者さまが手術対象です。低侵襲と高機能を目指して手術手技を改良しております。人工関節手術はほぼ全例ナビゲーションを利用した手術を行っています。

##### ・脊椎外科

変性疾患では保存療法に抗する疼痛や麻痺など神経症状をきたす椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症の患者さま、また脊椎骨折などの患者さまが手術対象となります。症例によりMED（内視鏡下椎間板切除術）も行っています。

・手外科

骨折、腱損傷、靭帯損傷、絞扼性神経障害（手根管症候群など）、腱鞘炎、変形性関節症、リウマチ手、腫瘍など、上肢に生じる障害や疾患を幅広く専門的に治療しています。

《実績》

■ 統計実績

(表 1)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
外来	平均外来患者数(人/日)	44.4	42.8	43.3	43.8	48.6	46.4	45.9
入院	病床稼働率(%)	95.0	76.0	72.5	69.8	72.5	73.4	70.6
	在院日数(日)	23.7	23.7	23.3	19.5	17.5	20.2	22.6
	紹介率(%)	93.8	94.6	95.9	95.8	92.6	96.1	97.2
	逆紹介率(%)	88.8	74.7	61.9	63.9	63.6	81.6	90.4

(表 2)

分類	手術	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
人工関節	人工膝関節	64	63	81	76	63	48	68
	人工股関節	35	37	40	56	52	50	62
	その他	0	0	0	0	1	1	4
脊椎	頰椎	14	21	19	23	12	33	29
	胸椎	6	6	10	10	6	8	1
	腰椎	46	58	66	76	97	81	97
腫瘍		5	23	13	19	14	10	18
外傷	骨折	184	166	180	212	203	160	138
	人工骨頭(股・肩)	46	38	43	55	33	30	26
	抜釘	42	42	46	50	51	47	40
関節形成術	手指・前足部・肘・手関節	4	6	1	5	9	11	15
腱	アキレス腱縫合術	5	7	4	7	3	3	6
	その他の縫合・移行術	13	6	6	9	8	12	9
	腱鞘切開	51	69	59	64	91	85	74
神経	手根管開放術・尺骨神経移行術	49	74	53	67	73	68	62
膝(鏡視下手術・骨切り)	半月板、ACL、滑膜	0	3	6	2	2	4	9
	その他	21	40	23	35	55	33	13
	合計	602	604	642	662	786	751	671

■ 学術業績

□ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
橋本 拓人	脛骨骨幹端部骨折変形癒合に対して、HTOナビゲーションを用いて矯正骨切り術を施行した1例	第139回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 大阪 2022/10/28-9

■ 研修・教育活動

発表者	演題名	講演会名、日時
若林 元	Aesculap knee solution 実際の手術法、ピットホール	Aesculap 社内研修会 2022/7/11

## 形成外科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

藤田 和敏（部長）：

日本形成外科学会専門医  
日本創傷外科学会専門医  
日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医  
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医  
乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師  
日本顎顔面外科学会所属  
日本乳癌学会所属

宮崎 裕子（医長）：2022年8月～

日本形成外科学会専門医  
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医  
日本創傷外科学会所属  
乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施医師

常田 沙紀（医員）：2019年10月～

日本形成外科学会専門医  
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医

吉池 遥南（専攻医）：2022年4月～

日本形成外科学会所属  
日本創傷外科学会所属

村上 綾香（専攻医）：2022年4月～2023年3月

日本形成外科学会所属

平成25年12月13日より乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施認定施設

平成27年4月より日本形成外科学会教育認定施設

#### ■ 診療・業務概要

形成外科とは先天のあるいは後天的な身体外表の醜状変形に対して、機能はもとより形態解剖学的に正常にすることで、個人を社会に適応させる事を目的とする外科です。

##### 【主な疾患】

- ・眼瞼・眼窩疾患（眼瞼下垂、内反症、霰粒腫、鼻涙管閉塞、甲状腺眼症、眼窩腫瘍など）
- ・下肢静脈瘤
- ・顔面外傷（鼻骨、頬骨、眼窩骨折・皮膚軟部組織損傷など）
- ・皮膚腫瘍（良性・悪性）
- ・悪性腫瘍切除後の組織欠損（頭頸部癌、乳癌、軟部悪性腫瘍など）
- ・熱傷・瘢痕・ケロイド

- ・難治性潰瘍（糖尿病性壊疽、虚血肢、褥瘡など）
- ・手の外傷（切断指、デグロビング損傷など）
- ・その他（内シャント造設術、腋臭症など）

## 《実績》

### ■ 統計実績

手術(2022年4月～2023年3月)

入院 295件/ 外来 591件 計 886件

外傷	31例	一次再建（頭頸部、乳房など）	27例
先天異常	17例	二次再建（乳房など）	8例
良性腫瘍	469例	癒痕・ケロイド	25例
悪性腫瘍	42例	難治性潰瘍	8例
眼瞼疾患（眼瞼下垂症等）	97例	変性疾患（内反症・下肢静脈瘤など）	108例
内シャント造設術	36例	その他	18例

### ■ 学術業績

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
吉池 遥南、垣淵 正男、西本 聡	Gustilo type 3B 開放骨折後の足関節部難治性潰瘍に対し足背皮弁を利用し治癒した一例	第14回 日本創傷外科学会総会・学術集会 神戸 2022/7/15
村上 綾香	抗がん剤の血管外漏出による広範囲壊死の治療経験	第14回兵庫形成外科集談会 西宮 2023/1/21
村上 綾香、藤田 和敏、 常田 沙紀、吉池 遥南	エピルピシンの血管外漏出による広範囲壊死の治療経験	第133回関西形成外科学会学術集会 京都 2023/3/11

## 皮膚科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

近藤 由佳理 (部長)	: 日本皮膚科学会認定専門医、日本皮膚科学会、アレルギー学会、皮膚免疫アレルギー学会
東 典子 (主任医員)	: 日本皮膚科学会認定専門医、日本皮膚科学会
川喜田 遥香 (医員)	: 日本皮膚科学会認定専門医、日本皮膚科学会
川部 僚子 (専攻医)	: 日本皮膚科学会

#### ■ 診療・業務概要

湿疹、帯状疱疹、疣贅、白癬などの一般的な皮膚疾患から、重症薬疹、自己免疫性水疱症、血管炎、抗がん剤による皮膚障害、糖尿病や血流障害による皮膚潰瘍、熱傷等、母斑等の良性腫瘍から高齢者に多い皮膚悪性腫瘍まで幅広く診療にあたっています。

皮膚生検、皮膚超音波検査・CT 等を用いた画像検査、ダーモスコピー、光線テスト、パッチテスト、下肢静脈エコー・動脈エコー等を用いた各種検査が可能で、ほとんど場合は外来通院での検査が可能です。光線治療、外来での皮膚科小手術（火曜日午後 予約制）も行っております。

かかりつけ医と連携し積極的に入院加療を受け入れています、また当科は生物製剤承認施設であり、難治性の尋常性乾癬やアトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、化膿性汗腺炎等にたいして生物製剤導入にも力をいれております。（木曜日午後 予約制）

患者さまの病状に応じて、当院形成外科（一部皮膚腫瘍、下肢静脈瘤など）、ペインクリニック（帯状疱疹後神経痛）と循環器内科や内分泌内科（閉塞性動脈硬化症や糖尿病性潰瘍）と連携して診療にあたり、場合によってはより専門性の高い病院へ当院の地域連携室を通じて紹介させていただきます。

### 《実績》

#### ■ 学術業績

##### □ 論文発表

著者	題名	雑誌名、日時
Yukari Kondo et al.	Successful management of hereditary angioedema with icatibant during the postpartum period	Journal Cutaneous Immunology and Allergy 07 July 2022

##### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
川部 僚子、川喜田 遥香、東 典子、近藤 由佳理(皮膚科)、湯川 真生(乳腺内分泌外科)、藤田 和敏(形成外科)	エビルピシンの血管外漏出により広範囲前胸部壊死をきたした進行性乳癌の1例	第493回大阪地方会 WEB開催 2022/9/24
代表者 近藤 由佳理	アトピー性皮膚炎患者における Dirty Neck 発症と進展のリスクファクターの検討	第52回日本皮膚免疫学会総会学術大会 共同研究シンポジウム 愛知 2022/12/17

## ■ 研修・教育活動

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
近藤 由佳理	アトピー性皮膚炎のいろは	Dermatology Seminar OSAKA TKP 梅田 2022/5/27
近藤 由佳理	入院患者の皮膚トラブル(真菌感染 褥瘡編)	市立池田病院院内勉強会 2022/6/14
近藤 由佳理ら 褥瘡対策チーム	床ずれ(褥瘡)ケア 予防策を中心に！	市立池田病院市民講座 Web 開催 2023/1/11

## 泌尿器科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

令和4年1月は、井上 均主任部長(平成4年卒)以下、芝 政宏副部長(平成8年卒)、金城(きんじょう) 孝則医長(平成21年卒)、大島 純平主任医員(平成23年卒)、金城(かなき) 友紘医員(平成27年卒)、山本 哲也医師(平成28年卒)、岡本 崇医師(平成30年卒)の6人体制でスタートしました。令和4年4月には岡本 崇医師が退職し、代わりに小西 雅俊医師(平成30年卒)が赴任。6人体制でスタートしております。令和4年10月には大島 純平医師、山本 哲也医師が退職し、代わりに中田 渡医師(平成15年卒)、中村 慎志医師(令和2年卒)が赴任しました。また毎週火曜日の外来応援は引き続き、波多野 浩士医師(大阪大学泌尿器科助教)をお願いしております。

- 井上 均(主任部長) : 日本泌尿器科学会指導医・専門医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、緩和ケア研修終了済
- 中田 渡(副部長) : 日本泌尿器科学会指導医・専門医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、  
泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、緩和ケア研修終了済
- 金城 孝則(医長) : 日本泌尿器科学会指導医・専門医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、  
泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医、緩和ケア研修終了済
- 金城 友紘(主任医員) : 日本泌尿器科学会専門医、緩和ケア研修終了済
- 小西 雅俊(医員) : 日本泌尿器科学会所属、緩和ケア研修終了済
- 中村 慎志(専攻医) : 日本泌尿器科学会所属、緩和ケア研修終了済
- .....
- 大島 純平(医長) : 日本泌尿器科学会専門医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、緩和ケア研修終了済
- 山本 哲也(医員) : 日本泌尿器科学会所属、緩和ケア研修終了済

#### ■ 診療・業務概要

当院では泌尿器がん(前立腺・腎・膀胱・精巣など)や尿路結石症、前立腺肥大症、男性・女性下部尿路症状、尿路感染症、尿路性器外傷など泌尿器科疾患全般に対応しています。

当院には泌尿器科指導医3名、さらに専門医1名が勤務しており、質の高い診療を提供することが可能です。病状を患者さまに丁寧にご説明し、最良の治療方針をお示ししつつ診療を進めるように心がけております。

令和4年の実績としては1日平均外来患者数が69.2人、入院患者が767人、前立腺生検や体外衝撃波結石破碎療法(ESWL)などを除外した手術件数が合計550件でした。

#### 【主な疾患】

当院は大阪府がん診療拠点病院に指定されており、がんを患う多くの患者さまの診療に取り組んでおります。

尿路性器がんで最も多く治療するのは膀胱がんで、経尿道的膀胱腫瘍切除術を中心に行っています。浸潤性膀胱がんに対しては鏡視下膀胱全摘除術を施行しております。令和4年からロボッ

ト支援手術を始めました。

腎がんに対しては鏡視下腎摘除術・鏡視下腎部分切除術を、腎盂尿管がんに対しては鏡視下腎尿管全摘除術を行っております。令和4年はロボット支援鏡視下腎尿管全摘除術を1例施行しました。

前立腺がんに対する鏡視下前立腺全摘除術については令和4年からその大半をロボット支援にて施行しました。手術療法以外の根治治療として強度変調放射線療法（IMRT）を、放射線治療科立川先生にて年間36例を目途に施行が可能です。放射線治療は原則として外来にて施行しています。

前立腺がんの診断に必要な前立腺生検は1泊2日にて行っています。

尿路結石症に対しては、体外衝撃波結石破碎療法（ESWL）やレーザーなどを用いた経尿道的腎尿管碎石術（TUL）、大きな腎結石に対しては、経皮的腎碎石術（PNL）を行うことも可能です。ESWLは原則として外来にて施行しています。膀胱結石に対しては経尿道的碎石術を行っています。

前立腺肥大症による排尿障害に対しては経尿道的前立腺手術を31件を行っています。

## 《実績》

### ■ 統計実績

令和4年の泌尿器科の入院患者数は767人でした。手術件数は前年737件に対して761件でした(表1)。

手術内容については前立腺生検が198件と最も多く、膀胱がんに対するTURBT(経尿道的膀胱腫瘍切除術)が141件と続きます(表2)。

手術支援ロボットによる手術を令和4年2月より開始しました。

尿路性器がんで最も多く治療したのは膀胱がんで、令和4年には経尿道的膀胱腫瘍切除術を141件行いました。浸潤性膀胱がんに対しては膀胱全摘除術を2件行いました。うち1件はロボット支援手術にて行いました。

腎がん/腎腫瘍に対する鏡視下腎摘除術・鏡視下腎部分切除術、腎盂尿管がんに対する後腹膜鏡視下腎尿管全摘除術を計33件行いました。腎部分切除術のうち10件、腎尿管全摘除術のうち1件はロボット支援手術にて行いました。

前立腺がんに対して腹腔鏡下前立腺全摘除術を42件に施行しました。うちロボット支援手術は38件でした。手術療法以外の根治療法として平成28年9月から強度変調放射線療法（IMRT）を導入しております。放射線治療科の立川先生にて現在月最大3名、年間36名を目途に主にIMRTによる治療をしていただいております。

前立腺生検は198件、すべて手術室で施行しました。

上部尿路結石に関しては、経尿道的腎尿管碎石術(TUL)を67件、経皮的腎碎石術(PNL)を12件施行しました。ESWLは27件施行しました。膀胱結石に対する経尿道的手術は11件行いました。

前立腺肥大症に対しては経尿道的前立腺切除術(TURP)・核出術(TUEB)を計31件施行しました。

**表1 年次別入院患者数・手術件数・ESWL件数**

年次	入院患者数	手術件数	ESWL 件数
平成 26 年	836	642	175
平成 27 年	732	566	211
平成 28 年	665	575	165
平成 29 年	635	581	127
平成 30 年	727	625	121
平成 31 年	811	737	106
令和 2 年	807	753	74
令和 3 年	781	737	41
令和 4 年	767	761	27

**表2 手術統計**

臓器	術式	件数	臓器	術式	件数	
腎	鏡視下腎摘除術	7	前立腺	鏡視下前立腺全摘除術(ロボット)	42(38)	
	鏡視下腎尿管全摘除術(うちロボット)	10(1)		TURP・TUEB	31	
	鏡視下腎部分切除術(うちロボット)	16(10)		前立腺生検	198	
	鏡視下半腎摘除術	1	尿道	経尿道の尿道腫瘍切除術	1	
	鏡視下腎盂形成術(ロボット)	1(1)		尿道狭窄拡張術	3	
	経皮的腎腫瘍針生検	5		尿道カルンケル・尿道脱手術	3	
	経皮的腎瘻造設術	9		コンジローマ切除術	2	
	経皮的腎砕石術	12		包茎手術	9	
	開腹腎部分切除術	1		陰囊内容	高位精巣摘出術	3
	開腹根治的腎摘除術	1			去勢術	2
	経皮的腎嚢胞穿刺硬化術	1	陰囊水腫手術		10	
			精索捻転手術		1	
尿管	経尿道の腎尿管砕石術	67	副腎・後腹膜	鏡視下副腎・後腹膜腫瘍手術	8	
	尿管鏡(下生検・腫瘍切除)	12		精索静脈瘤	腹腔鏡下結紮	1
	尿管ステント留置・交換	128	(尿路変向)		(回腸導管)	0
	逆行性腎盂造影	6		(尿管皮膚瘻)	2	
膀胱	鏡視下膀胱全摘除術(うちロボット)	2(1)	その他		4	
	TURBT・TURB	141		合計	761	
	経尿道の凝血塊除去・止血術	6				
	経尿道の膀胱砕石術	11				
	経尿道の膀胱水圧拡張術	2				
	経皮的膀胱瘻造設	1				

■ 学術業績

□ 学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
金城 友紘、小西 雅俊、 山本 哲也、大島 純平、 金城 孝則、井上 均	血液透析導入中に偶発性腫瘍として見つかった高齢患者の傍糸球体細胞腫の1例	第74回西日本泌尿器科学会総会 北九州市 2022/11/4
金城 孝則、小西 雅俊、 山本 哲也、金城 友紘、 大島 純平、井上 均	脱分化型脂肪肉腫腎周囲再発に対し腹腔鏡下腎周囲脂肪織切除・腎固定術を施行した1例	第36回日本泌尿器内視鏡学会 神戸市 2022/11/11

## 《概要》

## ■ 組織・スタッフ

主任部長 竹原 幹雄  
 医 員 芦原 敬允、井淵 誠吾  
 非常勤医師 林 正美、向井 ゆかり、藤田 太輔、田中 智人、小西 博巳

## ■ 診療・業務概要

## 1 産 科

新型コロナウイルス感染妊婦の管理を安全に行うために陰圧の分娩室を設置した。

## 2 婦 人 科

ロボット支援下手術を子宮体癌に加えて良性子宮疾患、骨盤臓器脱に対しても導入した。

## 《実績》

## ■ 統計実績

分娩数	278 例(帝王切開 58 例を含む)
開腹手術	58 例(良性 24 例、悪性 32 例)
腹腔鏡下手術	107 例(良性 102 例、悪性 5 例)
ロボット支援下手術	43 例(良性 18 例、骨盤臓器脱 7 例、悪性 18 例)
子宮鏡下手術	81 例
化学療法	15 例
放射線療法	9 例
子宮頸部円錐切除術	54 例
子宮内容除去術	20 例

## ■ 学術業績

## □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
竹原 幹雄	大量の血性腹水を認めた子宮内膜症の 1 例	日本エンドメトリオーシス学会雑誌 2022;43:42-46

## □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
芦原 敬允	当院で施行した HRD 検査の組織型をふまえての検討	第 74 回日本産科婦人科学会 福岡 2022/5-7
芦原 敬允	当院におけるロボット支援下子宮全摘術のコスト削減に向けての工夫	第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会 横浜 2022/9/8-10

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
芦原 敬允	再発卵巣癌に対するゼジューラの使用経験	Ovarian Cancer Web Seminar 大阪 2022/9/5
芦原 敬允	当院での腹腔鏡下手術からロボット支援下手術への移行 導入後のコストと時間の工夫	第 11 回日本婦人科ロボット手術学会 弘前 2023/1/28-29

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

中尾 武史（部長）：

日本眼科学会認定眼科専門医、身体障害者福祉法第15条指定医（視覚障害）、  
難病指定医、日本眼科学会所属

小島 啓尚（非常勤）：（12月まで）

日本眼科学会認定眼科専門医、身体障害者福祉法第15条指定医（視覚障害）、  
難病指定医、視覚障害者用補装具適合判定医師研修会修了、  
日本眼科学会所属、日本白内障屈折矯正手術学会所属

宮岡 怜美（医員）：日本眼科学会所属

谷口 隆英（医員）：日本眼科学会所属

視能訓練士（ORT）は、宮崎技師長、福井主任技師、伊田技師、福島技師の4名。

### ■ 診療・業務概要

今年度は、常勤医3名（中尾部長、宮岡医員、谷口医員）で、視能訓練士（4名）・看護師とともに、白内障はもとより網膜硝子体疾患・緑内障・角膜疾患等、幅広く診療している。十分な医療設備、迅速で正確な検査、的確な診断と治療、丁寧で分かりやすい説明、患者さまとの十分なコミュニケーションを心掛けている。治療のみならずロービジョンケアにも注力しており、患者さまにトータルで安心を提供すべく、チーム一丸となって努力している。

#### 【主な疾患】

白内障は片眼1泊、2泊の入院もしくは日帰りにて手術治療を行っており、通常の白内障から成熟白内障・水晶体脱臼等の難治症例まで対応している。より良い術後視力のために徹底した術前検査を施行し、正確で低侵襲な手術を心掛けている。多焦点眼内レンズを使用した白内障手術にも対応している。水晶体・眼内レンズの脱臼に対しては眼内レンズ縫着術、もしくは強膜内固定術を施行している。網膜硝子体手術は広角観察システムを併用したコンステレーション®ビジョンシステムにて25G～27Gの小切開創より施行している。増殖糖尿病網膜症や黄斑上膜、黄斑円孔等の黄斑疾患、また網膜剥離手術にも対応している。加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症の黄斑浮腫や糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF薬の硝子体内注射も施行している。緑内障はOCTも活用して細密にフォローアップし、必要な場合は手術も施行している。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### □ 手術実績(2022年4月～2023年3月)

##### 手術

水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 668 件  
(うち多焦点眼内レンズ4件、眼内レンズ強膜内固定術8件)

硝子体手術 60 件

緑内障手術 2 件

外眼手術 24 件

##### レーザー手術

網膜光凝固術 86 件

後発白内障手術 56 件

抗 VEGF 薬硝子体注射 359 件

### ■ ロービジョンケア

平成14年から眼科では、治療による視機能回復の見込みのない患者に対し、QOL及びQOV (Quality of vision) の向上を目的にロービジョンケアを行っている。

光学的ケア、精神的ケアを中心に福祉とのつなぎの役目も担っている。

ケアの一環として、視覚障害者の自立支援のため平成17年度より開催している「院内ロービジョンサロン」は、前半が講演会及び講習会、後半は座談会を開いている。

今年度はコロナ感染拡大防止のため全日程中止とした。

視覚の代わりに触れることで確認することの多い視覚障害者にとって、様々なコロナ感染対策は日常生活に影響を及ぼす。感染対策をしながら QOL を維持する工夫を患者と共に模索していく必要がある。

病院主催ではあるが当事者の意見も取り入れ、運営にも参加してもらうことで、より自立支援に向けたサロンを目指している。

今後も講演会で様々な情報提供を受けることにより安心感を得、座談会で当事者同士の話し合いにより孤独感から解放され互いに問題解決の道を見つけることで、社会参加・自立へのきっかけの場となるよう再開をめざしたい。

### ■ 学術業績

#### □ 原著

著者	題名	雑誌名、巻号
Nakao T, Inomata T, Tahvildari M, Amouzegar A, Chen Y, Yin J, Blanco T, Musayeva A, Chauhan SK, Dana R	Amplified natural killer cell activity and attenuated regulatory T cell function are determinants for corneal alloimmunity in the very young mice.	Transplantation. 2022 Dec; Online ahead of print.

## ■ 研修・教育活動

### □ ORT 臨床教育

当科では視能訓練士養成校の学生を受け入れ実習を行っている。

<令和元年度受け入れ人数>

大阪医療福祉専門学校 3名

今年度は緊急事態宣言や養成校の自主的判断により実習中止となった期間があった

#### 主な教育内容

\*臨床の場における接遇

\*眼科一般検査：屈折検査・視力・眼圧・眼位・写真撮影・超音波・視野 OCT  
斜視弱視・眼鏡処方・白内障術前検査・色覚検査 他

\*訓練：斜視・弱視訓練

\*ロービジョンケア：ケア計画の立て方・補助具の選定方法

### □ ロービジョンケア普及活動

今年度は近隣眼科・市役所福祉課・保健所へロービジョンケアやサロンの案内は配布せず。

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

大崎 康宏 (耳鼻いんこう科主任部長) :

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定専門医・専門研修指導医、  
補聴器適合判定医・補聴器相談医、卒後臨床研修指導医、  
耳科手術暫定指導医、難病指定医、小児慢性特定疾病指定医、  
身体障害者福祉法第 15 条第 1 項指定医、  
日本めまい平衡医学会認定めまい相談医、  
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会所属、日本めまい平衡医学会所属、  
日本耳科学会所属、日本聴覚医学会所属、日本小児耳鼻咽喉科学会所属、  
日本頭頸部外科学会所属、耳鼻咽喉科臨床学会所属、緩和ケア研修会修了

中川 あや (耳鼻いんこう科部長) :

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定専門医・専門研修指導医、  
補聴器適合判定医、難病指定医、身体障害者福祉法第 15 条第 1 項指定医、  
日本めまい平衡医学会認定めまい相談医、日本宇宙航空環境医学会認定医、  
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会所属、日本めまい平衡医学会所属、  
日本聴覚医学会所属、日本小児耳鼻咽喉科学会所属、  
日本宇宙航空環境医学会所属、耳鼻咽喉科臨床学会所属、  
緩和ケア研修会修了

北村 江理 (耳鼻いんこう科医員) :

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定専門医、  
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会所属、日本めまい平衡医学会所属、  
日本アレルギー学会所属、日本耳鼻咽喉科アレルギー学会所属、  
日本顔面神経学会所属、日本気管食道科学会所属、  
耳鼻咽喉科臨床学会所属、緩和ケア研修会修了

嶋田 琢磨 (耳鼻いんこう科医員) :

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会所属、日本めまい平衡医学会所属、  
緩和ケア研修会修了

辻村 慶 (耳鼻いんこう科医員) :

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会所属、日本耳科学会所属、  
日本鼻科学会所属、日本頭頸部癌学会所属、日本緩和医療学会所属、  
緩和ケア研修会修了

### ■ 診療・業務概要

当科では急性期病院の役割として耳鼻咽喉・頭頸部（甲状腺）領域の手術を主に行い、扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎などの救急疾患、突発性難聴、顔面神経麻痺等に対する入院治療も行っています。2022年3月に部長の滝本 泰光が退任し、4月から大崎 康宏が主任部長に着任しました。9月末には嶋田 琢磨が大阪警察病院へ赴任、10月から北村 江理が着任しました。

COVID-19 感染期も PPE を適切に使用し、感染者を出さず上気道病変の検査・加療を行いました。マスク・手洗い励行により、感染症である副鼻腔炎・中耳炎・扁桃炎・鼻出血が減少、受診控えによると思われる突発性難聴・顔面神経麻痺・めまい疾患も減少し、手術症例の減少も起こりましたが、2022 年夏頃より徐々に増加傾向となりました。

①耳科手術暫定指導医の資格をもつ大崎 康宏が着任し、これまでは外部の術者を招聘して施行していた鼓室形成術・乳突削開術、顔面神経減荷術などを施行できるようになりました。顕微鏡だけでなく内視鏡(TEES)機材も揃っており、真珠腫性中耳炎や慢性中耳炎などの中耳疾患の治療を積極的に行っています。

②副鼻腔手術に関しては従来通り全症例ナビゲーション下にて安全に行い、手術難易度の高い好酸球性副鼻腔炎症例に関しては前々部長の識名崇医師の指導の元、国内でも有数のハイレベルな手術を行っています。頭頸部手術の耳下腺・甲状腺、および耳科手術の鼓室形成術には神経刺激装置(NIM)を使用し、繊細な神経温存を行っています。頭頸部がん専門医である鈴木基之医師の直接指導もあり、大学と同レベルの手術を施行、専攻医教育も行っています。狭帯域光強調観察(NBI)による悪性腫瘍の早期発見にも対応しています。

③聴覚に関しては聴覚情報処理障害(APD)に対する最新の検査を継続し、補聴器外来も従来通り行っています。めまい疾患に対して各種平衡機能検査(vHIT、VEMP、ENG、重心動揺検査)を施行しています。顔面神経麻痺に関しては最新の知見に基づいた大量ステロイド点滴を行い、ENoG 検査やリハビリ指導も行っています。

④新生児から幼児に対する各種聴力検査(ABR、ASSR、遊戯聴力検査、DPOAE、幼児の補聴器作成、装用指導)を行い、対象児には聴覚支援教育機関を積極的に紹介・連携・情報共有に努めています。また、学童期にみられる心因性難聴に関しては、背景にあるストレス、学習障害、発達障害を臨床心理室と連携し早期発見、2次障害予防につなげています。

⑤言語に関しては、聴覚異常の有無にかかわらず、言語発達遅滞の患児(発達障害や自閉症スペクトラム症例含む)を受け入れています。小児科や市の健康増進課、発達支援課とも連携をとりながら言語リハビリ(2週間に1回程度の継続リハビリ)、吃音診察を行っています。

⑥小児の入院・全身麻酔下に行う扁桃摘出術、アデノイド切除術、鼓膜チュービングなどは、4歳から対応しています。

当科の手術では、内視鏡下副鼻腔手術が最も多く、その他、扁桃などの咽頭手術、真珠腫や慢性中耳炎に対する鼓室形成術、耳下腺・顎下腺・甲状腺などの頭頸部手術なども行っています。また、呼吸器・神経疾患等で入院中の患者さまの気管切開や悪性リンパ腫等の診断目的に頸部リンパ節生検も行っています。

## 【主な疾患】

鼻副鼻腔疾患：好酸球性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症、副鼻腔乳頭腫、鼻副鼻腔悪性腫瘍※、アレルギー性鼻炎、嗅覚障害、眼窩吹き抜け骨折、鼻涙管閉塞（狭窄）症、鼻出血

耳疾患：慢性中耳炎（鼓膜穿孔）、真珠腫性中耳炎、耳硬化症、突発性難聴、顔面神経麻痺、先天性耳瘻孔（耳瘻管）、耳性めまい症（良性発作性頭位眩暈、メニエール病）、先天性難聴

咽頭疾患：扁桃肥大、慢性（習慣性）扁桃炎、アデノイド増殖症、閉塞性睡眠時無呼吸、扁桃周囲膿瘍、上・中・下咽頭癌※

喉頭疾患：喉頭癌※、声帯ポリープ、声帯麻痺（反回神経麻痺）、急性喉頭蓋炎

頭頸部・甲状腺疾患：耳下腺腫瘍、甲状腺癌、甲状腺良性腫瘍、副甲状腺腺腫、顎下腺腫瘍、唾石症

※一部の甲状腺癌を除く、悪性腫瘍の治療につきましては、大阪大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科に紹介させていただきます。

## 《実績》

### ■ 統計実績

手術件数

	全麻 (例)	局麻 (例)		全麻 (例)	局麻 (例)
鼓膜切開術	0	20	アデノイド切除術	10	0
鼓膜チューブ留置術	18	10	口蓋扁桃切除術	40	0
鼓室形成術	17	0	喉頭良性病変切除術	10	0
乳突削開術	9	0	気管切開術	9	0
耳瘻孔摘出術	4	0	口腔良性腫瘍手術	0	1
外耳道腫瘍摘出術	1	0	唾石（口内法）摘出術	2	6
鼻中隔矯正術	29	0	耳下腺良性腫瘍手術	12	0
下鼻甲介切除術	71	0	顎下腺良性腫瘍手術（唾石含む）	6	0
鼻粘膜焼灼術	0	20	甲状腺腫瘍手術（副甲状腺含む）	12	0
内視鏡下鼻内開放術	66	0	その他（側頸嚢胞、皮様嚢種など）	2	0
経鼻腔的翼突管神経切断術	1	0	頸部リンパ節生検	6	17
鼻骨変形治療骨折矯正術	10	0	異物摘出（外耳・鼻腔・咽頭）	3	21
鼻茸切除術	0	1			
顎・顔面骨骨折矯正術	0	1	合計	338	97

## ■ 学術業績

### □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Fujita T, Sakai K, Uehara N, Hoshi Y, Mori A, Koyama H, Sato M, Saito K, Osaki Y, Nishio K, Doi K	Genetic variants of cancer-associated genes analyzed using next-generation sequencing in small sporadic vestibular schwannomas.	Oncol Lett 25(3): 121, 2023
Imai T, Uno A, Yamato A, Takimoto Y, Sato G, Matsuda K, Takeda N, Nishiike S, Kawashima K, Iga T, Ueno Y, Ohta Y, Sato T, Kamakura T, Shinga Higashi K, Mikami S, Kimura N, Nakajima T, Tanaka A, Inohara H	Comparison of the efficacy of the Epley maneuver and repeated Dix-Hallpike tests for eliminating positional nystagmus: A multicenter randomized study.	Front Neurol 14: 1095041, 2023
大崎 康宏、土井 勝美	補聴器・人工聴覚器による難聴へのアプローチ Vibrant Soundbridge	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 126(1): 7-11, 2023
滝本 泰光、嶋田 琢磨、辻村 慶、中川 あや、大崎 康宏	市中病院のめまい外来での最近の臨床統計	Equilibrium Research 82(1): 43-48, 2023
辻村 慶、端山 昌樹、北村 公二、永田 明弘、前田 陽平、河辺 隆誠、花田 有紀子、川島 佳代子、猪原 秀典	術前診断に苦慮した鼻腔多形腺腫例	日本鼻科学会誌 61(4): 656-662, 2022

### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
大崎 康宏	シンポジウム 2.補聴器・人工聴覚器による難聴へのアプローチ Vibrant Soundbridge	第 123 回日本耳鼻咽喉科学会総会学術講演会 神戸 2022/05/25-28
大塚 進太郎、今井 隆介、鎌倉 武史、西村 洋、大崎 康宏、古川 雅史、安井 俊道、山下 麻紀、中村 恵、岩本 依子、金津 希美、米井 辰一、岡崎 鈴代、廣瀬 正幸	鼓膜チューブ留置術の既往が以前のチューブ留置術の治療成績に与える影響の検討	第 123 回日本耳鼻咽喉科学会総会学術講演会 神戸 2022/05/25-28
巽 清、山本 千尋、中川 あや	経口 GLP-1 作動薬セマグルチド錠投与に関する実態調査研究	第 55 回日本薬剤師会学術大会 仙台 2022/10/09-10
辻村 慶、端山 昌樹、永田 明弘、前田 陽平、河辺 隆誠、花田 有紀子、川島 佳代子、猪原 秀典	術前診断に苦慮した鼻腔多形腺腫の 2 例	第 61 回日本鼻科学会総会学術講演会 金沢 2022/10/13-15
大崎 康宏、土井 勝美	新しい画像解析法を用いた耳硬化症 CT 画像の検討	第 32 回日本耳科学会総会学術講演会 横浜 2022/10/19-21
太田 有美、佐藤 崇、鎌倉 武史、大藪 芳之、真貝 佳代子、森鼻 哲生、大崎 康宏、岡崎 鈴代、川島 隆之、土井 勝美、猪原 秀典	人工内耳インプラントの入れ替えを要した症例の検討	第 32 回日本耳科学会総会学術講演会 横浜 2022/10/19-21
三好 紀子、中川 あや、松本 恵、池田 学	聴覚過敏を訴える自閉症スペクトラムの聴覚検査結果とその経過	第 63 回日本児童青年精神医学会総会学術講演会 松本 2022/11/10-12

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
滝本 泰光、嶋田 琢磨、中川 あや、大崎 康宏	市中病院のめまい外来での最近の臨床統計	第 81 回日本めまい平衡医学会総会学術講演会 奈良 2022/11/16-18
嶋田 琢磨、今井 貴夫、奥村 朋子、西池 季隆、太田 有美、佐藤 崇、鎌倉 武史、大崎 康宏、中川 あや、猪原 秀典	内リンパ嚢開放術における内視鏡の有用性	第 81 回日本めまい平衡医学会総会学術講演会 奈良 2022/11/16-18
伊賀 朋子、今井 貴夫、滝本 泰光、太田 有美、真貝 佳代子、佐藤 崇、鎌倉 武史、大藪 芳之、猪原 秀典	偏中心回転時の半規管動眼反射と耳石器動眼反射の相互作用	第 81 回日本めまい平衡医学会総会学術講演会 奈良 2022/11/16-18
真貝 佳代子、今井 貴夫、滝本 泰光、伊賀 朋子、太田 有美、佐藤 崇、鎌倉 武史、大藪 芳之、猪原 秀典	視運動性眼振の倒錯現象を示す先天性眼振症例の前庭動眼反射	第 81 回日本めまい平衡医学会総会学術講演会 奈良 2022/11/16-18

### □研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
大崎 康宏	補聴器相談医講習 5.最近の補聴器とその価格/6.装用指導	第 36 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋期大会 大阪 2022/11/05-06
辻村 慶、端山 昌樹、北村 公二、前田 陽平、猪原 秀典、永田 明弘	術前診断に苦慮した鼻腔多型腺腫の 2 例	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会大阪地方連合会第 360 回例会 大阪 2023/03/05

### ■ 研修・教育活動

指 導 者・講 師	内 容	実習名・日時
中川 あや	看護学科 学生講義(病態と治療 IV、感覚器・耳鼻科)	学校法人大阪滋慶学園 大阪医療看護専門学校 2022/05/20-11/25

## 《概要》

### ■ スタッフ数

医師（専任2名）	：宮本 直、橋本 拓人
（兼任2名）	：若林 元、三輪 俊格
理学療法士（9名）	：松山 博文、川南 香代子、面田 真也、丹羽 徹、佐々木 大地、 横山 遙香、仲 健太、渡辺 彩、田中 大貴
作業療法士（8名）	：柳沢 崇、横山 由梨子、佐々木 奈央、濱田 亜紀、浅野 雅也、 渡辺 千尋、上村 彩寧、奈良垣 大地
言語聴覚士（3名）	：安藤 敏夫、立石 圭、片尾 奈緒子

### ■ 診療・業務概要

令和4年度も令和元年からの新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でのリハビリテーションの提供を行ってきた。入院患者の依頼件数としては、令和3年度の6,417に対して、令和4年度は6,518と前年比101.8%であった。

#### 1 理学療法部門

理学療法部門への診療依頼件数は、本年度3,012件（前年比104.4%）と前年度より上昇し、そのうち廃用症候群リハビリテーション981件（全体の32.6%）、脳血管疾患等リハビリテーション117件（全体の4.0%）、運動器リハビリテーション463件（全体の15.4%）、呼吸器リハビリテーション679件（全体の22.5%）、がん患者リハビリテーション628件（全体の20.8%）、心大血管疾患リハビリテーション142件（全体の4.7%）であった。今年度の疾患別の内訳をみると、呼吸器リハビリテーションの増加が高く、例年の肺炎だけでなくコロナ感染症患者の増加が影響したと思われる。

#### 2 作業療法部門

作業療法部門への診療依頼件数は、本年度2,594件（前年比97.7%）であり、そのうち廃用症候群リハビリテーション763件（全体の29.4%）、脳血管疾患等リハビリテーション117件（4.5%）、運動器リハビリテーション449件（19.0%）、呼吸器リハビリテーション608件（23.4%）、がん患者リハビリテーション515件（20.1%）、心大血管疾患リハビリテーション140件（5.4%）であった。

前年度に引き続き感染対策を徹底し新型コロナ患者に対するADLの維持改善を目的とした関わりを行った。また部門において、池田市自立支援型ケア会議に参加、加えて認知症支援事業（オレンジカフェ）に参加し地域連携を図った。病棟担当による退院支援の情報をもとに、退院前カンファレンス、癌患者や緩和ケア対象の患者への関わりについての医療者カンファレンス等も積極的に参加、情報提供を行った。

#### 3 言語聴覚療法部門

言語聴覚療法部門へのリハビリ依頼内容は、本年度912件（前年比105%）であった。内訳は、廃用症候群リハビリテーション298件（前年比80%）、呼吸器リハビリテーション326件（同148%）、脳血管疾患等リハビリテーション243件（同117%）、がん患者リハビリテーション45件（同61%）と、かなりの変動があった。呼吸器リハビリテーションでの算定が大幅に増加し次いで脳血管疾患等リハビリテーションが増加に転じている。総依頼数は微増だがコロナ感染患者などの呼吸器疾患への早急な介入が期待された一方で廃用症候群やがん患者に対してのリハビリ依頼は減少しており世相を反映

するような結果になっている。

## 《実績》

### ■ 統計実績（2022.4-2023.3）

#### ◆ 療法別月別依頼件数

療法別月別依頼件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
言語療法	がん患者リハビリテーション	6	2	4	6	8	5	3	4	2		2	3	45
	運動器リハビリテーション			2						1		1	1	5
	呼吸器リハビリテーション	11	23	33	18	34	23	29	28	37	45	18	27	326
	心大血管疾患リハビリテーション	1			2			1						4
	脳血管疾患等リハビリテーション	26	23	27	23	18	15	14	15	29	17	18	18	243
	廃用症候群リハビリテーション	26	32	34	22	17	17	21	20	24	32	21	23	289
作業療法	がん患者リハビリテーション	38	25	46	51	52	50	45	41	37	41	48	41	515
	運動器リハビリテーション	39	44	50	34	28	36	40	44	35	30	41	28	449
	呼吸器リハビリテーション	40	49	43	40	65	53	46	43	69	92	29	39	608
	心大血管疾患リハビリテーション	12	15	13	6	6	11	13	14	9	11	17	13	140
	脳血管疾患等リハビリテーション	11	8	20	10	5	8	9	8	15	2	10	11	117
	廃用症候群リハビリテーション	69	71	79	44	42	68	68	79	47	65	66	67	765
理学療法	がん患者リハビリテーション	46	32	55	53	53	58	53	49	53	56	62	58	628
	運動器リハビリテーション	42	47	41	28	32	36	38	40	42	36	44	37	463
	呼吸器リハビリテーション	41	55	46	51	77	61	47	46	74	99	33	49	679
	心大血管疾患リハビリテーション	12	14	13	6	6	11	13	14	9	13	17	14	142
	脳血管疾患等リハビリテーション	10	8	22	10	5	7	10	8	14	3	11	11	119
	廃用症候群リハビリテーション	85	92	100	54	60	77	84	94	66	88	84	97	981
総計		515	540	628	458	508	536	534	547	563	630	522	537	6,518

#### ◆ 療法別月別実施単位数

療法別月別実施単位数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
言語聴覚士	がん患者リハビリテーション料	69	52	22	62	50	58	39	42	60		15	30	499
	呼吸器リハビリテーション料（1）	269	223	351	344	440	286	362	530	390	453	336	370	4,354
	早期リハビリテーション加算(30日以内)	540	613	757	532	553	445	478	598	581	697	447	613	6,854
	早期リハビリテーション加算(初期加算14日以内)	387	392	545	307	435	286	363	427	438	511	280	441	4,812
	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）	336	290	313	221	213	247	200	182	225	172	206	266	2,871
	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）(廃用)		1	1				2						4
	廃用症候群リハビリテーション料（1）	336	418	475	332	219	268	275	226	277	346	276	341	3,789
作業療法士	がん患者リハビリテーション料	323	314	253	385	473	528	414	378	407	200	352	292	4,319
	運動器リハビリテーション料（1）	710	678	682	668	619	523	546	710	766	408	630	581	7,521
	呼吸器リハビリテーション料（1）	479	373	451	443	572	408	422	480	490	676	425	443	5,662
	心大血管疾患等リハビリテーション料（1）	166	115	134	51	53	108	164	123	94	95	102	147	1,352
	早期リハビリテーション加算(30日以内)	1,507	1,434	1,787	1,201	1,177	1,252	1,355	1,437	1,408	1,225	1,274	1,431	16,488
	早期リハビリテーション加算(初期加算14日以内)	962	918	1,169	739	809	896	938	925	945	907	770	880	10,858
	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）	225	188	238	162	101	131	88	117	126	54	84	207	1,721
廃用症候群リハビリテーション料（1）	715	807	894	506	466	603	683	703	625	476	579	629	7,686	
理学療法士	がん患者リハビリテーション料	488	354	349	391	550	595	521	458	469	329	499	434	5,437
	運動器リハビリテーション料（1）	688	696	737	704	638	627	654	859	825	549	746	758	8,481
	呼吸器リハビリテーション料（1）	455	392	416	484	515	388	453	460	424	733	445	446	5,611
	時間内歩行試験	1	2	2		3	7	3	1	1	2	1	10	33
	心大血管疾患等リハビリテーション料（1）	173	143	144	53	57	109	167	145	79	112	95	145	1,422
	早期リハビリテーション加算(30日以内)	1,669	1,785	2,063	1,525	1,445	1,348	1,582	1,793	1,567	1,539	1,515	1,870	19,701
	早期リハビリテーション加算(初期加算14日以内)	1,126	1,148	1,376	988	955	959	1,117	1,175	1,053	1,085	941	1,150	13,073
脳血管疾患等リハビリテーション料（1）	193	222	295	205	116	119	103	104	124	92	84	182	1,839	
廃用症候群リハビリテーション料（1）	800	910	1,065	617	601	648	746	833	740	678	651	871	9,160	
総計		12,617	12,468	14,519	10,920	11,060	10,839	11,675	12,706	12,114	11,339	10,753	12,537	143,547

## ■ 学術業績

### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
横山 由梨子	「リハビリ 連携 在宅における目標の共有」	院内 地域ケア連携会 (WEB) 2022/8/12
横山 遙香	高齢心不全患者における歩行自立度と身体機能の検討	第51回日本リハビリテーション医学会 近畿地方会学術集会 web 会場 2022/9/3
柳沢 崇	急性期病院における認知症対応(支援)の実際	オレンジフェスタ 2022(認知症啓発イベント) 池田市中央公民館 2022/9/20
横山 遙香	心不全患者の糖尿病合併によるサルコペニアと生活機能への影響	修士論文 大阪公立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科 2022/11/7
横山 遙香	高齢心不全患者における左室駆出率と骨格筋量の関係	第9回日本地域理学療法学会学術集会 WEB 会場 2022/12/3-4
奈良垣 大智、横山 由梨子	「今、求められています！作業療法士」	大阪府作業療法士会 2022年度「第2回豊能ブロック研修会」 WEB 開催 2022/12/16

## ■ 研修・教育活動

### 1 理学療法部門

臨床教育においてはコロナウイルスの影響によって一部実習中止があったが、長期臨床実習として白鳳短期大学、大阪保健医療大学、関西福祉科学大学、甲南女子大学、四條畷学園大学、大阪リハビリテーション専門学校から各1名ずつ（計6名）の学生指導を行った。また、評価実習として大阪リハビリテーション専門学校、関西福祉科学大学、大阪公立大学、京都橘大学から各1名ずつ（計4名）の学生指導を行った。

### 2 作業療法部門

臨床教育においてはコロナウイルス感染の緊急事態宣言による実習中止のため、臨床教育は長期臨床実習として大阪リハビリテーション専門学校（1名）、森ノ宮医療大学（2名）、藍野大学（2名）大阪保健医療大学（2名）大阪府立大学（1名）の8計名、評価実習は箕面学園福祉保育専門学校（1名）、神戸大学（1名）森ノ宮医療大学（1名）の（計3名）の学生指導を行った。

### 3 言語療法部門

臨床教育活動では、緊急事態宣言の発令により実習の中断や受け入れ自体の中止があったが臨床実習として大阪医療技術専門学校（3名）、大和大学（1名）白鳳短期大学（1名）の学生を受け入れ指導を行った。

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

医師：高村主任部長、藤田部長、立川医長、非常勤医師 9 名

技師：関技師長以下 常勤技師 18 名、非常勤月額職員 6 名、非常勤日額職員 1 名、  
非常勤時間給職員 2 名、MRI 補助員 4 名

看護師：竹原師長以下 常勤看護師 11 名、非常勤 7 名、補助員 3 名（ステリ：内視鏡）

### ■ 診療・業務概要

令和 4 年 4 月（2022）～令和 5 年 3 月（2023）までの概要。

CT、MRI、IVR および放射線治療が業務の中心で、RI と一部の胸部 X 線写真の読影、autopsy imaging も行っている。

MRI については、1.5 T と 3T の 2 台体制となって 5 年目で、安定的に稼働している。前年度 7,255 件から、今年度 7,396 件となり、ほぼ同数。コロナ禍の影響により減少していた件数は回復傾向にあるが 2019 年のピーク時 7,577 件まではまだ回復していない。CT については、前年度 15,305 件から、今年度 15,245 件とほぼ同様（2019 年のピーク時 16,355 件）。救急含め、当日依頼の CT 検査が全検査数の 1/3 以上を占めているので、コロナ対策による病床確保で救急外来が制限され、そのため緊急 CT 撮影が減少し、CT の件数が回復していないと考えられる。

超音波検査については、超音波診断・治療センターを参照。

地域医療の MR 検査については、前年度 1,490 件から 1,727 件と、15%増加し、地域医療の CT 検査についても、前年度 1,134 件から 1,213 件と 7%の増加した。コロナ禍の影響が軽減し、回復傾向にある。

放射線治療については、前年度は 228 例で、今年度は 283 件と増加している。

肺癌の体幹部定位放射線治療は今年度は 17 例に行った。前年度より増加している。

他に、技師による超音波検査や応援医師による IVR、RI が行われている。

## 《実績》

2022年度 年間放射線件数

### ◆外来

診療科	一般撮影(単純)	一般撮影(造影)	CT	MR	核医学	計
内科	1,708	13	1,849	123	2	3,695
小児科	216	0	26	43	0	285
外科	134	0	107	1	0	242
整形外科	4,963	12	525	492	2	5,994
皮膚科	106	0	38	25	0	169
泌尿器科	787	38	1,326	437	178	2,766
産婦人科	92	44	402	292	0	830
眼科	3	0	16	26	0	45
耳鼻咽喉科	328	2	572	350	1	1,253
放射線科	56	1	1,213	1,727	92	3,089
麻酔科	27	0	7	55	0	89
リハビリ科	3	0	0	0	0	3
脳神経内科	34	0	52	396	136	618
消化器内科	534	6	1,655	1,742	5	3,942
循環器内科	874	0	388	45	134	1,441
脳神経外科	0	0	11	236	1	248
歯科口腔外科	4,249	0	182	104	1	4,536
健診科	4	0	0	0	0	4
歯科	0	0	0	0	0	0
救急総合科	0	0	0	0	0	0
総合内科	325	0	311	62	0	698
糖尿病・内分泌	251	0	163	35	20	469
血液内科	442	0	200	23	0	665
呼吸器内科	2,834	119	1,222	93	1	4,269
腎臓内科	318	0	99	53	6	476
消化器外科	639	6	2,004	203	1	2,853
形成外科	16	0	159	140	1	316
緩和ケア内科	2	0	3	0	0	5
精神科	5	0	7	0	1	13
乳腺・内分泌外科	430	0	415	151	2	998
呼吸器外科	150	0	332	21	0	503
心臓血管外科	12	0	42	4	0	58
放射線治療科	11	0	12	35	0	58
免疫・膠原病内科	112	0	43	19	0	174
小児外科	4	0	0	0	0	4
計	19,669	241	13,381	6,933	584	40,808

### ◆入院

診療科	一般撮影(単純)	一般撮影(造影)	CT	MR	核医学	計
内科	118	3	40	9	0	170
小児科	15	0	1	1	0	17
外科	3	0	0	0	0	3
整形外科	1,227	2	184	35	3	1,451
皮膚科	20	0	8	4	0	32
泌尿器科	503	72	65	24	2	666
産婦人科	160	1	21	7	0	189
眼科	3	0	1	1	0	5
耳鼻咽喉科	21	1	20	25	0	67
放射線科	1	0	1	0	0	2
麻酔科	4	0	0	1	0	5
リハビリ科	0	0	0	0	0	0
脳神経内科	138	1	114	97	7	357
消化器内科	660	84	370	57	1	1,172
循環器内科	748	4	116	18	60	946
脳神経外科	0	0	2	1	0	3
歯科口腔外科	225	0	10	4	0	239
健診科	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0
救急総合科	0	0	0	0	0	0
総合内科	124	1	99	48	6	278
糖尿病・内分泌	75	0	87	24	0	186
血液内科	323	0	125	19	0	467
呼吸器内科	1,523	24	263	26	4	1,840
腎臓内科	269	0	66	5	1	341
消化器外科	2,103	109	231	45	0	2,488
形成外科	9	0	3	2	0	14
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0
乳腺・内分泌外科	75	0	21	8	0	104
呼吸器外科	346	0	14	0	0	360
心臓血管外科	0	0	2	0	0	2
放射線治療科	0	0	0	2	0	2
免疫・膠原病内科	3	0	0	0	0	3
小児外科	0	0	0	0	0	0
計	8,696	302	1,864	463	84	11,409

## ◆MR 検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
2021年度合計	642	522	614	601	544	604	665	657	634	595	533	644	7,255	
2021年度地域医療室件数	131	108	138	119	99	117	145	150	123	130	98	131	1,489	
2021年度地域医療室利用率	20%	21%	22%	20%	18%	19%	22%	23%	19%	22%	18%	20%	21%	
2022年度	外来件数	424	427	493	447	464	399	411	425	434	423	421	438	5,206
	入院件数	40	34	44	42	39	31	38	37	38	36	37	47	463
	地域医療室	155	154	164	130	126	153	153	137	139	112	124	180	1,727
2022年度合計	619	615	701	619	629	583	602	599	611	571	582	665	7,396	
2022年度地域医療室利用率	25%	25%	23%	21%	20%	26%	25%	23%	23%	20%	21%	27%	23%	

## ◆CT検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
2021年度合計	1,236	1,110	1,375	1,277	1,335	1,310	1,363	1,358	1,396	1,219	1,075	1,251	15,305	
2021年度地域医療室件数	101	59	113	88	89	102	127	117	119	75	59	86	1,135	
2021年度地域医療室利用率	8%	5%	8%	7%	7%	8%	9%	9%	9%	6%	5%	7%	7%	
2022年度	外来件数	970	1,038	1,173	924	943	964	1,018	1,043	1,033	975	1,001	1,087	12,169
	入院件数	143	140	166	132	152	151	145	171	181	148	153	181	1,863
	地域医療室	96	84	115	96	82	89	117	120	101	89	91	133	1,213
2022年度合計	1,209	1,262	1,454	1,152	1,177	1,204	1,280	1,334	1,315	1,212	1,245	1,401	15,245	
2022年度地域医療室利用率	8%	7%	8%	8%	7%	7%	9%	9%	8%	7%	7%	9%	8%	

## ◆核医学検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度合計	50	48	60	55	57	59	53	56	51	59	55	72	675
2021年度地域医療室件数	3	5	4	10	5	7	9	10	8	8	2	10	81
2021年度地域医療室利用率	6%	10%	7%	18%	9%	12%	17%	18%	16%	14%	4%	14%	12%
2022年度合計	62	55	67	65	59	55	49	39	64	46	50	57	668
2022年度地域医療室件数	7	5	11	12	9	6	11	5	4	5	8	9	92
2022年度地域医療室利用率	11%	9%	16%	18%	15%	11%	22%	13%	6%	11%	16%	16%	14%

## ◆腹部血管造影装置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度(人)	9	10	13	12	9	13	14	14	11	13	10	13	141
2022年度(人)	14	17	18	12	15	12	12	6	8	15	14	10	153

## ◆心臓血管造影装置(ペーシング含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年度(人)	27	26	26	26	30	30	34	26	43	26	28	26	348
2022年度(人)	38	28	39	29	17	12	28	36	32	30	22	33	344

## 放射線治療 2022 年度の件数

症例数	
脳・脊髄腫瘍	0
頭頸部腫瘍(甲状腺腫瘍含む)	3
食道癌	12
肺癌・気管・縦隔腫瘍(うち肺)	47(41)
乳癌	107
肝・胆・膵癌	7
胃・小腸・結腸・直腸癌	11
婦人科腫瘍	13
泌尿器系腫瘍(うち前立腺癌)	56(47)
造血器リンパ系腫瘍	23
皮膚・骨・軟部腫瘍	2
原発不明癌	1
良性疾患	1
合計	283

## 2022 年度 放射線稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診察件数	初診	25	26	29	36	25	26	29	21	19	29	23	30	318
	再診	152	161	200	211	259	199	182	243	151	158	204	250	2,370

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診察件数	外来	154	176	220	210	247	196	189	231	153	164	193	247	2,380
	入院	23	11	9	37	37	29	22	33	17	23	34	33	308

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治療患者数	外来	303	367	475	409	484	374	341	401	313	214	292	425	4,398
	入院	60	15	22	115	130	101	58	110	46	70	131	93	951

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
照射門数	外来	1,082	1,387	1,843	1,603	1,676	1,373	1,217	1,389	905	667	1,135	1,438	15,715
	入院	204	48	76	355	446	374	221	419	132	240	460	284	3,259

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治療計画 CT 撮影件数		26	27	31	38	28	28	30	26	14	36	25	35	344

■ 学術業績

□研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会議、日時
上月 喜子玲	SOMATOM go.Top 初期導入 心臓・大血管への対応	第 40 回関西 SOMATOM 研究会 商工会議所 2022/5/28
高村 学	中病院放射線科医の神経放射線診断	第 342 回関西 NR 勉強会 学術講演会 Zoom 2022/11/19

## 麻 醉 科

### 《概 要》

#### ■ 組織・スタッフ

2022 年度は上半期は 11 名、下半期は 10 名のスタッフ構成

植松 弘進（主任部長）：日本専門医機構麻酔科専門医、日本ペインクリニック学会専門医

森 梓（部長）：日本麻酔科学会指導医、日本専門医機構麻酔科専門医、  
日本ペインクリニック学会専門医

別府 曜子（副部長）：日本麻酔科学会指導医、日本専門医機構麻酔科専門医、  
日本ペインクリニック学会専門医

永井 美和子（副部長）：日本麻酔科学会専門医

村田 久仁子（副部長）：日本麻酔科学会指導医、日本専門医機構麻酔科専門医

橘 陽介（副部長）：日本麻酔科学会指導医・専門医、日本集中治療医学会専門医、  
日本産科婦人科学会専門医、日本専門医機構産婦人科専門医  
日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）  
日本性感染症学会認定医、日本救急医学会専門医

西村 祐希（医長）：日本麻酔科学会専門医  
（上半期で退職）

中田 由梨子（副部長）：日本専門医機構麻酔科専門医

神崎 由莉（副部長）：日本専門医機構麻酔科専門医、日本ペインクリニック学会専門医

神崎 亮（副部長）：日本専門医機構麻酔科専門医  
（下半期から異動）

八木 真実（部長）：日本麻酔科学会指導医、日本専門医機構麻酔科専門医

吉藤 正泰（医員）：日本麻酔科学会認定医、日本ペインクリニック学会所属  
（年度途中より産休）

藤田 三千恵（医員）：日本麻酔科学会認定医、日本ペインクリニック学会所属

#### ■ 診療・業務概要

前診察を重視し、積極的に区域麻酔を取り入れ、より安全で質の高い周術期管理を目指しています。ペイン外来においても最先端の技術をもって、疼痛コントロールに努めています。

##### 【麻酔部門】

予定手術の全例で麻酔科医による術前外来を行い、リスク管理に努めることで、より安全・快適な麻酔管理を目指しています。また、ペインクリニック認定施設の特徴を活かして多様な区域麻酔法を併用したり、術後オピオイド PCA を積極的に行うことで、質の高い周術期疼痛コントロールに努めています。

##### 【ペインクリニック部門】

対象疾患：片頭痛、三叉神経痛、脊椎疾患に伴う上肢の痛みや腰痛・下肢痛（頰椎症性神経根症、頰椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など）、関節痛（肩関節周囲炎、肩腱板断裂、変形性膝関節症、仙腸関節症など）、帯状疱疹後神経痛や脳卒中後の痛みなどの神経障害性疼痛、ASO や Burger 病などの血流障害の痛み、がん性疼痛など上記疾患を

対象に、硬膜外ブロックをはじめ、腕神経叢ブロック、頸部神経根ブロック、星状神経節ブロック、肩・膝・股関節ブロック、三叉神経ブロック、神経根ブロック、椎間板ブロック、内臓神経ブロックなど、各種神経ブロックをX線透視下・超音波ガイド下で安全確実に行っていきます。また、高周波熱凝固やパルス高周波法、筋膜リリースなどの低侵襲痛み治療も行っていきます。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### ○麻酔部門

手術室での麻酔科管理症例は合計 2923 件であった。

(全身麻酔 2021 例、脊椎麻酔 659 例、緊急手術 243 例)

腹直筋鞘ブロック、腹横筋膜面ブロック、腰神経叢ブロック、腕神経叢ブロック、浅頸神経叢ブロック、傍脊椎腔ブロック、肋間神経ブロック、(持続) 大腿神経ブロック、坐骨神経ブロック、閉鎖神経ブロック、腸骨筋膜下ブロックなど合計 2225 例の区域麻酔を施行した。

初期臨床研修医の麻酔科研修 8 名、池田市消防本部の依頼で救命救急士 2 名の挿管実習を受け入れた。

#### ○ペインクリニック部門

昨年の新患者は 373 人、再診延患者数 4,785 人であった。

腕神経叢ブロック、頸部神経根ブロック、星状神経節ブロック、肩甲上神経ブロック、肩峰下滑液包内ブロック、三叉神経末梢枝ブロックなど超音波ガイド下の神経ブロック 1,028 例、神経根ブロック、椎間板ブロック、腰部交感神経節ブロック、内臓神経ブロックなどの透視下ブロック 189 例、その他、硬膜外ブロック、トリガーポイントブロックなど合計 3,774 例の神経ブロックを施行した。

### ■ 学術業績

#### □著書・総説

著者	題名	雑誌名、巻号
植松 弘進	4 マスターへの道 11 術後疼痛から守る	臨床整形超音波学 医学書院 2022/8/1 292-296 頁

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
神崎 由莉、植松 弘進、 別府 曜子、吉藤 正泰、 小野 まゆ	人工股関節置換術後に原因不明の広範囲の下位運動ニューロン障害を来した一例	日本ペインクリニック学会第3回関西支部学術集会 現地開催(姫路)/WEB開催 2022/10/15

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

墨 哲郎（病院顧問）：

日本口腔外科学会専門医・指導医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）  
日本口腔科学会所属、日本癌治療学会所属、  
日本口腔腫瘍学会所属、日本頭頸部癌学会所属  
歯科医師臨床研修指導医

雨河 茂樹（主任部長）：

日本口腔外科学会専門医、日本口腔科学会認定医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）  
日本口腔腫瘍学会所属、日本頭頸部癌学会所属、  
歯科医師臨床研修指導医

小川 英美（副部長）：

日本口腔外科学会専門医、日本口腔科学会認定医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）  
日本口腔ケア学会所属、日本癌学会所属

須澤 佳香（副部長）：

日本口腔外科学会所属、日本癌治療学会所属、日本口腔腫瘍学会所属、  
日本化学療法学会所属、日本口腔感染症学会所属、日本感染症学会所属、  
日本バイオマテリアル学会所属、歯科医師臨床研修指導医

歯科技工士：島本 政嗣（技師長）（日本口腔顎顔面技工学会 評議委員）

歯科衛生士：山田 みつ美（主任）、銀羽 かおり、林 智代、松本 郷美、村上 友規

### ■ 診療・業務概要

#### 【外来部門】

##### 1 はじめに

令和4年度の当科の外来部門は歯科医師常勤2名、常勤嘱託医2名に加えて厚生労働省の歯科医師卒後研修（管理型）卒後研修医1名の5名体制で外来診療や口腔ケアセンターの業務に従事しています。

歯科技工士は1名で口腔がん切除後の顎補綴や、入院患者の義歯の作成・修理、気管内挿管時の歯の破折予防のための口腔内装置の作成などを担当しています。また歯科衛生士は6名体制（年度末で1名欠員）で、外来診療業務および口腔ケア業務にあたっています。

##### 2 診療内容

当科は口腔外科疾患全般を幅広く診療しており、今年度の初診患者数は3,586名でした。初

診患者の居住地別分類は図 1 に示すように池田市と川西市がほぼ同数で全体の 76%を占めていました。紹介患者数は表 1 のとおりで、昨年度は 2,336 名、紹介率は 65.1%でした。

尚、当科では令和 2 年度より病診連携を推進するため初診を紹介患者に限定しています。

### 3 疾患内容に関して

疾患内容および外来手術件数は表 2 の通りです。北摂、阪神北地区において、引き続き良好な病診連携体制が構築できているものと思われます。

## 【入院部門】

### 診療内容

入院手術件数は 200 件でした。疾患別の内訳は表 3 の通りですが、近年は歯および歯槽外科手術、舌癌などの口腔悪性腫瘍の手術が増加傾向にあります。

## 《実績》

### ■ 統計実績

図 1 初診患者居住地別分類

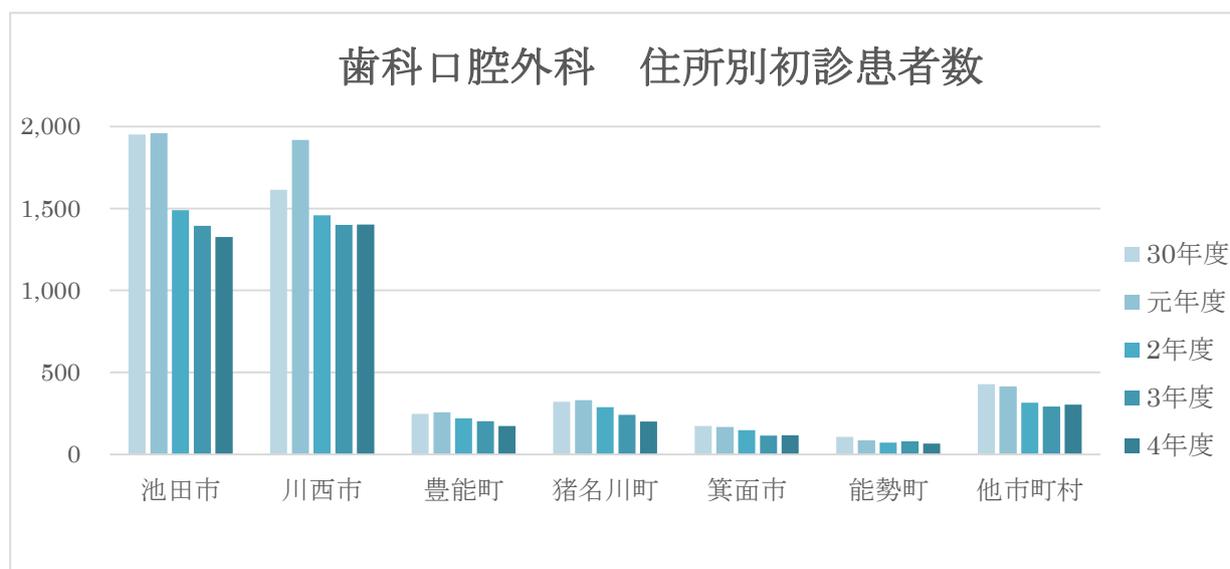


表 1 初診患者紹介元分類

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
市内歯科医院から	997	1043	777	719	737
市外歯科医院から	1,445	1,631	1,407	1,336	1,381
その他の医院、診療所から	363	402	248	233	218
小 計	2,805	3,076	2,432	2,288	2,336
紹介率(%)	58.0	60.0	60.9	61.5	65.1

表 2 外来手術件数(単純抜歯は除く)

外来手術	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
埋伏歯手術	1,140	977	1,040	997	888
難抜歯手術	553	550	452	447	536
歯根嚢胞摘出術	321	393	268	237	163
歯根端切除術	17	26	22	22	15
歯肉歯槽腫瘍手術	9	10	17	8	16
口腔内外消炎手術	81	74	58	38	47
舌腫瘍摘出術	17	27	21	14	12
頬粘膜腫瘍摘出術	6	11	6	6	10
顎骨腫瘍摘出術	50	50	37	18	19
口唇、舌小帯形成術	13	10	7	8	6
口唇腫瘍摘出術	17	33	38	17	16
腐骨除去術	42	38	27	34	35
ガマ腫切開術	1	2	4	1	4
唾石摘出術	4	7	3	0	1
歯槽骨骨折非観血的整復術	2	2	4	1	5
下顎骨骨折非観血的整復術	6	9	3	4	1
上顎骨骨折非観血的整復術	1	0	0	0	0
歯科インプラント摘出術	6	5	4	5	3
その他(開窓術など)	37	50	38	42	31
計	2,323	2,274	2,049	1,899	1,808

表3 入院手術件数 (従たる手術を含む)

入院手術	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
<b>歯・歯槽外科手術</b>					
智歯抜歯術	34	85	75	47	57
智歯以外の抜歯術	25	53	77	62	20
歯根端切除術	8	17	13	8	8
<b>口腔悪性腫瘍手術</b>					
舌癌	7	13	18	13	7
上顎歯肉癌	3	5	4	6	3
下顎歯肉癌	4	5	3	2	6
頬粘膜・口底・口蓋・口唇癌	1	1	2	5	10
頸部郭清術	2	3	10	13	8
その他の悪性腫瘍手術	0	2	4	3	4
<b>再建外科手術</b>					
自家遊離複合組織移植術 (顕微鏡下血管柄付)	1	3	5	6	4
局所皮弁移植術	0	0	0	1	2
人工材料を用いた顎骨再建術	0	0	0	1	1
<b>良性腫瘍・嚢胞等の手術</b>					
顎骨腫瘍摘出術	67	64	77	63	65
軟組織腫瘍切除術	5	5	4	4	2
<b>消炎手術</b>					
膿瘍切開術	0	1	12	8	6
顎骨骨髓炎消炎手術	3	0	0	0	1
腐骨除去術	15	13	15	11	5
<b>唾液腺関連手術</b>					
唾石摘出術	5	2	1	0	1
顎下腺摘出術	0	0	3	2	1
唾液腺良性腫瘍摘出術	1	1	0	0	1
<b>顎顔面外傷手術</b>					
下顎骨骨折手術(関節突起以外)	3	4	1	3	2
関節突起骨折手術	0	0	0	1	1
上顎骨・頬骨骨折手術	0	0	0	0	0
<b>その他の口腔外科手術</b>	21	35	18	20	12
計	205	312	342	279	227

## ■ 学術業績

### □ 著書・総説

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Kubota S, Imai T, Nishimoto A, Amekawa S, Uzawa N.	Extrenal validation of cone-beam computed tomography and panoramic radiography-featured prediction models for inferior alveolar nerve injury after lower third molar removal; proposal of a risk calculator	Odontology 2023 Jan;;111(1), 178-191

### □ 学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
小川 芙美	当科における周術期口腔管理の臨床的意義とその課題	第76回日本口腔科学会学術集会 福岡市 2022/4/21-23
今井 智章、窪田 星子、西元 彩乃、雨河 茂樹、鶴澤 成一	下顎埋伏智歯抜歯後のオトガイ神経領域知覚異常：発症予測モデル外的検証とモデル更新	第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 千葉市 Web ハイブリッド開催 2022/11/4-6
雨河 茂樹、小川 芙美、須澤 佳香、八島 祐希、墨 哲郎	副耳下腺に生じた粘表皮癌の1例	第67回日本口腔外科学会総会・学術大会 千葉市 Web ハイブリッド開催 2022/11/4-6
八島 祐希、小川 芙美、須澤 佳香、墨 哲郎、雨河 茂樹	舌背部に生じた海綿状リンパ管腫の1例	第33回日本口腔科学会近畿地方分会 Web 開催 2022/12/10
須澤 佳香、小川 芙美、八島 祐希、墨 哲郎、雨河 茂樹	上唇に生じた Verrucous Carcinoma に対し labial mucosal advancement flap を用いて再建した1例	第41回日本口腔腫瘍学会 総会・学術大会 Web 開催 2023/1/26-2/28

### □ 研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
雨河 茂樹	口腔外科レベルアップ!! 手術におけるトラブルとその対応	川西市歯科医師会第1回学術集会 川西市歯科医師会館 歯っぴールーム 2022/10/15
小川 芙美	口腔粘膜疾患診断のポイント	大阪府歯科保険医協会 11 月度生涯研修 M&Dホール 2022/11/20
雨河 茂樹	知っておきたい抜歯の偶発症とその対応について	大阪府歯科保険医協会 3 月度生涯研修 M&Dホール 2023/3/5

## 病理診断科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

医師：大橋 寛嗣（部長）：日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医

技師：向井 英代技師長（細胞検査士）、河合 賢技師次長（細胞検査士）、

岩城 真理子技師（細胞検査士）、石田 圭子技師（細胞検査士）、大塚 真弓技師（細胞検査士）

#### ■ 診療・業務概要

組織診断—生検材料や手術材料を組織標本として作製し診断する。

術中迅速診断—手術中に摘出された臓器・組織を液体窒素で凍結して標本を作り、病変断端の診断や悪性腫瘍の転移の有無などの診断。

細胞診—尿、胸腹水など液状検体、喀痰、婦人科子宮スミア、乳腺や甲状腺などの穿刺細胞診の標本作製から診断。

病理解剖—病変の広がりや治療効果の有無など、担当医が疑問に思う事柄を形態学的に追及する。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

##### 1. 2022年度月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診外来	265	278	347	266	304	258	282	287	305	268	256	252	3,368
組織診入院	214	213	239	214	228	248	208	227	222	192	201	239	2,645
細胞診外来	466	479	526	499	457	497	496	492	441	455	388	502	5,698
細胞診入院	86	84	79	77	82	82	95	79	93	86	73	86	1,002
合計	1,031	1,054	1,191	1,056	1,071	1,085	1,081	1,085	1,061	1,001	918	1,079	12,713

##### 2. 病理診断年度別件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
組織診	5,042	5,506	6,028	6,485	5,751	6,263	6,013
細胞診	6,458	6,440	6,463	6,390	6,459	6,998	6,700
合計	11,500	11,946	12,491	12,875	12,210	13,261	12,713

##### 3. 他院術中迅速細胞診断件数 2022年4月～2023年3月 0件

#### 4. 2022 年度 剖検一覽

年齢	性別	出 所	剖検施行日	臨床診断	剖 検 診 断
77	M	呼吸器内科	2022 年 3 月	肺癌	肺扁平上皮癌、右胸腔線維性癒着、胸水、器質化肺炎、誤嚥性肺炎、肺気腫、肝鬱血、肝萎縮、腹水
72	F	血液内科	2022 年 6 月	急性硬膜下血腫	急性骨髄性白血病、悪性リンパ腫治療後、急性硬膜下血腫、胸水、心嚢液、脂肪肝、肝嚢胞、脾嚢胞
73	F	糖尿病・内分泌内科	2022 年 7 月	徐脈性不整脈	右肺誤嚥性肺炎、[徐脈性不整脈]、[電解質異常(高 Na, 低 K)]、肺うつ血、胸水、心嚢液、過形成髓、甲状腺萎縮
89	M	消化器内科	2022 年 8 月	急性汎発性腹膜炎	膵体部癌、上行結腸穿孔、腹腔線維背癒着、化膿性腹膜炎、腹水、胸水、右気管支肺炎
86	F	呼吸器内科	2022 年 10 月	肺癌	肺癌術後、胸膜播種、腹部傍大動脈リンパ節転移、胸水、虚血性腸炎、[敗血症]感染脾、急性尿管細管壊死、
67	M	呼吸器内科	2022 年 11 月	肺癌疑い	浸潤性膵管癌、肺、肝、リンパ節転移、腹水、胸水、肝線維化、結腸憩室、腰部脂肪腫術後、大動脈粥状硬化
89	F	腎臓内科	2023 年 3 月	慢性腎臓病	[細菌性肺炎治療後]器質化肺炎軽度、[慢性腎不全]腎萎縮、嚢胞腎、小動脈硬化、尿管細管萎縮、硬化糸球体、大動脈粥状硬化、腹部大動脈瘤、[中枢性甲状腺機能低下症、粘液水腫性昏睡]甲状腺萎縮、腸粘膜虚血性変化、陳旧性心筋梗塞、胸腔線維性癒着

## 臨床検査科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

医師：森山 康弘副院長兼主任部長、米沢 毅臨床検査医

技師：越知技師長以下 33 名 2022 年 4 月 1 日現在

(正規職員 19 名、再任用職員 1 名、月額職員 2 名、日額職員 4 名、時間給職員 6 名、技能員 1 名)

- ・正規職員 2 名は育児休暇中
- ・採血専従看護師 4 名、採血専従技師 3 名

外部委託検査業者集荷員 (午後 12:00～) 1 名

#### ●資格・認定取得 (複数取得者あり)

超音波検査士 (血管領域)	3 名	認定血液検査技師	2 名
超音波検査士 (循環器領域)	5 名	認定輸血検査技師	1 名
超音波検査士 (消化器領域)	1 名	血液二級臨床検査士	2 名
超音波検査士 (泌尿器領域)	1 名	緊急臨床検査士	2 名
超音波検査士 (体表領域)	1 名	糖尿病療養指導士	4 名
超音波検査士 (健診領域)	1 名	臨床工学技士	2 名
血管診療技師	3 名	二級甲類臨床病理技術士 (循環生理学)	1 名
認定心電図技師	2 名	第二種 ME 技術認定士	2 名

#### ●所轄する委員会：臨床検査科運営委員会、輸血療法委員会

#### ■ 診療・業務概要

##### 【検体検査】

- 生化学・免疫：一般生化学、腫瘍マーカー、ホルモン、ウイルス抗体価、ウイルス抗原検査、他
- 血液：血算、血液像、骨髓像、止血、他
- 一般：検尿、便潜血、穿刺液、他
- 細菌：一般細菌、抗酸菌、各種迅速検査、PCR 検査、他
- 輸血：血液型、交差適合試験、不規則抗体、直接クームス、血液製剤管理、他
- 採血室業務

##### 【生理検査】

心電図、ホルター心電図、超音波 (心臓・頸動脈・上肢・下肢血管・腎動脈・アキレス腱)、トレッドミル、脳波、呼吸機能、ABI/CAVI、神経伝導速度、ABR、ASSR、InBody 検査、健診、他

<時間外緊急検査> 生化学、免疫、血液、止血、一般、輸血、細菌 (迅速) 等の緊急対応項目

<外注委託検査> SRL (八王子ラボ)、BML

<治験検査> ・検体採取管の確認と検体の分離・保存・管理

・ HANZ の有効性及び安全性評価に関する探索的臨床試験

今年度より人間ドック閉鎖、健診業務はそのまま継続。自動血球計算装置シスメックス XE5000 と

XE2100 更新時期を向かえ新規にシスメックス XR3000 と XR1000 購入となった。また、脳波装置、ホルター心電図解析装置も耐用年数が超え故障した為、急遽購入となった。

採血室では無人自動受付機の稼働が始まり、受付の混雑の解消になった。来年度は予約採血システムを稼働し、採血室の混雑を解消し業務の効率化を推進していく。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### <外来・入院別件数>

外 来	月	一般	血液	生化学	細菌	輸血	生理	合計
	4	28,468	17,375	113,209	1,647	1,214	1,617	163,530
	5	28,031	39,650	111,292	1,714	1,226	1,667	183,580
	6	30,741	43,696	121,733	1,823	1,411	1,897	201,301
	7	27,015	38,913	105,489	1,618	1,135	1,575	175,745
	8	28,024	39,374	110,304	1,599	1,141	1,500	181,942
	9	29,074	41,023	114,917	1,551	1,124	1,616	189,305
	10	25,911	40,289	112,313	1,622	1,166	1,575	182,876
	11	25,870	38,524	112,281	1,460	1,204	1,566	180,905
	12	26,363	38,780	109,513	2,246	1,065	1,450	179,417
	1	25,457	38,815	109,180	1,644	1,055	1,327	177,478
	2	24,297	37,369	104,477	1,485	943	1,484	170,055
	3	29,254	42,881	120,268	1,433	1,153	1,797	196,786
	合 計	328,505	456,689	1,344,976	19,842	13,837	19,071	2,182,920

入 院	月	一般	血液	生化学	細菌	輸血	生理	合計
	4	2,848	17,375	38,183	925	350	288	59,969
	5	3,002	17,827	38,957	941	357	291	61,375
	6	2,902	19,185	41,267	1,092	343	326	65,115
	7	2,337	17,004	37,092	945	290	248	57,916
	8	2,312	17,391	38,133	1,032	303	173	59,344
	9	2,055	16,529	35,434	1,070	348	180	55,616
	10	2,696	17,496	38,070	1,043	447	197	59,949
	11	3,408	17,426	39,085	954	396	262	61,531
	12	2,919	16,703	37,258	1,499	338	252	58,969
	1	2,481	17,032	38,146	991	381	237	59,268
	2	2,689	16,457	36,411	1,029	337	256	57,179
	3	2,783	18,002	39,753	1,056	424	294	62,312
	合 計	32,432	208,427	457,789	12,577	4,314	3,004	718,543
総合計	360,937	665,116	1,802,765	32,419	18,151	22,075	2,901,463	

<年度別件数>

	尿・糞便	血液	生化学	細菌	輸血	生理	合計
2018	387,218	597,873	1,752,288	36,481	16,832	25,301	2,815,993
2019	381,492	612,231	1,812,836	38,080	17,966	23,672	2,886,277
2020	378,631	586,602	1,733,457	32,936	18,033	21,014	2,770,673
2021	346,808	413,118	1,325,113	21,234	14,636	19,007	2,139,916
2022	360,937	665,116	1,802,765	32,419	18,151	22,075	2,901,463

<判断料・加算>

項目	算定料	件数	金額
時間外緊急院内検査加算	1,100	10,081	11,089,100
検体検査管理加算(Ⅰ)	400	59,560	23,824,000
検体検査管理加算(Ⅳ)	5,000	6,340	31,700,000
血液化学検査入院初回加算	200	5,670	1,134,000
外来迅速検体検査加算	100	121,274	12,127,400
骨髓像診断加算	2,400	346	830,400
輸血管理料Ⅰ	2,200	1,229	2,703,800
輸血適正使用加算Ⅰ	1,200	1,229	1,474,800
貯血式自己血輸血管理体制加算	500	116	58,000
嫌気培養加算	1,150	5,322	6,120,300
生化学的検査(Ⅰ)判断料	1,440	58,445	84,160,800
生化学的検査(Ⅱ)判断料	1,440	23,423	33,729,120
免疫学的検査判断料	1,440	54,444	78,399,360
血液学的検査判断料	1,250	58,844	73,555,000
尿・糞便等検査判断料	340	20,901	7,106,340
微生物学的検査判断料	1,500	11,133	16,699,500
呼吸機能検査判断料	1,400	2,876	4,026,400
脳波検査判断料	1,800	359	646,200
神経・筋検査判断料	1,800	686	1,234,800
合計			390,619,320

### 自主研究(消化器内科)

EBR/GZR	9名	14件	→	3本に分注し凍結保存
GLE/PIB	9名	14件	→	3本に分注し凍結保存
HCV コアジェ/マウイレット	9名	9件	→	依頼書作成し検査提出

### 血清保存

血清保存 1本	47名	56件	→	2本に分注し凍結保存
血清保存 2本	31名	34件	→	4本に分注し凍結保存
血漿保存 1本	1名	2件	→	2本に分注し凍結保存
血漿保存 1本	1名	1件	→	2本に分注し凍結保存
血清未開栓保存 1本	1名	1件	→	遠心後凍結保存

### 治験

治験外注	3名	23件
自主臨床研究 NY-ESO-1 保存用	2名	4件
自主臨床研究	73名	147件

## ■ 学術業績

### □研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
金澤 佳代	採血時、検体提出時注意点など	新人看護師研修 2022/4/6
金澤 佳代	ZEROにおける試薬バーコード運用	日本電子 BM セミナー グランフロント大阪 2022/6/19
兒谷 香里	当院で実施している新型コロナウイルス検査 ～採取方法や注意点について～	第2回 感染全体研修 2023/3/13-31

## ■ 研修・教育活動

### 【院内活動実績】

- 糖尿病教育入院<検査について>講義：毎週木曜日（15時～16時）
- ICT ラウンド：毎週水曜日（9時45分～11時30分）
- AST カンファレンス毎週火曜日、木曜日
- NST ラウンド：毎週木曜日（13時～14時）
- NST 専門療法士研修（外部実習生）講義：年2回（春、秋）
- 臨床検査技師学校学生臨地実習：2校
  - 森ノ宮医療大学：受け入れ中止
  - 神戸常盤大学：受け入れ中止
- 薬剤部実習生見学：年3回（4名、1時間）

**【2022 年度外部精度管理サーベイ評価】**

- 日本臨床検査技師会 (評価項目数:256) 100 点
- 日本医師会 (評価項目数:50) 97.6 点
- 日本超音波検査学会超音波画像 (心臓・血管) B評価

## 精神科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

平成 27 年 4 月から院内標榜であるが精神科が設置された。  
令和 4 年度は常勤医師 中島 陽の 1 名体制で診療を行っている。

中島 陽：日本精神神経学会認定指導医・専門医・認知症診療医、精神保健指定医、  
認知症サポート医、公認心理師

#### ■ 診療・業務概要

外来診療は、月曜日の午後診察を担当している。外来診療は標榜していないこともあり、原則として入院中に精神科医師が対応した患者の退院後のフォローを行うものとし、外来での初診は対応していない。身体疾患のために当院精神科でなければ対応が困難な患者は継続通院としているが、それ以外の患者は地域への逆紹介を進めている。

入院診療は、当科による入院すなわち精神疾患による入院は行わないが、身体疾患のために入院した患者の精神症状・精神疾患に対し、主科と連携して加療する。病状や緊急性により、精神科リエゾンチームや緩和ケアチームを介して対応する場合と、精神科医単独で介入する場合がある。

精神科リエゾンチームでは責任者として多職種での活動を通して精神的な問題の解決だけでなく、院内での精神疾患の理解や啓蒙、かかりつけ医との病診連携に努めている。

緩和ケアチームでは責任者兼精神専任医師として、がん患者や慢性身体疾患患者のせん妄や抑うつに対して専門性を生かし相談者に対して助言や指導を行っている。また、精神症状がみられる患者に対しては適宜精神療法を行っている。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
外来患者数	289	320	379	425
入院精神療法 (I)	17	67	173	121
入院精神療法 (II) (6 か月以内)	383	301	741	736
救急搬送後 3 日以内に 入院精神療法を算定した件数	24	20	40	29

#### ■ 学術業績

##### □ 研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
中島 陽	医療者におけるメンタルヘルス対策	市立池田病院地域連携室定例会 市立池田病院 zoom 形式 2022/10/14
中島 陽	「認知症の医学的理解」 ～オレンジサポーター養成講座～	池田市事業 介護者向け講演会 池田市中央公民館 2022/10/14

## 救急総合診療部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

日勤帯は専従医師 1 名、兼務ではあるが総合内科医 1 名、そして臨床研修医 2-3 名、看護師 5 名で診療に当たっています。夜間診療は各科の責任のもと、救急外来を中央部門として、内科系医師 1 名、外科系医師 1 名、循環器内科医師 1 名、産婦人科医師 1 名、初期研修医 1 名、看護師 2 名により診療が行われています。また、金曜日、日曜日（1、3、5 週）は小児科医師が豊能広域こどもセンターの輪番病院として当直をしています。

#### ■ 診療・業務概要

当院は 2 次救急指定病院で、主な診療科は内科、外科、小児科（平日昼間・夜間は輪番日）、産婦人科となっています。昼間は専従の医師 2 名を配置し、夜間は内科系、外科系、循環器内科当直医により診療が行われています。救急総合診療部では救急車の受け入れ、時間外の救急受診患者、通常の外来を受診され緊急性が高いとトリアージされた患者さまの診療を行っています。診療にあたっては、必要に応じて各専門科と連携し、引き続き専門的な診療・治療が必要と判断された場合は、各専門科の入院加療または外来通院へ繋げていきます。また、重症肺炎、重症感染症、全身状態が不良の方の緊急手術など集中治療を要する場合は適時高次医療機関への転送も行っています。

内科系は、緊急対応が必要と考えられる症状を有する患者さまの診療を優先的に行います。

外科系は、一般外傷（重症外傷は高次対応をお願いしています）の診療を行っています。

昨今 COVID-19 の流行に伴い、発熱や症状から疑いを常に意識したトリアージを行い、安全に初期診療を受けることができるよう感染対策を行っています。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

病院統計＜業務概要 - 患者状況＞を参照

#### ■ 研修・教育活動

令和 4 年度は、COVID-19 の影響を踏まえ、研修では人数に制限を設け、環境や感染に注意しながら DC や STEMI、挿管困難事例の勉強会を行いました。日々感染対策に必要な PPE の着脱の指導は実践の中で行い、安全に IC ルームの診療を行うことができるようにしています。また、多くの方が参加できることを目的に、各部署単位の勉強会として、ミニ ICLS、急変時の対応（ラピッドレスポンス）などを行っています。

初期研修医には勤務終了後には ICLS の教育を行ったり、毎週水曜日の朝に症例検討会が積極的に行われており好評です。

## 中央手術部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

中央手術部 部長：高知 耕（消化器外科主任部長）

看護 次 長：松本 登美江

主任 看護 師：塩見 弘子、越智 貴子、中野 絢香

手術看護認定看護師：脇本 英昭

手術室を利用する各診療科医師・総務課・感染対策部・医療安全・質管理部・臨床工学技士など多職種をメンバーとする中央手術部運営会議を毎月実施している。

#### ■ 診療・業務概要

##### 1) 安全かつ効率的な手術室の運用

手術室では高度化・複雑化している手術に対応するため、医師・麻酔科医師・看護師・臨床工学技士など多職種がチームになって、万全の体制を整えている。

安全に手術を実施するため、手術室看護師は術前訪問し、身体の状態や疑問・不安に対応し、負担を和らげるよう努めている。また、手術開始時には執刀医師・麻酔科医師・器械だし看護師・外回り看護師は、一旦手を止めてブリーフィングを実施し、全員で注意すべき点の情報を共有している。インシデントについては月例の中央手術部運営会議で内容を検討し、再発予防に努めている。

##### 2) 急性期医療への対応と人材育成

地域のニーズに応えられるよう断らない救急を目指し、安全・安心を提供するために、麻酔科医師と共に手術の調整を行い、迅速・緊急手術を受け入れられる体制を整えている。

手術医療は低侵襲手術・ロボット手術など多様性や複雑性、ハイリスク患者が増えているため、育成やキャリアの継続性を行うための教育支援を強化し、手術看護専門領域を担う看護師の人材育成を推進している。

##### 3) ロボット（ダビンチ）手術の実際

ロボット手術は既存手術と同等の有効性があり、患者の負担も少なく安全性がある上に精度の高い手術が可能となっている。当院でも2022年2月よりダビンチ手術が導入となり、泌尿器科・婦人科・消化器外科で2022年度は152件実施している。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

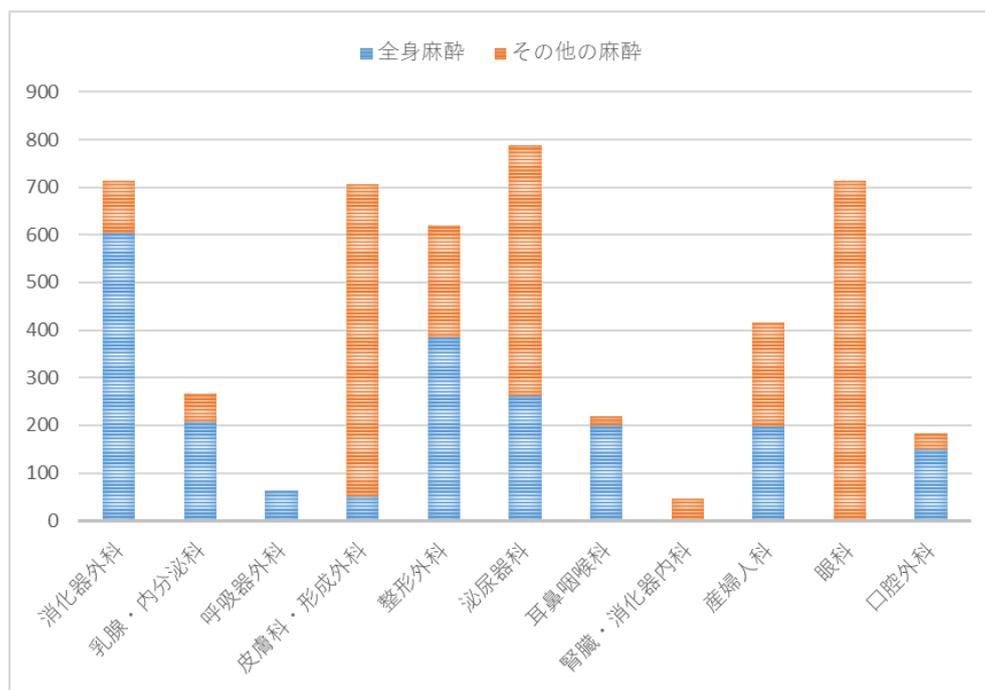
##### 手術件数と全身麻酔件数について

2022年度の手術件数は総数4,739件、全身麻酔の件数は2,020件であった。

緊急手術は243件、臨時手術は725件と臨時緊急比率は20.4%であった。新型コロナウイルス感染症の発生より3年が経過し、手術室においても感染対策を徹底することで2021年度より手術件数は増加している。

手術件数と全身麻酔件数について

2022年度(2022年4月～2023年3月)			
診療科	合計	全身麻酔	その他の麻酔
消化器外科	808	602	206
乳腺・内分泌外科	173	111	62
呼吸器外科	63	63	0
皮膚科・形成外科	707	50	657
整形外科	620	385	235
泌尿器科	789	263	526
耳鼻いんこう科	219	199	20
腎臓・消化器内科	46	0	46
産婦人科	417	198	219
眼科	713	0	713
歯科口腔外科	184	149	35
総計	4,739	2,020	2,719



■ 研修・教育活動

指導者・講師	内容	実習名・日時
脇本 英昭	研修医に対する手術室オリエンテーション	新規採用職員向け合同研修 プログラム 2022/4/5
脇本 英昭	安全なラテックスフリー環境・術中感染対策	東レ・メディカル主催 web セミナー 2023/3/11

## 臨床研修部

### 医師(医科・歯科)臨床研修

#### I. 初期研修

##### 《概要》

##### ■ 組織・スタッフ

臨床研修部 部長 岡田 拓也 事務 山本 朗央、跡部 香織、西山 サチコ  
初期臨床研修医 研修医1年目 8名(大阪大学コース1名) 歯科臨床研修医1名、  
研修医2年目 8名

研修医1年目(R4) 松下 武史、松下 直樹、李 佳禧、和泉原 朱、淡田 公久、  
柴野 究、廣橋 伸太、下村 美月  
大阪大学医学部附属病院(協力型研修病院—大阪大学コース)  
井上 真生  
八島 祐希(歯科臨床研修医)

研修医2年目(R3) 今中 友香、櫻井 義正、高木 宏太、谷口 裕郁、中山 俊雄、  
西 健太郎、花房 賢爾、山田 雅彬

臨床研修管理委員会

病院長：尾下 正秀(消化器内科)

副院長：尾崎 由和(副委員長 小児科) 太田 博文(消化器外科) 森山 康弘(血液内科)

プログラム責任者：岡田 拓也(臨床研修部長、糖尿病・内分泌内科部長)

副プログラム責任者：濱 直樹(外科代表、消化器外科部長)

基本診療科の代表者：大谷 安司(呼吸器内科)、荻山 秀治(消化器内科)、永井 邦彦(循環器内科)、山本 聡子(腎臓内科)、那波 一郎(脳神経内科)、若林 元(整形外科)、近藤 由佳理(皮膚科)、井上 均(泌尿器科)、竹原 幹雄(産婦人科)、中尾 武史(眼科)、大崎 康宏(耳鼻いんこう科)、高村 学(放射線科)、森 梓(麻酔科)、伊藤 基敏(救急総合診療部)、大橋 寛嗣(病理診断科)、村上 慎一郎(総合診療研修プログラム責任者 総合内科)、雨河 茂樹(歯科臨床研修プログラム責任者 歯科・歯科口腔外科)、澤井 良之(内科専門研修プログラム責任者 消化器内科)

事務局代表：斎藤 芳朗(事務局次長) 看護部代表：松本 保子(副看護部長 看護部教育担当)

薬剤部代表：下村 一徳(薬剤部長) コメディカル代表：関 康(医療技術部長)

第3者外部委員：青木 和男(元池田市立秦野小学校校長)、芥川 茂(あくたがわクリニック院長 協力型施設実施責任者代表)

協力型施設の実施責任者：原 保夫(原クリニック)、松永 美佳子(千里ペインクリニック)、澤 滋(さわ病院)、宇佐 美哲郎(能勢町国民健康保険診療所)、徳永 正朝(公立種子島病院)

初期研修医代表：山田 雅彬(2年目)、松下 武史(1年目)

オブザーバー：中島 陽(精神科)、島越 洋美(消化器内科)

臨床研修部事務担当：山本 朗央(経営企画課)

## ■ 診療・業務概要

1. 臨床研修管理委員会（年4回予定 6, 9, 12, 3月の第2木曜日+臨時で開催、歯科別途1回予定）

今年度は、9月の臨床研修管理委員会は中止となり年3回の開催となった。

基本診療科の代表に加え、医師以外の指導者（看護師、薬剤師、医療技術部技師、事務）代表、研修医1年目、2年目代表各1名が参加。指導医、研修医ごとの進捗状況を把握し、改善すべき事項について話し合いを行った。

2. EPOC2

多面的評価を行い研修の進捗状況をリアルタイムで把握した。

3. 内科カンファレンス（月4～5回 毎週火曜日 16:00～17:00）

担当研修医が病棟・外来で経験した症例を上級医の指導の下、プレゼンテーションをし、臨床経験を共有した。

4. 多職種のカンファレンスへの参加（月1～2回 不定期）

MRM（医療安全）NST（栄養管理）やICT（感染制御）、ECC（倫理）地域連携などの横断的なチーム医療に対する理解を深めるため多職種カンファレンスへの参加を促進した。

5. 臨床病理検討会（CPC）

2022年度は6回開催。初期研修医が病理解剖に参加し、その症例の問題点を指導医とともに考察し、プレゼンテーションを行った。

6. 学会発表

初期研修医は1年間1演題の学会発表を必須とし、達成した。

## 《実績》

### 1)2022年度 主な年間活動等

4月1日◇	辞令交付式、オリエンテーション
4月4日～8日◇	新採用初期研修医・職員に対して多職種合同オリエンテーションを実施。 新型コロナウイルス感染防止を徹底し、感染管理、接遇マナー、BLS研修を行った。BLS研修は、研修医2年目もインストラクターとして参加をした。
4月6日	On job trainingを開始した。
4月後半	当直業務を開始。 ER型当直として内科系および外科系外来当直医師のサポートのもとに平日および休日の日当直業務を2～3回/月程度行った。
5月～	火曜日の基礎レクチャー開始。 「カルテの書き方、病棟・救急での点滴の出し方、考え方、院内コンサル、紹介状の書き方 もしあなたが余命半年といわれたら？ ACPなど」
6月20日	倫理研修会「患者さんのカンファレンス法」循環器内科 古川先生 老人看護専門看護師 稲野聖子
7月3日	レジナビフェア 2022 大阪 インテックス大阪に参加した。
7月5日	ICLS 研修（7/5, 12/10, 3/25）

7月9日	緩和ケア研修会
7月30日、8月5日	初期臨床研修医採用試験。医師、看護師、薬剤師の多職種で面接・評価を行った。50名の応募(うち3名辞退)から8名を採択。
8月10日	歯科臨床研修医採用試験、2名の応募から1名を採択。
11月1日	CV穿刺シミュレーター研修
11月15日	倫理研修会「高齢患者のせん妄対策」総合内科 青木先生 老人看護専門看護師 稲野聖子
11月29日	DC・挿管勉強会
12月20日	倫理研修会「高齢患者のポリファーマシーへの対応」総合内科 青木先生 老人看護専門看護師 稲野聖子
1月17日	「児童虐待について」小児科 新谷先生
1月20日	基本的臨床能力評価試験
1月27日、2月3日	メンタルヘルス研修
2月	「あなたのここがすばらしい」アンケート 研修医同士でお互いの良いところを認めあうことで、より一層チームワークを深め、研修への意欲を高めた。
2月18日	近畿厚生局病院説明会(グランキューブ大阪)に参加した。
2月27日	指導医、上級医 看護師 薬剤師、臨床検査技師ら多職種の投票によりベスト研修医(1年目、2年目)を選出し、医務局会議で発表と表彰を行った。
3月4日	阪大内科系科合同説明会(大阪大学)に参加した。

#### ◇令和4年卒臨床研修医オリエンテーションについて(令和4年4月1日～8日)

4月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修プログラムについて</li> <li>・研修理念について</li> <li>・死亡診断書、死体検案書など診断書の書き方</li> </ul>
4月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修概要</li> <li>・病院長の挨拶</li> <li>・地方公務員とは</li> <li>・池田市について、市立池田病院の基本理念</li> <li>・福利厚生について</li> <li>・メンタルヘルスについて</li> <li>・公立病院としての当院の取り組み</li> <li>「薬剤部研修」</li> <li>・EPOCについて</li> </ul>
4月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染管理(講義、実習)</li> <li>「手術室見学」</li> </ul>
4月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント研修</li> <li>・当院の新型コロナウイルス感染症に対する取り組み</li> <li>・カルテ記載について</li> <li>・医療保険制度、診療報酬制度について</li> <li>・接遇マナー研修</li> <li>・研修総括、その他(物品管理他)</li> </ul>
4月7日、8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BLS研修</li> </ul>

## 2) 令和4年度 臨床研修スケジュール

### 初期研修プログラム

※ (たすきは3/31まで)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
	4/4-5/1	5/2-5/29	5/30-6/26	6/27-7/24	7/25-8/21	8/22-9/18	9/19-10/16	10/17-11/13	11/14-12/11	12/12-1/8	1/9-2/5	2/6-3/5	3/6-4/2	
R4 T松下 武史	呼吸器	救急	循環器	総内/神経	呼吸器内科 (内科選)	救急	消化器	血液	救急 (選択)	内分泌・腎	救急	放射線科 (選択)	循環器内科 (選択)	
R4 N松下 直樹	循環器	総内/神経	呼吸器	救急	内分泌・腎	総合内科 (内科選)	血液	救急	消化器	救急	放射線科 (選択)	循環器内科 (選択)	外科	
R4 李 佳禧	救急	呼吸器	内分泌・腎	救急	麻酔科	血液	救急	循環器	総内/神経	消化器	腎臓内科 (内科選)	呼吸器内科 (内科選)	耳鼻科 皮膚科	
R4 和泉原 朱	救急	内分泌・腎	消化器	呼吸器	血液	救急	放射線科 (選択)	総内/神経	外科	循環器	循環器内科 (選択)	血液内科 (内科選)	麻酔科	
R4 淡田 公久	救急	循環器	血液	放射線科 (選択)	救急	消化器	血液 (内科選)	内分泌・腎	呼吸器	総内/神経	救急	内分泌・腎 (内科選)	呼吸器内科 (内科選)	
R4 柴野 究	消化器	血液	救急	救急 (選択)	循環器	内分泌・腎	総内/神経	呼吸器	救急	救急	小児科	血液内科 (内科選)	皮膚科 整形	
R4 廣橋 伸太	血液	救急	総内/神経	循環器	消化器	呼吸器	内分泌・腎	救急 10/17-11/13	麻酔科 11/7-12/4	救急	放射線科 (選択)	循環器内科 (選択)	総合外来 (選択)	救急
R4 下村 美月	総内/神経	消化器	救急	内分泌・腎	救急	麻酔科	呼吸器	救急	循環器	血液	糖尿病 (選択)	救急	腎臓内科 (内科選)	
R4 井上 真生	内分泌・腎	救急	病理診断科 (選択)	血液	総内/神経	循環器	救急	消化器	腎臓内科 (内科選)	呼吸器	麻酔科		救急	
R4 八島 祐希	歯科研修													

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
R3 今中 友香	検査	総外	能勢町	外科		小児科	腎臓内科	整形外科	皮膚科	緩和	産婦人科	精神科	糖尿病・ 内分泌					
R3 櫻井 義正	内腎	外科		小児科	皮膚科	総外	種子島	検査 (放科)	麻酔科	産婦人科	緩和	精神科	循環 (ICU)	外科	形成			
R3 高木 宏太	呼内	総外	麻酔科	検査 (放射線科)	総外	整形外科	総 皮膚科	あくたがわ	外科		循環器内科	精神科	小児科	緩和	総			
R3 谷口 裕郁	総神	総外	皮膚科	腎臓内科	総合外来	産婦人科	外科		精神科	種子島	小児科	整形外科	検査 (放)	総外				
R3 中山 俊雄	総神	小児科	総外	整形外科	緩和	総外	精神科	産婦人科	種子島	総外	検査 (放科)	外科	皮膚科	検査 (放科)	外科			
R3 西 健太郎	産婦	麻酔科	総外	検査 (放射線科)	緩和	泌尿器	精神科	総 皮膚科	整形外科	総	能勢町	小児科	耳鼻科	眼科	総	外科	循環 (ICU)	腫
R3 花房 賢爾	外科		検査 (放射線科)	総外	麻酔科	小児科	総外	産婦人科	精神科	皮膚科	総合外来	整形外科	検査 (放科)	あくたがわ	総合外来			
R3 山田 雅彬	呼内	眼科	総合外来	精神科	耳鼻科	緩和	検査 (放科)	外科		小児科	脳神経内科	麻酔科	種子島	神	整形外科			

## 3) 令和4年度研修終了後の臨床研修医の進路(令和3年度入職)

市立池田病院 4名 谷口 裕郁(腎臓内科) 中山 俊雄(消化器内科) 西 健太郎(糖尿病・内分泌内科) 花房 賢爾(消化器内科)  
 山田 雅彬(市立豊中病院 脳神経内科) 今中 友香(JCHO病院 腎臓内科)  
 高木 宏太(JCHO病院 循環器内科) 櫻井 義正(大阪医療センター 消化器外科)

## 4) 病院説明会 ( )は来訪者数

レジナビ大阪 7月3日 インテックス大阪 (69名)  
 近畿厚生局病院説明会 2月18日 グランキューブ大阪 (25名)  
 大阪大学内科系科合同説明会 3月4日 大阪大学 (14名)

## 5) JAMEP 基本的臨床能力評価試験 (令和4年1月25日実施)

令和3年度研修医 7名、令和4年度研修医 8名 + 大阪大学たすきがけ 1名

	受験病院数	順位	当院平均点	偏差値	全体平均点
1年次	542	228	44.00	49.65	44.28
2年次	566	110	49.14	54.16	45.47
総合	475	138	46.25	51.67	44.85

## 6) 学生実習 計 29 名

実習期間	大学名	人数	実習診療科
5月30日～6月3日	大阪大学	3	消化器内科
6月6日～6月17日	大阪大学	1	泌尿器科
6月6日～6月17日	大阪大学	1	小児科
6月6日～7月1日	大阪医科薬科大学	1	産婦人科
6月6日～6月17日	大阪大学	2	血液内科
6月6日～6月17日	大阪大学	2	消化器外科
9月12日～9月22日	大阪大学	2	消化器外科
10月3日～10月4日	大阪大学	1	小児科
10月5日～10月6日	大阪大学	1	小児科
11月7日～11月8日	大阪大学	1	小児科
11月9日～11月11日	大阪大学	1	小児科
11月15日	大阪大学	3	病理診断科
1月4日～1月13日	大阪大学	1	消化器外科
1月23日～1月27日	大阪大学	3	消化器内科
2月6日～3月3日	大阪医科薬科大学	1	産婦人科
2月20日～2月24日	大阪大学	2	糖尿病・内分泌内科
3月6日～3月10日	兵庫医科大学	2	内科(消内、循内、糖内)
3月13日～3月24日	兵庫医科大学	1	消化器外科

## 7) 学生見学 (計延べ 185 名 歯科含む)

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
大阪大学	65	広島大学	4	東京大学	1
鳥取大学	14	熊本大学	4	東京慈恵会医科大学	1
滋賀医科大学	10	近畿大学	4	神戸大学	1
愛媛大学	10	奈良県立医科大学	3	山梨大学	1
大阪医科薬科大学	7	東北大学	3	山口大学	1
福井大学	6	岐阜大学	3	国際医療福祉大学	1
三重大学	6	岩手医科大学	3	香川大学	1
和歌山県立医科大学	5	富山大学	2	関西医科大学	1
高知大学	5	東海大学	2	岡山大学	1
大阪公立大学	5	島根大学	2	旭川医科大学	1
大分大学	4	産業医科大学	2		
兵庫医科大学	4	弘前大学	2	合計	185

## 8)臨床病理検討会 CPC

開催日	題名
5月24日	肺扁平上皮癌に対し免疫チェックポイント阻害薬を使用後、急性肺障害及び腎障害を来した1例(櫻井)
9月6日	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の化学療法後に急性硬膜下血腫を発症し骨髄穿刺より急性骨髄性白血病の合併が判明した1例(淡田、李、井上)
11月8日	膵体部癌で経過観察中に消化管穿孔を来した1例(高木)
1月24日	高ナトリウム血症と低カリウム血症の治療中に心停止を来した高齢女性の1例(谷口、中山、下村)
2月14日	肺癌化学療法中に大腸炎を発症し敗血症性ショックで死亡した1例(山田、松下武史)
2月21日	原発巣の特定に難渋した1例(柴野)

病理診断医、指導医のもと、剖検症例の臨床経過を詳細に検討して問題点を整理し、剖検結果に照らし合わせて総括し、疾病・病態について理解を含めた。発表をしていない研修医は書記を務めた。

## 9)臨床研修医採用試験（マッチング試験）、歯科臨床研修医採用試験

令和5年度の臨床研修医に50名（3名辞退）の応募があった。書類・面接による選考試験（2022年7月30日、8月5日）を行ない、研修医選考会を開いてマッチングでの順位を決定。以下の8名の研修医がマッチングした。井上 雅隆（大阪大学）、木田 萌瑛（兵庫医科大学）、阪本 直優（大阪大学）、高梨 真樹（東海大学）、田中 可南子（福井大学）、橋本 敦史（大阪大学）、山崎 隆一郎（大阪大学）、和田 隆太郎（大阪大学）  
大阪大学医学部附属病院（協力型研修病院—大阪大学コース）飯原 卓哉（熊本大学）、徳島 里加子（三重大学）

令和5年度の歯科臨床研修医は、2名の応募があり、書類・面接による選考試験（2022年8月10日）を行い、藤島 匠汰（奥羽大学）が採用となった。

## 10)ベスト研修医

全医師と看護部・薬剤部・臨床検査部代表の投票により2名のベスト研修医を選出。2023年2月27日の医局会で発表し、表彰式を行った。

1年目ベスト研修医：淡田 公久、2年目ベスト研修医：今中 友香

## ■ 学術業績

### □学会・研究会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
松下 直樹(令和4年度入職)	シタフロキサシン治療抵抗性の肺膿瘍にラスクフロキサシンで治療できた1例	第237回日本内科学会近畿地方会 ハイブリッド開催 千里ライフサイエンスセンター 2022/9/10
高木 宏太(令和3年度入職)	減量治療だけで著明に改善した肥満低換気症候群にともなう重度肺高血圧症の1例	第237回日本内科学会近畿地方会 ハイブリッド開催 千里ライフサイエンスセンター 2022/9/10
下村 美月(令和4年度入職)	ベンプロリズム投与後、中枢性副腎不全に続き劇症1型糖尿病を発症した1例	第59回日本糖尿病学会近畿地方会 神戸国際会議場 2022/11/5
花房 賢爾(令和3年度入職)	胃癌胃壁内転移にを EUS-FNA で診断し得た1例	第109回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会 京都リサーチパーク 2022/11/5
西 健太郎(令和3年度入職)	SARS-CoV-2 ワクチン接種後の体調不良を契機に ACTH 単独欠損症の診断に至った2例	第23回日本内分泌学会近畿支部学術集会 奈良県コンベンションセンター 2022/11/26
山田 雅彬(令和3年度入職)	VP シヤント術により意識障害の改善を認めた特発性正常圧水頭症の1例	第238回日本内科学会近畿地方会 WEB 開催 2022/12/10
廣橋 伸太(令和4年度入職)	腸間膜脂肪織炎を伴った高齢発症の全身性エリテマトーデス(SLE)の1例	第238回日本内科学会近畿地方会 WEB 開催 2022/12/10
中山 俊雄(令和3年度入職)	EUS-FNA にて診断したカンジダによる膵膿瘍の1例	日本消化器病学会近畿支部第118回例会 みやこメッセ 2023/1/21
和泉原 朱(令和4年度入職)	画像診断に苦慮した乏血性膵神経内分泌腫瘍の1例	日本消化器病学会近畿支部第118回例会 みやこメッセ 2023/1/21
柴野 究(令和4年度入職)	若年発症の急性心筋梗塞の1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター 2023/3/4
李 佳禧(令和4年度入職)	ニューマトセルの破裂で緊張性気胸・膿胸になった1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター 2023/3/4
今中 友香(令和3年度入職)	イコデキストリン含有透析液による除水困難により、4.25%ブドウ糖含有透析液による自動腹膜透析を行った1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター 2023/3/4
淡田 公久(令和4年度入職)	びまん性大細胞性 B 細胞性リンパ腫(DLBCL)の化学療法後に急性硬膜下血腫を発症しその後急性骨髄性白血病(AML)と診断された症例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター 2023/3/4
松下 武史(令和4年度入職)	壊死性筋膜炎の改善に伴い洞不全症候群が改善した1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター 2023/3/4

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
櫻井 義正(令和3年度入職)	左肺上葉切除術後に肺静脈断端と肺動脈に血栓を認めた1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター 2023/3/4
谷口 裕郁(令和3年度入職)	肺 MAC 症の経過観察中に MPO-ANCA 陽性急速進行性糸球体腎炎を発症し、ステロイドとリツキサンにて治療を行った1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター 2023/3/4

## 外来化学療法センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

センター長 : 太田 博文 (消化器外科)

副センター長 : 森山 康弘 (血液内科)、安座間 隆 (乳腺・内分泌外科)

担当薬剤師 : 大河 万颯、山口 唯、森井 悠介、近谷 仁志、松井 駿亮

担当看護師 : 井出 美里、山本 紅葉、森岡 倫代

#### ■ 診療・業務概要

大阪府のがん拠点病院として、がん患者に対する外来化学療法を推進していくため、安全で効果的な治療・ケア、及びがんとつきあえる患者環境を支援する。

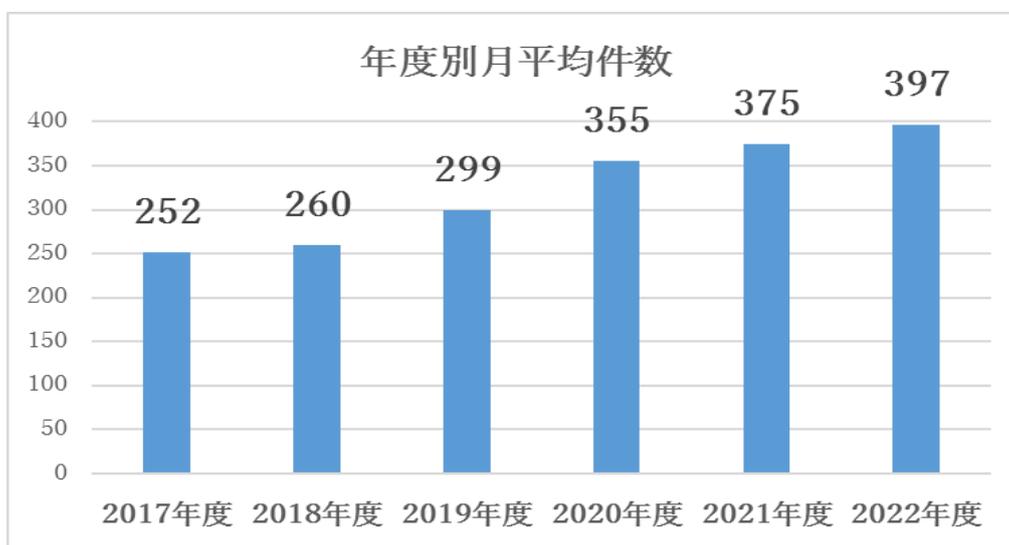
### 《実績》

現在、化学療法は、支持療法の進歩、分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬などの新規薬剤の開発・導入により、効果及び治療期間の延長にて外来治療の意義はさらに大きくなっている。外来化学療法センターは、2016年3月末に8床から11床へ3床増床、さらに2020年1月に3床増床し計14床での運用となった。しかし、化学療法件数は増加の一途をたどっており、外来化学療法センターのベッド不足のためやむを得ず入院で化学療法を実施する症例も散見されており、ベッド不足の問題や患者数増加に対応するスタッフの拡充は引き続き喫緊の検討課題となっている。

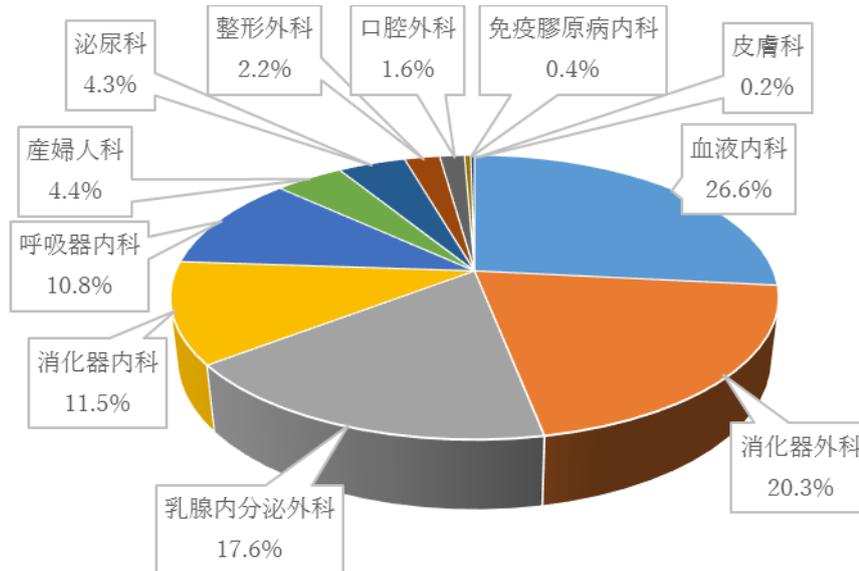
外来化学療法センターでは自然滴下制御式の薬剤注入コントローラー「フローサイン」の使用により安全・安心な化学療法を実践している。抗がん剤の調製から投与まで閉鎖式システムを完備し、医療従事者への職業曝露防止対策を行う環境整備についても継続している。また、看護師によるCVポート及び静脈穿刺の継続、薬剤師による継続的薬剤管理指導を行っており、医師の負担軽減が図れている。

年々、がん患者の患者層は高齢化してきており、外来化学療法センターのスタッフは、多様化・複雑化する治療方法や副作用への対応だけでなく、多岐にわたるケアが必要となっている。今後は栄養士・MSWなどを含めた院内での多職種間の連携に加え、保険薬局薬剤師を含めた地域の多職種スタッフとの連携強化が必要と考える。

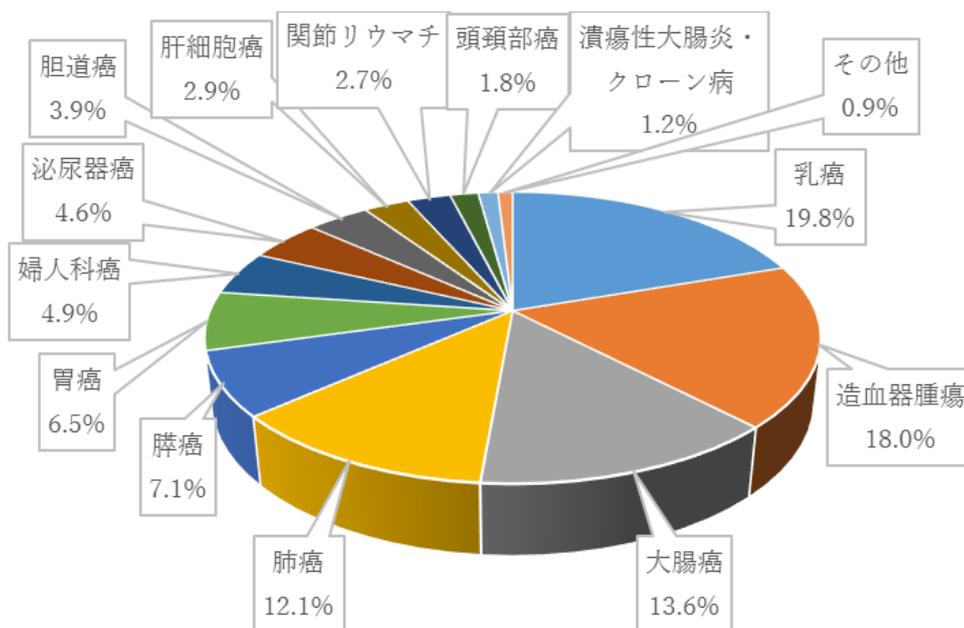
#### ■ 統計実績 【外来化学療法センター利用実績の推移】



【診療科別割合】 施行件数 : 4,765 件/年



【疾患別割合】 施行件数 : 4,765 件/年



【新規レジメン申請】

化学療法レジメン審査会開催件数 : 16 回 / 2022 年度

新規レジメン登録件数 : 計 27 件

泌尿器科レジメン : 7 件、血液内科レジメン : 6 件、消化器内科レジメン : 5 件  
産婦人科レジメン : 3 件、乳腺外科レジメン : 3 件、呼吸器内科レジメン : 2 件  
消化器外科レジメン : 1 件

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

センター長：太田 博文（副院長）

看護師：栄口 秀子、吉野 葵、小林 身和子、音地 真理、東 かおり

社会福祉士：林 浩美、岸 茜

### ■ 相談業務概要

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターでは、がん患者や家族、国民に対しての情報提供の担い手として、がん相談支援センターの業務の中で、拠点病院に関する情報提供を求められている。2008年の「がん診療拠点病院等の整備に関する指針」の中でがん相談支援センターが行うべき事項が明示されており、この指針はがん対策推進基本計画の改定に沿って更新されている。現在の指針は2018年7月に発出されたものである。現在の整備指針で示されているがん相談支援センターの役割は、予防・検診から、治療や療養全般に関わる相談、そしてゲノム医療や希少がん、AYA世代に特化した課題やがん生殖医療に関わる相談と多岐にわたり、地域情報の収集提供や患者会などへの支援など、地域ネットワークの構築や資源創出を含む広範な役割を担うことが求められている。

#### 1. がん相談支援センターの業務

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針（平成30年7月）より抜粋

- (ア) がんの病態や標準的治療法等、がんの治療に関する一般的な情報の提供
- (イ) がんの予防やがん検診等に関する一般的な情報の提供
- (ウ) 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能及び、連携する地域の医療機関に関する情報の提供
- (エ) セカンドオピニオンの提示が可能な医師や医療機関の紹介
- (オ) がん患者の療養生活に関する相談
- (カ) 就労に関する相談（産業保健総合支援センターや職業安定所等との効果的な連携による提供が望ましい。）
- (キ) 地域の医療機関におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
- (ク) アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
- (ケ) HTLV-1 関連疾患である ATL に関する医療相談
- (コ) 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援
- (サ) 相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取組
- (シ) その他相談支援に関すること

以下に示す項目については自施設での提供が難しい場合には、適切な医療機関を紹介すること。

- (ス) がんゲノム医療に関する相談
- (セ) 希少がんに関する相談

- (ソ) AYA 世代にあるがん患者に対する治療療養や就学、就労支援に関する相談
- (タ) がん治療に伴う生殖機能の影響や、生殖機能の温存に関する相談
- (チ) その他自施設では対応が困難である相談支援に関する事

## 2. がん相談支援センターについて

2014 年より、患者相談窓口と連携しながら対応を行っている。メンバーは、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、社会福祉士で構成されており入院後もサポートできるよう努めている。

## 3. がん看護外来について

がん看護相談窓口に先駆けて、2013 年よりがん看護専門看護師による「がん看護外来」を開設し、病名や再発告知後の精神的支援や治療選択における意思決定などの支援を行っている。2021 年度は、がん看護専門看護師が中心となり業務遂行にあたった。

相談窓口と異なる点として、医療者ががん看護に専門看護師の介入が必要と感じられた際に、患者・家族へ導入について説明があり、同意が得られた場合に受診していただく流れである。

## 4. 都道府県がん診療連携拠点病院連結協議会 がん相談支援センター部会

部会では、拠点病院で実施されている情報提供および相談支援体制の機能強化と質的な向上を図ることを目的としている。

大阪府では、「相談支援センター部会」として平成 19 年 7 月 6 日に設置され、年に 2 回大阪国際がんセンターが事務局となり活動を行っている。

## 5. がん患者サロンについて

当院では「ひまわりサロン」の名称で、当センターとも連携を図っている。

## 《実績》

### ■ 統計実績

がん相談支援センター及び、がん看護外来の実績

- がん相談支援センター件数・・・87 件/年  
相談内容：がんの治療、症状・副作用、不安・精神的苦痛、セカンドオピニオンなど
- がん看護外来件数・・・117 件/年  
介入内容：診療の同席、病状説明内容の確認、治療の選択、生活・療養の相談、療養場所の選択、不安など

### ■ 研修・教育活動

- がん診療連携拠点病院の相談支援機能に関する指定要件により「国立がん研究センターがん対策情報センターによる研修会を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ 1 人以上配置すること」とあり、相談支援センターには、この要件を満たす看護師や社会福祉士等の資格を持つ複数人の相談支援を行うための人員配置が求められている。

<相談支援センター相談員研修・基礎研修 修了者 計5名>

◎相談支援センター相談員研修・基礎研修(1)～(2) 修了2名

◎相談支援センター相談員研修・基礎研修(1)～(3) 修了3名

- がんのゲノム医療の実用化に必要な医療従事者として、がんのゲノム医療に関する遺伝子関連検査、患者・家族への伝え方、多職種との連携、意思決定支援等について必要な知識・態度・技術の習得を目指している。

<がんゲノム医療コーディネーター研修会 修了者1名>

<第24回遺伝性腫瘍セミナー ロールプレイ研修 修了者1名>

## 内視鏡センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

消化器内科医 13 名（専攻医 3 名含む）、呼吸器内科医 5 名（専攻医 1 名含む）、  
内視鏡センター看護師 19 名（内視鏡技師 4 名）

当院は、日本消化器内視鏡学会により指導施設として認定されている。

（日本消化器内視鏡学会 指導医 尾下/荻山/山口/村田 4 名

専門医 尾下/荻山/山口/村田/島越/鬘 6 名）

日本呼吸器内視鏡学会により認定施設として認定されている。

（日本呼吸器内視鏡学会 指導医 田幡 1 名 専門医 田幡 1 名）

令和 4 年 4 月入職

消化器内科専攻医 大川 芹（R2）、東野 克温（R2）

消化器内科専攻医 浜辺 友也（H30）

令和 4 年 4 月退職

消化器内科専攻医 市立豊中病院へ異動 箕浦 悠太郎（H30）

近畿中央病院へ異動 杉尾 諒（H29）

大阪大学へ異動 相馬 一超（H29）

消化器内科専攻医 市立豊中病院へ出向 北中 崇雄（H31）

市立伊丹病院へ出向 石川 史彬（H31）

#### ■ 診療・業務概要

▶安全で苦痛の少ない検査・治療の施行

▶検査待ちの少ない迅速な検査を行うため検査枠の拡充

（上部下部内視鏡検査・処置枠の拡大、鎮静下内視鏡・経鼻内視鏡検査枠の拡大）

▶緊急検査への柔軟な対応

▶若手医師の育成

上記内容为目标とし、上部消化管・下部消化管・胆膵・呼吸器疾患を対象とした内視鏡を用いた検査・治療業務を行っている。

・平成 27 年 9 月より従来施行していた胃の ESD に加えて食道・大腸の ESD を本格的に開始。

・胆膵内視鏡の充実を目指して、平成 30 年度より EUS/FNA の検査枠を週 3 回に増加。

・内視鏡技師（看護師）の役割拡大として、平成 28 年度より試験運用していた EMR/クリッピング/点墨等の直接介助を平成 29 年度より開始。平成 30 年度より ESD の介助も開始して、医師の増員なく、内視鏡処置件数の増加を図れる様に努めている。

・上部消化管内視鏡の前処置を検査室内から検査室外へ変更し、時間あたりの検査件数増加を試みている。（平成 29 年度より継続）

- ・鎮静内視鏡の希望者増加に対応できるよう、従来のベッドをリクライニングシートに変更するなどして、リカバリースペースの効率的な運用を開始している。（平成 29 年度より継続）
- ・cold polypectomy の導入により、出血リスクを抑えて小型のポリープ切除が可能となった事で、外来大腸ポリープの内視鏡的切除の件数が増加している。
- ・平成 29 年度より富士フィルムの内視鏡システム（経口・経鼻上部内視鏡）を導入。BLI・LCI 等の特殊光観察が可能となった。
- ・平成 30 年度より閉塞性大腸癌における bridge to surgery としてのステント留置術を開始。
- ・平成 30 年 3 月にショートタイプ・ダブルバルーン内視鏡「EI-580BT」を導入し、術後再建腸管症例での胆道処置が可能となった。
- ・2020 年 1 月大腸ロングビデオスコープ「PCF-H290ZL」導入。
- ・2021 年 12 月 ERCP スコープ「TJF-290V」導入。
- ・2022 年 4 月スタッフ情報共有を密に行うため、ESD、ERCP 時の連絡票の作成を開始した。
- ・2022 年 5 月消化器内視鏡学会に JED データ（消化器内視鏡データ）登録開始
- ・2022 年 8 月 COVID-19 蔓延時、上部消化管内視鏡検査・処置時に N95 マスクの使用開始。
- ・2022 年 9 月から豊能町の対策型胃癌検診開始

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	EGD/CS EUS	EGD/CS/ESD /気管支鏡 カプセル内視鏡	EGD/CS /EUS	PEG/ EGD/CS APC/EUS EIS/EVL	EGD/CS /気管支鏡
午後	EGD/CS ESD	ERCP/CS ESD	CS/ESD	ERCP/CS	EGD/CS

月曜日 16 時 30 分 消化器内科回診

水曜日 17 時 消化器内科抄読会

金曜日 16 時 30 分 内視鏡病理カンファレンス

## 《実績》

### ■ 統計実績

内視鏡検査件数まとめ (MM コーポレーション情報提供)

2022 年度件数

上部	観察	経口内視鏡	2,853
		経鼻内視鏡	134
	治療	ESD	70
		止血	52
		EMR・ポリペクトミー	12
		EIS	6
		EVL	26
		APC	15
		PEG 造設	17
		PEG 交換	32
		その他	45
超音波内視鏡	観察	超音波内視鏡	177
	治療	EUS-FNA	66
		EUS ガイド下ドレナージ	5
下部	観察	下部観察内視鏡	1,072
	治療	EMR・ポリペクトミー(入院)	177
		EMR・ポリペクトミー(外来)	685
		ESD	48
		止血	28
		APC	7
		下部バルーン拡張	1
その他	27		
バルーン内視鏡		上部ダブルバルーン	11
		下部ダブルバルーン	2
肝胆膵	観察・造影	ERCP	15
	治療	総胆管結石治療 EST	63
		EML	43
		ERBD	168
		ENBD	7
		ERPD	28
		EPLBD	8
		ERCP(ダブルバルーン)	9
内視鏡的胆道拡張術	0		
その他	カプセル	カプセル内視鏡	14

気管支鏡	観察	気管支鏡検査(観察)	10
	治療	気管支鏡検査(生検)	12
		生検+気管支肺胞洗浄	12
		気管支肺胞洗浄	3
		局所麻酔下胸腔鏡検査	10
		EBUS-GS	92
		EBUS-TBNA	17
総計			6,079

## ■学術業績

### □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Shichijo S, Yamaguchi S, Nakamatsu D, Inoue T, Nakahara M, Ogiyama H, Yamada T, Kinoshita K, Ishihara R, Michida T, Nishida T, Tsujii Y, Hayashi Y, Shinzaki S, Fukui K, Ito Y, Kitamura M, Honma K, Morii E, Takehara T; Osaka Gut Forum.	Local recurrence after endoscopic resection of sessile serrated lesions: A multicenter prospective study by the Osaka Gut Forum.	J Gastroenterol Hepatol. 2022 Dec;37(12):2306-2312.
Tajiri A, Ishihara R, Kato Y, Inoue T, Matsueda K, Miyake M, Waki K, Shimamoto Y, Fukuda H, Matsuura N, Egawa S, Yamaguchi S, Ogiyama H, Ogiso K, Nishida T, Aoi K, Tada T.	Utility of an artificial intelligence system for classification of esophageal lesions when simulating its clinical use	Sci Rep. 2022 Apr 23;12(1):6677.

### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
座長 荻山 秀治	一般演題 口演 32「上部 食道 腫瘍 3」 座長	第 103 回日本消化器内視鏡学会総会 国立京都国際会館 2022/5/14
荻山 秀治、上月 美穂、松島 健祐、谷口 マリア、瀬戸 華世、岩崎 哲也、栗山 大輔、堀木 優志、佐野村 珠奈、今中 和穂、飯石 浩康、村山 洋子、筒井 秀作	早期胃癌に対するESD 施行症例でのピロリ菌感染ステータスと患者背景、腫瘍因子の検討	第 28 回ヘリコバクター学会学術集会 ホテルヒューイット甲子園 2022/6/24
荻山 秀治、上月 美穂、松島 健祐、谷口 マリア、瀬戸 華世、岩崎 哲也、栗山 大輔、堀木 優志、佐野村 珠奈、今中 和穂、飯石 浩康、村山 洋子、筒井 秀作	当院における大腸 ESD の治療成績の検討	JDDW2022 福岡 2022/10/28
花房 賢爾、浜辺 友也、村田 淳、大川 芹、東野 克温、福嶋 裕子、鬘 瑛、島越 洋美、山口 典高、小来田 幸世、澤井 良之、荻山 秀治、尾下 正秀、大橋 寛嗣	胃癌胃壁内転移をEUS-FNAで診断し得た1例	第 109 回日本消化器内視鏡学会近畿支部 例会 京都リサーチパーク 2022/11/5

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
中山 俊雄、山口 典高、東野 克温、 大川 芹、浜辺 友也、福嶋 裕子、 鬻 瑛、島越 洋美、村田 淳、 小来田 幸世、澤井 良之、 荻山 秀治、石田 永、尾下 正秀	EUS-FNA にて診断したカンジダによる膵膿瘍の一例	第 118 回日本消化器病学会近畿支部 みやこめっせ(京都) 2023/1/21
和泉原 朱、浜辺 友也、村田 淳、 大川 芹、東野 克温、福嶋 裕子、 鬻 瑛、島越 洋美、山口 典高、 小来田 幸世、澤井 良之、 荻山 秀治、尾下 正秀	画像診断に苦慮した乏血性膵神経 内分泌腫瘍の一例	第 118 回日本消化器病学会近畿支部例会 みやこめっせ(京都) 2023/1/21
大川 芹、島越 洋美、東野 克温、 浜辺 友也、福嶋 裕子、鬻 瑛、 村田 淳、山口 典高、小来田 幸世、 澤井 良之、荻山 秀治、尾下 正秀	ブデソニド内服にて軽快した狭窄を 伴った好酸球性食道炎の 2 例	第 19 回日本消化管学会総会学術集会 京王プラザ(東京) 2023/2/4
東野 克温、島越 洋美、大川 芹、 福嶋 裕子、鬻 瑛、村田 淳、 山口 典高、荻山 秀治、石田 永、 尾下 正秀	SLE の関与が考えられた蛋白漏出性 胃腸症の一例	第 239 回近畿地方会 日本内科学会近畿支 部主催 大阪国際交流センター 2023/3/4

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

センター長：岡田 拓也（内分泌・代謝内科部長）  
医師：井上 佳菜、藤田 真吾、山本 聡子、西村 賢二  
看護師：鬼追 美也子、根来 絢子、脇山 かほる  
管理栄養士：長谷 良太  
薬剤師：森實 真生  
臨床検査技師：井上 幸子  
理学療法士：横山 遙香  
歯科衛生士：銀羽 かおり  
医療管理課：高見 雅子

### ■ 診療・業務概要

#### 1 糖尿病患者指導

多職種からみて、療養生活の改善が必要だと考える患者への指導をおこなっている。療養生活の改善とは「良好な血糖コントロールや合併症進行予防、QOLの向上」であり、患者が長く療養生活を行える支援をいう。療養指導の内容は、インスリン自己注射指導、自己血糖測定指導、フットケア指導、個人栄養指導などをおこなっている。

近年では療養支援だけにとどまらず、独居の高齢患者の自己療養が困難症例に対し、支援体制の整備が必要となっている。今後は外来であっても、患者をとりまく支援者と協力しながら環境調整・療養継続できるよう支援していきたい。

糖尿病患者の主な指導内容

- \* インスリン自己注射指導
- \* 自己血糖測定指導
- \* フットケア指導
- \* 栄養指導
- \* 運動療法指導
- \* 透析予防指導
- \* 生活指導

#### 2 慢性腎臓病看護外来

主な原因疾患として糖尿病が多いが、それ以外の原因疾患の患者も対象である。腎機能の低下をきたし、日常生活に支障を来している患者や、そのリスクが高い患者を対象に、2021年1月から慢性腎臓病看護外来・腹膜透析看護外来を開設した。

腎機能低下が著しく、透析が目前になってきた患者へは、腎代替療法の選択支援もおこなっている。血液透析・腹膜透析・腎移植の説明を行いながら、患者が意思決定できるよう支援する。

慢性腎臓病患者への主な指導内容

- \* 透析予防指導
- \* 慢性腎臓病看護指導
- \* 腹膜透析看護指導
- \* 腎代替療法の選択支援

## 《実績》

### ■ 統計実績

全病棟を対象に1回/週の回診をセンター所属各専門スタッフにて行い、糖尿病の療養指導についての検討をセンター所属全員で行なっている。

2022. 4. 1～2023. 3. 31

月27回以下	1,110
月28回以上	4,077
インスリンポンプ	66
栄養指導 集団	44
個人	349
看護指導	2,430
フットケア	84
糖尿病教育パス入院	179
慢性腎臓病外来	125
腹膜透析看護外来	81

### ■ 研修・教育活動

#### ◆糖尿病専門医

医師：4名

#### ◆腎臓専門医

医師：2名

#### ◆糖尿病療養指導士認定者 11名

看護師：4名

管理栄養士：1名

薬剤師：3名

検査技師：2名

理学療法士：1名

## 人工透析センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

1998年9月14日から運用開始となった人工透析センター（2004年10月に「人工透析室」から名称変更）は25年目を迎えた。

山本 聡子：腎臓内科部長 兼 人工透析センター長

総合内科専門医、日本腎臓学会指導医、日本透析医学会専門医

西村 賢二：腎臓内科医長、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会指導医

藁田 明希：腎臓内科医員（2022年3月退職）

梶原 信之：腎臓内科非常勤医師

新川 由里：主任看護師、腹膜透析認定指導看護師

杉山 隆志：臨床工学技士次長、看護師、第二種ME技術実力検定

穴井 恵理：臨床工学技士主任、臨床検査技師、透析療法認定士、第二種ME技術実力検定  
透析液安全管理者認定

辻本 大樹：臨床工学技士、第二種ME技術実力検定

#### ■ 診療・業務概要

2022年度からは腹膜透析療法や腎代替療法選択指導の業務が加わり、腎不全患者に対する保存期から腎代替療法選択、血液・腹膜透析といった一連の診療を担うことになった。これらに対する継続した看護を目的とし、看護師は人工透析センター・3北病棟・外来を統括したチーム制に移行した。

血液浄化療法は下記に対応している

1. 急性腎不全に対する血液浄化法
2. 保存期慢性腎臓病患者の維持血液透析療法の導入
3. 慢性維持血液透析患者の検査・治療入院
4. 血液透析以外の血液浄化療法

### 《実績》

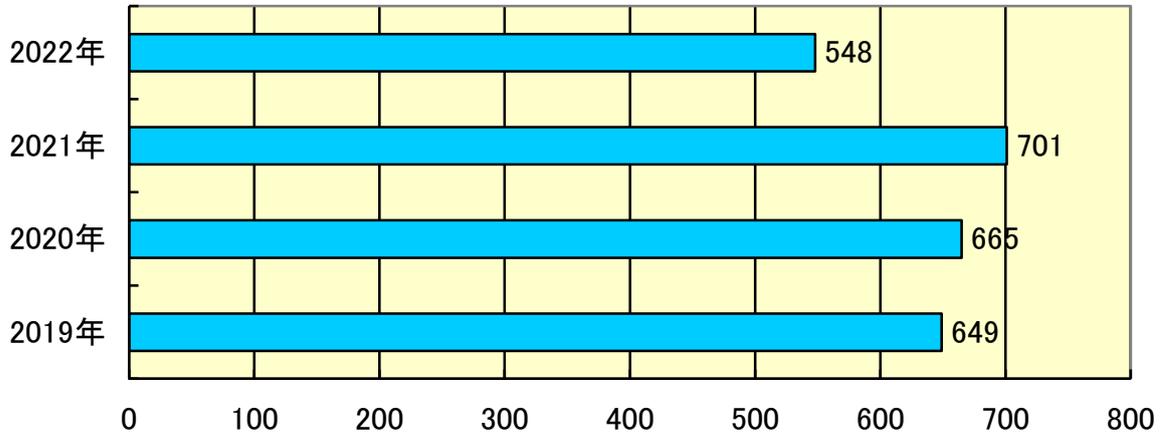
#### ■ 統計実績

2022年度に血液透析を行った患者は保存期慢性腎不全からの導入31例と慢性維持透析患者63例の計94例であった。

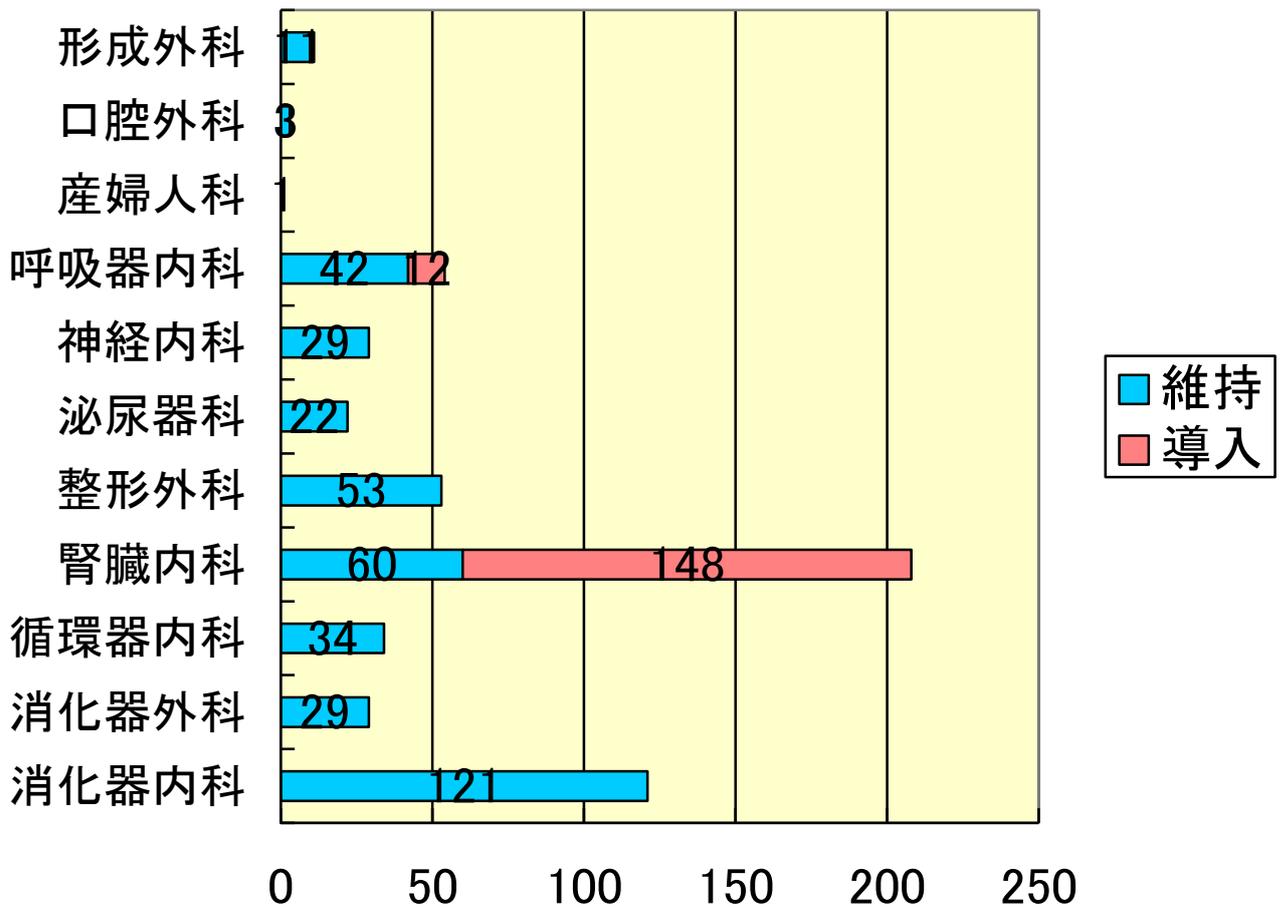
死亡した3例を除いて他の透析施設に転院または外来通院となった。

[血液透析の実施件数]

年度別血液透析件数(件)

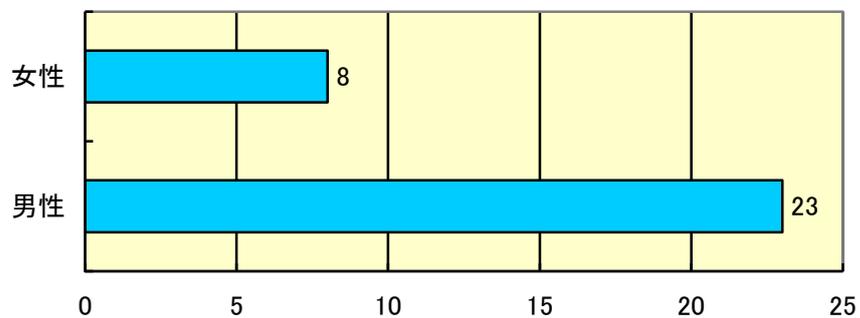


診療科別血液透析件数(件)

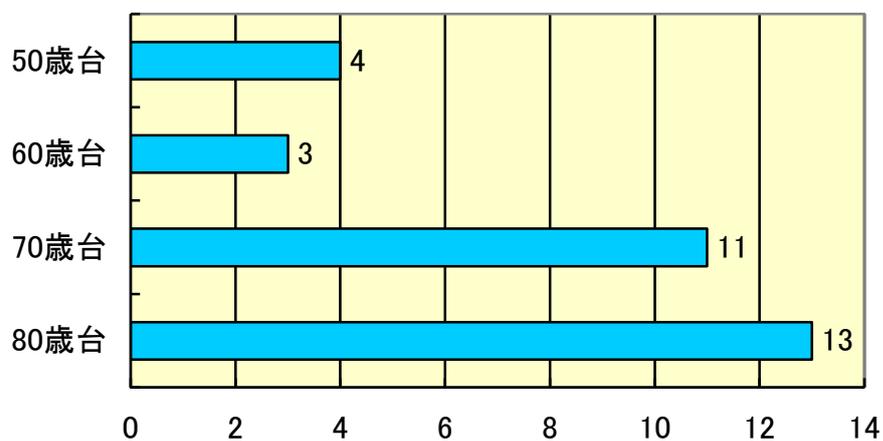


## [血液透析導入患者の詳細]

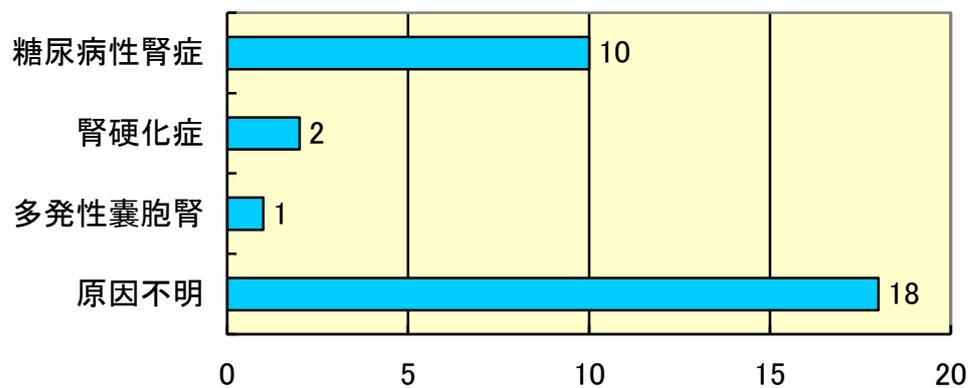
男女別血液透析導入患者数(人)



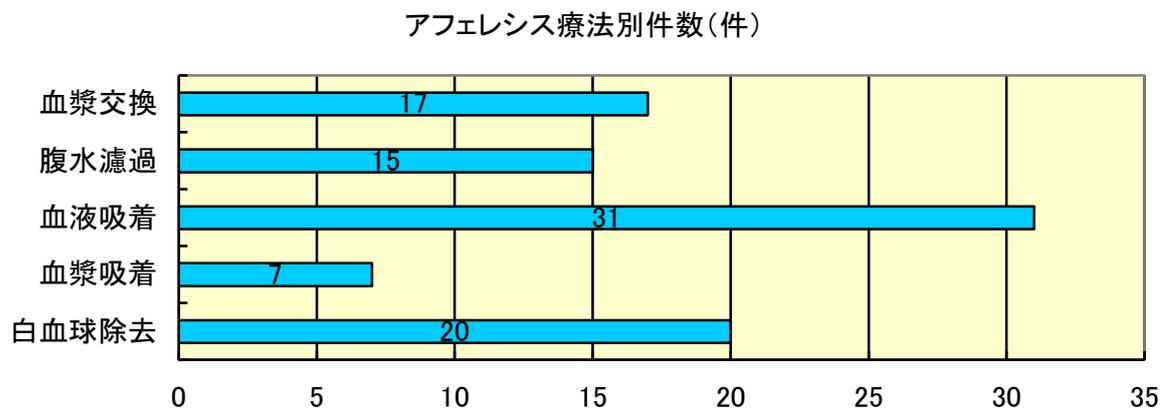
年代別血液透析導入患者数(人)



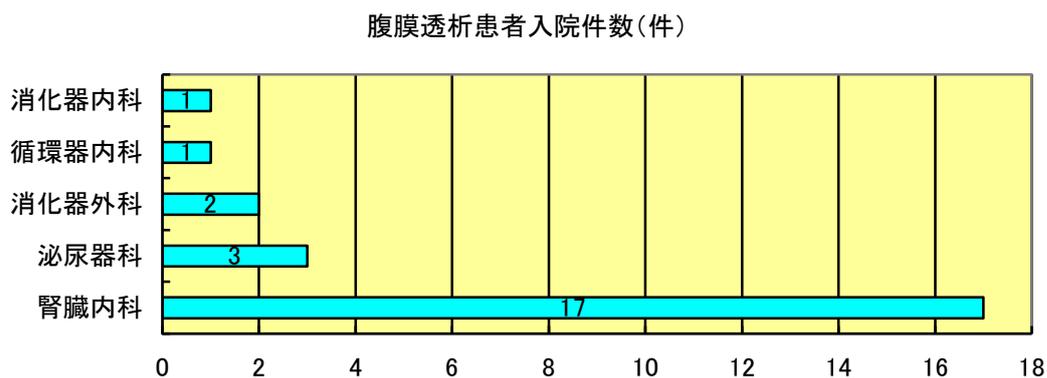
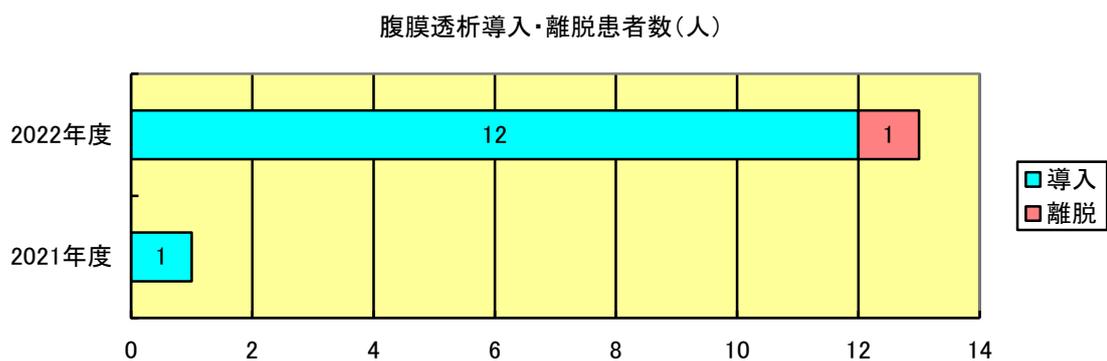
原疾患別血液透析導入患者数(人)



[血液透析療法以外の血液浄化法]

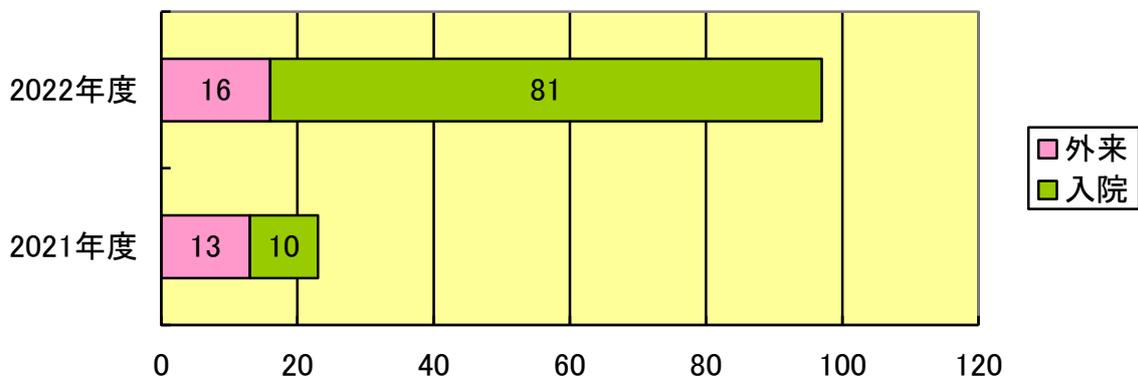


[腹膜透析の実績]



## [慢性腎臓病指導]

療法選択指導件数(件)



### ■ 学術業績 (2022年4月1日-2023年3月31日)

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
西村 賢二、新川 由里、鬼迫 美也子、山本 聡子	腹膜透析はじめました～シームレスな地域連携を目指して～	第28回日本透析医学会学術集会・総会 岡山コンベンションセンター 2022/11/27
新川 由里、鬼迫 美也子	共同意思決定支援(SDM)からその人らしい人生を考える～腎代替療法選択にあたって～	第28回日本透析医学会学術集会・総会 岡山コンベンションセンター 2022/11/27
今中 友香、藁田 明希、西村 賢二、梶原 信之、山本 聡子	イコデキストリン含有透析液による除水困難により、4.25%ブドウ糖含有透析液による自動腹膜透析を行った1例	第239回日本内科学会近畿地方会 大阪国際交流センター/WEB 2023/03/04

#### □研究会・講演会

発表者	演題名	研究会、会場、日時
山本 聡子	腹膜透析はじめました～みんなで腹膜透析患者さんを支えよう～	地域ケア連携会 WEB 2022/05/13

## 口腔ケアセンター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

歯科医師：墨 哲郎、雨河 茂樹、小川 芙美、須澤 佳香

歯科衛生士：山田 みつ美（在宅療養指導・口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション認定）、  
銀羽 かおり（在宅療養指導・口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション認定）、  
林 智代、松本 郷美、村上 友規

#### ■ 診療・業務概要

口腔ケアセンターでは、主に入院患者に対して周術期等口腔機能管理（手術、化学療法、放射線治療）や病棟での往診口腔ケアを行っている。センター内には可動式ユニットを設置しており、ベッド上での歯科治療にも対応している。また、今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症患者に対する往診口腔ケアや歯科診療を行った。

周術期等口腔機能管理については地域歯科医院との連携システムを立ち上げ、地域医療との連携も行っている。

口腔ケアセンターの主な業務

- ・周術期等口腔機能管理（手術、化学療法、放射線治療）
- ・ADLが低下した患者、病棟での口腔ケアが困難な患者に対する専門的口腔ケア
- ・摂食機能障害のある患者に対する口腔機能評価

### 《実績》

#### ■ 統計実績

周術期等口腔機能管理（手術）対象患者数は増加した。

周術期等口腔機能管理（化学療法・放射線治療）対象患者数は減少した。化学療法については、口腔ケアセンターのチーム医療から介入する場合と歯科口腔外科のコンサルテーションから介入する場合があり、患者数が分散したことが減少の一因と思われる。今後はチーム医療からの介入に一本化するよう周知していく。

往診口腔ケア患者数は、昨年度と比べて増加した。

（表1） 周術期等口腔機能管理 初診患者数

	2020年度	2021年度	2022年度
手術	1,305	1,348	1,405
化学療法・放射線治療	225	244	98

（表2） 往診口腔ケアの月別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
往診口腔ケア	54	60	79	62	77	77	88	84	82	85	115	137	1,000

## 超音波診断・治療センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

診療放射線技師 7 名

関 康センター長、一樋 政宏主任、上月 喜予玲技師、澤 和孝技師、村上 裕紀技師、平野 佳代技師、北林 萌果技師

(超音波検査士取得者：消化器領域 4 名、表在領域 1 名、検診領域 1 名)

消化器内科医師

澤井 良之部長、小来田 幸世副部長、臨床研修医

検査補助婦 5 名

#### ■ 診療・業務概要

肝臓を中心とした上腹部実質臓器をはじめ、胃・大腸・虫垂などの消化管、sonazoid による造影超音波検査、VTQ による肝臓の線維化測定、頸部（甲状腺・耳下腺・上皮小体）の超音波検査を主に行っています。

令和 3 年 3 月に導入されました LOGIQ E10 装置（GE ヘルスケアジャパン株式会社）による減衰係数法での、肝内脂肪定量測定検査（UGAP）を開始しております（但し、現時点では医事算定は請求できません）。

各診療科からの依頼件数の増加と当日飛び入り検査の受け入れにも対応しながら、日々の検査を施行しています。

また、月・火曜日の乳腺外来での乳腺エコーの混雑時には、当センターの検査室 1 の装置を外来診察室に持ち込んで乳腺エコーに使用し、患者様の待ち時間軽減にも努めております。

今年度では新型コロナウイルスの影響で昨年度と比べて、腹部 95%、造影 83%、甲状腺 97% とまだ減少したままであるが、VTQ は 108% と昨年度の件数を上回りました。また、当日枠外件数も甲状腺については昨年度（429 件）を上回っております。

## 《実績》

### ■ 統計実績

<腹部エコー件数>

	令和4年度(2022年度)			
	腹部	造影	合計	(枠外)
4月	731	11	742	34
5月	718	13	731	34
6月	803	14	817	47
7月	686	16	702	41
8月	683	13	696	26
9月	751	12	763	35
10月	751	14	765	46
11月	700	12	712	38
12月	683	10	693	43
1月	653	10	663	30
2月	666	10	676	28
3月	715	10	725	29
合計	8,540	145	8,685	(431)

<VTQ件数>

	令和4年度	
	予約	(枠外)
4月	11	4
5月	12	4
6月	18	0
7月	9	0
8月	15	0
9月	17	0
10月	13	0
11月	10	0
12月	15	0
1月	17	0
2月	21	1
3月	12	1
合計	170	(10)

<甲状腺件数>

	令和4年度	
	予約	(枠外)
4月	86	44
5月	96	45
6月	88	46
7月	71	29
8月	86	43
9月	105	45
10月	67	32
11月	95	41
12月	81	35
1月	77	33
2月	82	40
3月	91	35
合計	1,025	(468)

### ■ 学術業績

#### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
関 康	「sonazoid 造影超音波検査が診断に有用であった透析腎癌の1例」	日本超音波検査学会 第38回関西地方会 学術集会 ウイングス京都 2023/1/29

#### □ 研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
関 康	「胆管内乳頭状腫瘍 IPNB の2症例」	第190回 大阪腹部超音波研究会 Web (ライブ) 配信 2022/7/20
関 康	講義 「肝臓・脾臓の描出と読影ポイント」	公益社団法人 大阪府臨床検査技師学会 “腹部エコー実技研修会” web 配信 大阪府医師共同組合本部 2022/10/9
関 康	講演 「腹部エコー検査に必要な CT・MRI 画像の見方」	公益社団法人 大阪府臨床検査技師学会 講習会 Web (ライブ) + オンデマンド配信 2022/11/17

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
関 康	講演 「ようこそ腹部エコーの楽しい世界へ ～エコーの底力お見せ致します～」	大阪府診療放射線技師会 明日から役立つセミナー 大阪府診療放射線技師会事務所 Web (ライブ) 配信 2022/12/9
関 康	症例クイズ② ～胆嚢病変;あなたの所見は?～	第 143 回 大阪超音波研究会 Web (ライブ) 配信 2023/3/15

## ■研修・教育活動

指 導 者・講 師	内 容	実習名・日時
関 康	“腹部エコー実技研修会” 実技講師	公益社団法人 大阪府臨床検査技師学会 “腹部エコー実技研修会” 大阪府医師共同組合本部 2022/10/9

## 健診センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

医師 那波 一郎 健診センター長  
橋本 俊朗 嘱託

技師 山本 毅、井上 幸子、中尾 かおり、大谷 美奈子  
事務 花本 明子、澤吉 利恵、坂本 広美、嶋崎 小百合

#### ■ 診療・業務概

委託検診 水曜日（午後）に市内の会社よりレディース検診を受託  
健康診断 火曜日、金曜日  
原子爆弾被爆者健康診断（定期検診、がん検診） 火曜日、金曜日  
被爆二世健康診断 火曜日、金曜日  
入職時ワクチン

### 《実績》

#### ■ 統計実績

健康診断件数とワクチン件数（インフルエンザ含まず）

令和4年度 健康診断件数（2022.4～2023.3）

	一般	市職員	病院職員	被爆者健診	合計	ワクチン
4月	8	4	3	0	15	61
5月	6	0	3	11	20	14
6月	14	0	7	0	21	47
7月	4	0	3	2	9	12
8月	9	0	4	0	13	19
9月	4	0	4	0	8	14
10月	2	0	2	0	4	42
11月	6	0	0	17	23	27
12月	2	0	4	7	13	18
1月	16	1	13	13	43	5
2月	12	0	37	0	49	3
3月	18	3	37	0	58	0
計	101	8	117	50	276	262

## 薬 剤 部

### 《概 要》

#### ■ 組織・スタッフ

下村 一徳 (薬剤部長) :

日本医療薬学会 指導薬剤師、認定薬剤師

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師、大阪府病院薬剤師会理事

瀬名波 宏昌 (副薬剤部長) :

日本医療薬学会 指導薬剤師、認定薬剤師、薬物療法指導薬剤師

日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師

村山 洋子 (薬剤次長) :

緩和医療薬学会 麻薬教育認定薬剤師

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

中西 晶子 (主任薬剤師) :

日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師

岩本 千晶 (主任薬剤師) :

日本医療薬学会 認定薬剤師

日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士

大河 万顕 (主任薬剤師) :

日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師

日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師

三代地 みゆき : 日本医療薬学会 認定薬剤師、日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士

竹島 暁子 : 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

小畑 紋葉 : 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士

林 麻衣 : 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師

山口 唯 : 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

日本薬剤師研修センター 漢方薬・生薬認定薬剤師

森田 望 : 日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

太田 麻衣子 : 日本病院薬剤師会所属

新居 万莉 : 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

森井 悠介 : 日本医療薬学会 がん専門薬剤師

日本医療情報学会 医療情報技師

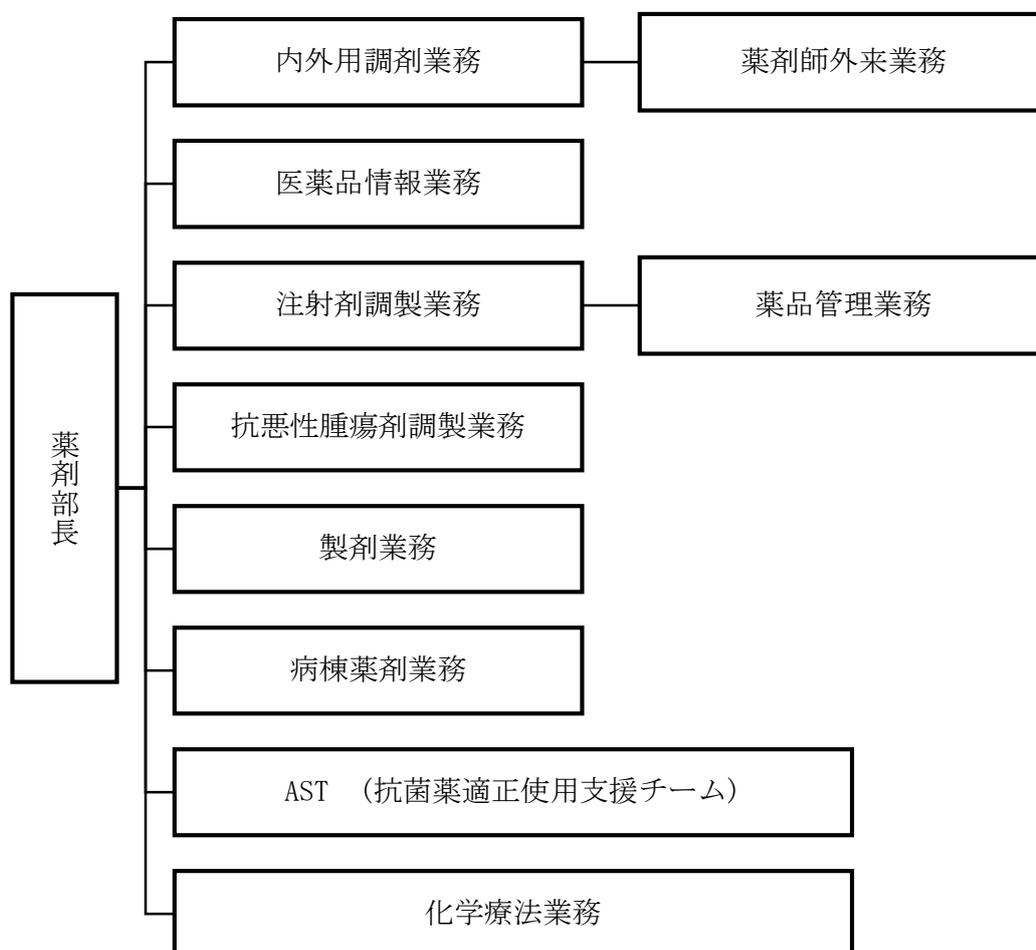
日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

佐藤 真弓 : 日本病院薬剤師会所属

畑原 照子 : 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

- 高橋 勝史：日本病院薬剤師会所属  
 岡本 京子：日本病院薬剤師会所属  
 和田 日香里：日本病院薬剤師会所属  
 近谷 仁志：全日本病院協会 AMAT 隊員  
 松井 駿亮：日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師  
                   日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師、研修認定薬剤師  
 坂根 利奈：日本病院薬剤師会所属  
 渡辺 弘彬：日本病院薬剤師会所属  
 森實 真生：日本病院薬剤師会所属

## ■ 診療・業務概要



各病棟に病棟担当薬剤師を専任で7名、サポートとして兼任で5名配置している。薬剤部本体業務として、内外用調剤、注射剤調剤・調製、抗悪性腫瘍剤調剤・調製、医薬品情報、薬品在庫管理、製剤を9名で実施している。化学療法部門に2名配置し、抗悪性腫瘍剤の外来患者説明、化学療法レジメンを作成しており、また抗菌薬適正使用支援チームに1名配属し、広域抗菌薬のモニタリングおよび長期間使用患者への診療支援等を実施している。チーム医療にも各々参加しておりAST, ICT、NST、褥瘡、緩和ケア、リエゾン等の回診に同行し、糖尿病教室、肝臓病教室でもスタッフが講義、参加している。

- ・内外用調剤業務：担当 瀬名波副薬剤部長兼任、中西主任兼務  
入院、外来の内外用調剤、適正使用と院外処方箋の疑義照会、入院持参薬の識別を担当。
- ・薬剤師外来業務：担当 中西主任兼務  
入院前に服用薬を確認し、手術前に中止する薬剤の選択、中止の指示を担当。
- ・医薬品情報業務：担当 中西主任  
医薬品情報を管理し、院内 Web への薬品情報の配信、日々の医師、薬剤師、院内スタッフからの問い合わせの回答・対応、薬事委員会資料の作成、システム薬品マスターなどを担当。
- ・注射剤調剤・調製業務：担当 瀬名波副薬剤部長兼任  
入院、外来の注射薬を調剤・調製する部門。附随して適正使用、配合変化・点滴時間等より質的向上も目指している。
- ・薬品管理業務：担当 中西主任兼務  
年間約 20 億円を超える薬剤を購入する部門であり、日々の発注、納品から数量・期限の在庫管理や棚卸、薬価改定時の在庫圧縮などを担当。実務は薬剤師以外のスタッフが担当し、方針決定や確認業務などは薬剤師が実施している。
- ・抗悪性腫瘍剤調剤・調製業務：担当 瀬名波副薬剤部長兼任  
数多くのレジメンを取り扱い、抗悪性腫瘍剤を取り扱うので、専門的適正使用・安全性と共に取扱者の危険性（暴露の問題など）を熟知して取り組んでいる。
- ・製剤業務（薬品試験部門を兼ねる）：担当 松井  
医薬品や試薬から個々の患者のニーズに対応するため院内で新たに薬品調製する部門。製造物責任法の関係で、必要な製剤以外は少なくする方針。
- ・病棟薬剤業務：担当 村山薬剤次長、岩本主任  
病棟全般の薬剤業務を担当する部門。病棟では医療安全・質的向上、医薬品適正使用、チーム医療への貢献など薬剤師の活動が一層求められていると考えている。
- ・AST(抗菌薬適正使用支援チーム)：担当 小畑  
治療効果向上、副作用防止、耐性菌出現のリスク軽減を目的として抗菌薬の適正使用を支援するチーム。医師、薬剤師、看護師、検査技師で活動している。
- ・化学療法業務：担当 大河主任  
患者への化学療法レジメン説明、抗悪性腫瘍剤投与患者の副作用確認、抗悪性腫瘍剤のレジメン作成などを担当。年々登録レジメン数が増加している。

## 《実績》

### ■ 統計実績(2022.4~2023.3)

#### 1 処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来院外処方箋	6,036	5,898	6,302	6,044	6,465	6,305	6,120	5,983	6,348	5,856	5,584	6,564
外来院内処方箋	573	632	672	736	362	236	244	208	284	294	182	201
入院処方箋	5,501	4,610	5,112	4,715	4,122	4,252	4,362	4,546	4,671	4,438	4,411	4,850

#### 2 注射処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来注射処方箋	1,080	1,173	1,329	1,009	1,043	1,115	1,287	1,032	1,071	1,174	1,067	1,290
入院注射処方箋	3,566	3,575	3,881	3,559	3,579	3,561	3,831	3,880	3,429	3,776	3,520	3,778
外来化学療法注射箋	422	450	451	446	505	422	476	440	431	394	435	471
入院化学療法注射箋	286	243	303	271	298	277	251	227	223	254	235	217

#### 3 薬剤管理指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
薬剤管理指導	1,197	1,183	1,379	1,120	1,086	1,002	1,159	1,151	938	987	1,031	1,253
退院時薬剤管理指導	317	301	387	326	242	277	332	309	327	244	307	363

#### 4 年間薬品購入金額上位 10 銘柄(2022 年度)

順位	薬品名	金額
1	キイトルーダ点滴静注 (100mg)	¥164,215,040
2	レブラミドカプセル (5mg)	¥114,810,800
3	ベクルリー点滴静注用 (100mg)	¥114,576,000
4	テセントリク点滴静注 (1200mg)	¥109,867,421
5	オプジーボ点滴静注 (240mg)	¥94,357,737
6	ダラキューロ配合皮下注	¥88,034,280
7	ポマリストカプセル (3mg)	¥75,789,233
8	アバスチン点滴静注用 (400mg)	¥70,221,696
9	パージェタ点滴静注 (420mg)	¥66,966,112
10	サイラムザ点滴静注液 (500mg)	¥63,031,104

## 5 院内製剤製剤量及び件数

[ ]は種類

月	内用剤		外用剤				注射剤	特殊製剤
	散剤(kg)	液剤(L)	液剤(L)	軟膏剤(kg)	坐薬(個)	点眼・点鼻・点耳剤(本)	注射剤(本)	特殊製剤
4			8.15 [7]	2.6 [3]	100 [1]	40 [1]		
5			8.59 [4]	2.5 [2]	100 [1]	40 [1]		
6			7.56 [2]	0.5 [1]				
7	0.01 「1」		0.12 [2]	3.55 [4]	100 [1]	40 [1]		
8			0.1 [2]	3 [1]	200 [1]	40 [1]		
9			8.09 [3]	0.5 [1]		50 [2]		
10			0.13 [3]	5 [2]	100 [1]	40 [1]		
11			8.06 [3]	0.5 [1]	40 [1]	40 [1]		2 [1]
12			0.09 [3]		100 [1]	40 [1]		
1			7.6 [4]	5.6 [4]	100 [1]			
2			0.09 [3]		100 [1]	40 [1]		
3		0.5 [1]	0.06 [1]	3.5 [3]	100 [1]			1 [1]
合計	0.01 [1]	0.5 [1]	48.64 [10]	27.25 [5]	1040 [2]	370 [2]		3 [1]

## 6 薬剤師外来件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
術前薬剤師外来	251	245	288	253	224	249	233	230	227	210	197	268
化学療法薬剤師外来 (がん患者指導管理料 + 連携充実加算 請求件数)	40	32	37	32	130	134	118	119	132	125	111	121

## 7 化学療法件数

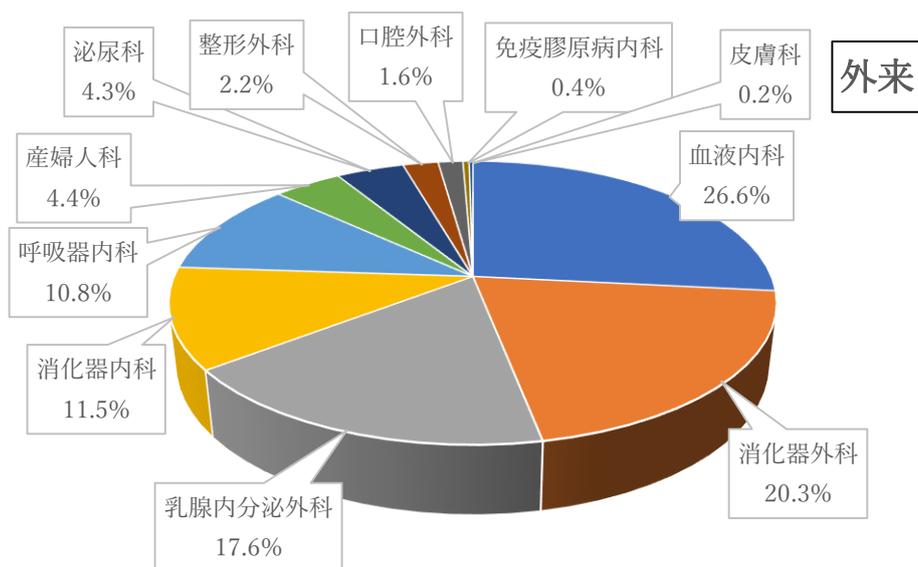
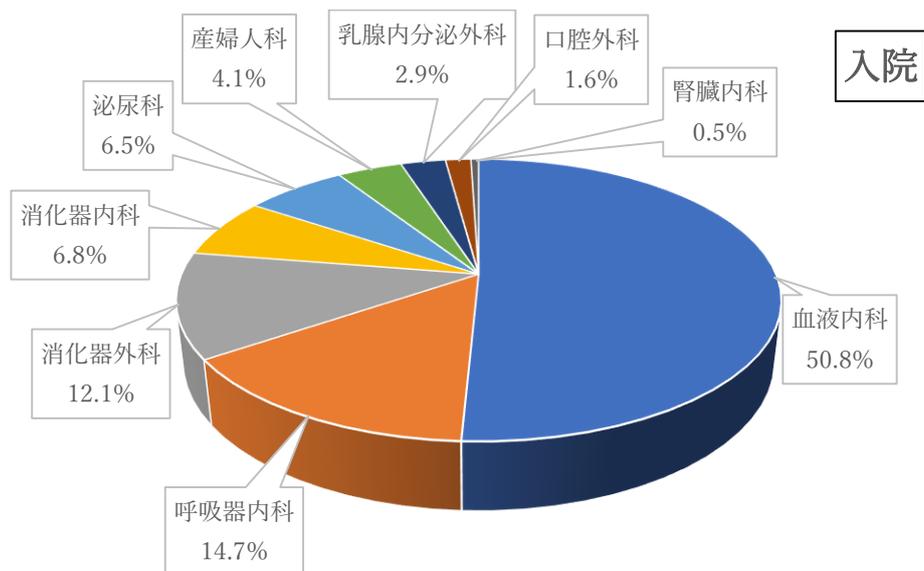
① 入院:年間総数 2,827 件、月平均 235.6 件 (前年度:232.5 件)

血液内科、呼吸器内科、消化器外科の順に多い。

② 外来:年間総数 5,343 件、月平均 445.3 件 (前年度:395.8 件)

(外来皮下注・膀注・動注を含む)

消化器外科、血液内科、乳腺内分泌外科の順に多い。



## 8 薬剤部見学

訪問施設・団体名	人 数	日 時
大阪大谷大学 薬学部(早期体験学習)	2名	2022年5月23日

## ■ 学術業績

### □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
森井 悠介、瀬名波 宏昌、 松井 駿亮、大河 万顕、椿 正寛、 松野 純男、下村 一徳、西田 升三	oxaliplatin 過敏反応予防における累積 投与量を考慮した dexamethasone 増量 レジメンの効果	癌と化学療法. 2022, 49:769-773.

### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
小畑 紋葉、瀬名波 宏昌、兒谷 香里	当院におけるカンジダ菌血症 14 症例の 臨床的検討	第 37 回日本環境感染学会総会学術集会 パシフィコ横浜 2022/6/16-18
下村 一徳、高橋 勝史、瀬名波 宏昌	注射剤監査システムにおける新バーコ ードを用いた有効期限監査の構築と課 題	第 32 回日本医療薬学会年会 G メッセ群馬 2022/9/23-25

### □研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
森井 悠介	薬剤師がここまでできる！HBV 再活性 化対策	なるほど HBV 再活性化対策セミナー WEB 研修会 2022/7/23
森井 悠介	薬剤師がここまでできる！HBV 再活性 化対策～電子カルテアラートとPBPM の 二重チェック～	第 32 回日本医療薬学会年会 高崎芸術劇場(群馬) 2022/9/24
森井 悠介	抗がん剤の副作用対策について	市立池田病院 薬薬連携研修会 WEB 2022/11/2
松井 駿亮	薬薬連携～連携ツールを活用した情報 共有～	地域ケア連携会 WEB 研修会 2022/12/9
大河 万顕	当院における irAE 対策について	北摂 irAE ディスカッションミーティング 千里阪急ホテル 2022/12/15
下村 一徳	病院薬剤部における GS1 バーコードの 利活用と課題	GS1 ヘルスケアジャパン協議会部会 GS1JAPAN オフィス (東京) 2023/2/17
森井 悠介	Pola-R-CHP 療法における薬剤師の関 わり	DLBCL Online Seminar WEB 研修会 2023/3/17

**■ 学生実習指導**

学 校 名	人 数	内 容
京都薬科大学	1名	実務実習(11週)
大阪医科薬科大学	1名	実務実習(11週)
神戸薬科大学	1名	実務実習(11週)
摂南大学	1名	実務実習(11週)
武庫川女子大学	1名	実務実習(11週)
大阪大谷大学	1名	実務実習(11週)

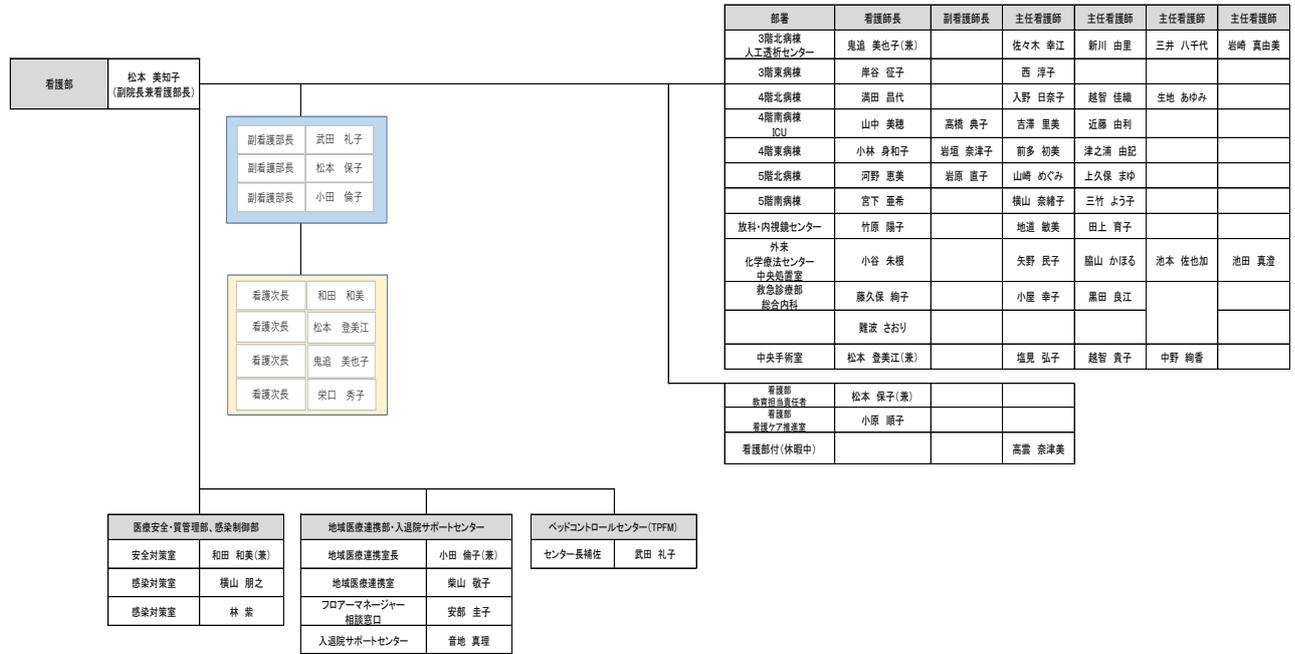
# 看護部

## 《概要》

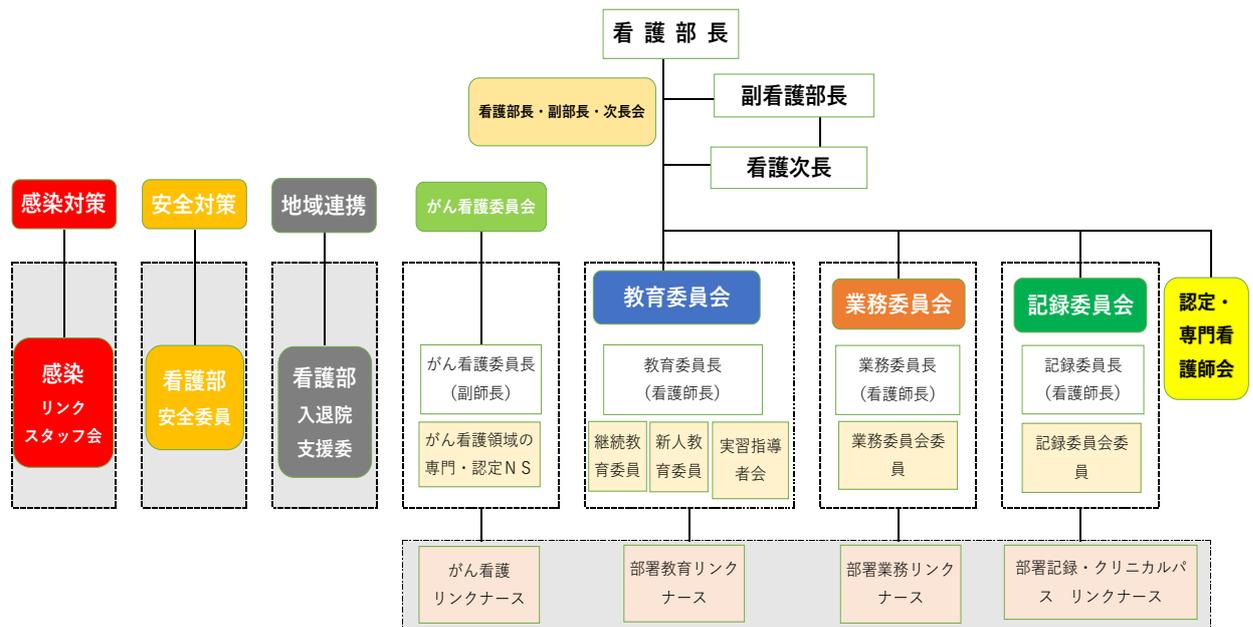
### ■ 組織・スタッフ

#### 令和4年度看護部組織図

2022.7.1現在



#### 市立池田病院看護部委員会組織図



## ■ 業務概要

2022年度は、コロナ重点医療機関として中等度の患者を受入れる看護体制を継続。コロナ患者数の状況により看護師配置を調整し、ベッドコントロールに参画した。

また、後期、看護部委員会組織図を見直し、リンクナースを委員会に配置することで、医療専門チームとの連携を強め、現場での実践につなげた。

看護教育においては、看護師クリニカルラダーのレベルプアアップ研修を実施。3月末認定審査では、クリニカルラダーレベルⅠ93人、Ⅱ108人、Ⅲ41人が取得した。

## 《実績》

### ■ 学業実績

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
生地 あゆみ	清掃委託業者を対象にした鋭利物の研修の効果	第10回日本感染管理ネットワーク学会学術集会 奈良春日野国際フォーラム 2022/5/20、21
稲野 聖子	認知症専門相談の事例からわかる地域包括ケアシステムの実情	第64回日本老年医学学会学術集会 大阪国際会議場口演発表 2022/6/2～6/4
生地 あゆみ	当院におけるSSIサーベイランスの取り組み	第37回日本環境感染学会総会・学術集会 パシフィコ横浜ノース・展示ホール 2022/6/16～6/18
稲野 聖子	認知症問題を解決できる地域包括ケアシステムの構築	第23回日本認知症ケア学会大会 ポスター発表(オンデマンド配信) 2022/6/18～9/30
稲野 聖子	地域包括ケアシステムでの認知症の手引き	第4回日本在宅医療連合学会大会 神戸国際会議場 口演発表 2022/7/23、7/24
清水 尋	COVID-19非挿管患者のセルフプローンの実施に向けて～効果的な援助用具の選択と効果について～	第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会 オンデマンド配信 オンデマンド7/1～7/31
生地 あゆみ	術前鼻腔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌スクリーニング検査の意義	第35回日本外科感染症学会総会学術集会 倉敷市芸文 2022/11/8
増野 愛佳	患者に寄り添った前向きな手技獲得指導について -尿路ストーマ造設後のケア-	第60回全国自治体病院学会 沖縄県立武道館 2022/11/10、11
遠山 唯衣	せん妄を発症した全盲患者への関わり	第60回全国自治体病院学会 沖縄県立武道館 2022/11/10、11
稲野 聖子	救急搬送後に緊急入院した後期高齢者の実態調査	第33回日本老年医学会近畿地方会 大阪大学銀杏会館 2022/11/12
新川 由里 鬼追 美也子	共同意思決定支援(SDM)からその人らしい人生を考える～腎代替療法選択にあたって～	腹膜透析学会 岡山コンベンションセンター 2022/11/26、27

発表者	演題名	学会名、会場、日時
野島 瑛里	統合失調症を有する透析導入患者への関わり 精神症状に応じて自己管理を行うための飲水 指導	第10回大阪府看護学会 オンデマンド配信(ナーシングアート大阪) 2022/11/28～2023/1/12
池本 佐也加	ASDを持つ患児への外来看護師の関わり ～拒食症で外来通院となった事例を通して～	第10回大阪府看護学会 オンデマンド配信(ナーシングアート大阪) 2022/11/28～2023/1/12
平岡 寿子	COVID-19 終末期看護における看護師の倫理観 的葛藤	第10回大阪府看護学会 オンデマンド配信(ナーシングアート大阪) 2022/11/28～2023/1/12

## ■ 研修・教育活動

### □ 院外講師

指導者	内容	依頼元、場所、日時
稲野 聖子	日本看護学会誌査読委員	日本看護学会誌査読委員学会誌出版 日本看護協会 2022/4/1～2023/3/31
吉野 葵	中学生へのがん教育 中学2年生に対して「がんについて」講義	池田市教育委員会 石橋中学校体育館 2022/5/27
稲野 聖子	高齢者地域ネットワーク連絡会議	池田市医師会地域包括支援センター 池田市医師会館 2022/7/5、7/13
小原 順子	関西ストーマ講習会: 実行委員(実習など)	関西 STOMA 研究会/関西ストーマ講習会 大阪梅田 宝塚大学 2022/10/1～2022/10/2
小林 身和子	ELNEC-J 研修会講師	箕面市民病院 箕面市民病院 2022/10/29、11/5
生地 あゆみ	社会福祉施設等感染症予防重点強化事業施設 訪問の実施	公益社団法人大阪府看護協会 三恵園 2022/11/7
吉野 葵	中学生へのがん教育 中学3年生に対して「がんについて」講義	東能勢中学校 東能勢中学校教室 2022/11/11
生地 あゆみ	北摂地域感染ネットワーク研修会 高齢者施設での感染対策～クラスター対策～	北摂地域感染管理ネットワーク オンデマンド(Web セミナー) 2023/1/1～2/28
生地 あゆみ	社会福祉施設等感染症予防重点強化事業施設 訪問の実施	公益社団法人大阪府看護協会 特別養護老人ホームオレンジ池田 2023/1/25
小原 順子	ストーマケア「アドバンスコース」	株式会社ホリスター 大阪梅田 第4ビル 2023/2/18

## □院内講師

指 導 者	研 修 テーマ	対 象・月 日
横山 朋之	ワクチン接種について	新人看護師 31名 4/1 10:20～11:00
小谷 朱根	新人ナースの心構えと身だしなみ規定	新人看護師 31名 4/1 11:00～11:50
小田 倫子	大阪府看護協会／看護連盟について	新人看護師 31名 4/1 15:30～16:00
松本 保子	仕事の基本とビジネスマナー	新人看護師 31名 4/4 8:15～9:00
横山 朋之 生地 あゆみ 林 紫	感染管理	新人看護師 31名 4/5 9:10～10:40(講義) 4/5 13:10～16:30(実習)
黒田 良江 横山 奈緒子 矢野 民子 入野 日奈子	感染シミュレーション研修	新人看護師 31名(2回に分けて実施) 4/5 13:10～16:30(90分×2)
和田 和美	リスクマネージメント	新人看護師 31名 4/6 9:10～9:40
難波 さおり 越智 貴子	BLS研修	新人看護師 15名 4/7 9:40～11:40
難波 さおり 越智 貴子	BLS研修	新人看護師 16名 4/8 9:40～11:40
松本 保子 宮下 亜希 柴山 敬子	電子カルテ操作研修	新人看護師 16名 4/13 9:00～10:00 3N 10:00～11:00 4N 13:30～14:30 3E、ICU 14:30～15:30 4S
松本 保子 宮下 亜希 高橋 典子	電子カルテ操作研修	新人看護師 15名 4/14 9:00～10:00 4E 10:00～11:00 5N 13:30～14:30 5S 14:30～15:30 OP
和田 和美 松本 保子 難波 さおり 高橋 典子	心電図モニターのアラーム対応について (日本光電工業株式会社)	新人看護師 31名(2回に分けて実施) 4/18 14:00～16:00(60分×2)
和田 和美 松本 保子 林 紫 吉澤 里美 湯本 帆奈美 植浦 紗希 重田 杏菜 東 かおり 新原 ゆみ 渡辺 麻耶 上之園 悠里	採血技術研修	新人看護師 31名 4/22 9:00～10:00 4S、ICU、3E 10:00～11:00 3N、4N 14:00～15:00 4E、5N 15:00～16:00 5S、OP
松本 保子	輸液ポンプ・シリンジポンプ操作演習 (株式会社 テルモ)	新人看護師 31名(2回に分けて実施) 4/28 13:30～16:30(90分×2)
小原 順子	オストメイトのニーズや生活・療養支援を学ぼう	ラダーレベルⅢ取得予定者 2022/8/8～21/31

指 導 者	研 修 テーマ	対 象・月 日
小原 順子	個別性の高い褥瘡のアセスメントとケア実践	ラダーレベルⅢ取得予定者 2022/9/21～2023/1/31
小原 順子	褥瘡の標準的なアセスメントとケア実践	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/9/21～2023/1/31
小原 順子	倫理カンファレンスを開催しよう	ラダーレベルⅢ取得予定者 2022/10/11～2023/1/31
小原 順子	患者さんの声を意図的に聴けていますか？	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/10/11～2023/1/31
小原 順子	その人らしい看取りの支援ができていますか	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/10/11～2023/1/31
小原 順子	倫理的ジレンマや倫理的問題とは	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/10/11～2023/1/31
音地 真理	痛みへのケアに自信をつけよう	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/11/18～2023/1/31
東 かおり	抗がん剤の暴露対策	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/11/14～2023/1/31
音地 真理	その人の痛みを知る	ラダーレベルⅠ取得予定者 2022/11/18～2023/1/31
東 かおり	抗がん剤の取り扱い	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/11/14～2023/1/31
吉澤 里美 佐々木 幸江	ナラティブ	新人看護師 24名(2回にわけて実施) 11/15 15:30～16:40(30分×2)
音地 真理	その人の痛みを知る	ラダーレベルⅡ取得予定者 2022/11/18～2023/1/31
和田 和美 中野 絢香 上久保 まゆ	KYT(危険予知トレーニング)	新人看護師 25名(2回にわけて実施) 11/18 15:30～16:40(60分×2)
難波 さおり	チーム力を発揮！ALS	ラダーレベルⅢ取得予定者 2022/12/5～2023/2/10
難波 さおり	いつでも・どこでもBLS	ラダーレベルⅠ取得予定者 2022/12/5～2023/2/10

## ■ 学生実習指導

指 導 者	受 け 入 れ 校	実習名、期間、日数、延べ人数
3階北病棟	大阪医療看護専門学校	母性看護学 2022 5/16-5/26 8日間 6人 母性看護学 2022 9/5-9/9 4日間 6人 母性看護学 2022 9/12-9/22 8日間 6人 母性看護学 2022 10/17-10/27 8日間 5人
4階北病棟 5階北病棟	大阪医療看護専門学校(急性期)	成人看護Ⅱ 2022 5/9-5/26 12日間 4人 成人看護Ⅱ 2022 5/9-5/26 12日間 3人
5階南病棟	大阪医療看護専門学校(終末期)	成人看護Ⅲ 2022 5/9-5/26 12日間 6人 成人看護Ⅲ 2022 6/27-7/12 12日間 6人

指 導 者	受 け 入 れ 校	実習名、期間、日数、延べ人数
3階北病棟	大和大学	助産学 2022 5/9-6/3 19日間 1人 助産学 2022 6/6-7/1 19日間 1人 助産学 2022 7/4-7/22 13日間 1人
4階東病棟	大和大学	小児看護学 2022 5/10-5/12 3日間 5名 小児看護学 2022 5/17-5/19 3日間 5名 小児看護学 2022 5/24-5/26 3日間 5名 小児看護学 2022 5/31-6/2 3日間 4名 小児看護学 2022 6/7-6/9 3日間 6名 小児看護学 2022 6/14-6/16 3日間 6名 小児看護学 2022 6/21-6/23 3日間 5名 小児看護学 2022 6/28-6/30 3日間 5名 小児看護学 2022 7/5-7/7 3日間 5名 小児看護学 2022 7/12-7/14 3日間 5名 小児看護学 2022 9/27-9/29 3日間 5名 小児看護学 2022 10/4-10/6 3日間 5名 小児看護学 2022 10/11-10/13 3日間 5名 小児看護学 2022 10/18-10/20 3日間 5名 小児看護学 2022 10/25-10/27 3日間 4名 小児看護学 2022 10/31-11/2 3日間 5名 小児看護学 2022 11/8-11/10 3日間 5名
3階北病棟	大和大学	母性看護学 2022 5/30-6/3 5日間 4名 母性看護学 2022 6/6-6/10 5日間 4名 母性看護学 2022 7/11-7/15 5日間 4名
4階北病棟	大阪医専(回復期)	成人看護Ⅱ 2022 5/30-6/17 12日間 5人
5階北病棟	大阪医専(急性期)	成人看護Ⅰ 2022 5/30-6/17 15日間 5人 成人看護Ⅰ 2022 10/17-10/26 7日間 5人 2022 11/1-11/2 2日間 4人
3階北病棟	淀川区医師会看護専門学校	母性看護学 2022 6/13-6/17 5日間 5人 母性看護学 2022 6/20-6/24 5日間 5人
小児科外来	藍野短期大学	小児看護学 2022 6/13-6/17 4日間 3人 小児看護学 2022 6/20-6/24 4日間 3人
林 由美 横山 朋之 和田 和美 小林 身和子 吉野 葵 松本 保子  4階北病棟  5階北病棟  4階南病棟	千里金蘭大学	総合看護学 2022 6/21 1日間 15名 総合看護学 2022 7/5 1日間 14名  総合看護学 2022 6/22-7/1 7日間 5名 総合看護学 2022 7/6-7/15 7日間 5名 総合看護学 2022 6/22-7/1 7日間 5名 総合看護学 2022 7/6-7/15 7日間 5名 総合看護学 2022 6/22-7/1 7日間 4名 総合看護学 2022 7/6-7/15 7日間 4名
3階北病棟	北斗会看護専門学校	母性看護学 2022 6/27-7/8 10日間 4名
5階南病棟	大阪医療看護専門学校(終末期)	成人看護学Ⅲ 2022 6/27-7/12 10日間 5人
3階北病棟	関西福祉大学	助産学 2022 7/25-8/19 17日間 1人
3階北病棟	千里金蘭大学	助産学 2022 8/22-10/14 10日間 1人 13日間 1人 9日間 1人

指 導 者	受 け 入 れ 校	実習名、期間、日数、延べ人数
松本 美知子 松本 保子 山中 美穂 山崎 めぐみ 松本 清子 中野 実夏 吉川 ゆか 音地 真理	千里金蘭大学(オンライン実習)(慢性期)	成人看護学Ⅱ 2022 9/2 1日間 94名
4階北病棟 4階南病棟	大阪医療看護専門学校(慢性期)	成人看護学Ⅰ 2022 9/12-9/22 8日間 5人 成人看護学Ⅰ 2022 9/12-9/22 8日間 5人
4階北病棟 5階北病棟	大阪青山大学(急性期)	成人看護学 2022 9/26-10/12 10日間 5人 成人看護学 2022 9/26-10/12 10日間 5人 成人看護学 2022 1/31-2/10 8日間 5人 成人看護学 2022 2/13-2/14 2日間 5人 2022 2/15-2/16 2日間 4人
4階東病棟 4階南病棟 5階南病棟	大和大学(慢性期)	成人看護学Ⅱ 2022 9/12-9/22 6日間 4人 成人看護学Ⅱ 2022 10/5-10/19 10日間 5人 成人看護学Ⅱ 2022 11/30-12/16 10日間 5人 成人看護学Ⅱ 2022 11/2-11/16 9日間 5人
3階北病棟	藍野大学	母性看護学 2022 9/27-10/6 8日間 5人 母性看護学 2022 11/8-11/17 8日間 6人 母性看護学 2022 11/24-12/1 6日間 5名
松本 美知子 松本 保子 音地 真理 根来 絢子 池田 真澄 吉野 葵 矢野 民子 吉川 ゆか 松本 清子 中野 実夏	千里金蘭大学(慢性期/外来実習)	成人看護学 2022 10/19 1日 12人 成人看護学 2022 11/2 1日 12人 成人看護学 2022 11/16 1日 10人 成人看護学 2022 12/14 1日 10人
3階北病棟	藍野短期大学	母性看護学 2022 10/31-11/4 4日間 5人
4階北病棟 5階北病棟	大阪医療看護専門学校	総合実習 2022 11/7-11/22 12日間 5人 総合実習 2022 11/7-11/22 12日間 4人
4階東病棟	大阪青山大学  オンライン実習へ切り替え	小児看護学 2022 11/14-11/17 4日間 4人 小児看護学 2022 11/21-11/24 3日間 4人 小児看護学 2022 11/28-11/29 2日間 4人 小児看護学 2022 12/5-12/8 4日間 3人 小児看護学 2022 12/20-12/22 3日間 6人
5階北病棟	大阪医療看護専門学校	老年看護学Ⅱ 2022 11/28-12/1 3日間 4人 2022 12/2-12/5 2日間 3人 2022 12/6 1日 2人 2022 12/7-12/15 6日間 3人
4階北病棟	四条畷学園大学(急性期)	成人看護学Ⅱ 2022 11/28-12/14 10日間 5人
3階北病棟	大阪青山大学	母性看護学 2022 12/14 オンライン 1日 5人 2022 12/19-21 臨地 3日間 5人 母性看護学 2023 1/31 1日 5人 母性看護学 2023 2/14-2/22 7日間 5人
4階北病棟 4階南病棟 5階北病棟	大阪医専	老年看護学 2023 2/27-3/9 8日間 5人 2023 2/27-3/9 8日間 5人 2023 2/27-3/9 8日間 5人

指 導 者	受 け 入 れ 校	実習名、期間、日数、延べ人数
5階南病棟 4階南病棟	大阪医療看護専門学校 【補習】	老年看護学 2022 12/19-12/20 2日間 1人 2022 2/13-2/22 8日間 1人

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ 2023年3月末日現在

管理栄養士 正規職員4名 会計年度月額職員2名  
(認定・資格)

栄養サポートチーム専門療法士4名

臨床栄養代謝専門療法士(がん専門療法士)1名

臨床栄養代謝専門療法士(摂食嚥下専門療法士)1名

病態栄養専門管理栄養士2名

糖尿病療養指導士1名

在宅栄養ケア管理栄養士登録者(初期研修修了)4名

特定保健指導実践者育成研修修了5名

肝炎医療コーディネーター4名

所属するチームは、栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、生活習慣病・糖尿病センターチーム、高齢者サポートチーム

調理業務は委託(エームサービス株式会社)

#### ■ 業務概要

##### ① 食事管理について

2021年度末に日本食品標準成分表2020年版(八訂)の更新を行った影響もあり、表示カロリーが平均9%低下した。このことにより、栄養基準値を充足させるための献立変更が大きな課題となりエームサービス(株)スタッフも含め対応に追われた一年であった。

COVID-19および鳥インフルの影響が大きく、想定外の物価上昇、特に下半期は、卵製品の欠品、業務用卵の購入が出来なくなるなど、食材管理に追われ、2023年度も継続しての大きな問題となっている。

献立管理業務としては、エームサービス(株)の提案もあり、イベント食を月2回以上実施するとし、年25回のイベント食を提供した。また、食事内容充実のために4週間サイクルから5週間サイクルメニューへ変更した。

##### ② チーム活動について

◇栄養サポートチーム(NST)：NST事務局として、引き続き回診予定表の作成。回診後、NST事務局が栄養治療実施計画兼栄養治療実施書を作成し、患者に配布・説明をし、NST加算算定を行った。

◇褥瘡対策チーム：回診参加し、褥瘡ハイリスク加算算定者の確認および栄養状態の共有を行いNSTとの連携を図った。

◇糖尿病チーム：回診参加し、指示カロリーの確認、栄養状況、治療方針の共有を行った。

◇高齢者サポートチーム：回診参加し、栄養補助食品の提案や現在の食事摂取カロリーの計算などを担当しNSTとの連携強化、情報共有を行った。

◇緩和ケアチーム：カンファレンスに参加し、情報共有を行った。担当管理栄養士は患者の食事摂取が少しでも改善できるように、ベッドサイド訪問をし、嗜好も考慮した食事変更、ふくまる食（カレー、お好み焼、スープ等）、麺類食、フルーツ食やヨーグルトを付加する等の調整を行った。また、引き続き、お誕生日にはケーキの提供も行った。

緩和チーム介入患者の個別栄養食事管理料の算定は昨年度の1.6倍となった。

◇ICU：毎朝のカンファレンスに参加し、重症患者の特定集中治療入室後、早期から経腸栄養等の必要な栄養管理に携わり、早期栄養介入管理加算を算定した。

### ③ 個別栄養食事指導

◇入院は病棟担当制で入院時指導、退院時指導を中心に実施。

◇外来

小児科のアレルギー負荷試験入院予定患者、泌尿器科の前立腺癌の放射線治療前患者、生活習慣病・糖尿病センターで妊娠糖尿病やかかりつけ医からの紹介患者の指導を実施。

◇糖尿病透析予防指導

医師、看護師・管理栄養士のチームによる糖尿病透析予防指導は5回シリーズで実施。

2020年度は、COVID-19の影響により、やや減少したが、2021年度は、以前の件数近くまで回復できていた。2022年度については、正規職員が1名増加したこともあり、入院患者の減少は継続していたが、栄養食事指導実施件数は2,591件と大幅に増加できた。

### ④ その他

◇病院機能評価受審については、2年前から準備を開始し、近隣病院からも情報を得るなどしていたが、審査当日の反省点もあったので、次回のためにスタッフで共有した。

◇近畿厚生局の訪問審査についても、準備はしていたものの審査当日、資料のまとめ方が悪く、提示するまでに時間を要する等反省点がみられたので、改善ポイントをスタッフで共有した。

◇院外での活動としては、大阪府池田保健所管内集団給食研究会役員（副会長・嚥下食ワーキンググループリーダー）、大阪府公立病院栄養士代表者会役員（幹事）、大阪府栄養士会医療部会強化委員、池田市地域支援事業在宅医療・介護連携事業の入退院支援検討会委員を担当。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 1 食数構成比

常食(軟菜含む)	83,948	35.8
特別食加算	126,002	53.7
特別食非加算	24,636	10.5
合計	234,586食	100.0%

#### 2 調乳数 14,341本

### 3 個別栄養食事指導件数

種 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	97	93	112	73	61	62	74	94	60	66	74	88	954
潰瘍・胃切	15	17	20	12	17	20	14	15	11	13	9	18	181
膵臓(胆石)・肝炎	24	23	31	16	22	23	29	27	19	16	30	29	289
胆のう摘出術	11	4	10	11	11	19	13	7	9	6	11	14	126
腎臓	40	38	54	40	32	45	38	30	28	27	22	37	431
心臓・高血圧	11	9	3	6	7	7	15	12	11	15	16	18	130
食物アレルギー	3	0	1	3	0	1	1	1	3	2	3	3	21
炎症性腸疾患・腸切	15	10	14	19	16	13	8	11	11	16	17	8	158
がんの栄養管理	35	30	39	24	11	14	16	7	16	17	11	14	234
その他	8	4	8	3	4	7	14	5	4	8	0	2	67
計	259	228	292	207	181	211	222	209	172	186	193	231	2,591

### 4 糖尿病透析予防管理指導件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	16	12	19	10	16	18	21	17	15	5	16	177

### 5 個別栄養食事管理(緩和ケア)加算算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	14	36	17	18	16	4	9	10	15	26	17	197

### 6 栄養情報提供加算算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	11	22	14	8	7	11	13	1	5	9	11	129

### 7 周術期栄養管理実施加算算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
46	43	53	65	68	60	61	59	55	47	47	61	665

### 8 早期栄養介入管理加算算定件数

(上段:48時間以内に経腸栄養または経口が開始できなかった場合      下段:48時間以内に経腸栄養または経口が開始できた場合)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	15	20	16	18	24	11	9	13	14	11	17	185
24	27	23	27	26	22	29	36	22	32	24	30	322

## 9 集団栄養食事指導料算定件数

糖 尿 病 教 室	延 266 人
-----------	---------

## 10 特定保健指導件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	0	1	0	3	2	1	0	1	0	1	11

## ■ 研修・教育活動

### □研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
長谷 良太	「糖尿病性腎症の食事～各病期の注意点と人工甘味料について～」	糖尿病センター会議定例勉強会 市立池田病院 2022/9/2
田中 芳子	「褥瘡の栄養管理」	褥瘡全体研修 市立池田病院+DVD研修 2022/9/2
田中 芳子	褥瘡対策チーム「褥瘡の栄養管理」	市民公開講座 市立池田病院ホームページ配信 2023/1/1
今西 成雄	「病院管理栄養士の立場から～フレイル予防と食塩制限は必要か～」	地域ケア連絡会 市立池田病院・Zoom 配信 2023/2/10
今西 成雄	「食物アレルギーについて」	MRM全体研修 市立池田病院+ファイルサーバー配信 2023/2/20-2023/3/15
今西 成雄	「食事療養費向上の取り組みについて」	大阪府公立病院栄養士代表者会 大阪府栄養士会 2023/3/6

### □資格取得

特定保健指導実践者育成研修修了：大北 楓

### □教育活動 管理栄養士の実習生受け入れ

梅花女子大学（5月2週間コース2名）

武庫川女子大学（5月2週間コース2名）

京都華頂大学（7月2週間コース2名）

梅花女子大学（8月2週間コース2名：COVID-19の影響で中止）

梅花女子大学（8月2週間コース2名：COVID-19の影響で中止）

武庫川女子大学（10月3週間コース2名）

相愛大学（11月2週間コース2名）

梅花女子大学（12月2週間コース4名）

大手前大学（1月2週間コース2名）

大阪青山大学（2月2週間コース2名）

梅花女子大学（2月2週間コース2名）

大手前大学（3月2週間コース2名）

## 医療機器管理室

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

組 織      医療技術部 — 医療機器管理室

スタッフ      医療機器管理室長   医療機器安全管理責任者   臨床工学科技師長  
臨床工学技士（看護師）   杉山 隆志

#### ■ 診療・業務概要

医療機器管理室では、専属の臨床工学技士（医療機器安全管理責任者兼務）により、院内の主要な医療機器の保守管理と臨床現場への医療機器に関する技術提供を行っている。また、安全対策室などの関連部門と連携し、医療事故の予防に取り組んでいる。

医療機器保守管理ライセンスを順次取得し、2019年度末までに、計15機種のライセンスを取得した。当院では医療機器保守管理ライセンスを取得した臨床工学技士のみが、医療機器の保守管理を行うこととし、より高度な保守管理が可能となった。

#### 1 医療機器管理業務(医療機器の保守点検・修理など)

##### (1) 医療機器の保守計画の策定及び保守点検の実施

人工呼吸器や補助循環装置に代表される生命維持管理装置を中心に、院内での保守点検や故障修理を実施し、安全性と経済性を両立させている。

##### (2) 医療機器の安全使用のための教育

適切な医療機器の操作を促進するため、職員に対する研修や独自の医療機器マニュアルの作成などを行っている。

##### (3) 医療機器の安全使用のための情報収集及び情報提供

医療機器メーカーや厚生労働省などの関連省庁から、最新の医療機器安全情報を収集し、関連部門や職員への情報提供を行っている。

##### (4) 医療機器保守管理費用の削減

従来、医療機器の保守管理はメーカーや代理店に外部委託していたが、順次保守契約を解約し、原則院内で実施している。これにより、年間の保守管理費用の大幅削減が実現可能となった。

#### 2 臨床技術提供業務(各種医療機器の操作など)

##### (1) 循環器領域：心臓カテーテル検査治療、各種ペースメーカ植え込み術

##### (2) 呼吸器領域：各種呼吸療法、RST回診

##### (3) 血液・造血器領域：造血幹細胞採取

##### (4) 手術室領域：各種手術立会い

##### (5) ICU・CCU領域：各種検査・治療

##### (6) 内視鏡センター領域：内視鏡検査・治療

##### (7) その他の領域：全診療科・部門からの様々な要望に適宜対応

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 1 医療機器保守管理業務

- (1) 医療機器点検・修理件数 約 15,000 件
- (2) 時間内医療機器関連呼び出し対応（電話対応含む） 約 5,850 件
- (3) 時間外医療機器関連呼び出し対応（電話対応含む） 約 850 件

#### 2 臨床技術提供業務

- (1) 冠動脈造影検査 144 件
- (2) 経皮的冠動脈インターベンション 63 件
- (3) 恒久的ペースメーカ植え込み（電池交換含む） 17 件
- (4) 体外式ペースメーカ挿入 10 件
- (5) カテーテルアブレーション 44 件
- (6) 手術立会い 約 126 件
- (7) その他、医療機器操作関連対応 約 1,000 件

医療機器管理室開設以来、臨床工学技士（看護師）1名での運用であるが、各種保守点検機器の導入や保守点検プログラムの工夫により、効率的な運用が実施できている。今後も保守が簡素化された最新医療機器への更新と、各種保守点検機器の増設を優先的に行い、既存の人員で更なる効率的な運用を目指す。

医療機器管理業務においては、厚生労働省や日本医療機能評価機構などで推進されている、医療機器の標準化及び完全中央管理化を早期に実現させ、診療科や部門の枠を越えた総合的な医療機器管理体制の構築を目指す。

臨床技術提供においては、人工呼吸器や補助循環装置など生命維持管理装置の操作が中心であるが、時間外緊急心カテの積極的受け入れに対応するため、緊急症例発生時には直ちに対応できるよう体制を整備する。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

部長：太田 博文（副院長兼任）

スタッフ：入潮 佳子（薬剤師）、服部 美千代（看護師）

2023年3月～ 溝口 遙（臨床検査技師）

#### ■ 診療・業務概要

##### 1 治験（治験コーディネーター業務）

昨年より継続して腎臓内科（RTA-402）整形外科 HANZ（探索的試験）泌尿器科 BLC0002 の治験を実施した。消化器内科で D 型肝炎の治験に参加する患者のリクルートを実施する試験の依頼があり、9月に当院 IRB にて承認された。

COVID-19 感染拡大の中、被験者来院は問題なく実施し、依頼者の直接閲覧も継続に支障がないように最低限で実施した。

##### 2 臨床研究（データマネージャー業務、臨床研究コーディネーター業務）

医師主導臨床研究の 5 科 34 試験を支援した。

消化器外科・呼吸器内科・泌尿器科の研究では、血液検体・組織検体・画像提出を各部門の協力を得てスムーズに対応した。

##### 3 製造販売後調査（データマネージャー業務）

新規 18 調査の契約を締結した。調査票記載支援を実施し調査の円滑な実施に協力した。

調査全般を製薬会社が CRO に委託し、製造販売後調査が変革しつつある。1 臨床試験としての煩雑な手続きや対応が求められる調査も増加してきており、実施において調査本来の目的（薬剤の再審査のための情報収集）を把握し実施していくことが必要である。

##### 4 事務局業務

昨年同様に、上記 3 件（治験、臨床研究、製造販売後調査）の申請、契約、実施管理、入金に係る事務局業務全般を行った。

GCP 省令に則った治験事務局業務に加えて、特定臨床研究法の下、臨床研究事務局との事務対応（契約、書類対応）、製造販売後調査における製薬会社、特に CRO との事務対応が増加した。

委員会事務局としては倫理治験審査委員会として会議を統一（毎第 4 木曜開催）とし 10 回開催した。

特定臨床研究の新規申請は 2 件あり、病院長承認を行った。2021 年に改訂となった医学系倫理指針により、中央一括審査で行う研究の申請が 7 件あった。認定臨床研究審査、中央一括審査に付議するため必要な施設状況の提示と当院での実施可能性のチェックについては医師の申請の下、臨床研究管理部が関連部門と行うこととし、問題がある場合は倫理委員会の意見を聞くこととした。本年度は実施可能性に問題のある研究はなかった。

中央一括審査承認後は院長承認書類を発行し、院内の臨床研究として登録した。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 【実施治験】

	実施科	治験薬名 (相)
継続(3件)	腎臓・内代	RTA-402(Ⅲ)
	整形外科	HANZ(探索的試験)
	泌尿器科	BLC0002
新規(1件)	消化器内科	JNJ-763989(Ⅱ)

#### 【支援臨床研究 (34 試験)】 ★特定臨床研究

診療科	試験名	依頼者
呼吸器内科(2)	LC-SCRUM-Asia	国立がん研究センター東病院
	LC-SCRUM-TRY	国立がん研究センター東病院
循環器内科(1)	PURSUIT-HFpEF	大阪大学循環器内科
消化器外科(28)	進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術における安全性の検討	大阪大学消化器外科
	ステロイド試験観察	大阪大学消化器外科
	食道残胃吻合法とダブルトラクト法のランダム化比較試験	大阪国際がんセンター
	腹膜再発診断に対する審査腹腔鏡検査の安全性観察研究	関西労災病院
	★OGSG1902	OGSG(大阪消化管がん化学療法研究会)
	★ACCORD 試験	大阪府立急性期医療センター
	★RINDBeRG	OGSG(大阪消化管がん化学療法研究会)
	高齢者に対する幽門側胃切除後再建(Billroth-II 法 versus Roux-en-Y 法)ランダム化比較試験	大阪大学消外上部疾患分科会
	腹腔鏡下/ロボット支援噴門側胃切除術(D2 郭清)の安全性・有効性介入研究	大阪大学消外上部疾患分科会
	LANDMARC Study	横浜市立大学 外科治療学
	VTE Study	兵庫医科大学病院下部消化管外科
	★JACCRO CC-13	JACCRO(日本がん臨床試験推進機構)
	JACCRO CC-13AR	JACCRO(日本がん臨床試験推進機構)
	★JACCRO CC-16/CC-16AR	JACCRO(日本がん臨床試験推進機構)
	Pmab 皮膚毒性追跡研究	大阪大学消化器外科
	XELOX-Adj	大阪大学消化器外科
	★TAS+BV Switch Maintenance Study	大阪大学消化器外科
	OSNA	大阪大学消化器外科
	GALAXY trial	九州大学大学院 消化器・総合外科
	VEGA trial	札幌医科大学 消化器・総合 乳腺・内分泌外科

診療科	試験名	依頼者
	JACCRO CC-17	JACCRO(日本がん臨床試験推進機構)
	JACCRO CC-18	聖マリアンナ医科大学
	大腸癌肝転移を対象とした前向きレジストリ研究	大阪大学消化器外科
	VIOLA Study 化学療法・経口 Xa 因子阻害薬併用の安全性	兵庫医科大学病院下部消化管外科
	SENJYO	大阪大学消外大腸疾患分科会
	★POPEYE Study	大阪大学消外大腸疾患分科会
	★GEM/S-1 GEM/nab-PTX 比較試験	大阪大学消化器外科
	★GEM/nab-PTX 併用化学放射線療法と GEM/nab-PTX 化学療法ランダム化試験	大阪大学消化器外科
整形外科(1)	★TLG-DS-21011	山口大学医学部付属病院整形外科
泌尿器科(2)	★カボザンチニブ単剤療法探索的試験	京都府立医大
	Menz Study	大阪大学泌尿器科

【製造販売後調査 報酬確定調査】

	調査数	製造販売後調査 (提出冊数)	副作用報告 報告数
整形外科	5	( 47 )	
消化器内科	2	( 4 )	
血液内科	8	( 20 )	
乳腺・内分泌外科	1	( 2 )	
腎臓内科	1	( 5 )	3
呼吸器内科	2	( 3 )	1
消化器外科	1	( 11 )	
神経内科	2	( 4 )	
形成外科	1	( 11 )	
皮膚科	1	1	
麻酔科	2	( 4 )	1
循環器内科	1	( 3 )	
泌尿器科		( )	1
計	27	( 115 )	6

【倫理治験審査委員会審査件数および外部審査新規件数】

委員会	治験審査委員会部門		倫理委員会部門			CRB 新規	中央一括新規
	治験	製販後調査	臨床研究				
区分	本審査	本審査	本審査新規	迅速新規	迅速変更	病院長承認	病院長承認
4月	2	3	3		1		
5月	3			2	3		1
6月	1	1		1	1		2
7月	休会		休会			2	
8月	2	3		2	1		
9月	2	3	1	2	2		
10月	1		2		1		
11月	2	2	3	1	1		1
12月	1	2	2		2		
1月	2	2		2	2	1	
2月	休会		休会		4		
3月	1	2	1		2	1	3
計	17	18	12	10	20	4	7

## 地域医療連携部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

##### 1 組織

前方支援・後方支援・予約相談・返書管理・かかりつけ医紹介窓口

##### 2 スタッフ

部長（副院長）

室長（副看護部長） 小田 倫子

看護師 3名

社会福祉士 4名

事務員 11名

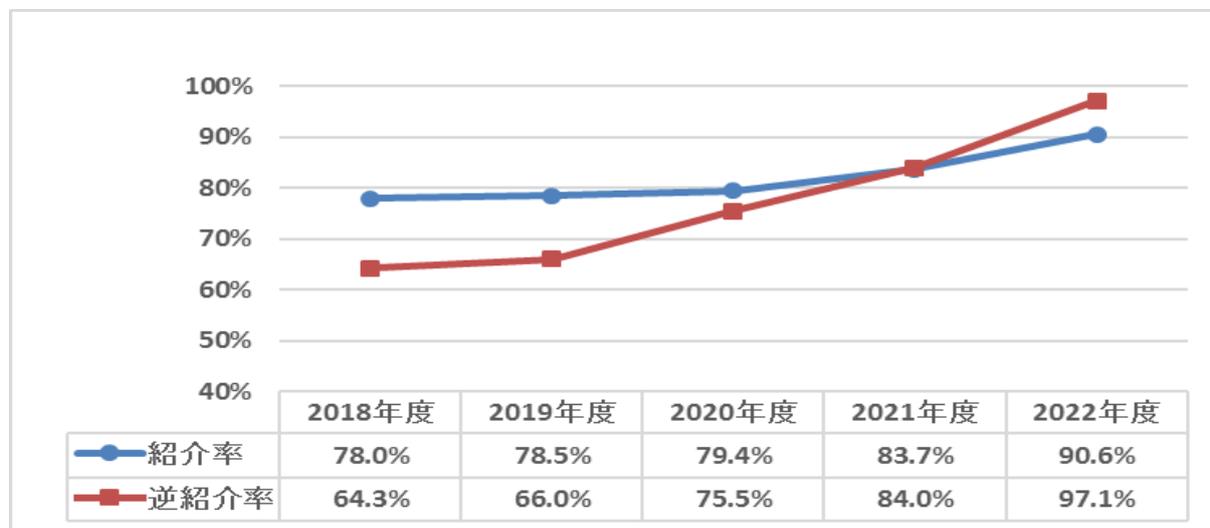
#### ■ 地域医療支援病院としての業務概要

- (1) 地域医療連携に関すること
- (2) 患者の入退院・救急に関すること
- (3) 施設共同利用に関すること
- (4) 医療相談に関すること
- (5) 諸記録の閲覧窓口に関すること
- (6) 地域医療研修に関すること
- (7) 地域の広報に関すること
- (8) 地域の医療専門職の生涯教育に関すること
- (9) 地域住民に対する医療、保健衛生の普及に関すること

### 《実績》

#### ■ 統計実績

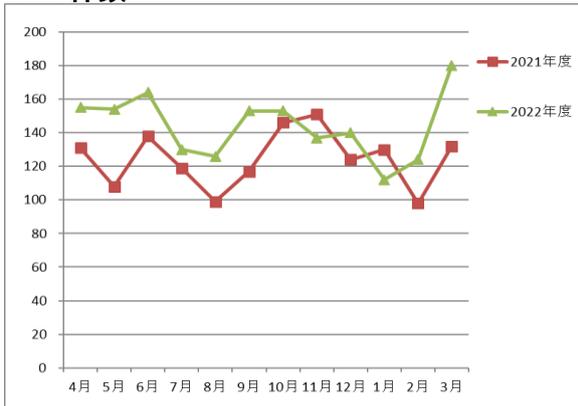
##### 1 年度別推移 紹介率 逆紹介率



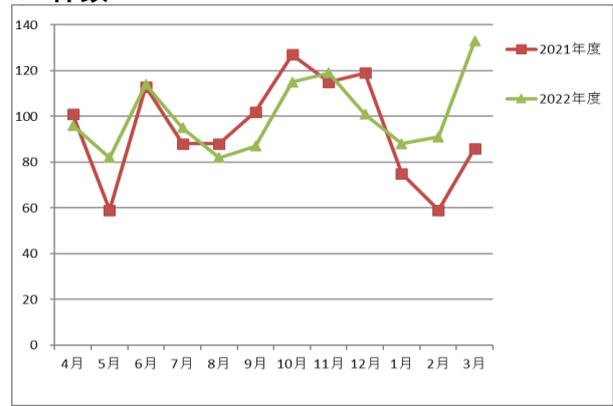
地域医療連携登録医 医科 326名 歯科 146名 計 472名

## 2 検査予約件数

### MRI 件数



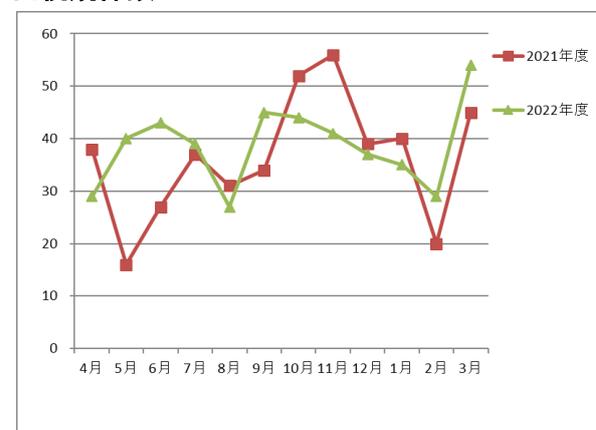
### CT件数



### 腹部・甲状腺エコー一件数



### 内視鏡件数



## 3 研修実績

### 研修会・講演会

開催日	研修会・講演会名	テーマ
9月29日	痛みのトータルケア Web 講演会	1. 地域医療支援病院における緩和ケアチームの活動と疼痛緩和治療の実際 2. がん治療医が実践する緩和ケアとがん疼痛治療
12月7日	がん診療セミナー ～胃がんのトータルマネジメント～	1. 早期胃癌に対する内視鏡治療の現状と課題 2. 胃がんに対する手術・化学療法と合併症・副作用

### 地域ケア連携会

開催日	担当部門	テーマ
4月8日	市立池田病院 地域医療連携室	1 市立池田病院 看護部挨拶 2 患者(利用者)・家族を支える人たちに
5月13日	市立池田病院 地域医療連携室	1 腹膜透析はじめました ～みんなで腹膜透析の患者を支えよう～ 2 腹膜透析を受ける患者の看護～療養指導の実際～
6月10日	市立池田病院 地域医療連携室	地域連携に必要な共感する力 ～今こそそれぞれの特性をいかすために～
7月8日	市立池田病院 地域医療連携室	がん化学療法の現状～がん患者の暮らしを支える～

開催日	担 当 部 門	テ ー マ
8月12日	市立池田病院 地域医療連携室	リハ・リハ連携～在宅移行における目標の共有～
9月9日	市立池田病院 地域医療連携室	事例から見る地域包括・ケアマネ連携
10月14日	市立池田病院 地域医療連携室	コロナ禍におけるメンタルヘルス対策
11月11日	市立池田病院 地域医療連携室	腹膜透析における看看連携～在宅編・病院編～
12月9日	市立池田病院 地域医療連携室	薬薬連携 「連携ツールを活用した情報共有」 「在宅における薬剤師の役割」
1月13日	市立池田病院 地域医療連携室	「コロナは特別？感染対策の基本を見直そう」
2月10日	市立池田病院 地域医療連携室	栄-栄連携 フレイル予防
3月10日	市立池田病院 地域医療連携室	地域医療連携室MSW奮闘記～2022～

#### 4 市民公開講座 ※オンラインによる配信

開催月	担 当 部 門	テ ー マ
4月	腎臓内科	慢性腎臓病ってなあに？～みんなで重症化予防に取り組もう～
5月	形成外科	下肢静脈瘤の治療
6月	精神科	コロナ禍におけるメンタルヘルス
7月	血液内科	骨髄腫ってどんな病気？
8月	循環器内科	動脈硬化 ～血管のおはなし～
9月	歯科・歯科口腔外科	口腔内乾燥症について
10月	糖尿病・内分泌内科	糖尿病を知り合併症を予防しよう
11月	耳鼻いんこう科	高齢者の難聴 ～認知機能への影響も含めて～
12月	乳腺・内分泌外科	遺伝性乳癌について
1月	皮膚科・皮膚・排泄ケア認定看護師	褥瘡(床ずれ)と予防ケア
2月	神経内科	パーキンソン病を知ろう
3月	消化器内科	脂肪肝について

#### ■ その他の活動実績

- ・大阪府がん診療連携協議会・各部会
- ・豊能がん医療ネットワーク協議会・各部会
- ・豊能圏域大腿部頸部骨折地域連携会議
- ・豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス会議
- ・豊能糖尿病地域連携クリティカルパス検討会
- ・池田保健所連携会議
- ・川西・猪名川病院連携会議
- ・病-病連携会議 他

## 感染制御部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

##### \*ICT（感染制御チーム）

医師：尾崎 由和（ICD）

若林 元（ICD）

大谷 安司

薬剤師：瀬名波 宏昌（感染制御認定薬剤師）

薬剤師：小畑 紋菓（抗菌化学療法認定薬剤師）

臨床検査技師：兒谷 香里

臨床検査技師：今村 友美

看護師（専従）：横山 朋之（感染管理認定看護師）

看護師（専従）：林 紫（感染管理認定看護師）

看護師（専任）：生地 あゆみ（感染管理認定看護師）

##### \*AST（抗菌薬適正使用支援チーム）

医師：若林 元（ICD）

医師：大谷 安司

医師：宗方 幸二（ICD）

医師：中尾 真一郎

医師：青木 大

薬剤師：瀬名波 宏昌（感染制御認定薬剤師）

薬剤師（専従）：小畑 紋菓（抗菌化学療法認定薬剤師）

臨床検査技師：兒谷 香里

臨床検査技師：今村 友美

看護師：横山 朋之（感染管理認定看護師）

看護師：林 紫（感染管理認定看護師）

##### \*感染リンクスタッフ

医師：尾崎 由和、若林 元、大谷 安司

看護師：横山 朋之（感染管理認定看護師）、林 紫（感染管理認定看護師）、

生地 あゆみ（感染管理認定看護師）、諸石 享子、伊藤 絵里、市川 敬子、  
片岡 優佳、水野 洋平、東 真澄、中村 沙織、高井 恵子、村田 未喜、  
前多 初美

薬剤師：高橋 勝史

放射線技師：飯村 航汰、西原 聡美

リハビリテーション医師：横山 由梨子、丹羽 徹

歯科技工士：嶋本 政嗣

臨床検査技師：中尾 かおり、中村 克章

管理栄養士：田中 芳子

臨床工学技士：杉山 隆志、穴井 恵里

眼科技師：宮崎 伸子

医療秘書：前西 香奈

臨床研修部：臨床研修医 交代で参加

## ■ 業務概要

### 1) ICT

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師の4職種でチーム構成され、感染管理認定看護師が専従となり、感染防止対策加算1、感染防止対策加算地域連携加算を算定している。毎週水曜日に ICT 環境ラウンドを実施している。また、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業の検査部門、手術部位感染（SSI）部門に参加をしている。院内の全職員対象の全体研修を年2回実施し、院内感染対策に取り組んでいる。

### 2) AST

チームメンバーは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師で構成され、うち薬剤師1名を専従とし、ICT と協力しながら、感染対策向上加算1を算定している。AST 対象患者は、広域抗菌薬使用患者、抗 MRSA 薬使用患者、血液培養陽性患者、抗菌薬長期使用患者（8日以上）とし、毎日専従薬剤師がリストアップし、確認している。その中から見直し・介入が必要な患者を抽出し、週2回チームカンファレンスを行っている。院内での感染症・抗菌薬に関わる相談は随時行い、感染症診療をサポートしている。また、AST 主催の院内勉強会を年2回開催し、抗菌薬適正使用を推進している。

## 《実績》

### 1. 地域連携

- 1) 感染防止対策加算2施設と合同カンファレンスを年4回実施
- 2) 院内にて全職員対象全体研修を年2回実施
- 3) 厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）に検査部門・手術部位感染（SSI）部門に参加
- 4) 感染防止対策加算1施設病院の相互ラウンドを実施  
11/11 当院ラウンド      12/1 市立豊中病院訪問      2/20 大阪刀根山医療センター訪問

### 2. 感染防止対策加算1

#### 1) 感染防止対策加算1-3連携

	開催日	開催場所	参加施設	内容
感染防止対策加算1	7/11	市立池田病院	池田回生病院 池田市医師会 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 関連
	9/12	市立池田病院	池田市医師会 池田保健所 池田回生病院 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 対策(主に療養期間の変更に関する事項について)
	12/12	市立池田病院	池田市医師会 池田保健所 池田回生病院 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 情報共有

	3/13	市立池田病院	池田回生病院 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 情報共有
--	------	--------	------------------	--------------------------------------

## 2) 外来感染対策向上加算関連

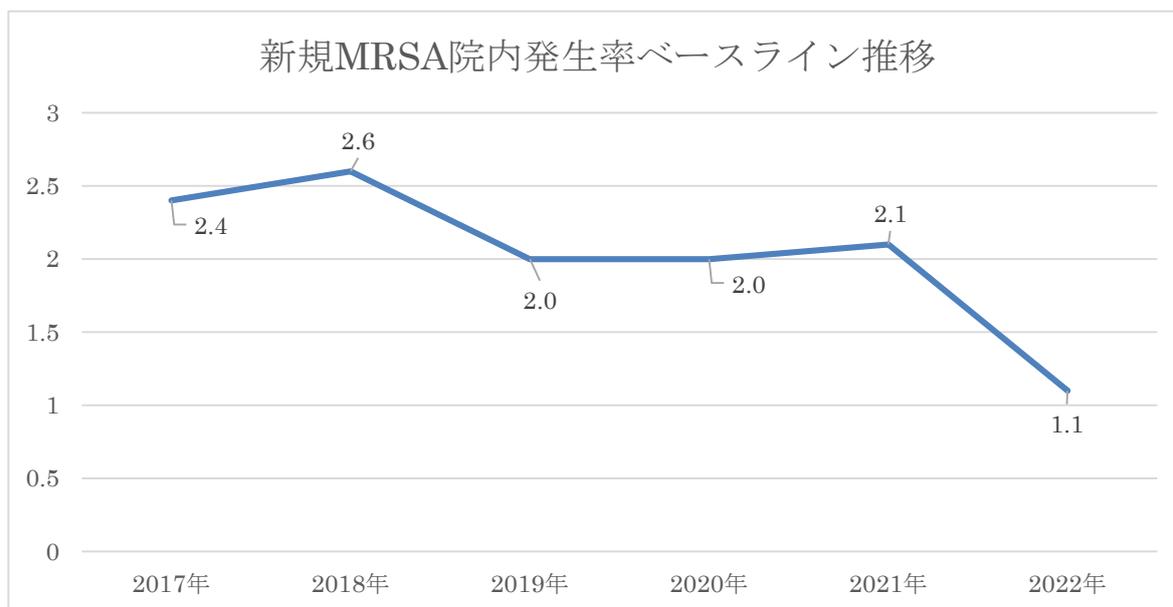
開催日	開催方法	参加施設	内容
7/1	Zoom	13 施設	アウトブレイクに学ぶ感染対策 地域全体の感染症の予防、治療への対応 カンファレンス実施
12/2	Zoom	21 施設	冬期のインフルエンザと COVID-19 に備えて 内服抗菌薬について カンファレンス実施
2/25	対面開催 市立池田病院	16 施設 24 名	マスク・エプロン・ゴーグル正しく使って感染予防 PPE 着脱訓練 N95 マスクフィットテスト

## 3) 全職員対象全体研修

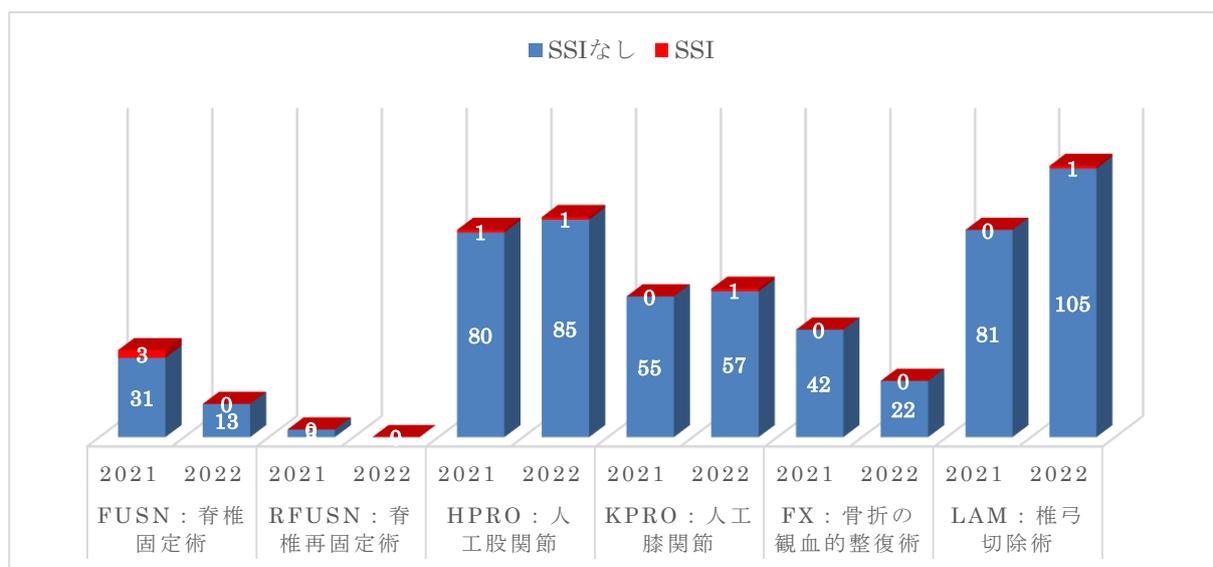
第1回全体研修	冬期のインフルエンザと COVID-19 に備えて	2022 年 11 月 18 日～12 月 9 日(動画視聴)
第2回全体研修	① 当院で実施している新型コロナウイルス検査 ② AMR(薬剤耐性)について ③ 職業感染防止 落下針・誤廃棄報告	2022 年 3 月 23 日～3 月 31 日(動画視聴)

## 3. サーベイランス

### 1) 新規 MRSA 院内発生率 (院内感染発生率=院内発生患者数/入院患者数×1000)



## 2) 整形外科 SSI 発生数の比較



## 3) 消化器外科 SSI 発生数の比較



## 5. 届出感染症

	届出数	感染症
2類感染症	2,914 件	結核 6 件、COVID-19 2657 件 疑似症 129 件 自己登録要請者 122 件
3類感染症	1 件	腸管出血性大腸菌感染症
4類感染症	1 件	レジオネラ症
5類感染症	4 件	梅毒 1 件、ウイルス性肝炎 1 件、播種性クリプトコックス症 1 件、水痘 1 件

## 6. 感染管理教育

医療関連感染対策の充実にに向けた取り組み

■ ICT 環境ラウンド実施回数と結果のフィードバック回数：45 回／年

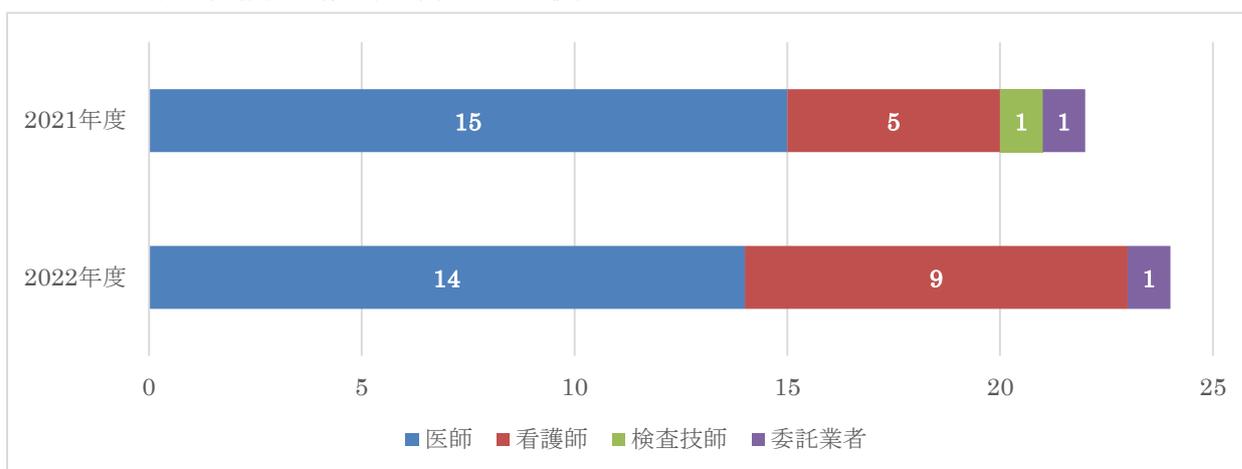
■ 職員対象研修実績

研修対象	実施回数
新規採用職員研修(研修医師、看護師、コメディカル)	1
職員対象研修	24
中途採用者職員研修	4

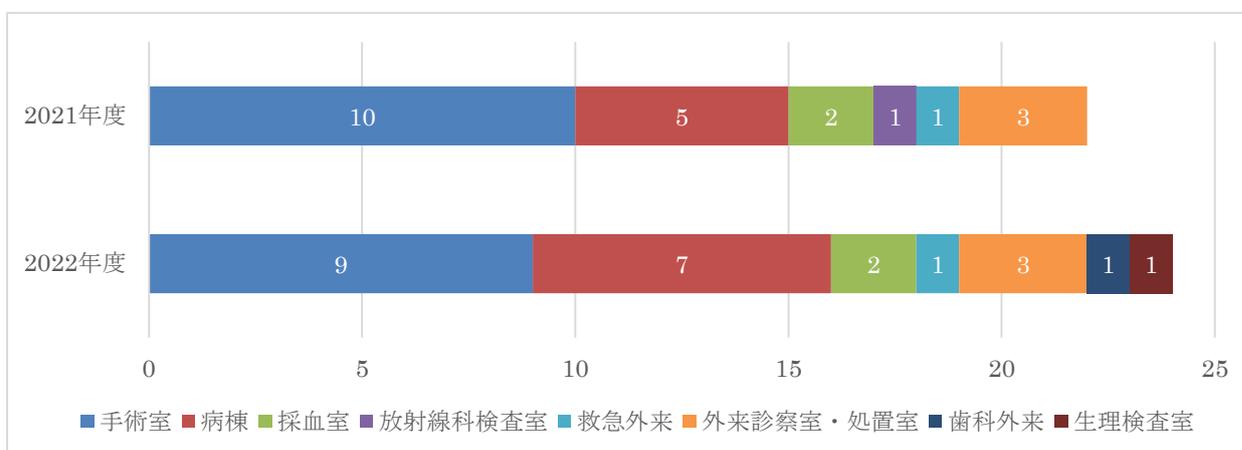
## 7. 職業感染管理

1) 針刺し切創・粘膜皮膚曝露発生数：30 件

■ 職種別針刺し切創発生数（前年度との比較）

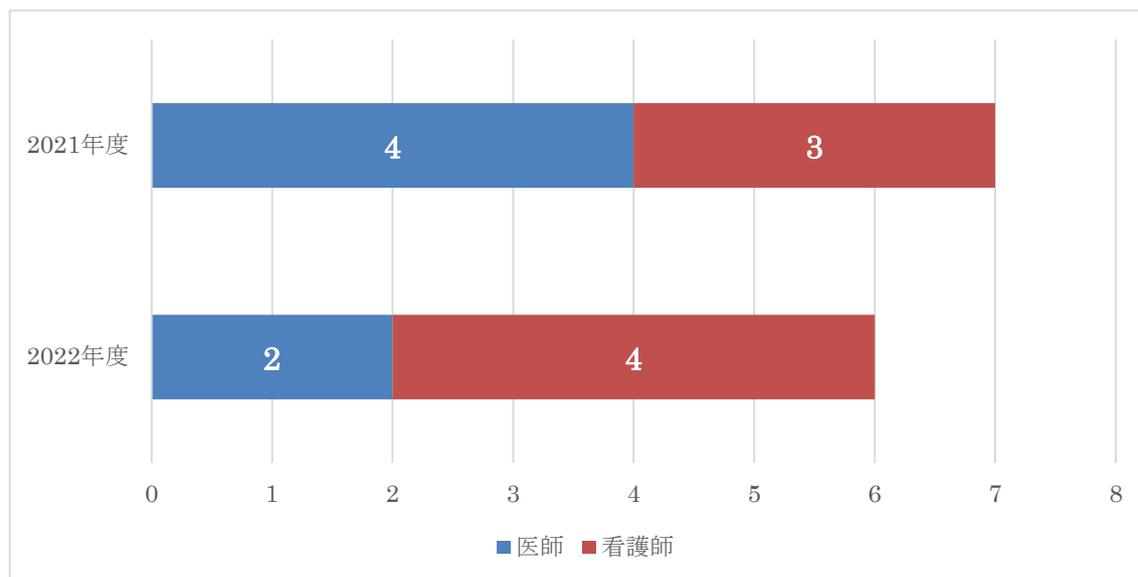


■ 部署別針刺し切創発生数（前年度との比較）

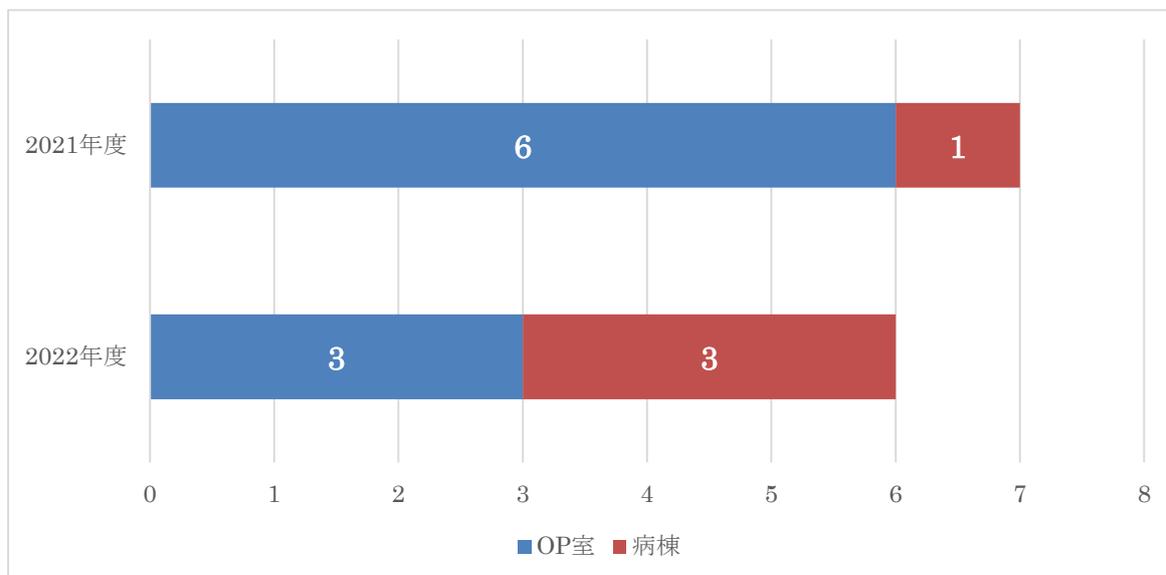


2) 粘膜皮膚曝露発生数：6件

■職種別粘膜皮膚曝露発生数（前年度との比較）



■部署別粘膜皮膚曝露発生数（前年度との比較）



8. 抗菌薬適正使用支援

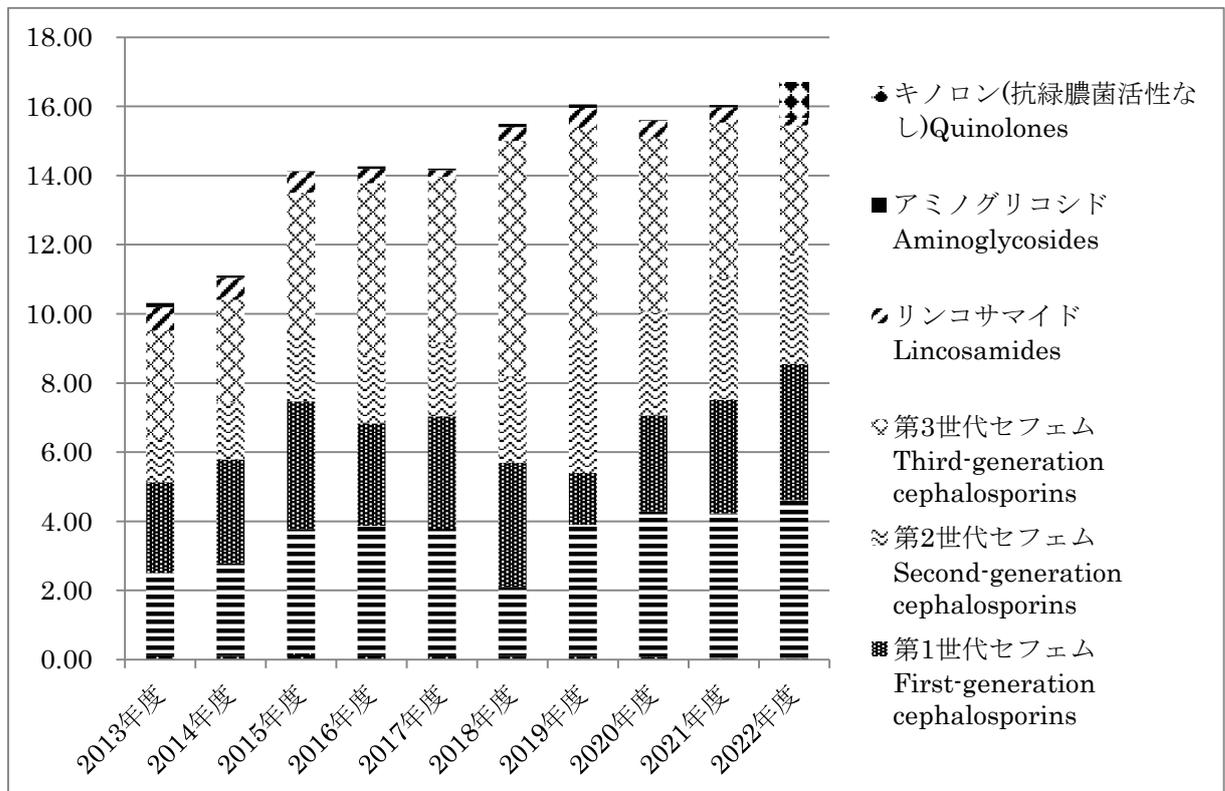
1) 特定抗菌薬使用患者・血液培養陽性患者に対する早期介入

■延べ介入患者数：5,422名（うちチームによる確認件数：462件）

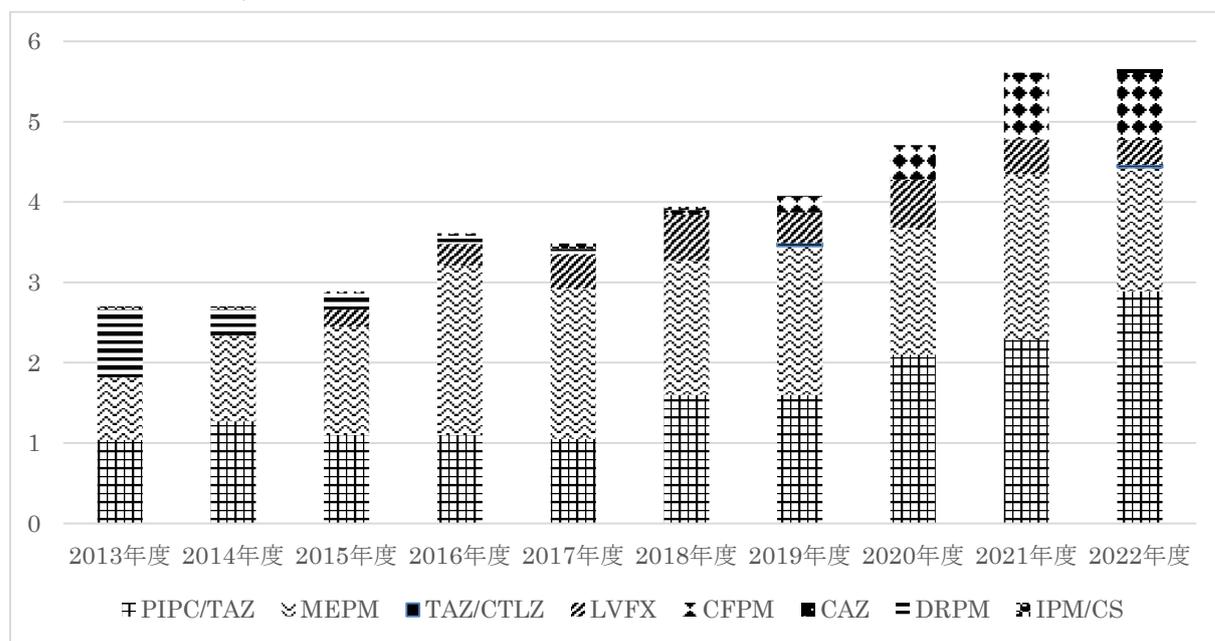
■治療に対する提案数：366件、相談件数：149件（下記グラフ：提案・相談内容の内訳）



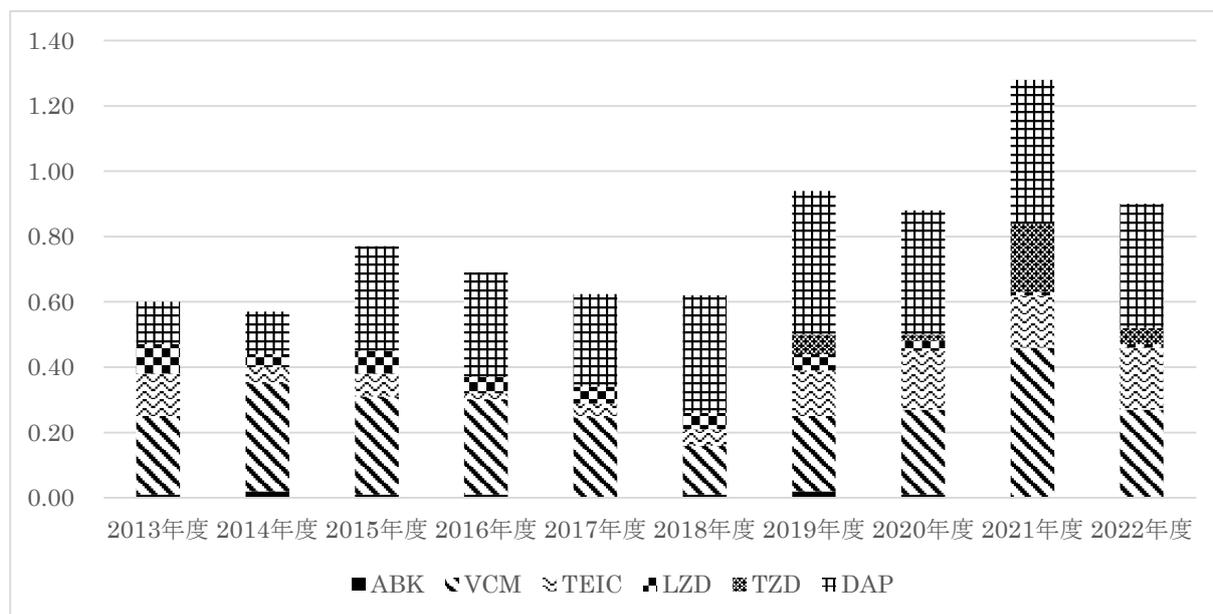
2) 一般抗菌薬使用量推移  
(DDD<sub>s</sub>/100bed-days)



3) 広域抗菌薬使用量推移  
(DDDs/100bed-days)



4) 抗MRSA薬使用量推移  
(DDDs/100bed-days)



## 医療安全・質管理部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

##### 1 組織

部内に安全対策室がある

##### 2 スタッフ

部長（副院長兼務）	太田 博文
安全対策室長	和田 和美
	下村 一徳
	松田 和穂

#### ■ 業務概要

##### 1 安全対策室の業務概要

- 1) インシデントレポートの分析・集計
- 2) 安全対策室カンファレンスを週1回程度で開催し、インシデント事例を検討
- 3) 患者相談窓口における患者対応
- 4) 第三者機関へのインシデント・アクシデント事例報告
- 5) 医療事故発生時の初期対応と事例検討
- 6) MRM委員会の円滑な運営と決定内容の推進
- 7) 医療安全マニュアルの作成と遵守の推進
- 8) 医療安全活動の推進・指導
- 9) 医療安全に関する相談・教育
- 10) 地域への医療安全情報の発信・啓発

### 《実績》

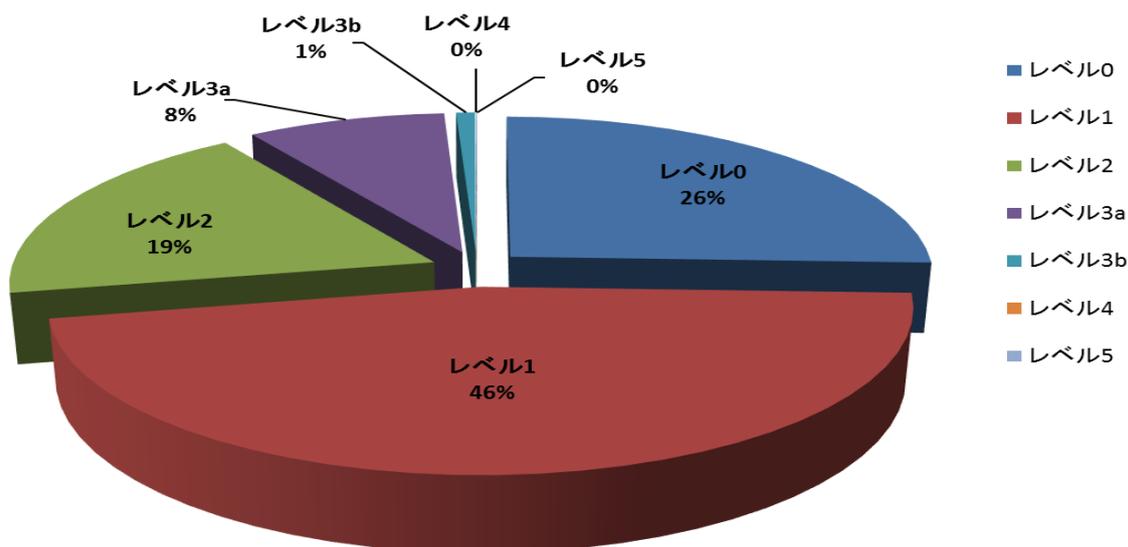
#### ■ 統計実績

##### 1. 2022年度インシデント報告件数（報告者の職種別件数）

報告者の職種	件数	%
医師	86	3.4
薬剤師	106	4.1
看護師	2,210	85.7
地域連携室	16	0.6
放射線技師	21	0.8
臨床検査技師	39	1.5
リハビリ(PT・OT・STなど)	22	0.9
栄養管理科技師	26	1.0

病理診断技師・眼科技師他	8	0.3
医療管理課・受付職員	9	0.3
診療録管理室・医師クラーク	34	1.3
その他	3	0.1
合計	2,580	100

## 2. 2022 年度インシデント報告レベル別割合



## ■ 研修・教育活動

指導者・講師	内 容	研修名・日時
和田 和美	リスクマネジメント研修	新採用研修 講堂 2022/4/6
和田 和美	KYT研修	新採用研修(看護部) 講堂 2023/5/13 5/16
和田 和美	医療安全 リスクマネジメント	千里金蘭大学 統合実習 2022/6/21 7/5
和田 和美	転倒・転落について	師長会研修 講堂 2022/9/27
和田 和美	医療安全 ～リスクマネジメント研修振り返り～	臨床研修医研修 講堂 2023/2/14

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

<スタッフ>

専任職員 1 名、委託職員 6 名の構成で、サポートデスク窓口は 365 日体制としている。

経営企画課長 山本 朗央

情報システム担当 梶本 幸彦、上田 淳 (委託)

情報システムサポートデスク 安達 元 他 4 名 (委託) ※ 365 日交替制

<会議体> (令和 5 年 3 月 31 日時点)

情報システム管理委員会：病院情報システムの管理に係わる事項を協議し決定する。

#### ■ 診療・業務概要

- (1) 情報システムに係わる院内の総合的企画及び調整
  - ・ 情報システムの導入・更新計画の立案及び調整
  - ・ 情報システムの運用に係わる改善計画の立案及び調整
  - ・ 情報システムの予算の管理
- (2) 情報システムの調達に係わる業務
  - ・ 情報システムの仕様策定に係わる業務
  - ・ 情報システムの発注に係わる業務
- (3) 情報システムの導入・更新に係わる管理業務
  - ・ 情報システム導入・更新時の進捗管理
  - ・ 情報システム導入・更新時のベンダー及び部門間の調整
  - ・ 情報システムの構成情報の管理
- (4) 情報システムに係わる院内の総合的運用管理
  - ・ 問合せ、要望、障害等への対応を担うサポートデスク業務
  - ・ マニュアル作成、操作研修等を担うユーザーサポート業務
  - ・ 情報システム委員会の開催
- (5) 情報システムのオペレーション業務 (保守・維持管理)
  - ・ 情報システムの安定稼働に係わる業務
  - ・ 情報システムのアクセス管理
  - ・ 情報セキュリティ管理
- (6) 情報システムのデータ二次利用の推進
  - ・ データ統計・分析の支援
  - ・ 簡易システムの作成

## 《実績》

### ■ 業務実績

#### (1) 地域医療連携システムの更新

市立池田病院では、2014年に地域医療連携システムを導入し、患者さんの同意のもと地域の連携医療機関を対象に、ネットワークを介した診療情報の提供を行ってきた。また、2021年より大阪大学医学部附属病院を対象として、地域医療連携システムを活用した病病連携も行っているところ。

しかしながら、当該システムの導入から8年が経過し老朽化が進んでいることから、システムの安定稼働を維持するために、地域医療連携システムの更新を行ったもの。

#### (2) セキュリティ機器の更新

セキュリティ機器について、サイバー攻撃による被害が増加している現状では、その重要性が増しているところ。また、2017年に導入した現行の機器が2022年に保守切れとなることから、病院内部のネットワークセキュリティを維持するため、セキュリティ機器の更新を行ったもの。

今回の更新においては、セキュリティ機器へのサンドボックス機能の追加、インターネット回線の冗長化等のセキュリティ強化を行った。この他、院内主要システムのバックアップ方法の見直し、情報システム障害時対応マニュアルの改定を行う等、合わせてセキュリティ対策の見直しを行った。

#### (3) AI問診の環境構築

AI問診とは、タブレット端末等によるAIを使用した事前問診のことであり、患者さんにお答えいただいた症状によって、AIが最適な質問を自動で判断するもの。そのため、質問項目が固定化された従来の問診よりもさらに詳しい質問を行うことができる。

AI問診の導入により、医師の問診に要する時間を軽減でき、患者さんに向き合う時間が増えることで、診療の充実が図られるものと期待される。今後は、研修医の教育機関でもある当院において、より適切な活用を検討することが課題となっている。

#### (4) 「オンライン資格確認 健診／薬剤情報連携」の導入

既存のオンライン資格確認システムから支払基金・国保中央会が保有する健診情報及び薬剤情報を参照できるようにするため、電子カルテシステムの改修を行った。

#### (5) 医療機器管理システムの更新

医療機器管理システムについて、安定稼働のため老朽化したシステムの更新を行った。今回のシステム更新では、①ランニング費用を抑えられる、②専用のハードが不要で、機器に依存しない、③院内での保守作業が不要等の理由から、オンプレミスペースのシステムからクラウドベースのシステムへと乗り換えを行った。

#### (6) その他

電子カルテ Pack の適用、RPA(Robotic Process Automation)の活用推進等を行った。

#### ◇委員会開催状況

情報システム管理委員会 8回開催。※4回は緊急事態宣言等により中止。

#### ◇情報セキュリティ研修

ビデオ視聴形式により1回開催。※ビデオ形式：新型コロナ感染防止のため。

## 診療情報管理部 - 診療情報管理・診療支援

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

診療情報管理士	: 8名
医師事務作業補助	: 文書作成補助 3名 データベース登録 2名 (うち派遣 1名) 診療支援 37名 (うち派遣 10名)
スキャナセンター	: 2名 (委託)
委員会等事務局	: 診療情報管理委員会 診療支援委員会 クリニカルパス委員会 クリニカルパス・DPC プロジェクト 広報委員会

#### ■ 診療・業務概要

主な業務内容は次のとおり

- 1 DPC 管理
  - (1) DPC 請求に関する業務
  - (2) DPC 分析に関する業務
  - (3) DPC 基礎調査に関する業務全般
- 2 診療情報管理
  - (1) 診療録管理に関する業務
  - (2) 退院サマリに関する業務
  - (3) カルテ監査に関する業務
  - (4) 診療情報統計に関する業務
  - (5) クリニカルパスに関する業務
  - (6) 診療情報抽出・集計・分析に関する業務
  - (7) QI (Quality Indicator) に関する業務
  - (8) 重症度、医療・看護必要度に関する業務
  - (9) 内科専門医制度 J-OSLER に関する業務
  - (10) 紹介状に関する業務
- 3 がん登録に関する業務
- 4 診療報酬算定向上に関する業務
- 5 経営分析に関する業務
- 6 広報に関する業務
- 7 医師事務作業補助者の業務管理と研修計画・実行
- 8 スキャナセンター運営管理に関する業務

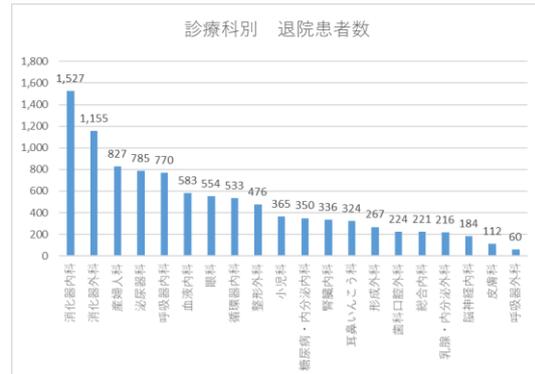
## 9 医師事務作業補助業務

- (1) 診断書・証明書作成補助
- (2) 診療支援（電子カルテオーダ代行入力、病棟業務等）
- (3) 臨床データ登録（NCD、手術台帳等）

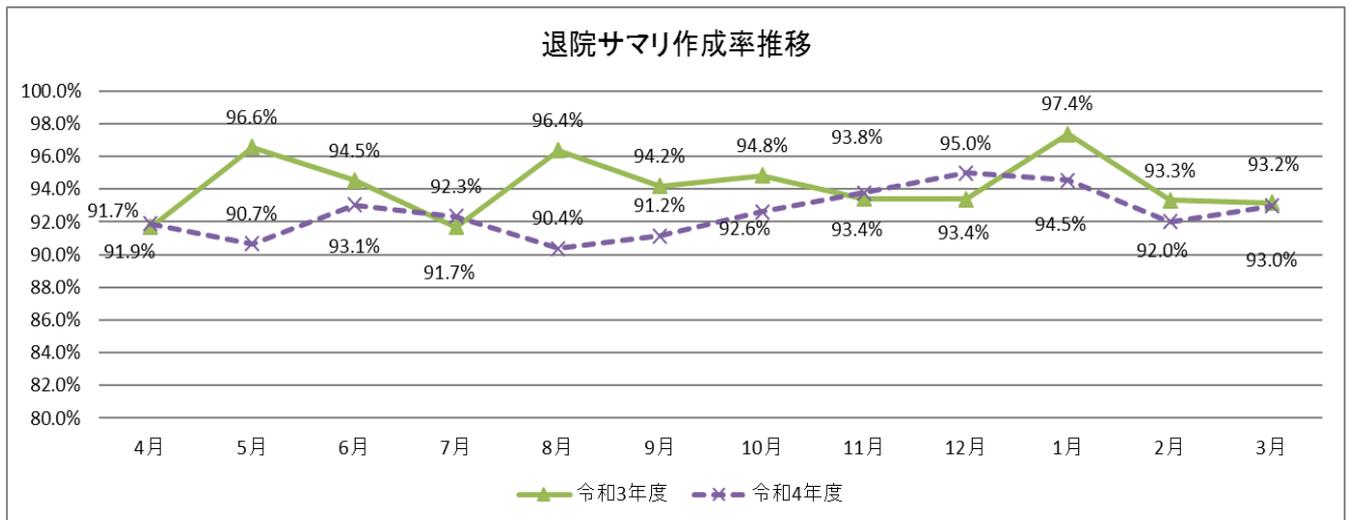
## 《実績》

### ■ 統計実績

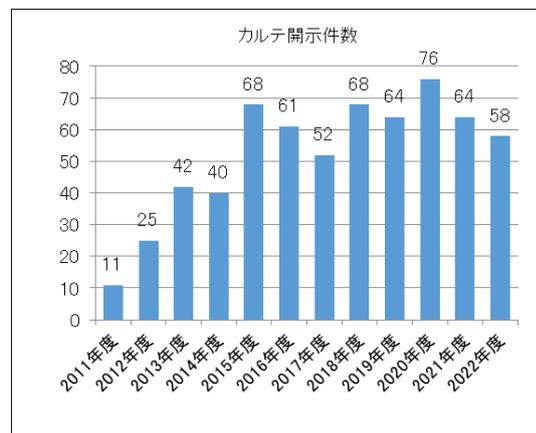
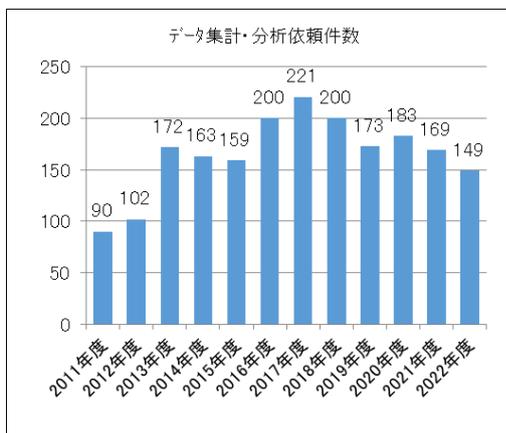
#### (1) 退院患者数



#### (2) 2週間以内退院サマリ作成率



#### (3) 診療情報提供件数



(4) DPC 集計

①MDC2 別 退院患者数

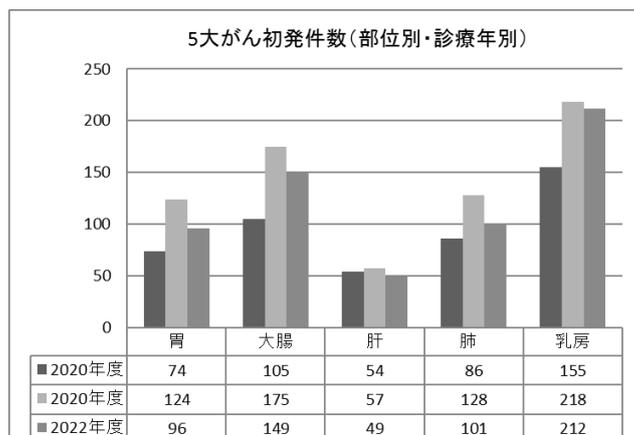
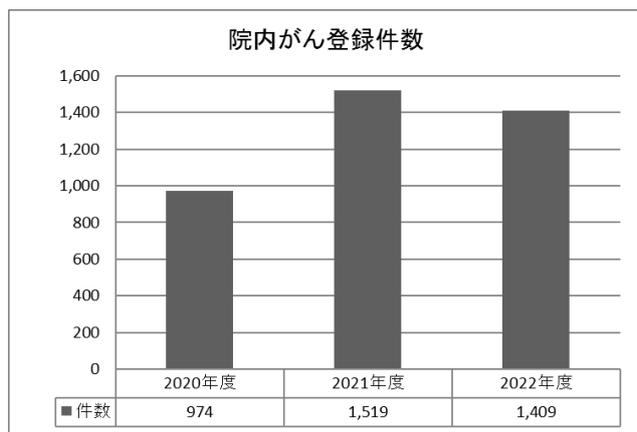
MDC2	MDC2名	退院患者数
01	神経系疾患	157
02	眼科系疾患	641
03	耳鼻咽喉科系疾患	285
04	呼吸器系疾患	943
05	循環器系疾患	519
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	2,430
07	筋骨格系疾患	391
08	皮膚・皮下組織の疾患	180
09	乳房の疾患	219
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	324
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	1,085
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	608
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	592
14	新生児疾患、先天性奇形	60
15	小児疾患	14
16	外傷・熱傷・中毒	223
17	精神疾患	5
18	その他	569

②MDC6 別 退院患者数 (TOP10)

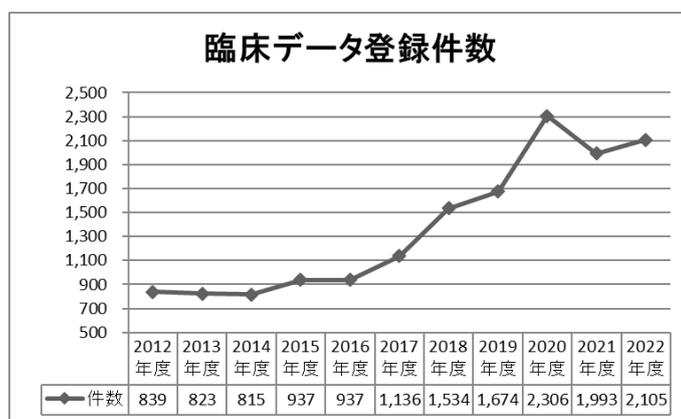
順位	MDC6	MDC6名	手術の有無	退院患者数	
1	020110	白内障、水晶体の疾患	あり	497	497
2	180030	その他の感染症(真菌を除く)	あり	14	484
			なし	470	
3	040040	肺の悪性腫瘍	あり	53	425
			なし	372	
4	130030	非ホジキンリンパ腫	あり	55	326
			なし	271	
5	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	あり	115	294
			なし	179	
6	110080	前立腺の悪性腫瘍	あり	59	283
			なし	224	
7	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	あり	162	239
			なし	77	
8	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	あり	62	217
			なし	155	
9	090010	乳房の悪性腫瘍	あり	163	211
			なし	48	
10	10007x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	あり	6	182
			なし	176	

(5) 医師事務作業補助者業務

①院内がん登録



②診断書等作成補助、臨床データ登録



■ 学術業績

□ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
道上 敏之、嶋吉 敦子	多職種による肝炎ウイルス検査結果説明体制の構築 ～診療情報の有効活用～	第24回日本医療マネジメント学会学術総会 神戸(ライブ+オンデマンド配信) ライブ:2022/7/8-9 オンデマンド:2022/7/25-8/24

■ 研修・教育活動

学校名	人数	内容
大阪医療秘書福祉専門学校	1名	診療情報管理 実務実習(3週)
関西女子短期大学	1名	医師事務作業補助 実務実習(2週)

## 栄養サポートチーム (NST)

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	安座間 隆 (JSPEN 認定医)
副委員長	村上 慎一郎、今西 成雄 (NST 事務局)
委員	
医師	和田 範子、小川 英美、清水 裕平、三砂 雅裕、影山 美沙紀、青木 大
看護師	小谷 朱根、岩垣 奈津子、横山 朋之 (医療安全)
薬剤師	岩本 千晶、森田 望
臨床検査技師	今村 友美
理学療法士	佐々木 大地
作業療法士	濱田 亜紀
言語聴覚士	安藤 敏夫、立石 圭、片尾 奈緒子
歯科衛生士	銀羽 かおり
管理栄養士	田中 芳子、北野 千穂 (NST 事務局)

\*NST 専任資格者 (4 職種) : 医師 7 名、看護師 1 名、薬剤師 2 名、管理栄養士 3 名

NST 専門療法士 : 4 名

オブザーバー

看護師	小原 順子、安部 圭子、稲野 聖子
臨床検査技師	金澤 佳代
管理栄養士	長谷 良太、高雲 隆史

#### ■ 業務概要

年度目標「低栄養のことを一生懸命やる」(患者の QOL の維持と向上を目指す)

##### 1) NST 加算

患者に配付する栄養治療実施計画書兼栄養治療実施報告書の必須検査項目 (5 項目 : アルブミン、リンパ球数、ヘモグロビン、中性脂肪、トランスサイレチン) は、検査オーダーの確認を行い、項目の漏れがある場合は、昨年同様に NST で検査項目を追加する方法をとらせていただき、対象患者の患者掲示板にその旨を記載させていただいた。

NST 加算件数としては、2022 年度は 651 件となり昨年度の 852 件より減少した。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士の NST 専任資格者が揃って回診していないと NST 加算算定はできないため、NST 専任資格者の確保についても努力した一年であったが、まだ看護師の専任資格者の確保が十分とはいえず、算定件数の減少もあり継続課題である。

##### 2) NST ラウンド (回診)

COVID-19 の影響がある中で、医師間で調整をしていただき、止めることなく回診ができた。また、昨年引き続き褥瘡対策チームや OST と連携できた。年間を通してアセスメントは行っていたが、2022 年度は昨年度より 111 件少ない 819 件であった。必須 4 職種が揃って回診できていない日は加算対象外のため、加算件数は回診件数より少なく、算定件数の増加へ繋げることも継続課題とする。

NST 加算の条件上、1 日のラウンド (回診) 患者数を 15 名以内にするために、病棟に協力

をいただき調整しながら曜日配分させていただいた。

(2022年度末現在)：水曜日 11時～ (4東・3東・3北・4北)

木曜日 13時～ (5北・5南・4南・ICU)

回診時、薬剤部と栄養管理科により栄養剤 kcal・輸液 kcal・食事 kcal を記載、リハビリテーション科によりリハビリ状況を記載した回診資料を作成し活用した。摂取エネルギーと消費エネルギーを考慮し栄養管理を実施、患者の ADL 経過の比較も行った。

### 3) 摂食機能療法

例年に続き、医療事務 (ソラスト) に毎月の件数を提示していただき、会議で算定漏れの検討を行った。2022年度は 4,426 件であり、昨年度 3,676 件より 750 件増加した。

今後も正しい算定が継続できるよう努めたいと考える。

### 4) 栄養アセスメントについて

栄養管理を行う上で栄養アセスメントは重要であり、そのためのアセスメントツールである MNA<sup>®</sup>-SF の記載・再評価は必須である。NST 対象患者は、1 週間後の再評価が基本な事もあり、記載漏れをなくすため掲示板を活用し記載の依頼、回診時に記載が必要な患者を申し伝える取り組みを 2022 年度も行った。今後も啓蒙が必要であると考え、記載・再評価漏れがなくなるよう来年度も継続して行うこととした。

### 5) NST 勉強会

COVID-19 の影響もあり会議・研修が開催できない時期があったため、NST 稼働施設認定に必要な年 12 回には到達できなかった。

### 6) NST ニュース

各科担当制で 8 回発行した。(栄養管理科 4 部 (臨時 2 部含)、臨床検査科 1 部、薬剤部 1 部、看護部 1 部、リハビリテーション科 1 部)

「リフィーディング症候群」「バクテリアルトランスロケーションって?」「栄養管理情報提供書について (臨時)」「MNA<sup>®</sup>-SF の記載について (臨時)」「トランスサイレチンとアルブミン」「経腸栄養剤の種類と違い (医薬品)」「摂食嚥下機能療法のコスト算定の条件」「食事環境を見直してみよう! (車イスでのポジショニング)」

### 7) NST 専門療法士受験に必須の臨地修練研修の受け入れについて

教育認定施設の更新を辞退したため、臨地修練研修の受け入れは終了させていただいた。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### □NST ラウンド回数・延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ラウンド回	8	6	10	8	8	9	8	7	8	8	7	10	97
延べ人数	70	53	101	51	61	79	62	53	74	83	53	79	819

#### □NST 加算算定件数 [250 点] (NST 加算 200 点+歯科医師連携加算 50 点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	70	53	86	37	42	74	51	37	58	71	42	30	651

□摂食機能療法算定件数 [185点]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	320	421	454	285	295	364	242	286	301	491	540	427	4,426

■ 研修・教育活動

担当者	演題名	会場・日時
今西 成雄(栄養管理科)	NSTの基礎知識、NST 専門療法士について	セミナー3 2022/4/8

## 褥瘡対策チーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

役割		所属	氏名
委員長	専任 医師	医局 皮膚科主任部長医師	近藤 由佳理
委員	専任 医師	医局 皮膚科医師	東 典子
委員	専任 医師	医局 皮膚科医師	川喜田 遥香
委員	専任 医師	医局 皮膚科医師	川部 僚子
委員	専任 看護師	看護部 オブザーバー (3階北病棟)	鬼迫 美也子 (9月～)
委員	専任 看護師	看護部 主任看護師 (3階東病棟)	西 淳子 (9月～)
委員	専任 看護師	看護部 手術室代表	脇本 英昭
委員	専任 看護師	看護部 3北病棟代表	デレールバ幸子
委員	専任 看護師	看護部 3東→4南病棟代表	本谷 慎一 (10月～)
委員	専任 看護師	看護部 3東病棟代表	宮原 育大 (11月～)
委員	専任 看護師	看護部 4北病棟代表	重田 杏菜
委員	専任 看護師	看護部 4南病棟代表	澤井 紗代
委員	専任 看護師	看護部 4東病棟代表	竹田 みずほ
委員	専任 看護師	看護部 5南→4南病棟代表	渡邊 未来 (7月～)
委員	専任 看護師	看護部 5南病棟代表	山本 陽香 (11月～)
委員	専任 看護師	看護部 5北病棟代表	上田 夏美
委員	専任 看護師	看護部 外来代表	藤本 裕美子 (10月～)
副委員長	褥瘡管理者	看護部 皮膚・排泄ケア特定認定看護師	小原 順子
委員	理学療法士	リハビリテーション科	佐々木 大地
委員	理学療法士	リハビリテーション科	渡辺 彩
委員	作業療法士	リハビリテーション科	奈良垣 大智
委員	薬剤師	薬剤部	山口 唯
委員	薬剤師	薬剤部	坂根 利奈 (7月～)
委員	薬剤師	薬剤部	竹島 暁子 (～6月)
委員	管理栄養士	栄養管理科	今西 成雄
委員	管理栄養士	栄養管理科	田中 芳子
委員	医事担当	医事課代表	松田 和穂
委員	医療クラーク	ソラスト代表	林 萌由
委員	電算担当	ソラスト	山田 敏之
委員	電算担当	ソラスト	松田 郁雄

#### ■ 業務概要

褥瘡対策チームは、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、事務職、といった多職種により構成される医療チームである。当院では、褥瘡専任医師と褥瘡専任看護師

からなる褥瘡対策チームが、褥瘡管理者（皮膚・排泄ケア特定認定看護師）やコメディカル、病棟スタッフと多職種でカンファレンスを行ない治療やケアを実施している。

活動内容は、褥瘡リスク患者あるいは褥瘡ハイリスク患者に対し褥瘡予防対策を行ない、褥瘡保有者に対しては、治療やケアに関する相談と指導を実施している。さらに、褥瘡発生率と有症率の算出や褥瘡対策マニュアルの見直し、褥瘡対策に関する研修や事例検討、診療報酬上必須の褥瘡全体研修の開催等を行なっている。

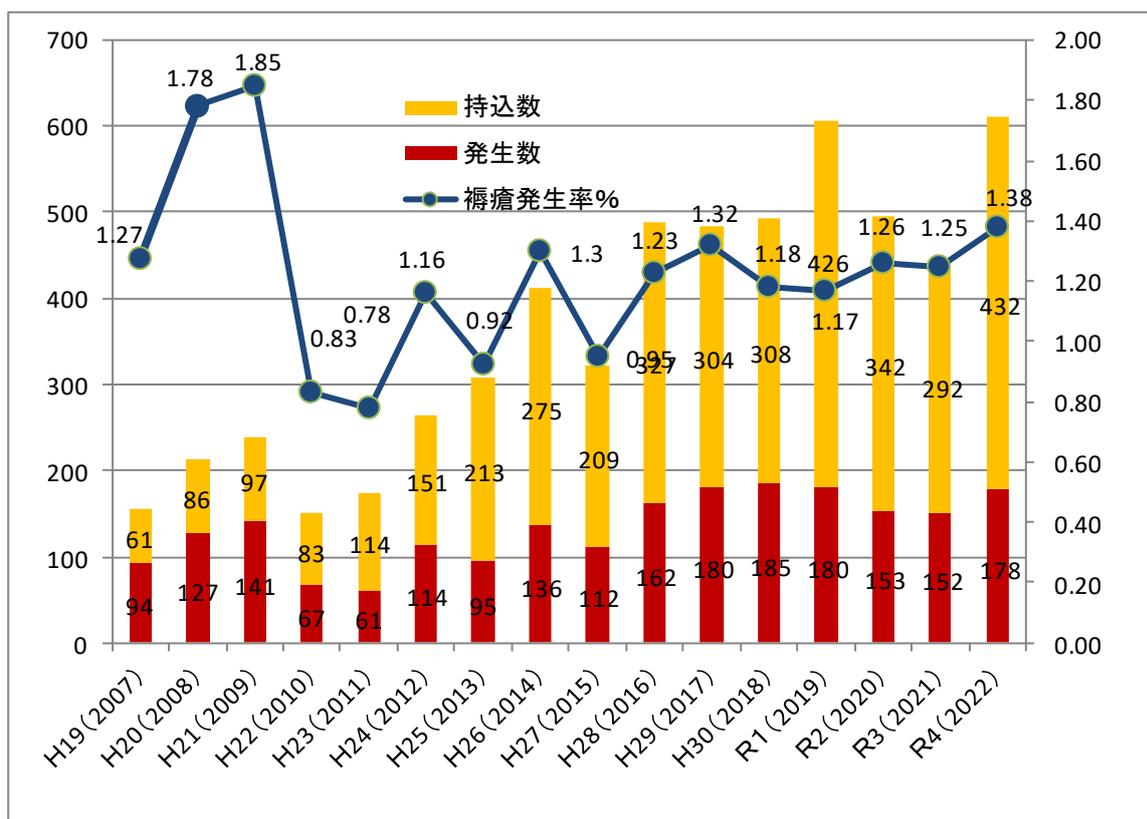
当院は、入院患者の約4割が褥瘡対策を必要とする患者で、そのうち2割は褥瘡ハイリスク患者であるため体圧分散マットレスの使用頻度が高い。体圧分散マットレスの不足に対し、今年度は、ウレタンマットレス120枚交換（ミルフィー94枚、ディンプル26枚）とエアーマットレス10台を更新して頂いた。今後もマットレスの整備や管理について取り組んでいきたい。

## 《実績》

### ■ チーム活動の実績

#### 1) 年間褥瘡発生率の実績

令和4年度の褥瘡発生率は、前年度比0.13%増の1.38%で、年間目標である褥瘡発生率1.2%以下を達成できなかった。

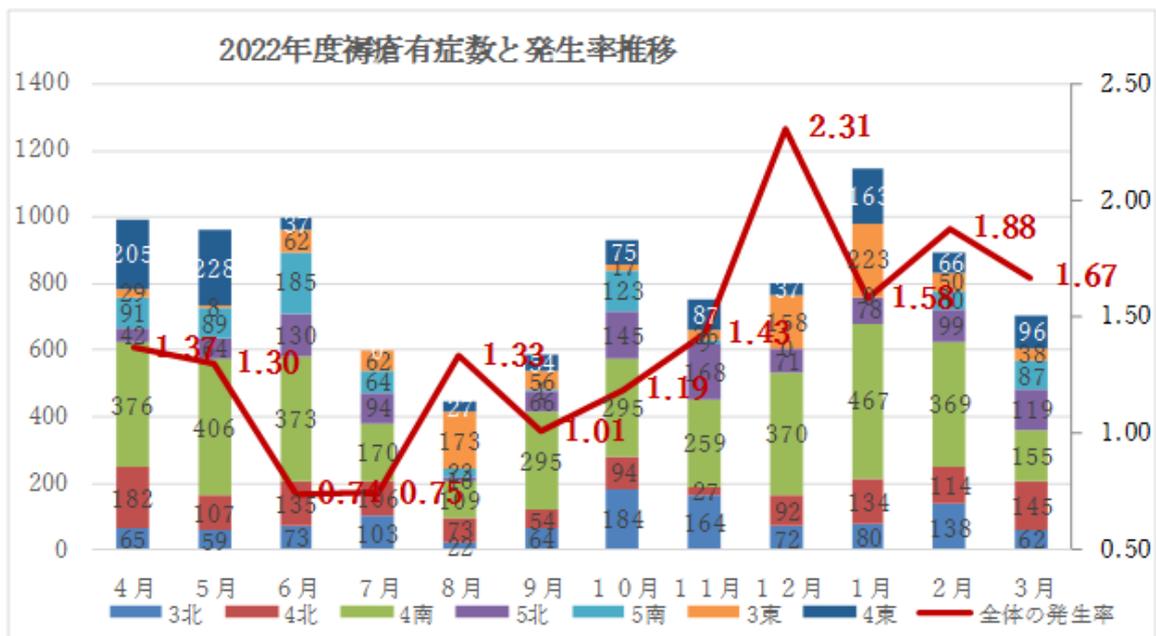


<図1> 褥瘡発生率の推移

新型コロナウイルス第7波（7-8月）と第8波（12-1月）の時期に褥瘡発生率が上昇しており、コロナ病棟である3東病棟の褥瘡発生率も8月が5.48%、1月が11.11%と上昇していた。さらに、持込み褥瘡患者の増加に伴い褥瘡有症率が、前年度比2.76%増の10.75%と上昇しており、業務の繁雑化の要因となっている。

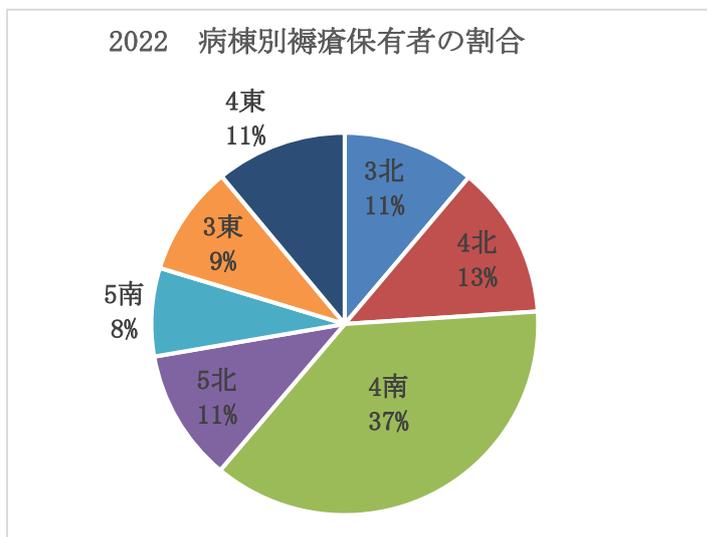
これらのことから介護度が高い高齢者がコロナ病棟に入院すると、感染対策と褥瘡対策を

同時に実施することになるため業務が繁雑となりケア負担が増し対策の遅れに繋がると考える。受入れ体制やケア体制の見直しを検討していきたい。



＜図2＞ 年間の褥瘡発生率と病棟別褥瘡保有数の推移

病棟別褥瘡保有者の割合では、4南病棟が前年度比9%増で37%と突出して高く、次に3東病棟が前年度比5%増で9%であった。その他の他病棟は8～13%であった。

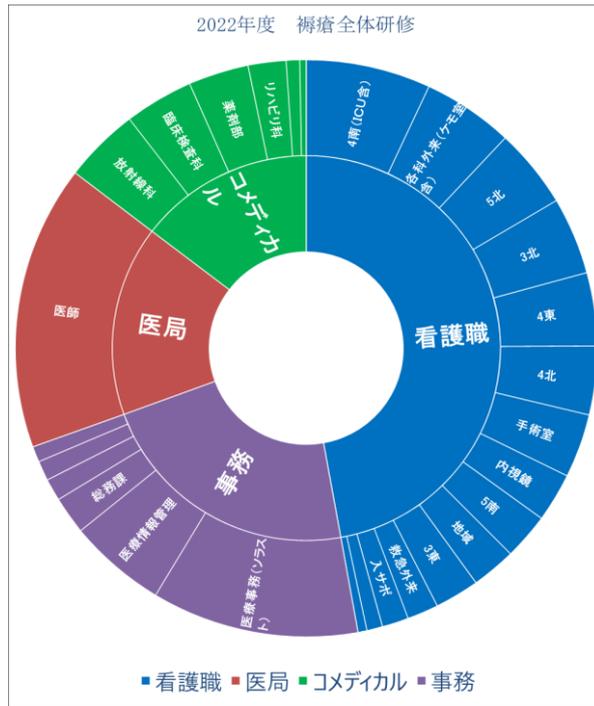


＜図3＞病棟別褥瘡保有者の割合

## 2)教育活動の実績

昨年に引き続き新型コロナウイルス対策により全職員対象の褥瘡対策全体研修は、動画研修を実施した。受講者数は、801人で前年度比101人増だった。内訳は、看護部10名増、医務局29名増、コメディカル11名増、事務局60名増で事務局と医務局の受講が増加していた。

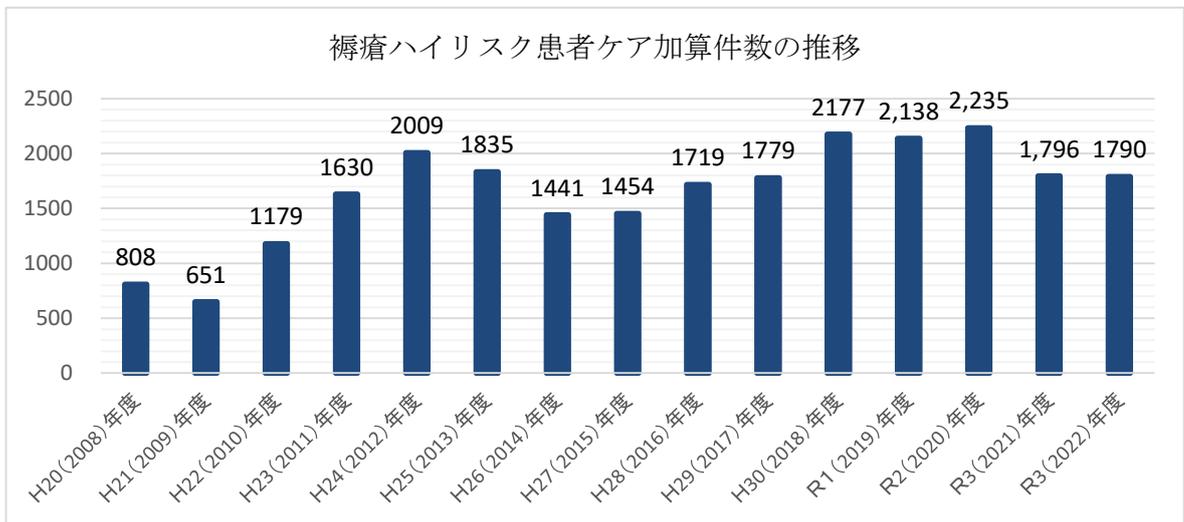
部門	受講数
看護部	381名
医務局	129名
コメディカル	118名
事務局	180名



<図4> 褥瘡全体研修の受講者の割合

### 3) 医療経済の実績

今年度の褥瘡ハイリスク患者ケア加算は、1,790件で前年度比6件減だった。入院患者実数に対して褥瘡ハイリスク患者ケア加算対象の患者は、約18.2%であった。2023年度は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い入院患者実数の増加が見込めるので加算漏れがないよう取組みたい。



<図5> 褥瘡ハイリスク患者ケア加算件数 年度別の推移

## ■ 研修・教育活動

指導者・講師	内 容	研修名・日時
ナーシングスキルeラーニング	褥瘡の基本的・標準的なアセスメントとケア実践	看護師クリティカルラダー研修Ⅱ 2022/5/18-8/17 2022/9/21-2023/1/31
医務局:近藤 由佳理 看護部:和佐田 真歩 薬剤部:竹島 暁子 栄養課:田中 芳子 リハビリテーション科:佐々木 大地 奈良垣 大智 *ナーシングスキルeラーニング	個別的な褥瘡のアセスメントとケア実践	看護師クリティカルラダー研修Ⅲ 2022/5/18-8/17 2022/9/21-2023/1/31
医事課(ソラスト):林 萌由 薬剤部: 山口 唯 栄養管理科: 田中 芳子 看護部: デレールバ 幸子	1. 褥瘡対策と施設基準/診療報酬 2. 褥瘡の薬剤選択 3. 褥瘡の栄養管理 4. 創傷のアセスメント 5. 創部の評価 DESIGN-R2020 について	褥瘡対策DVD全体研修 2022/10/11-2023/2/28
医務局:近藤 由佳理 看護部:小原 順子 薬剤部:山口 唯 栄養課:田中 芳子 リハビリテーション科:奈良垣 大智 渡辺 彩	褥瘡予防について	市民公開講座 2022/1 月公開

## 呼吸療法サポートチーム (RST)

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	大谷 安司
副委員長	満田 昌代
運営委員	
看護師	高橋 典子、越智 貴子、衣笠 愛子、
理学療法士	丹羽 徹、川南 香代子、佐々木 奈央
歯科衛生士	山田 みつ美
臨床工学技士	杉山 隆志

#### ■ 業務概要

市立池田病院「呼吸療法サポートチーム」(以下 RST という)として患者の呼吸問題に関して検討、改善をはかり医療の質及び患者の QOL や医療安全の向上を図ることを目的として平成 22 年度に発足した。活動と役割は、

- ① 人工呼吸器装着患者の安全管理、合併症予防、人工呼吸器離脱計画、呼吸リハビリテーションなどを行う
- ② 呼吸器疾患患者に関する問題の抽出及び情報収集・提案
- ③ RST の啓蒙活動
- ④ 院内研修会の開催
- ⑤ 呼吸機器に関する安全管理

前年度に引き続き、継続したチーム回診を中心に活動を行った。コロナ禍による影響で院内研修会が予定通り開催できなかったが、正しい人工呼吸器管理ができるよう動画マニュアルの作成などにも取り組んだ。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

##### □ 1年間の実績

ラウンド期間	2022年4月8日～2023年3月31日
総ラウンド日数	48日(1回/週:金曜日)
患者数	52名
医事算定件数	87件
気管挿管患者	21名
NPPV患者	19名
NHF患者	10名

人工呼吸器離脱に至った患者	24名(挿管13名 NPPV11名)
1人あたり平均人工呼吸器装着日数	21.8日/人

■ 研修・教育活動

□ 院内勉強会

担 当 者	演 題 名	会場・日時
呼吸器内科 大谷 安司	人工呼吸器について	3階東病棟 2023/3/16

## 緩和ケアチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

尾下 正秀（消化器内科）、太田 博文（消化器外科）、中島 陽（精神科）、中尾 真一郎、影山 美沙紀（総合内科）、森 梓（麻酔科）、中西 晶子、大河 万頭（薬剤師）、仲 健太（理学療法士）、渡辺 千尋（作業療法士）、高雲 隆史（管理栄養士）、小林 身和子、音地 真理、東 かおり、吉野 葵（看護師）、岸 茜（MSW）、小林 優子（臨床心理士）

#### ■ 診療・業務概要

緩和ケアチームは、麻酔科医、内科医、精神科医、外科医、薬剤師、理学療法士、作業療法士、看護師、臨床心理士、MSW、管理栄養士で構成されている。緩和ケアチーム診療加算を算定し毎日の回診を実施している。回診は主にコアメンバー（総合内科医、精神科医、薬剤師、看護師）で行い、組織全体による定期カンファレンスを週1回（水曜日）行っている。コンサルテーションシステムにより、随時チーム内のメンバーが対応できる体制をとっている。個別栄養食事管理加算を算定し、管理栄養士による栄養食事管理も行っている。また、緩和ケアチームが介入している患者を対象に緩和ケア食として”ふくまる食”の提供を行っている。

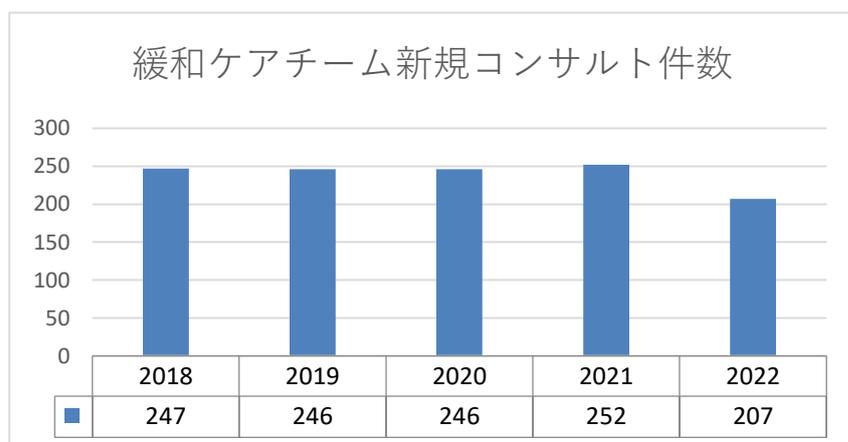
例年、地域連携の一環として開催していた五月山緩和ケア研究会はオンラインと現地とのハイブリッド開催とした。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

##### 1. 緩和ケアチーム活動状況

- ① コンサルト新規件数・・・207件（前年度 252件）



- ② 入院がん患者の緩和ケアチーム利用率・・・7.1%

- ③ 依頼時期（がん患者のみ）・・・診断から初期治療前 3.5%、がん治療中 48.7%、がん治療終了後 47.7%

④ 依頼時の依頼内容（がん患者のみ）

疼痛	71.9%
疼痛以外の身体症状	51.3%
精神症状	26.1%
家族ケア	8.5%
倫理的問題	9.5%
地域との連携・退院支援	4.5%
その他	0%

⑤ 依頼時のPS値（がん患者のみ）

PS=0	1.5%
PS=1	12.1%
PS=2	21.1%
PS=3	30.7%
PS=4	34.7%

⑥ 転帰（がん患者のみ）

介入終了(生存)	0.5%
緩和ケア病棟転院	18.1%
その他の転院	1.5%
退院(死亡退院、転院は含まない)	53.3%
死亡退院	26.1%
介入継続中(3月31日時点)	0.5%

⑦ 依頼の割合・・・がん 96.1%、非がん 3.9%

- 緩和ケアチームでは毎朝 30 分程度のショートカンファレンスを行い、きめ細やかな対応ができるよう努めた。また、定期カンファレンスでは主科の医師に参加を呼びかけ、患者を中心とした治療の方向性や今後の療養について共通理解ができるよう努めた。
- 緩和ケア研修として院内医療職向けの研修を 1 回/年行った。
- 緩和ケア委員会では、毎月各部署から持ち寄った事例で看護の振り返りを通し、がん看護の質の向上と知識や情報の共有を行った。

■ 学術業績

□ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
吉野 葵、滝本 佳予	がん治療中に新型コロナウイルス感染症に罹患した患者への介入－緩和ケアチームが関わり入院中に看取りを迎えた 2 事例の報告	第 36 回日本がん看護学会学術集会 2022/2/19-20

## ■ 研修・教育活動

### □ 研修会

市立池田病院 第25回緩和ケア研修会 PEACE 2020 in IKEDA

【日時】2022年6月2日（木） 日（木） 17時50分～19時50分

【場所】東館2階 講堂+zoom ハイブリッド開催

【参加者】191名

【内容】「これからの緩和ケア病棟の役割～with コロナ、post コロナの展望～」

演者：市立川西病院緩和ケア外科 森 一郎先生

第二協立病院緩和ケア科 羽多野 裕先生

「がん疼痛のマネジメント市民病院での実際と工夫」

演者：市立豊中病院麻酔科医長 滝本 佳予先生

## 高齢者サポートチーム（OST:old person support team）

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

神経内科	那波 一郎（認知症専門医）	
循環器内科	田中 啓介（認知症サポート医）	
社会福祉士	林 浩美	
看護師長	河野 恵美	
看護師	山崎 めぐみ	
看護師	奥野 美幸	
老人看護専門看護師	稲野 聖子（認知症地域支援推進員）	
管理栄養士	今西 成雄	
作業療法士	柳沢 崇（認知症地域支援推進員）	
作業療法士	本間 彩寧（認知症地域支援推進員）	
言語聴覚士	立石 圭（認知症地域支援推進員）	2023年7月現在

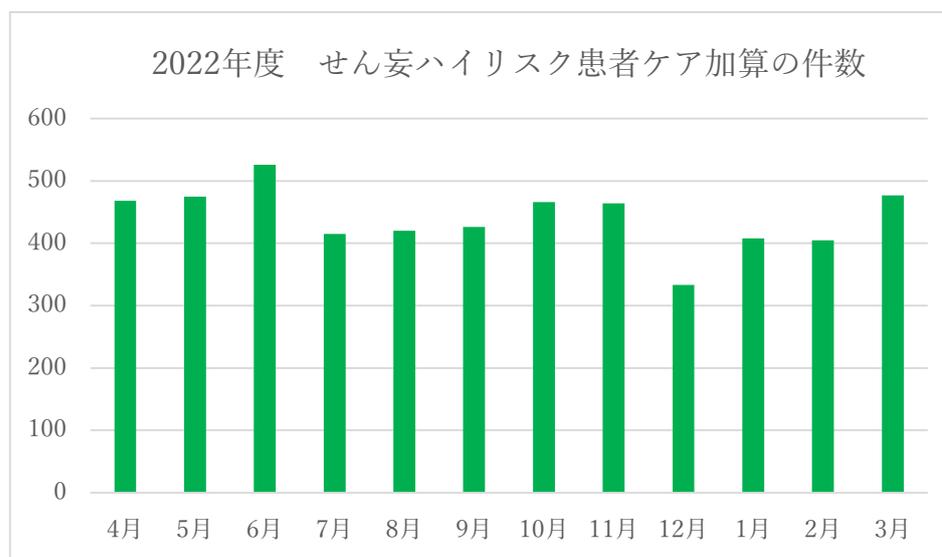
#### ■ 業務概要

1. せん妄ハイリスク患者ケア加算  
入院時に、せん妄リスクの確認と対策のチェックリストを作成する。
2. 認知症ケア加算 I  
日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする患者への対応について、週に1回以上のチーム回診で、多職種に助言する。
3. 臨床倫理のカンファレンスの支援

### 《実績》

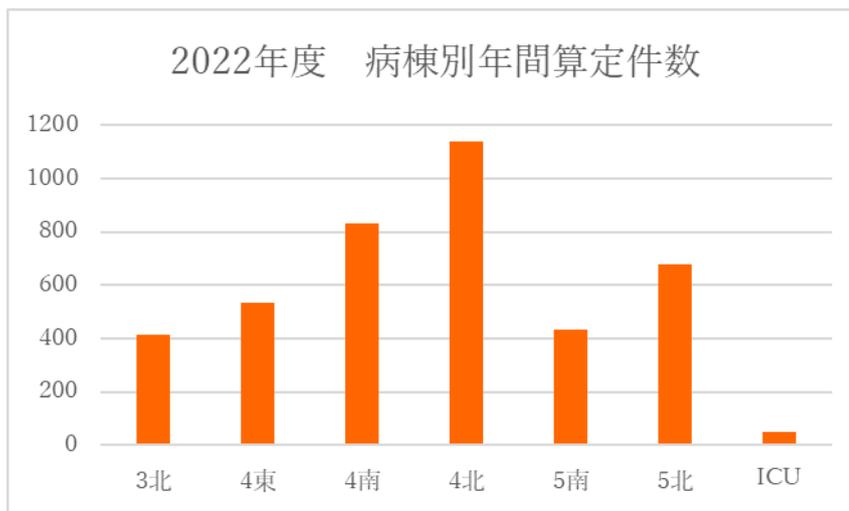
#### ■ 統計実績

1. せん妄ハイリスク患者ケア加算



合計 5,283 件（年間）

## 2. 認知症ケア加算 I



合計 4,075 件 (年間)

### ■ 業務実績

#### 1. 院内での取り組み

##### 1) せん妄予防対策

- ①病棟看護師と連携し、患者ごとにせん妄の予防方法の検討をしている。
- ②せん妄ハイリスク患者ケア加算：5,285,000 円 (年間)

##### 2) 回診

- ①多職種回診は、毎週金曜日の午後実施している。回診では、チームが介入している患者の問題点と対応について病棟看護師とチームで話し合いをしている。チームは、せん妄や認知症の症状へのケアと向精神薬での対応方法の提案、意思決定支援への助言、院内デイ（リハビリ科が実施）と連携をしている。
- ②認知症ケア加算 1：4,804,540 円 (年間)

##### 3) 研修

###### ①認知症やせん妄の研修 (全看護師対象)

- 「認知症とコロナ」 2022/4/20～5/6 (オンライン)
- 「混乱や興奮への対応」 2022/6/15～6/30 (オンライン)

###### ②倫理の研修

- 「倫理カンファレンス」 2022/10/3～10/21
- 「多職種向け 地域と共に行う認知症の意思決定支援」 2023/2/13～3/3 (オンライン)  
講師：浜辺友也先生 (消化器内科)

###### ③初期研修医向けの研修企画 (職員研修委員会/臨床研修管理委員会)

- 「初期研修医向け 患者さんのカンファレンス法」 2022/6/20 講師：古川哲生先生
- 「初期研修医向け 高齢患者への認知症とせん妄対策」 2022/11/15 講師：青木 大先生
- 「初期研修医向け 高齢患者のポリファーマシーへの対応」 2022/12/20 講師：青木 大先生

#### 4) 倫理カンファレンスの支援

##### ①倫理カンファレンスの実績

<高齢者サポートチームが開催>

概要	日
コロナ患者への退院支援	2022/9/2
せん妄患者への身体拘束	2022/9/13
認知症のがん患者への治療の意思決定支援	2022/9/26

<病棟が開催してチームメンバーが参加>

胃ろうの意思決定支援	2022/4/26
せん妄患者の身体拘束	2022/7/26
身寄りのない患者の意思決定支援	2022/7/29
人工呼吸器装着の意思決定支援	2022/9/6
手術を拒否する身寄りのない高齢患者への意思決定支援	2022/9/16
認知症患者のエンドオブライフ・ケア	2022/9/27
退院先をめぐる本人と家族の意向の違い	2022/10/11
認知症患者の意思決定支援	2022/10/13
長期入院のせん妄患者への治療とケア	2022/10/17
認知症患者のデスカンファレンス	2022/10/31
認知症患者の車の運転を含めた意思決定支援	2022/11/18
術後せん妄患者の退院支援	2022/11/30

\*高齢者サポートチームが支援したカンファレンスのみ記載

- ②「倫理カンファレンスの手引き」を作成し、2022年12月倫理委員会で承認され、倫理基準に追加となった。
- ③ 四分割表の内容を記載できるカンファレンスで使うシート（「倫理の四分割シート」）を作成し、電子カルテ内で使えるようにした。

## 2. その他

- ①2022年12月の近畿厚生局の立ち入り調査の準備と当日の対応（チームの専任看護師）
- ②池田市認知症初期集中支援チームとの連携
- ③認知症サポート医の育成
- ④院内デイの実施（チームのリハビリメンバー）
- ⑤認知症カフェへの参加（チームの作業療法士）
- ⑥NSTとの連携

## 精神科リエゾンチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	中島 陽（精神保健指定医・精神科専門医）
看護師	川添 律子（認知症看護認定看護師）
薬剤師	村山 洋子、新居 万莉

#### ■ 診療・業務概要

##### ★目的

身体疾患診療の中で問題となる、さまざまな精神症状・精神疾患に対して、医師・看護師・薬剤師からなるチームにより、主治医・病棟スタッフと連携して対処するため、平成 27 年度 5 月より発足した。

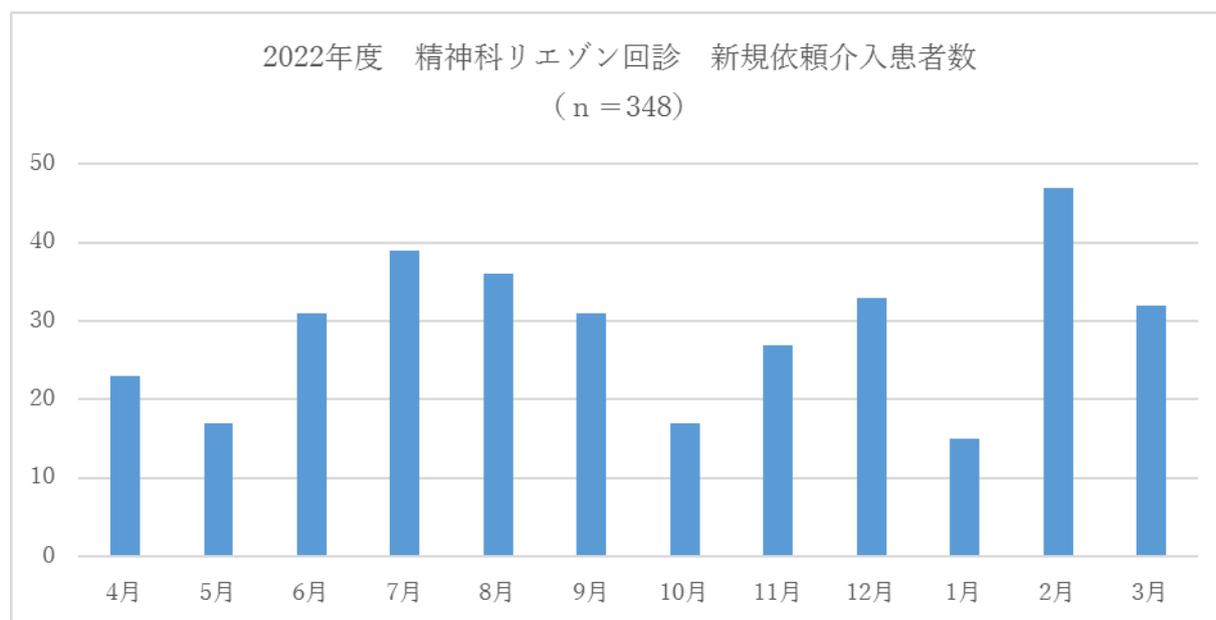
##### ★リエゾン回診

- ・週 1 回の定期回診と個別の臨時診察、助言を行う。
- ・不眠、せん妄、不安、抑うつ症状などの様々な精神症状に対応する。
- ・救急搬送された高齢者・認知症合併者、アルコール使用障害、ICU 入室者、ベンゾジアゼピン系薬使用者、向精神薬多剤大量使用者などをあらかじめ拾い出し、早期に対応する。
- ・精神症状には、薬剤により誘発ないし悪化するものがあり、薬剤調整により症状の改善をはかる。

以上の対応を、主治医と病棟スタッフと連携して行う。

### 《実績》

#### ■ 統計実績



## ライフサポートチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	◎伊藤 基敏
副委員長	岸谷 征子
医師	村上 慎一郎
看護師	衣笠 愛子、難波 さおり（オブザーバー）
理学療法士	浅野 雅也、田中 大貴
放射線科	村上 裕紀
臨床検査科	古越 京子
薬剤部	森井 悠介
ソラスト	山本 奈保美

#### ■ 業務概要

- 1) 市立池田病院ライフサポートチームとして、院内のスタッフが統一した技術・知識を身につけることによって、急変時に対応できるチーム医療を行うことができる。
- 2) CPR の事例を検証することにより、医学的客観性あるフィードバックができ、蘇生の質が向上することを目的とする。
- 3) 役割として
  - ・院内教育として ICLS コース開催、BLS 研修、ラピッドレスポンスシステム（RRS）の実施とリーダーの育成
  - ・CPR 事例の検証を行い、情報を共有し、担当委員が部署へ建設的フィードバックを行う
  - ・ライフサポートチームの啓発活動
  - ・救急カートの整備（監査と物品定数見直し）
  - ・自部署の大規模災害机上訓練計画に参加し、シミュレーション実施に関わる

### 《実績》

#### ■ 統計実績

救急カート監査	1回(11月)
ICLS コース	2回 (12月 3月)

## ■ 研修活動

開催日	講師	研修内容	対象者
11月29日	村上	除細動・挿管・DAM(挿管困難)	医師・看護師 計24名
12月6日	村上、難波	急変シミュレーション	入院サポートセンター看護師・ 補助者・事務 計14名
12月13日	村上、難波	急変シミュレーション	5階北病棟看護師・研修医・医師 計15名
11月25日	古川	ミニ ICLS 講習	看護師 計6名

## 患者サポートチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

相談員：看護師 安部 圭子（相談窓口）  
事務職員 松田 和穂、祝田 繁樹（医事課渉外）  
フロアマネージャー担当（ソラスト）

#### ■ 業務概要

病院1階ロビーで患者様、ご家族様、地域の皆様が、安心して当院を受診いただくために、気軽に相談を受けられる窓口としての体制を整え、各診療科の医師、看護師や多部門の職員と連携をとりながら対応をしています。

#### 相談内容：

- ・受診相談 … 病状について、どの診療科を受けたらよいかわからないなど。
- ・受療相談 … 今、受診するつもりは無いが、病気について気になること。
- ・看護相談 … 入院、通院患者様やご家族様の様々な不安、疑問、お悩みなど。
- ・がん相談 … 患者様、ご家族様の病気や治療に伴うお悩みなど。
- ・お薬相談 … お薬に関すること。
- ・栄養相談 … 食事・栄養に関すること。
- ・医療福祉相談 … 介護保険、社会福祉制度、自宅での療養上の不安など。
- ・医療費用相談 … 入院、通院での経済的問題や各種保険について。
- ・苦情相談 … 病院の様々な苦情、ご意見など。
- ・受診支援 … 車椅子の患者様の受診にかかわる介助など。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

#### 令和4年度 相談件数

#### □ 月別相談内容別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診受療	444	418	458	1,138	1,573	534	509	424	529	493	387	370	7,277
医療福祉	5	1	2	6	7	8	5	16	5	7	7	7	76
医療費用	6	3	6	9	7	9	3	10	6	4	8	4	75
苦情	9	5	8	6	5	4	6	7	5	6	4	6	71
看護・がん	17	15	28	8	17	12	11	14	8	8	9	8	155
その他	165	236	351	394	376	357	382	374	342	289	301	340	3,907
合計件数	646	678	853	1,561	1,985	924	916	845	895	807	716	735	11,561

### 《概要》

#### ■ スタッフ

臨床心理士（非常勤）

小林 優子・小野 潤子・栗山 七重

#### 臨床心理室について

市立池田病院では、小児科の児童心理として約 25 年にわたり心理療法が行われていた。平成 16 年 7 月には、病院の増築に伴い臨床心理室を整備し、カウンセリング室、プレイルームの 2 室が新たに設けられた。小児科以外からの心理療法へのニーズに応えられるよう、臨床心理室を病院の中央部門として独立させ、臨床心理士による心理療法を行っている。

対象は、全科からの依頼に応じて、子どもから大人までとなっており、心身症、神経症、うつ症状、発達障害などの内容を扱っている。特に、子どもへの心理的ケアについては、平成 18 年度から、心理士を増員し、母子へのカウンセリングを行っている（現在は、心理士 3 名）。親へのカウンセリングでは、子どもに対する接し方を共に考えたり、さらには、親自身の悩みなども扱っている。子どもに対しては、プレイセラピーやカウンセリングを行う。このように、親子を双方から支えることで、その親子にとって、よりよい方向に向かうようなサポートができると考えている。

また、入院患者に対しての心のケアも行っている。総合病院に属する心理室という特色から、守秘義務に配慮しつつ、医師・コメディカルスタッフとの連携を密に行い、総合的なサポートが可能な体制を目指している。

心理療法の内容は、カウンセリング、子どもへのプレイセラピー、芸術療法、箱庭療法、ソーシャルスキル・トレーニングなど多岐にわたり、その他、子どもの発達相談にも応じている。心理・発達検査では、描画などの投影法や質問紙法、発達検査などのテストバッテリーを組み、患者の心の状態や発達面、それぞれが抱えるテーマを見立てている。その上で、自己の可能性を生かし、自己実現を図れるよう、共に考え、サポートしている。また、平成 28 年度からは、神経心理学検査を実施しており、脳神経内科と連携し、認知症患者や高次脳機能障害の患者に対し、神経心理学的評価を行っている。

また、平成 20 年 4 月より、病院職員に対する心理相談を設け、精神的な支援が必要と思われる職員の相談を受け、助言や他機関への紹介などを行っている。また、平成 23 年 4 月から 6 年間にわたり、院内掲示版において、『臨床心理室だより』を掲示し、臨床心理学の理論から映画にまつわる心理的なテーマなど様々な話題を提供して、院内スタッフがより身近に臨床心理の理論に接してもらえるよう努めた。

今後も上記内容に加え、地域における関係機関との連携をより強化し、当病院における臨床心理の充実を考えている。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 2022年度 実績数(延べ件数)

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
心理面接・経過フォロー等	13	19	15	15	23	20
心理検査・知能検査	8	11	7	10	16	11
神経心理学検査	8	9	9	7	11	1
合 計	29	39	31	22	50	32

種 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
心理面接・経過フォロー等	19	16	19	17	17	21	214
心理検査・知能検査	12	8	12	11	10	13	129
神経心理学検査	7	5	7	7	5	4	80
合 計	38	29	38	35	32	38	423

### ■ 研修・教育活動

指 導 者・講 師	内 容	実習名・日時
小林 優子	「メンタルヘルスについて」	2022年度 新規採用職員向け合同研修 2022/4/4
小林 優子	「自己開示のグループワーク」	2022年度 新規採用職員向け合同研修 2023/2/3

### 《臨床心理室の利用方法のご案内》

一般患者さんのカウンセリング、心理療法、各種検査については、院内各診療科から依頼を受けて予約制で行っています（予約管理は小児科で行っています）。院外からは直接お受けしていませんので、各診療科を通して予約ください。

詳細ならびに職員の心理相談に関しては、臨床心理室の院内メールにて、お問い合わせください。

# 病院だより

- 第 43 号 2022 年 4 月発行
- 第 44 号 2022 年 7 月発行
- 第 45 号 2022 年 10 月発行
- 第 46 号 2023 年 1 月発行



# 市立池田病院だより

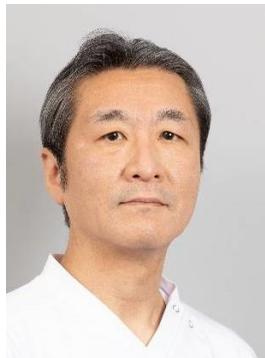
基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第43号

2022年4月発行

## 副院長就任のご挨拶



副院長 尾崎 由和

このたび副院長を拝命いたしました、小児科の尾崎です。1985年に大阪大学を卒業し、そのまま阪大小児科で研修をしました。その後、大手前病院、ベルランド総合病院、大阪大学医学部附属病院、国立病院機構大阪医療センターを経て、2012年に市立池田病院に主任部長として着任しました。専門は栄養、内分泌で、子どもの特徴である「体がおおきくなること」に興味を持って診療をしています。

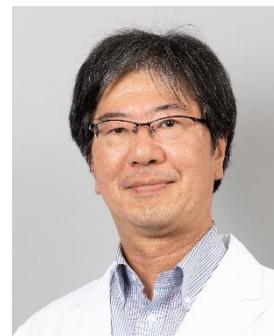
尾下病院長とは大学の同級生で、名簿もずっと隣り合っていました。気心の知れた間柄ですので、病院長をしっかり支えて、病院をもり立てていきたいと考えています。皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

本年4月より副院長を拝命いたしました、血液内科の森山です。当院には2001年に着任し、今年で22年目となります。

これまで血液内科医として、悪性リンパ腫のほか、高齢化の進展に伴い、決して稀な疾患ではなくなってきた骨髄異形成症候群や多発性骨髄腫を最新の治療ポリシーのもと、全力で治療に当たってきました。また、大阪大学との連携により、同種造血幹細胞移植や、免疫療法の新しい形であるCAR-T療法を受けていただいている患者さまも年々増加しております。

そして、消化器内科や呼吸器内科など内科系の各診療グループも新しいスタッフを迎え、ますます体制を充実させております。

目下、新型コロナウイルス感染症はまだ終息には時間がかかる状態ですが、市民の皆さまが安心して治療を受けることができるよう、尽力してまいります。



副院長 森山 康弘

## 4月から診療科名が変わりました

4月より、下記の診療科におきまして、標榜科名を変更しました。

内分泌・代謝内科 → **糖尿病・内分泌内科**

神経内科 → **脳神経内科**

### 患者さまの権利

- ・個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・十分な説明を受ける権利があります。
- ・診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# 血糖値の「見える化」で、隠れ高血糖を退治

## FreeStyleリブレ

血糖測定は  
痛くていやだ！

かざすだけでOK



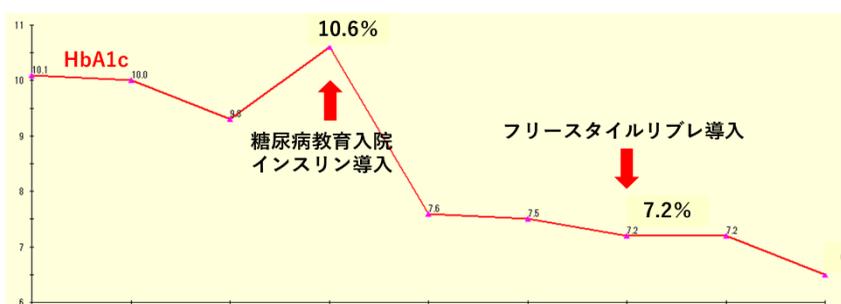
- センサーの装着は簡単
- 交換は14日間に1度
- いつでもどこでも  
何回でも測定可能
- お風呂や運動もOK
- 測定は服の上からでも可能
- スマートフォンでも可能

近年、上腕部にセンサーをつけ、機械をかざすだけで血糖が測定できる間歇的持続血糖測定器（フリースタイルリブレ®）を使って、血糖管理を行う患者さまが増えています。2022年4月1日の診療報酬改定で保険適用となり、インスリンを使用するすべての方が対象となりました。機械をかざすだけで血糖値がわかるだけでなく、血糖値の変化を連続的に記録し、グラフ化して血糖値を「見える化」することで、隠れた高血糖や危ない夜間の低血糖などを見つけることもできます。また、日々の食事や運動の影響も簡単に確認でき、生活習慣の改善やモチベーションの維持に役立ちます。

外来で簡単に導入できますので、ご興味のある患者さまは、ぜひ、主治医にご相談ください。

## 糖尿病教育入院でマンネリを打破！

70代女性 糖尿病歴16年



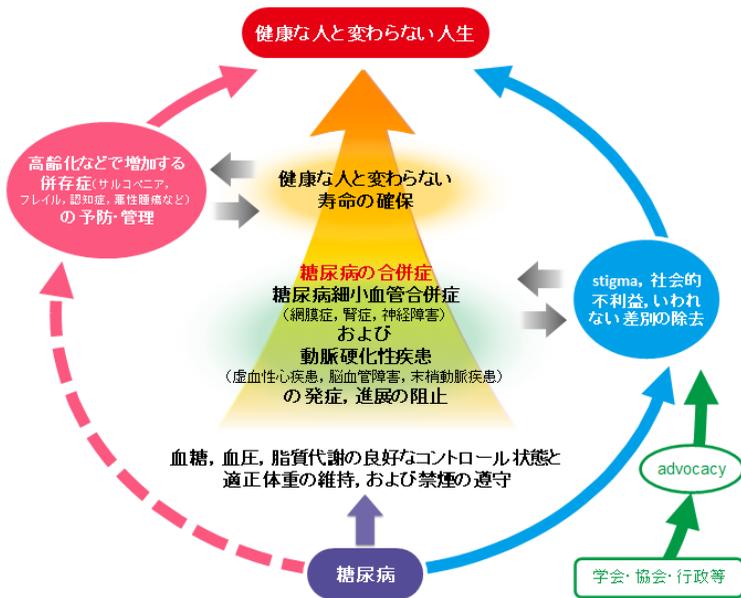
左のグラフは、糖尿病歴16年の70代女性のHbA1c(血糖値の高さを示す数値)の推移です。薬を3剤飲んでおり、自分なりに食事療法もしてきましたが、なかなか血糖が下がらず、HbA1cは10%台が続いていました。そこで、202X年Y月、マンネリを打破するため、一念発起し、教育入院されました。

入院して検査をしてみると、長年の治療により膵臓が疲弊し、血糖をさげる大事なホルモンであるインスリンが低下していることがわかりました。そこで、インスリンを注射したところ、みるみる血糖が下がったので、自分で打てるように練習しました。また、看護師や薬剤師、管理栄養士から、血糖測定の方法や食事や運動、薬剤が血糖に与える効果もマスターしました。退院後も血糖測定を続けていると、どのような食事をしたら血糖が上がるのか、運動はどの程度効果があるのかがわかり、血糖測定が面白くなってきました。そこで、リブレに挑戦することにし、生活習慣病・糖尿病センターでリブレをつけてもらってすぐモニターを開始しました。その結果、血糖の変動も手にとるようにわかり、今では手放せなくなっています。

糖尿病教育入院は、食事・運動・薬剤に関する知識を得ることで、自分の血糖を自分の力でコントロールできるようになるためのお手伝いをします。入院はゴールではなく、スタートです。HbA1cが8%未満なら8日間の、8%以上なら15日間の、それぞれ教育入院をお勧めします。

# コロナ禍が生活習慣病に大きな悪影響

コロナ禍の中、度重なる外出制限から引きこもりになり、血糖コントロールが悪化するだけでなく、筋力低下や認知症といった合併症が進行してしまう高齢糖尿病患者さまが増加しています。一方、勤労世代でも、在宅勤務による運動不足から肥満・メタボリック症候群を悪化させたり、自覚症状がないため糖尿病を放置し、網膜症や神経症などの合併症が著しく進んだ状態で初めて受診する患者さまも増えてきました。



糖尿病治療の目標は、血糖、血圧、脂質、体重を適正に管理し、最終的には糖尿病患者さまが健康な人と変わらない暮らしを送ることができるようにすることです。そのためには、看護師、薬剤師、管理栄養士など、それぞれの分野のプロフェッショナルから構成される当院の生活習慣病・糖尿病センターで生活習慣改善に役立つカウンセリングを受けることも大切です。特に腎臓病を予防するための生活習慣指導である「透析予防指導」や、「フットケア」（足のお手入れ）などがお勧めです。

## あなたはどのタイプの糖尿病？

### 糖尿病患者さまのライフステージと病態



近年、SGLT2阻害薬やGLP-1作動薬といった新世代の薬剤が、低血糖や体重増加を起こさない血糖コントロールを可能にするだけでなく、心不全や心血管病を防ぎ、腎予後を改善することが大規模臨床試験で明らかにされました。健康寿命を伸ばすという糖尿病治療の最終目標を達成するためには、これらの薬剤を上手に使うことが重要です。また、どのような薬が自分に適しているかは、年齢や体格、合併症の有無などで変わってきます。当院では、入院や外来で詳細な検査を行い、患者さまの病状に合わせた最適なお薬を提案させていただきます。

今の薬はあなたに合っているのでしょうか？  
自分のタイプや合併症（心臓・腎臓・肝臓）  
に合わせた薬を使用することが大切です。

# 新任医師のご紹介



すみ てつろう  
墨 哲郎

歯科・歯科口腔外科

現在まで、大阪大学歯学部附属病院および4か所の地域病院に35年間勤務し、培ってきた臨床経験を活かし、地域医療に貢献してまいります。



おおさき やすひろ  
大崎 康宏

耳鼻いんこう科

難聴、めまいなどの耳科疾患を専門としていています。地域医療に貢献できるよう努力いたします。



おぎやま ひではる  
荻山 秀治

消化器内科

消化管癌の内視鏡診断治療を得意としております。内視鏡治療を中心に皆さまのお役に立てるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



ふじた しんご  
藤田 真吾

糖尿病・内分泌内科

2022年4月より、糖尿病・内分泌内科医として勤務することになりました藤田真吾です。

少しでも池田市の医療に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



たちばな ようすけ  
橘 陽介

麻酔科

4月からお世話になります。様々な診療科での経験を活かして病院に貢献できたらと思います。



かげやま みさき  
影山 美沙紀

総合内科

まだまだ若輩ではございますが、懸命に取り組もうと思っておりますので、皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



よねだ みどり  
米田 翠

呼吸器内科

4月より着任いたしました米田 翠と申します。市立豊中病院、大阪はびきの医療センター、大阪

大学医学部附属病院で勤務してまいりました。呼吸器診療を通して、地域医療に貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



いぶち せいご  
井淵 誠吾

産婦人科

患者さまに寄り添い、地域医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



たかむら まなぶ  
高村 学

放射線科

10年ぶりに市立池田病院に再赴任することになりました。以前の病院では、CT、MRIの画像診断やIVR

(X線透視やCTの画像ガイドを使用した血管内治療や画像下誘導治療)を中心に診療しておりました。10年前と比べて画像診断装置は刷新されており、これらを用いて、経験を活かし、安心できる診療を行っていきたく思います。よろしくお願いいたします。



おおたに やすし  
大谷 安司

呼吸器内科

前任地は市立豊中病院で、約10年勤務して地域に根ざした診療を行ってきました。市立池田病院に赴任するにあたり、引き続き地域の皆さまのお役に立てるように努める所存です。



むらた くにこ  
村田 久仁子

麻酔科

痛みや恐怖という患者さまの苦痛をできるだけ取り除けるような、安心・安全な麻酔を提供できるように努めます。よろしくお願いいたします。



むらた じゅん  
村田 淳

消化器内科

前任地の市立東大阪医療センターでは、市中病院で経験するほぼ全ての消化器疾患に対応できるように日々研鑽してきました。

特に、早期癌に対する内視鏡治療(ESD、EMR)や胆膵領域の内視鏡検査・治療(ERCP、EUS関連手技など)、消化管ステントに関しては、数多くの症例に従事してきました。また、癌の中でも最も難治とされる膵癌の早期発見・診断を目指した取り組みは、実績を重ねるとともに高い評価を頂きました。これらの経験を生かし、引き続き市立池田病院でも実践していきたいと考えています。また、患者さまのニーズに合ったベストな治療を提供できるよう、引き続き知識と技術の向上を目指していきます。今後とも、よろしくお願いいたします。



べっぶ しょうへい  
別府 祥平

脳神経内科

個々の患者さまに寄り添った医療を心掛け、頑張っております。よろしくお願いいたします。



かわきた はるか  
川喜田 遥香

皮膚科

この度、ご縁があり、茨城県より転居し、市立池田病院皮膚科の医師として赴任いたしました。初めての大阪の土地に緊張しておりますが、丁寧な診療を心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。

ページ数の関係で次号も引き続き新任医師の紹介を予定しています。

## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510

大阪府池田市城南3丁目1番18号

Tel 072-751-2881 (代表)

Fax 072-754-6374

URL <https://www.hosp.iked.osaka.jp>

編集・発行：市立池田病院 広報委員会



アカウント：  
iked\_city\_hospital

バックナンバー





# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第44号

2022年7月発行



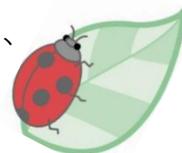
呼吸器内科  
部長 大谷 安司

4月より市立池田病院 呼吸器内科部長を拝命いたしました。それまでは、市立豊中病院で約10年、診療を行ってまいりました。

呼吸器の治療に関して、ここ10年で急速に進歩しております。喘息に関して、分子標的の抗体療法が2016年に導入され、以前は難治性でコントロール不良であったものが改善するようになりました。また、悪性腫瘍に関しても、2002年の分子標的薬のゲフィチニブ、2014年の免疫チェックポイント阻害薬などエポックメイキングな治療が出現し、個人が最適な治療を選択できるようになりました。

コロナとの共存を目指しながら、前任の橋本先生が築いてきた、池田市における呼吸器診療を維持したいと考えております。

皆さま、何卒宜しくお願い申し上げます。



4月より耳鼻いんこう科の主任部長を拝命いたしました大崎です。1999年に大阪大学を卒業して耳鼻咽喉科に入局、研修医・大学院を経て、大阪大学、香川大学、近畿大学、八尾市立病院、市立吹田市民病院、大阪母子医療センターで勤務しておりました。

難聴、めまい疾患を中心とし、特に慢性中耳炎や真珠腫性中耳炎に対する耳科手術を専門としておりますが、鼻疾患、咽喉頭疾患など一般的な耳鼻咽喉科疾患も一通り対応しております。

地域医療に貢献できるよう努力しますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



耳鼻いんこう科  
主任部長 大崎 康宏



放射線科  
主任部長 高村 学

4月より放射線科主任部長に着任いたしました高村学です。

専門は画像診断全般と腹部IVR (interventional radiology) です。

2008年から2012年までの4年間、当院に所属しておりました。

10年前と異なり、CTも64列の最新になり、MRIも更新され、3テスラ1台と1.5テスラ1台の2台体制となっております。直接外来診療は行っていませんが、地域医療連携室を通じて、MR、CT、RI、USの検査に携わらせていただいております。

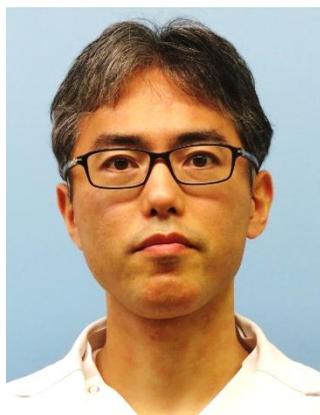
放射線科では、診断装置の地域医療での活用にも重点を置いております。

これまでの経験を活かし、迅速、丁寧な検査、診断を行ってまいりたいと思います。皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# 消化器内科について



消化器内科  
主任部長 荻山 秀治

4月より消化器内科（胃腸脾）主任部長を拝命しました荻山です。

消化器内科医として、大阪府立成人病センター（現・大阪国際がんセンター）、大阪大学、市立伊丹病院を経て、この度、市立池田病院に着任いたしました。専門は消化管腫瘍の内視鏡診断、治療（ESD等）です。前任地の市立伊丹病院では年間1,000件以上のESDのすべてに関わり、治療成績の向上と偶発症の低減を図ってきましたので、市立池田病院でも引き続き行ってまいります。急性腹症、消化管出血、検診異常など多くの消化器疾患がございますが、そうした患者さまを安心して当院にご紹介いただけるように努めてまいります。そのためにも、コロナ禍ではございますが、地域の先生方と早く顔の見える関係を築きたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

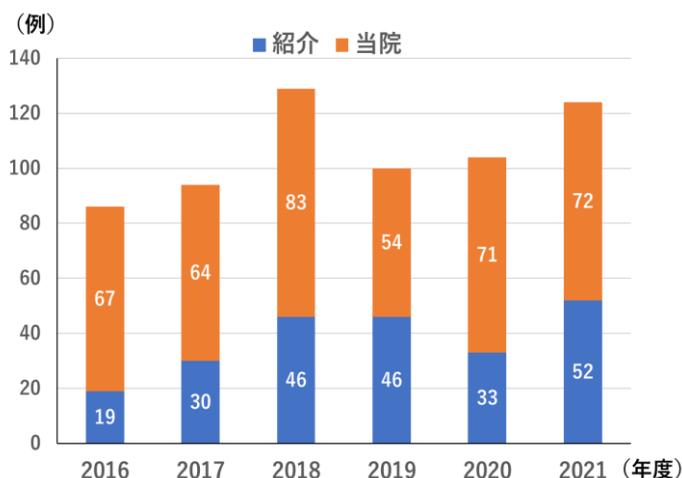
## 大腸がんの検診と内視鏡治療について

大腸がんは、2022年の全がん罹患数予測において男女合わせておよそ158,200人で最も多くなっております。（がん情報サービスホームページから）大腸がんのリスク上昇因子として赤身肉や加工肉の摂取、肥満などがリスクを下げる因子としては運動などが、それぞれ言われており、生活習慣病が大腸がんに関係していると推測できます。大腸がんによる死亡者数を減少させるためには検診が有用であり、アメリカでは大腸がん検診受診率を向上させることで大腸がんによる死亡率減少を実現しました。一方、日本では残念ながら大腸がん患者は増加しており、大腸がん検診や、便潜血検査、内視鏡による精密検査など各種検査の受診率の向上が課題です。

内視鏡での大腸腫瘍（ポリープ、早期がん）の切除法については大きく3つに分かれます。1cm以下の小さながんを疑わないポリープについては時間短縮や出血率低減のため電気を流さず切除するcold polypectomy、従来から用いられる局注して切除を行うEMR、そして大きな病変を一括切除可能なESDの3つの方法です。病変に応じて切除法を選択しております。

大腸ESDにつきましては、食道・胃ESDに比べて難易度は高いことが知られておりますが、当院には施行可能な術者が複数名在籍しており、治療成績も良好で、困難症例についても対応可能となっております。安心してご紹介いただける体制となっております。

当院での消化管ESDにおける紹介割合



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

# 新任医師のご紹介



はた えりこ  
秦 絵莉子 整形外科

はじめて。地域医療に貢献できるように尽力してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



たにぐち たかひで  
谷口 隆英 眼科

豊中育ちです。地元の病院に移ってきました。よろしくお願いいたします。



ふくしま ゆうこ  
福島 裕子 消化器内科

患者さまに寄り添った医療を心掛け、頑張っています。よろしくお願いいたします。



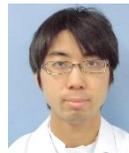
よしいけ はるな  
吉池 遥南 形成外科

慣れないことも多いと思いますが、精一杯頑張ります。「古池」とよく呼ばれますが、「吉池」です。よろしくお願いいたします。



こにし まさとし  
小西 雅俊 泌尿器科

はじめまして。泌尿器科の小西雅俊と申します。コロナ禍で医療の逼迫が騒がれておりますが、質を落とさぬよう地域医療に貢献いたします。



やまうち けいじろう  
山内 桂二郎 呼吸器内科

患者さまに寄り添った医療を目指します。よろしくお願いいたします。



はまべ ともや  
浜辺 友也 消化器内科

患者さまが安心できるような医療を目指し、日々精進していきたく思います。よろしくお願いいたします。



かわべ りょうこ  
川部 僚子 皮膚科

皮膚科専攻医として、4月から勤務させていただきます。患者さまのお役にたてるように精進いたします。よろしくお願いいたします。



ただむら りゅうのすけ  
多田村 龍之介 糖尿病・内分泌内科

明るく前向きに、ひたむきに日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。



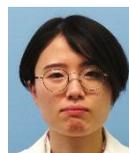
しろさき ゆみ  
白崎 祐美 消化器外科

4月から外科専攻医として赴任してきた白崎祐美と申します。患者さまに寄り添った医療を提供できるよう一生懸命努めていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



ふじわら まさたか  
藤原 雅孝 消化器外科

より良い医療を提供できるよう、コメディカルの皆さんと協力し努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



むらかみ あやか  
村上 綾香 形成外科

初期臨床研修を終えて初めての勤務地になりますので慣れないことばかりで、ご迷惑をお掛けするかと思いますが、よろしくお願いいたします。

## 2022年度「看護の日」イベントを開催しました



5月12日は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、「看護の日」と定められています。5月11日から13日までの間、外来フロアにてイベントを開催しました。看護職員が期間中、「看護週間」として看護に関わるPRを行い、院内で働く看護師の姿を撮影した動画をスマートフォンやパソコンから見ていただけるよう、QRコードから視聴できるチラシをお配りしました。



今年度は、新人看護師が31名入職しました。イベントに参加した新人は、外来通院中の患者さまやご家族の方と語り合うことで、看護師として成長させていただく機会が得られたと思います。看護師にお声かけいただき、ありがとうございました。

# 当院は厚生労働省指定の臨床研修病院です

大学医学部を卒業し、医師免許を取得すれば、医師になる資格を得られます。

しかし、実際に診療に従事するには、診療能力を身につけることができるよう、指定病院で2年以上の臨床研修を受けなければならないと法律で定められています。

市立池田病院は、厚生労働省が指定する臨床研修病院として研修医を受け入れており、大阪府北摂地域における基幹病院として安全で質の高い医療を市民に提供するとともに、広く社会の医療福祉に貢献できる人材を育成しています。

## 《臨床研修の理念》

市立池田病院の基本理念である「創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして」のもと、当院での研修を通して医師としての人格を涵(かん)養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、将来専門とする分野にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力(態度、技能、知識)を習得し、遭遇しうるいかなる状況においても適切な全人的医療をチームのメンバーと協力しながら提供できる医師を育成します。

## 《臨床研修の基本方針》

次のような資質を備えた医療人を育成する。

1. 人間性豊かな医療人
2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人
3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人
4. チーム医療のできる医療人
5. 生涯学習をする医療人
6. 地域医療に貢献する医療人
7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人
8. 安全な医療を実践できる医療人



今月一品

## なすの肉巻き

### 材料(2人分)

豚ロース薄切り肉	150g
なす	2本
かいわれ大根	適量
サラダ油	小さじ1
片栗粉	適量
★調味料	
ポン酢	大さじ2
おろししょうが	少々
おろしにんにく	少々

### 作り方

- ① なすはへたを切り落とし、縦4等分にする。
- ② 豚肉は縦長におき、片栗粉をふり、薄くまぶす。
- ③ なすを手前において巻く。
- ④ フライパンにサラダ油を入れて熱し、③の巻き終わりを下にして並べ入れ、中火で全体に焼き色がつくまで転がしながら焼く。ふたをし、なすに火が通るまで弱火で7分ほど蒸し焼きにする。
- ⑤ ★を加え、からめてから盛り付け、かいわれ大根をちらす。



栄養管理科

## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510  
大阪府池田市城南3丁目1番18号  
Tel 072-751-2881 (代表)  
Fax 072-754-6374  
URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>  
編集・発行：市立池田病院 広報委員会



アカウント：  
ikedata\_city\_hospital

バックナンバー





# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第45号

2022年10月発行

## 変形性膝関節症に対する手術加療について

変形性膝関節症は高齢者の2人に1人が罹患するとも言われ、日本での有病者数は2,500万人と試算されています。歩行機能の低下を招き、健康寿命を損なうことにつながり、生命予後に影響する場合があります。

かかりつけ医で保存加療を行っても疼痛・ADL低下の改善が得られない患者さまに対して、当院にて手術加療を行っています。現在、3種類の手術を行っており、関節の状態や年齢により手術適応が異なります。

### 人工膝関節全置換術 (Total Knee Arthroplasty : TKA)

変形性膝関節症に対する手術として最も多く行われている術式で、痛んだ関節部分をコンポーネントで覆うようにして置き換える手術です。

関節表面の置換、下肢アライメントの改善、関節の安定性獲得を行うことで疼痛・歩行能力を改善させます。変形が進行していても可能な術式です。



【術後膝関節単純X線】

当院では、ほぼ全ての症例でナビゲーション（コンピューター支援手術）を用いて正確なコンポーネント設置を行うようにしております。

### 単顆型人工膝関節置換術 (Unilateral Knee Arthroplasty : UKA)

変形の段階が比較的早期で、内側の変性にとどまる症例に対して選択できる術式となります。変性した内側部分のみ大腿骨・脛骨の表面をコンポーネントで置換します。



【UKAのコンポーネント】

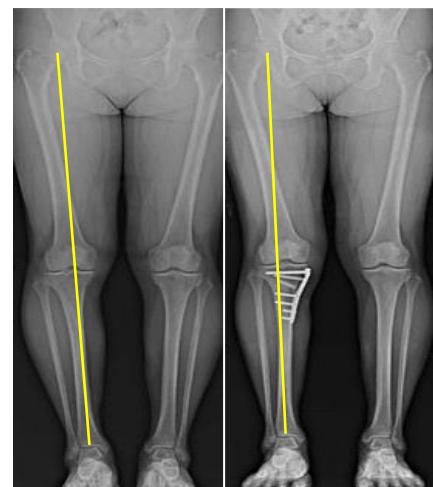
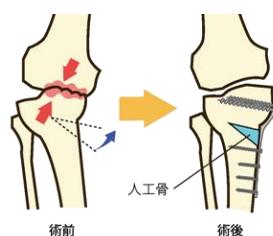


【術後膝関節単純X線】

### 高位脛骨骨切り術 (High Tibial Osteotomy : HTO)

変形の段階が早期で、比較的若年（70歳未満）で活動性の高い患者さまに適応がある術式です。脛骨を切って形を矯正することで、変性していない外側に荷重点を移し、疼痛の改善を図ります。自分の関節を温存できるため、スポーツ復帰率などが高くなります。

<HTO模式図>



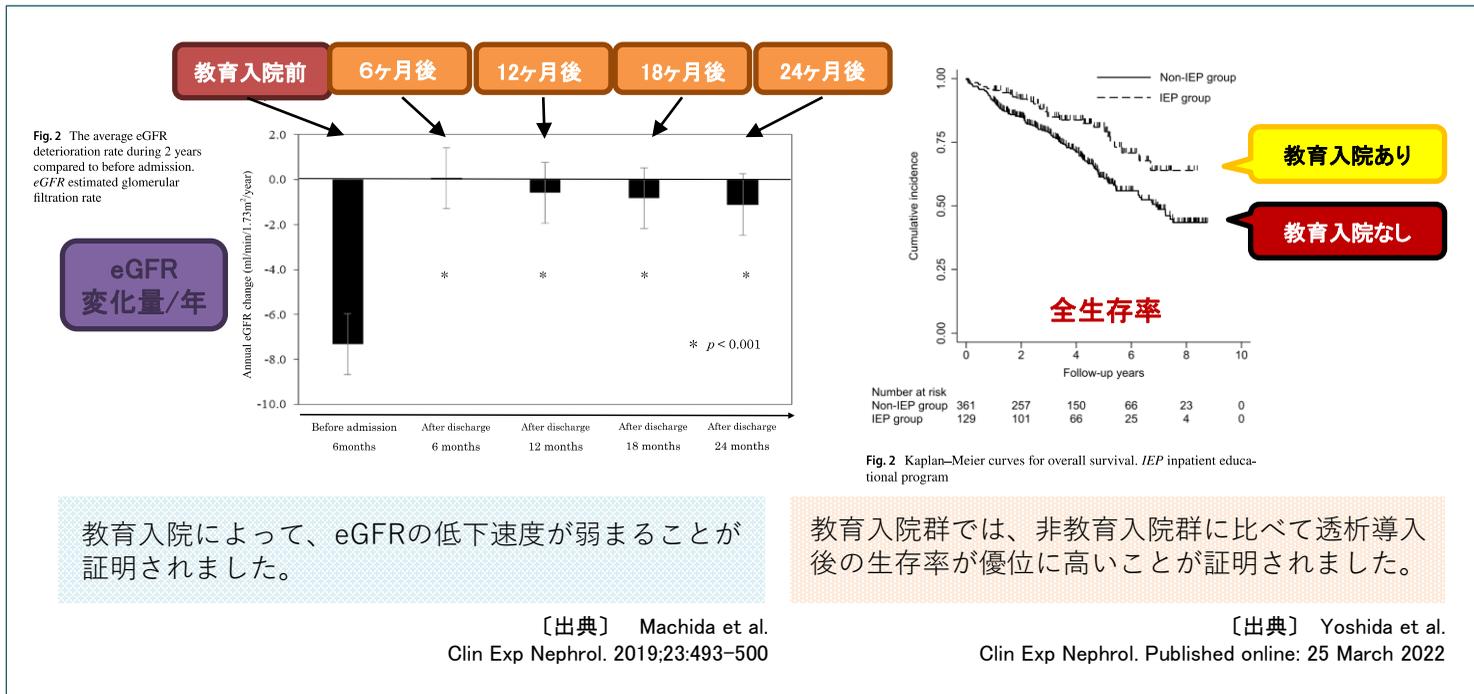
【術前後で荷重点が移動】

### 患者さまの権利

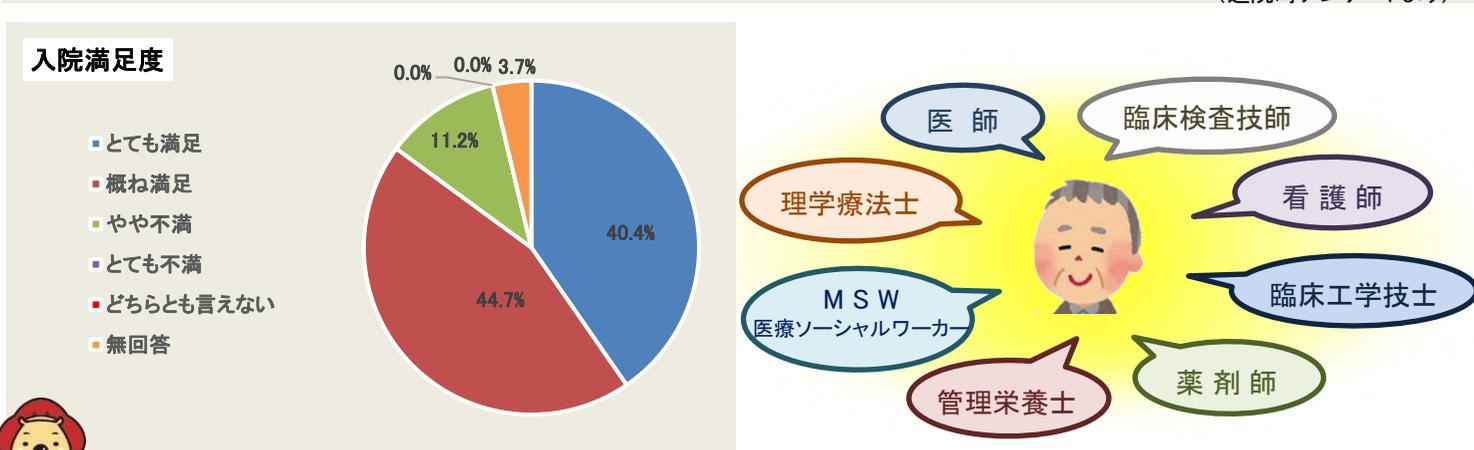
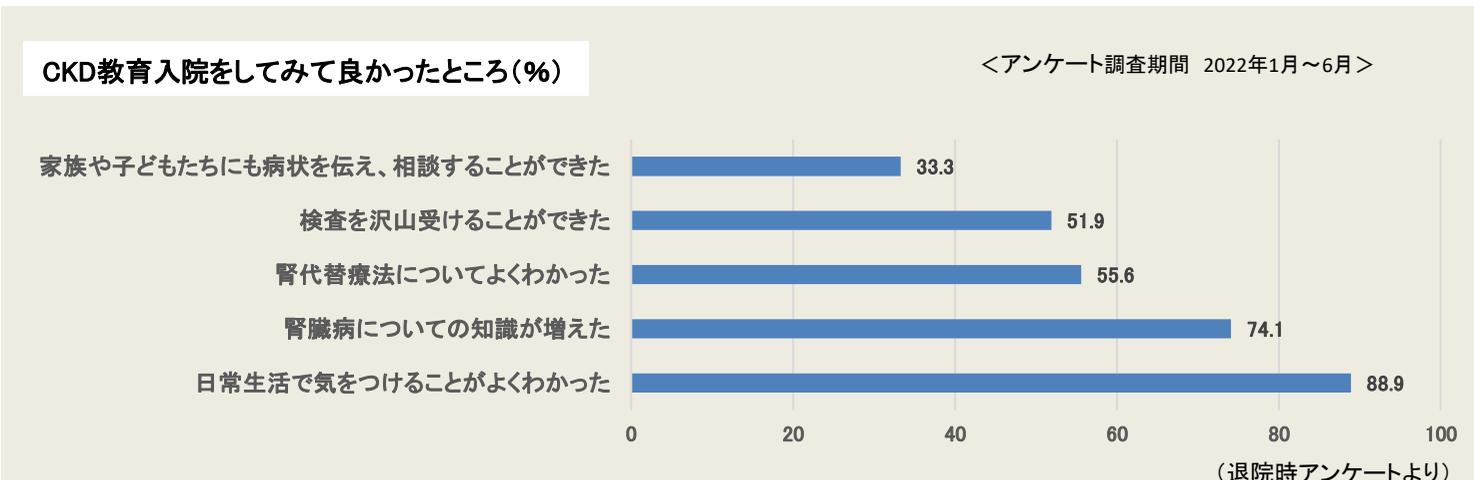
- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# 慢性腎臓病の教育入院を始めました !!

近年、慢性腎臓病(CKD)の重症化予防に対する多職種連携が重要視されるようになりました。しかし、保険診療の枠組みでは外来での多職種指導に限界があることから、教育入院の取り組みが広がっており、その効果も科学的に立証され始めています。



2022年1月より**7泊8日の教育入院プログラム**を開始し、下記の8職種による多職種連携のもとで療養指導に取り組んでいます。すでに40名以上の患者さまが利用され、多くの患者さまに満足していただいています。



当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒宜しくお願いいたします。

# 糖尿病看護認定看護師の活動

糖尿病看護認定看護師の根来絢子（ねごろじゅんこ）です。院内でスタッフと協働しながら、生活支援、透析予防、フットケアなどの指導や、多職種との連携を行い、糖尿病患者さまの生活を支援できる環境作りを行っています。

今年度から外来患者さまのカンファレンスを行う活動を始めました。地域の皆さまと一緒に、糖尿病患者さまの生活を支えていけるよう連携していきたいと考えております。

よろしく願いいたします。

看護療養指導	2,601件
フットケア	48件
透析予防指導	243件

(2021年4月～2022年3月糖尿病センター指導件数)



糖尿病看護認定看護師  
根来 絢子

# がん看護専門看護師の活動

こんにちは。がん看護専門看護師の吉野葵（よしのあおい）です。普段は、緩和ケアチームの専従看護師として活動しています。がんと診断された時から終末期に至るまで、患者さまやご家族に対して、誠心誠意寄り添うことを心掛けています。

## <主な活動内容>

- ・緩和ケアチーム（約250件/年）
- ・病状説明同席（約300件/年）
- ・がん看護外来
- ・看護面談
- ・がん相談支援センターでの相談対応
- ・困難事例への介入など

がん看護専門看護師  
吉野 葵

患者さまやご家族、医療者の方々からの多種多様な依頼や問題に対し、情報提供、意思決定支援、セルフケア介入、精神的支援、症状マネジメント、倫理問題への介入などの対応をしています。ご本人やご家族とのやりとりの中で、患者さまをとりまく多職種の医療従事者や部署との調整を行うことも多いです。今後は、院内・院外のみなさまと協働し、地域で患者さまの療養生活を支える取り組みができればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



# 2022年10月から選定療養費が変更となります

○紹介状のない受診等には選定療養費が別途かかります。

選定療養費 (税込)	医科	歯科	対象
初診時	7,700円	5,500円	他の医療機関からの 紹介状をお持ちでない方

○当院から他の医療機関への紹介の申出があってもかかわらず、継続受診を希望される方は税込3,300円（歯科は2,090円）の再診時選定療養費が別途かかります。

○次の診療科は完全予約制です。

■脳神経外科

■整形外科

■皮膚科

■眼科

■耳鼻いんこう科

■歯科／歯科口腔外科

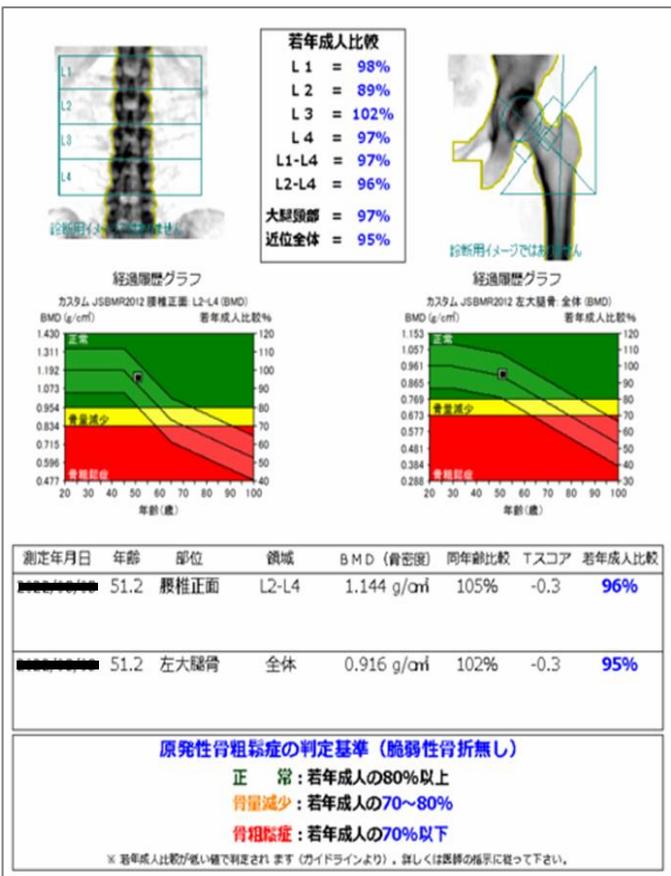
「かかりつけ医」（地域の医療機関）からご予約のうえ、必ず紹介状をお持ちください。

# 骨塩量の評価の紹介

骨塩定量検査は、骨を構成しているカルシウムなどのミネラル類の量を測定します。

当院では、内科全般・整形外科の骨粗鬆症精査をはじめ、乳腺外来の術前検査、腎臓内科の慢性腎臓病に対するスクリーニング検査などの依頼が多くを占めます。

閉経に伴う骨塩量の低下など、特に女性の患者さまには関心が高いところです。主に大腿骨・腰椎をDXA法で、臥位にて測定します。前腕（橈骨）で測定することも可能ですが、この場合は坐位での測定となります。いずれも測定時間は10分程度で終了します。測定結果は検査当日に知ることが可能です。検査ご希望の場合は、かかりつけ医にご相談ください。



## <検査日>

月曜日・火曜日：午後

水曜日・金曜日：午前

今月の一品

疲れたときにホッと一息

## さつまいも餅



さつまいもは、皮の色がきれいで、表面に傷やでこぼこのないものを選んでね。

## 【作り方】

- ① さつまいもの皮を剥いておく。
- ② さつまいもを輪切りにし、5分ほど水にさらしてアクを抜き、水気を切る。
- ③ ②を耐熱容器に移してラップし、600Wのレンジで7分加熱する。加熱し終わったら温かいうちにフォークなどで細かく潰す。
- ④ さつまいもが滑らかになるまで潰れたら、★を加えてよく混ぜ合わせる。まとまってきたらスプーン等ですくい、火傷に注意し手で成形する。
- ⑤ 熱したフライパンに有塩バターをひき、④を並べて中火で加熱する。  
片面に焼き色がついたら裏返し、両面に焼き色をつける。
- ⑥ お皿に盛り付け、仕上げにはちみつをかけて出来上がり。

材料(2人前)

さつまいも 170g(中1本)  
★片栗粉 大さじ2  
★砂糖 大さじ1  
★牛乳 大さじ1  
有塩バター 大さじ1  
はちみつ 15g  
適量

栄養管理科

## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510  
大阪府池田市城南3丁目1番18号  
Tel 072-751-2881 (代表)  
Fax 072-754-6374  
URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>  
編集・発行：市立池田病院 広報委員会



アカウント：  
ikedata\_city\_hospital

バックナンバー





# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第46号

2023年1月発行

## 新年のご挨拶



池田市病院事業管理者  
福島 公明

### あけましておめでとうございます

皆さまには、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、「コロナ」という言葉が「新型コロナウイルス感染症」を指し、日常で普通に用いられるようになってから3年が過ぎようとしています。この間、新型コロナウイルス感染症は感染の拡大と縮小を繰り返しており、依然として収束も終息も見通すことができない状況です。

そうした中、市立池田病院は公立病院としての使命を果たすべく、コロナへの対応はもとより、通常診療においても機能の維持を図り、池田市を中心とする地域において中核を担う医療機関であるように努めてまいりました。

国は、コロナ禍において公立病院が担った役割や、その必要性を再認識するも、課題となっている経営健全化を進めるべく、中断していた議論を再開しました。昨年3月には公立病院経営強化ガイドラインが示され、来年度取りまとめられる第8次保険医療計画と相まって、再編統合やダウンサイジングなども議論されることでしょう。

残念ながら市立池田病院の財務状況は「優良」とは言えず、これまでも健全化に取り組んできましたが、今後はさらなる結果が求められます。しかも、近隣総合病院の開院による影響など、病院経営にとっては、懸念すべき項目のほうが多く、その道のりは険しいものと考えています。病院事業管理者としては病院経営を第一義で考え、健全化の取り組みを進めなければなりません。そこには、池田市民をはじめとする患者さまが安心して診療を受けられることが前提であると考えています。

患者さまに信頼される病院として機能しつつ、経営健全化の取り組みを進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



病院長 尾下 正秀

### あけましておめでとうございます

新型コロナウイルス（COVID-19）感染は、終息することなく、大きな波を繰り返し、早3年になります。ワクチン接種の効果やウイルスの変異により、重症化率は低下し、感染者の隔離期間の短縮など感染対応の緩和の流れが見えています。

とは言うものの、昨年は、感染者数の急増、また、職員の感染あるいは濃厚接触者による出勤停止などで、診療に及ぼす影響は極めて大きく、コロナ病床の確保に伴うたび重なる一般病床の使用制限、救急ストップなど、皆さまにはご迷惑をおかけしました。今後、感染対応の緩和の流れに対し、病院として如何に対応すべきか苦慮することになりそうです。

当院の昨年の大きなイベントであった手術支援ロボット「ダビンチX」の導入は、泌尿器科からスタートし、消化器外科、産婦人科と対象を広げ、順調に稼働しています。

今年は、コロナ対策に加え、1月末には医療機能評価を受審予定です。また、2024年から施行される医師の働き方改革に向けた準備を行わなければなりません。

「創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして」の基本理念のもと、皆さまの期待に応える医療を提供すべく、職員一同、頑張りますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。

#### 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# 消化器外科 下部消化管グループの取り組み

下部消化管グループは、太田博文（副院長）、宗方幸二（副部長）、松浦雄祐（副部長）で担当しております。

今回は、年間約100例の手術実績がある大腸がん手術についてご紹介させていただきます。

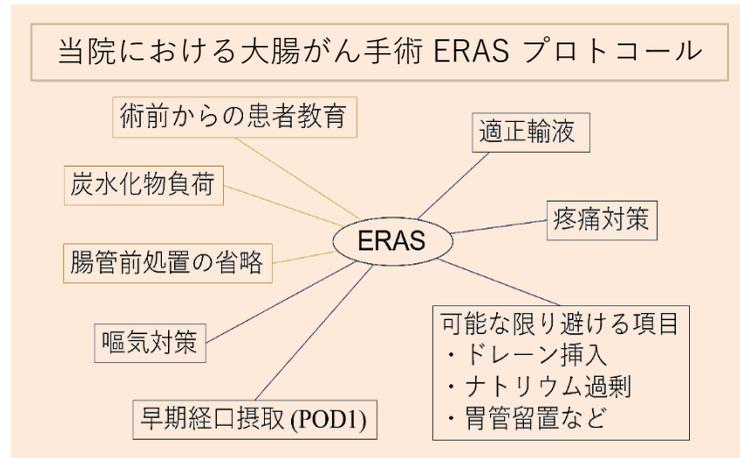
当グループの最大の特徴は、大阪大学関連50施設の中でも特に、術後早期回復プログラムである **enhanced recovery after surgery** (ERAS, イーラス) を軸とした周術期管理を実践していることです。

ERASは、欧米では既に確立・普及した概念で、手術当日も経口摂取をするなど周術期における患者さまのストレスを軽減し、周術期における「笑顔」にこだわった診療を実践しております。

ERASは、さまざまな項目からなりますが、その一つとして低侵襲手術が挙げられます。日本では2018年から直腸がんに対して、2022年から結腸がんに対して、それぞれ保険収載され、ロボット支援下手術を導入する施設は増加傾向にあります。

国内外の報告では、直腸がんに対するロボット支援下手術は腹腔鏡手術と比べて劣らず、術後合併症、特に排尿障害・性機能障害の低減の可能性や、がんの再発率低減につながる可能性が示唆されています。

当院 消化器外科では、最先端手術である **ロボット支援下手術** に関し、最新機である『**da Vinci (ダビンチ) X**』を用いて大腸がん(結腸がん、直腸がん)や胃がんの手術を保険診療で提供することが可能です。



ダビンチ立ち上げに御尽力いただいた野村明成先生（大阪赤十字病院）



ロボット直腸がん手術の様子



ロボット結腸がん手術の様子

当院は「**大阪府がん診療拠点病院**」の指定を受けており、地域の皆さまにより一層充実した「がん医療」を提供すべく、地域の先生方と連携しながら診療しております。

また、消化器外科領域においては**日本外科学会**や**日本消化器外科学会**、**日本大腸肛門病学会**の認定施設として、さらには、**腹腔鏡下大腸切除研究会の会員施設**として、個々の患者さまに最適な治療を提供するよう心がけております。

年間5,000例の手術件数を誇る大阪大学関連施設の中でも、**最先端のロボット手術**と**エビデンスに基づいたERAS**を主軸とした大腸がん治療が可能なのが**市立池田病院 消化器外科**の最大の特徴になります。

# 手術看護認定看護師の活動



手術看護認定看護師  
協本 英昭

ロボット手術は、人の目に比べて広い視野を3Dで見ることができ、遠隔操作によって狭い空間で精密な作業を行うことができる腹腔鏡手術となります。鉗子の先は指のように細かな動作が行えるため、縫合などは従来の手術に比べて非常にやりやすくなっているのが特徴です。

当院に手術支援ロボット「ダビンチ」が導入され、徐々に手術件数も増えてきている中、その特殊な手術における看護をご紹介させていただきます。



頭低位26度（実際の体位）

## 手術支援ロボットの頭低位26度の手術看護

- 手術室でロック式末梢ルート of 確保
- ETCO<sub>2</sub>（呼気終末の二酸化炭素濃度）・術野での皮下気腫の観察
- 体圧分散用具による保護
- 1時間以内の観察を徹底
- コンパートメント症候群予防・早期発見のため足背動脈の観察、下腿の除圧

ロボット手術は、医師の操作だけではなく看護師を含めたチームで行います。そのため、チームで教育に取り組んでいます。他施設での安全な方法等も参考にし、様々な観察を強化することで合併症を起こすことなく安全に手術を実施しています。

# 医療機器管理室の紹介

医療機器管理室 臨床工学技士（医療機器安全管理責任者）の杉山隆志です。

医療機器管理室では、患者さまの安全と安心を提供するため、下記の業務を行っています。

## 1. 医療機器保守管理業務

医療機器の購入から廃棄に至るまでの全ての過程において、総合的な医療機器管理を行っています。

また、生命維持管理装置を中心に、院内での保守点検や故障修理を実施し、安全性と経済性を両立させています。万一の不具合発生時には、24時間365日体制で対応しています。



臨床工学技士  
杉山 隆志

## 2. 臨床技術提供業務

高度医療部門において、生命維持管理装置を使用した高度な検査・治療に積極的に参加し、医療機器の安全運用に取り組んでいます。また、新たに手術支援ロボット（da Vinci X）の臨床サポートも開始しました。

# 新任医師のご挨拶



麻酔科 八木 真実

どんな小さな手術にも不安がつきものです。みなさまが安心して手術を受けられるよう努めてまいります。



泌尿器科 中田 渡

大阪ろうさい病院から赴任いたしました。ダビンチXを導入したタイミングでの赴任であり、是非ダビンチ手術を多数行いたいと思っています。よろしくお願いいたします。



耳鼻いんこう科 北村 江理

池田市の地域医療に少しでもお役にたてるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。



麻酔科 吉藤 正泰

再度勤務することとなりました。よろしくお願いいたします。



泌尿器科 中村 模志

患者さまの心に寄り添う医療を提供できるよう頑張りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

今月の一品



もちもちい〜



余ったお餅を簡単アレンジ！

## ミートソース グラタン

材料(2人分)

餅	4個
合いびき肉	100g
玉ねぎ	1/2個
バター	10g
チーズ	適量
塩	適量
こしょう	適量
(A) ケチャップ	大さじ1.5
(A) ウスターソース	大さじ1

### <作り方>

- ① 玉ねぎをみじん切りにする。
- ② フライパンにバターを溶かし、合いびき肉と玉ねぎを炒める。
- ③ 火が通ったら(A)の調味料を加えて少し煮詰め、塩、こしょうで味を整える。
- ④ 餅は、さっと水にくぐらせて耐熱皿に並べ、やわらかくなるまでレンジにかける。(600Wで1分)
- ⑤ 餅に③を絡め、チーズをのせてオーブントースターで焼き色が付くまで10分程度焼く。

栄養管理科

### お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、  
病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510

大阪府池田市城南3丁目1番18号

Tel 072-751-2881 (代表)

Fax 072-754-6374

URL <https://www.hosp.ikedda.osaka.jp>

編集・発行：市立池田病院 広報委員会



## 編集後記

市立池田病院の令和4年度病院年報（第30号）が刊行となりました。

新型コロナウイルス感染下での社会生活も3年以上が経過し、ウイルスの変異による重症化の低下とともに、感染に対する危機感も低下し、徐々に、新型コロナウイルス感染症が興った以前の生活に戻ろうとしています。令和5年5月8日には、新型コロナウイルス感染症は5類感染症になり、医療現場として、どのように対応していくかを考えながら、公立病院としての役割を引き続き果たしていきたいと思えます。

年報作成に携わっていただいた皆様に深謝いたしますとともに、「ウイズコロナ下における3年目の診療データ」として、本年報を多くの皆様にご覧いただきますことを期待いたします。今後ともよろしく願いいたします。

広報委員長 尾下 正秀

病院年報 第30号 (令和4年度)

令和5年10月発行

発行 市立池田病院  
編集 市立池田病院広報委員会  
池田市城南3丁目1番18号  
電話 072-751-2881  
FAX 072-754-6374  
E-Mail : info@hosp.ikeda.osaka.jp